



平成 27 年度 前期
学生による授業評価(アンケート調査)
集計結果

日本赤十字看護大学 看護学部

平成27年度学部(前期)授業評価実施科目

No.	コード	講義名称	教員	履修登録者数	評価用紙種類	学年	学期	必修選択の別	頁
—	講義全体集計平均								1
1	1A0100	赤十字概論	小池政行	145	講義	1	前期	必修	2
2	1A0103	赤十字概論	井上忠男	12	講義	編3	前期	必修	4
3	1A0200	赤十字国際活動論	小池政行	35	講義	3	前期	選択	6
4	1B0100	哲学と倫理	榊原哲也	6	講義	3・編3	前期	選択	8
5	1B0300	心理学 I	遠藤公久	136	講義	1	前期	選択	10
6	1B0801	身体運動論Ⅱ(実技)	緒形ひとみ	34	講義	1	前期	選択	12
7	1B0802	身体運動論Ⅱ(実技)	岸田登美	31	講義	1	前期	選択	14
8	1B0803	身体運動論Ⅱ(実技)	緒形ひとみ	33	講義	1	前期	選択	16
9	1B0804	身体運動論Ⅱ(実技)	岸田登美	35	講義	1	前期	選択	18
10	1B1000	障がい論	川名るり・江本リナ・山内朋子・太田智子・吉田玲子・小宮敬子・鷹野朋実・坂口千鶴・乙黒千鶴	28	講義	4	前期	選択	20
11	1C0100	社会学 I	三橋弘次	126	講義	1	前期	選択	22
12	1C0300	社会保障論	畠中亨	152	講義	3・編3	前期	必修	24
13	1C0500	世界の文化と宗教	佐藤真	14	講義	2	前期	選択	26
14	1C0700	日本国憲法	吉田直正	110	講義	1	前期	選択	28
15	1D0101	数学 I	二宮真理子	67	講義	1	前期	選択	30
16	1D0102	数学 I	二宮真理子	66	講義	1	前期	選択	32
17	1D0300	生物学 I	吉田健一	123	講義	1	前期	選択	34
18	1D0501	化学 I	三好洋	21	講義	1	前期	選択	35
19	1D0502	化学 I	三好洋	37	講義	1	前期	選択	37
20	1E0301	保健統計学	逸見功	72	講義	2	前期	必修	39
21	1E0302	保健統計学	逸見功	83	講義	2・編3	前期	必修	41
22	1F0101	日本語の表現	越後敬子	61	講義	1	前期	選択	43
23	1F0102	日本語の表現	越後敬子	63	講義	1	前期	選択	45
24	1F0201	英語 R 1-1	佐藤真	38	講義	1	前期	必修	47
25	1F0202	英語 R 1-1	川崎修一	34	講義	1	前期	必修	49
26	1F0203	英語 R 1-1	佐藤真	35	講義	1	前期	必修	51
27	1F0204	英語 R 1-1	川崎修一	38	講義	1	前期	必修	53
28	1F0401	英語 W 1-1	遠藤花子	38	講義	1	前期	選択	55
29	1F0402	英語 W 1-1	David Baldwin	34	講義	1	前期	選択	57
30	1F0403	英語 W 1-1	遠藤花子	35	講義	1	前期	選択	59
31	1F0404	英語 W 1-1	David Baldwin	38	講義	1	前期	選択	61
32	1F0601	英語 L S 1-1	Benjamin Tutcher	25	講義	1	前期	選択	63
33	1F0602	英語 L S 1-1	Tony Dani	23	講義	1	前期	選択	65
34	1F0603	英語 L S 1-1	David Baldwin	22	講義	1	前期	選択	67
35	1F0604	英語 L S 1-1	Benjamin Tutcher	26	講義	1	前期	選択	69
36	1F0605	英語 L S 1-1	Tony Dani	24	講義	1	前期	選択	71
37	1F0606	英語 L S 1-1	David Baldwin	23	講義	1	前期	選択	73
38	1F0801	英語 R 2-1	皆川健次郎	36	講義	2	前期	必修	75
39	1F0802	英語 R 2-1	富田佳子	36	講義	2	前期	必修	77
40	1F0803	英語 R 2-1	皆川健次郎	42	講義	2・編3	前期	必修	79
41	1F0804	英語 R 2-1	富田佳子	41	講義	2・編3	前期	必修	81
42	1F1001	英語 W 2-1	佐藤真	10	講義	2	前期	選択	83
43	1F1002	英語 W 2-1	佐藤真	13	講義	2	前期	選択	85
44	1F1003	英語 W 2-1	川崎修一	12	講義	編3	前期	選択	87

平成27年度学部(前期)授業評価実施科目

No.	コード	講義名称	教員	履修登録者数	評価用紙種類	学年	学期	必修選択の別	頁
45	1F1200	英語LS2-1	川崎修一	7	講義	2	前期	選択	89
46	1F1400	英語文献を読むI	川崎修一	10	講義	3	前期	選択	91
47	1F1601	中国語I	王英輝	50	講義	1	前期	選択	93
48	1F1602	中国語I	王英輝	51	講義	1	前期	選択	95
49	1F1801	フランス語I	坂原真里	18	講義	1	前期	選択	97
50	1F1802	フランス語I	坂原真里	25	講義	1	前期	選択	99
51	1G0101	基礎ゼミI	遠藤公久	18	講義	1	前期	必修	101
52	1G0102	基礎ゼミI	川崎修一	18	講義	1	前期	必修	103
53	1G0104	基礎ゼミI	佐藤真	18	講義	1	前期	必修	105
54	1G0105	基礎ゼミI	佐藤裕子	17	講義	1	前期	必修	107
55	1G0106	基礎ゼミI	井上忠男	17	講義	1	前期	必修	108
56	1G0107	基礎ゼミI	逸見功	17	講義	1	前期	必修	110
57	1G0109	基礎ゼミI	越後敬子	10	講義	1	前期	必修	112
58	1G0110	基礎ゼミI	緒形ひとみ	10	講義	1	前期	必修	114
59	1G0111	基礎ゼミI	熊澤武志	10	講義	1	前期	必修	116
60	1G0112	基礎ゼミI	三具淳子	10	講義	1	前期	必修	118
61	1G0130	基礎ゼミI	遠藤公久	12	講義	編3	前期	必修	119
62	1H0101	人体の構造と機能I	佐藤裕子	72	講義	1	前期	必修	121
63	1H0102	人体の構造と機能I	佐藤裕子	73	講義	1	前期	必修	122
64	1H0201	人体の構造と機能II	佐藤裕子	72	講義	1	前期	必修	123
65	1H0202	人体の構造と機能II	佐藤裕子	73	講義	1	前期	必修	124
66	1H0900	疾病の成り立ちと回復の促進VI	林公輔	141	講義	3	前期	必修	125
67	1H1100	リハビリテーション医学	森本正・長晶子・中西景子・樋口晶	154	講義	3・編3	前期	選択	127
68	1H1400	ラボラトリー・プラクティス	藤原睦憲・村上康弘	20	講義	2	前期	選択	129
69	1I0101	看護学概論I	守田美奈子	72	講義	1	前期	必修	131
70	1I0102	看護学概論I	守田美奈子	73	講義	1	前期	必修	133
71	1I0300	看護関係法規	安部陽子・鶴田恵子	134	講義	4	前期	必修	135
72	1J0101	看護技術論I	堀井湖浪・遠藤公久・小宮敬子・佐々木幾美・鶴田恵子・鷹野朋実・亀井緑・岡本有子・太田智子・江見香月・濱田真由美	72	講義	1	前期	必修	137
73	1J0102	看護技術論I	古城門靖子・遠藤公久・小宮敬子・佐々木幾美・鶴田恵子・鷹野朋実・亀井緑・岡本有子・太田智子・江見香月・濱田真由美	73	講義	1	前期	必修	139
74	1K0101	看護援助論I	川原由佳里・西田朋子・和田美也子・下村裕子・樋口佳栄・安島幹子・梅田亜矢・桐原あずみ・住谷ゆかり・殿城友紀・源川奈央子・山本伊都子	71	講義	2	前期	必修	141
75	1K0102	看護援助論I	川原由佳里・西田朋子・和田美也子・下村裕子・樋口佳栄・安島幹子・梅田亜矢・桐原あずみ・住谷ゆかり・殿城友紀・源川奈央子・山本伊都子	71	講義	2	前期	必修	143
76	1K0201	看護援助論II	千葉京子	71	講義	2	前期	必修	145
77	1K0202	看護援助論II	千葉京子	71	講義	2	前期	必修	147
78	1K0301	看護援助論III	江本リナ	72	講義	2	前期	必修	149
79	1K0302	看護援助論III	江本リナ	71	講義	2	前期	必修	151
80	1K0401	看護援助論IV	清田明美	71	講義	2	前期	必修	153
81	1K0402	看護援助論IV	清田明美	71	講義	2	前期	必修	155
82	1K0501	看護援助論V	川名るり	71	講義	2	前期	必修	157
83	1K0502	看護援助論V	川名るり	71	講義	2	前期	必修	159
84	1K0601	看護援助論VI	谷津裕子	71	講義	2	前期	必修	161

平成27年度学部(前期)授業評価実施科目

No.	コード	講義名称	教員	履修登録者数	評価用紙種類	学年	学期	必修選択の別	頁
85	1K0602	看護援助論VI	谷津裕子	71	講義	2	前期	必修	163
86	1K0701	看護援助論VII	鷹野朋美	71	講義	2	前期	必修	165
87	1K0702	看護援助論VII	堀井湖浪	71	講義	2	前期	必修	167
88	1L0201	精神保健看護学Ⅱ	鷹野朋美・堀井湖浪・古城門靖子・遠藤公久・小宮敬子	71	講義	3	前期	必修	169
89	1L0202	精神保健看護学Ⅱ	鷹野朋美・堀井湖浪・古城門靖子・遠藤公久・小宮敬子	71	講義	3	前期	必修	171
90	1M0101	発達看護学概論	江本リナ・川名るり・千葉京子	71	講義	2	前期	必修	173
91	1M0102	発達看護学概論	江本リナ・川名るり・千葉京子	73	講義	2	前期	必修	175
92	1M0200	発達看護学(成人期の看護)	本庄恵子	142	講義	2	前期	必修	177
93	1M0400	発達看護学Ⅰ②	新田真弓	142	講義	3	前期	必修	179
94	1M0601	発達看護学Ⅱ②	川名るり・江本リナ・山内朋子・太田智子・吉田玲子	71	講義	3	前期	必修	181
95	1M0602	発達看護学Ⅱ②	川名るり・江本リナ・山内朋子・太田智子・吉田玲子	71	講義	3	前期	必修	183
96	1M0800	発達看護学Ⅲ②	千葉京子・坂口千鶴・清田明美・江見香月・比留間絵美	141	講義	3	前期	必修	185
97	1N0100	プライマリーヘルスケア	岡本有子・福井小紀子	154	講義	2・編3	前期	必修	187
98	1N0200	慢性期ケア	住谷ゆかり・下村裕子・田中孝美	143	講義	2	前期	必修	189
99	1N0300	急性期ケア	和田美也子・山本伊都子・梅田亜矢・林宗博	142	講義	2	前期	必修	191
100	1N0400	緩和・終末期ケア	吉田みつ子・田中孝美	154	講義	3・編3	前期	選択	193
101	100300	保健福祉行政論	櫻山豊夫	22	講義	4・編4	前期	選択	195
102	100500	在宅看護学	藤田淳子・岡本有子・福井小紀子・乙黒千鶴	153	講義	3・編3	前期	必修	197
103	1P0200	看護管理学Ⅱ	安部陽子・鶴田恵子	12	講義	4・編4	前期	選択	199
104	1P0400	看護教育学Ⅱ	西田朋子	6	講義	4・編4	前期	選択	201
105	1P0500	看護教育方法	西田朋子	12	講義	4・編4	前期	選択	203
106	1Q0100	応用看護学特論Ⅰ①	鶴田恵子・林宗博	22	講義	4・編4	前期	選択	205
107	1Q0200	応用看護学特論Ⅰ②	千葉邦子	12	講義	4・編4	前期	選択	207
108	1Q0300	応用看護学特論Ⅰ③	江本リナ・川名るり・山内朋子・太田智子・吉田玲子	21	講義	4・編4	前期	選択	209
109	1Q0500	応用看護学特論Ⅱ①	小宮敬子・古城門靖子	2	講義	4・編4	前期	選択	211
110	1Q0600	応用看護学特論Ⅱ②	坂口千鶴・千葉京子	9	講義	4・編4	前期	選択	213
111	1R0100	国際看護学Ⅰ	岡本菜穂子・亀井縁	154	講義	3・編3	前期	必修	215
112	1R0500	災害看護論Ⅱ	亀井縁・小原真理子	125	講義	4	前期	必修	217
113	1T0300	研究方法論Ⅲ	逸見功	3	講義	4	前期	必修	219
114	1U0100	公衆衛生看護活動展開論	澤井美奈子	20	講義	4・編4	前期	選択	221
115	1U0200	公衆衛生看護管理論	乙黒千鶴・澤井美奈子・福井小紀子	22	講義	4・編4	前期	選択	223
116	1U0300	公衆衛生看護方法論	藤田淳子・乙黒千鶴	22	講義	4・編4	前期	選択	225
—	演習全体集計平均								227
117	1J0301	看護技術論Ⅱ②	樋口佳栄・田中孝美・殿城友紀・安島幹子・源川奈央子・山本伊都子・梅田亜矢・桐原あずみ・根岸京子	71	演習	2	前期	必修	228
118	1J0302	看護技術論Ⅱ②	樋口佳栄・田中孝美・殿城友紀・安島幹子・源川奈央子・山本伊都子・梅田亜矢・桐原あずみ・根岸京子	71	演習	2	前期	必修	230
119	1J0401	看護技術論Ⅲ①	樋口佳栄・吉田みつ子・殿城友紀・安島幹子・川原由佳里・源川奈央子・山本伊都子・桐原あずみ・根岸京子	72	演習	1	前期	必修	232
120	1J0402	看護技術論Ⅲ①	樋口佳栄・吉田みつ子・殿城友紀・安島幹子・川原由佳里・源川奈央子・山本伊都子・桐原あずみ・根岸京子	73	演習	1	前期	必修	234

平成27年度学部(前期)授業評価実施科目

No.	コード	講義名称	教員	履修登録者数	評価用紙種類	学年	学期	必修選択の別	頁
121	1J0601	看護技術論Ⅲ③	吉田みつ子・源川奈央子・殿城友紀・川原由佳里・樋口佳栄・安島幹子・山本伊都子・梅田亜矢・桐原あずみ・根岸京子	71	演習	2	前期	必修	236
122	1J0602	看護技術論Ⅲ③	吉田みつ子・源川奈央子・殿城友紀・川原由佳里・樋口佳栄・安島幹子・山本伊都子・梅田亜矢・桐原あずみ・根岸京子	71	演習	2	前期	必修	238
123	1N0601	健康レベル別看護学演習Ⅱ	千葉京子・清田明美・江見香月・比留間絵美・小宮敬子・鷹野朋実・堀井湖浪・古城門靖子・谷津裕子・新田真弓・齋藤英子・佐々木美喜・久保昌子・濱田真由美・江本リナ・川名るり・山内朋子・太田智子・吉田玲子・小原真理子・亀井縁・根岸京子	71	演習	3	前期	必修	240
124	1N0602	健康レベル別看護学演習Ⅱ	千葉京子・清田明美・江見香月・比留間絵美・小宮敬子・鷹野朋実・堀井湖浪・古城門靖子・谷津裕子・新田真弓・齋藤英子・佐々木美喜・久保昌子・濱田真由美・江本リナ・川名るり・山内朋子・太田智子・吉田玲子・小原真理子・亀井縁・根岸京子	72	演習	3	前期	必修	242
125	1R0600	災害看護活動論Ⅰ	小原真理子・亀井縁・根岸京子	32	演習	2	前期	選択	244
126	1R0800	災害看護活動論Ⅲ	小原真理子・亀井縁・根岸京子	16	演習	3	前期	選択	246
127	1T0101	研究方法論Ⅰ	谷津裕子・遠藤公久・坂口千鶴・川崎修一・齋藤英子・新田真弓・岡本有子・堀井湖浪・古城門靖子・清田明美・濱田真由美	83	演習	3	前期	必修	248
128	1T0102	研究方法論Ⅰ	谷津裕子・遠藤公久・坂口千鶴・川崎修一・齋藤英子・新田真弓・岡本有子・堀井湖浪・古城門靖子・清田明美・濱田真由美	71	演習	3・編3	前期	必修	250
129	1U0400	公衆衛生看護活動論演習Ⅰ	澤井美奈子・藤田淳子・乙黒千鶴	20	演習	4・編4	前期	選択	252
130	1U0500	公衆衛生看護活動論演習Ⅱ	澤井美奈子・乙黒千鶴・藤田淳子	20	演習	4・編4	前期	選択	254
—	実習								
131	1S0200	看護援助論実習(レベルⅡ)	守田美奈子・本庄恵子・佐々木幾美・鶴田恵子, 他	144	実習	2	前期	必修	256

(授業コード) ()	(担当教員名)	(科目名)
----------------	---------	-------

授 業 に 関 す る 調 査

この評価票は、授業改善を目的として実施するものです。あなたの意見は今後の授業改善に活かされます。記入にあたっては、授業全体を視野に入れた上で、責任ある評価が求められています。あなたの真摯なご協力をお願いします。なお、この評価票の記載内容や提出の有無があなたの成績に影響することは一切ありません。

以下のそれぞれの項目について、右のような5段階評価に従って、最も適切な番号に○を付けてください。この授業に該当しない場合、あるいは不明の場合には、空欄のままにしてください。

強く
そう思う
 5
4
3
2
1

①授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	5	4	3	2	1
②授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5	4	3	2	1
③教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	5	4	3	2	1
④授業の内容はわかりやすかった。	5	4	3	2	1
⑤授業の内容は興味のあるものだった。	5	4	3	2	1
⑥この授業は自分にとって価値があった。	5	4	3	2	1
⑦授業は、正規の時間に始まり、終わった。	5	4	3	2	1
⑧シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	5	4	3	2	1
⑨授業の進行速度は適切だった。	5	4	3	2	1
⑩教員の熱意が伝わってきた。	5	4	3	2	1
⑪教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5	4	3	2	1
⑫教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5	4	3	2	1
⑬私の授業への出席率は（5は9割以上、4は8～7割程度、3は6～5割程度、2は4割程度、1は3割以下）だった。	5	4	3	2	1
⑭私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5	4	3	2	1
⑮私は授業の学びやすい環境作り（私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等）に協力した。	5	4	3	2	1

自由記入欄にもご記入下さい

①この授業でよかったこと。

②この授業で改善してほしいこと。

③その他の意見・感想（今回の授業評価に関する意見・感想もあわせてお願いします）。

(授業コード) ()	(担当教員名)	(科目名)
----------------	---------	-------

授 業 (演 習) に 関 する 調 査

この評価票は、授業改善を目的として実施するものです。あなたの意見は今後の授業改善に活かされます。記入にあたっては、授業全体を視野に入れた上で、責任ある評価が求められています。あなたの真摯なご協力をお願いします。なお、この評価票の記載内容や提出の有無があなたの成績に影響することは一切ありません。

以下のそれぞれの項目について、右のような5段階評価に従って、最も適切な番号に○を付けてください。この授業に該当しない場合、あるいは不明の場合には、空欄のままにしてください。

強く
そう思う
 5
4
3
2
1

	5	4	3	2	1
①演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	5	4	3	2	1
②演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5	4	3	2	1
③教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5	4	3	2	1
④技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5	4	3	2	1
⑤演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	5	4	3	2	1
⑥実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5	4	3	2	1
⑦学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5	4	3	2	1
⑧演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	5	4	3	2	1
⑨演習の時間配分は適切だった。	5	4	3	2	1
⑩教員の熱意が伝わってきた。	5	4	3	2	1
⑪教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	5	4	3	2	1
⑫教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5	4	3	2	1
⑬私は事前学習をして演習に臨んだ。	5	4	3	2	1
⑭私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	5	4	3	2	1
⑮私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	5	4	3	2	1

自由記入欄にもご記入下さい

①この授業でよかったこと。

②この授業で改善してほしいこと。

③その他の意見・感想（今回の授業評価に関する意見・感想もあわせてお願いします）。

実習評価アンケート

科目名 : 実習(レベル)

グループ番号 :

(アンケート用のグループ番号を記入して下さい。)

	強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない
1 教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5	4	3	2	1
2 教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	5	4	3	2	1
3 教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5	4	3	2	1
4 教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5	4	3	2	1
5 教員は、相談しやすい雰囲気があった。	5	4	3	2	1
6 教員と実習指導者の連携がとれていた。	5	4	3	2	1
7 実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5	4	3	2	1
8 実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	5	4	3	2	1
9 実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5	4	3	2	1
10 実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5	4	3	2	1
11 実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	5	4	3	2	1
12 学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	5	4	3	2	1
13 学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	5	4	3	2	1
14 学生は、実習目標に到達できるように努力した。	5	4	3	2	1
15 学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	5	4	3	2	1
16 学生は、体調管理に努めた。	5	4	3	2	1

自由記載

良かったことや改善してほしいことなどについて、具体的に記載してください。

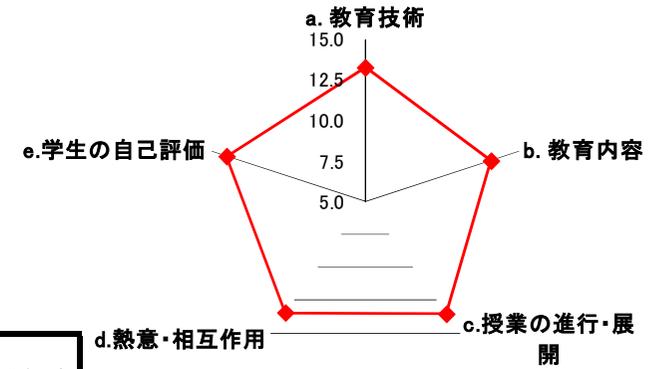
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	6,518	回収数	5,554	回収率	85.2%
------	-------	-----	-------	-----	-------

[00]

科目:
担当者:

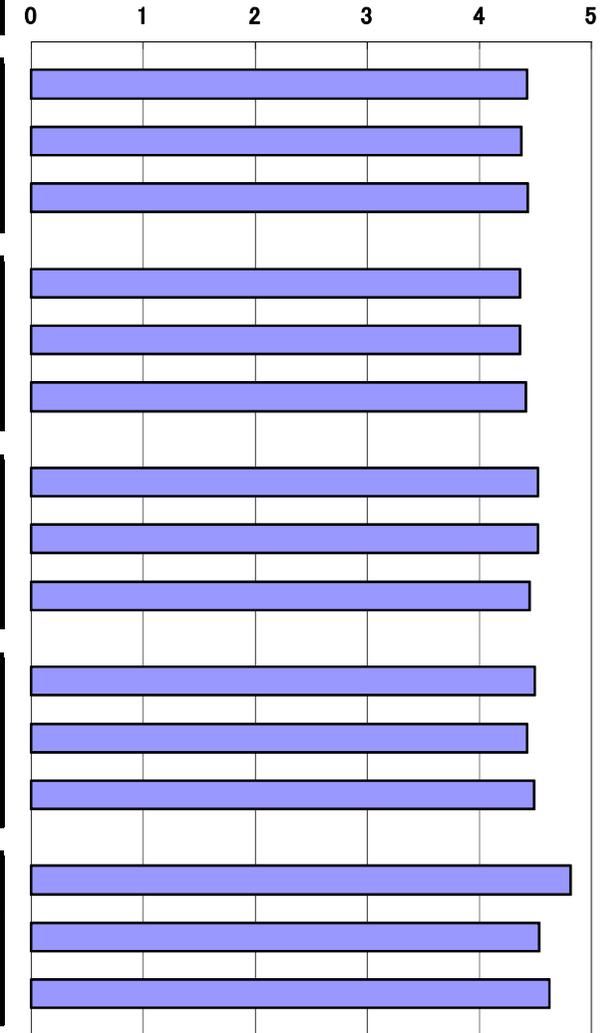
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	5,526	13.28	2.33
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	5,535	13.18	2.53
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	5,536	13.53	2.17
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	5,525	13.45	2.30
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	5,524	14.04	1.58



N=5554

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
a. 教育技術									
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	3227	1750	398	110	59	10	4.43	0.82
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	3184	1619	528	126	72	25	4.38	0.90
③	教員の話し方(音量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3355	1538	459	136	59	7	4.44	0.84
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	3238	1498	542	172	97	7	4.37	0.92
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	3237	1505	550	162	90	10	4.37	0.91
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	3341	1499	501	137	66	10	4.42	0.87
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	3638	1423	330	104	54	5	4.53	0.78
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	3598	1459	374	75	31	17	4.52	0.77
⑨	授業の進行速度は適切だった。	3471	1425	444	143	66	5	4.45	0.85
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	3539	1457	396	104	49	9	4.50	0.80
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	3408	1447	474	140	76	9	4.43	0.87
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	3587	1374	429	95	49	20	4.49	0.83
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	4775	628	111	12	9	19	4.82	0.54
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	3683	1369	389	64	29	20	4.54	0.77
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入室をしない等)に協力した。	3996	1192	287	37	21	21	4.63	0.71



授業(講義)評価結果(2015年度前期)

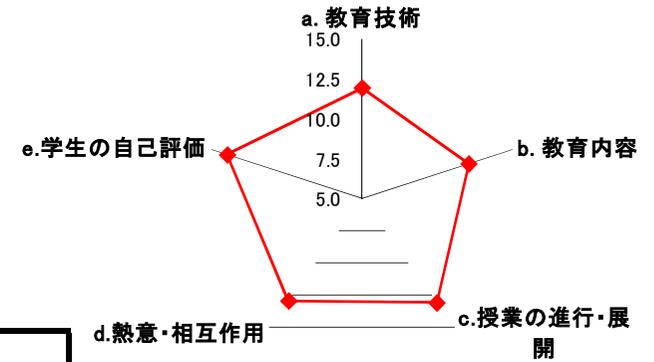
履修者数	145	回収数	47	回収率	32.4%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:赤十字概論

担当者:

小池政行

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	11.96	2.72
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	12.11	2.59
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	13.04	1.76
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	12.94	2.34
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	13.98	1.19

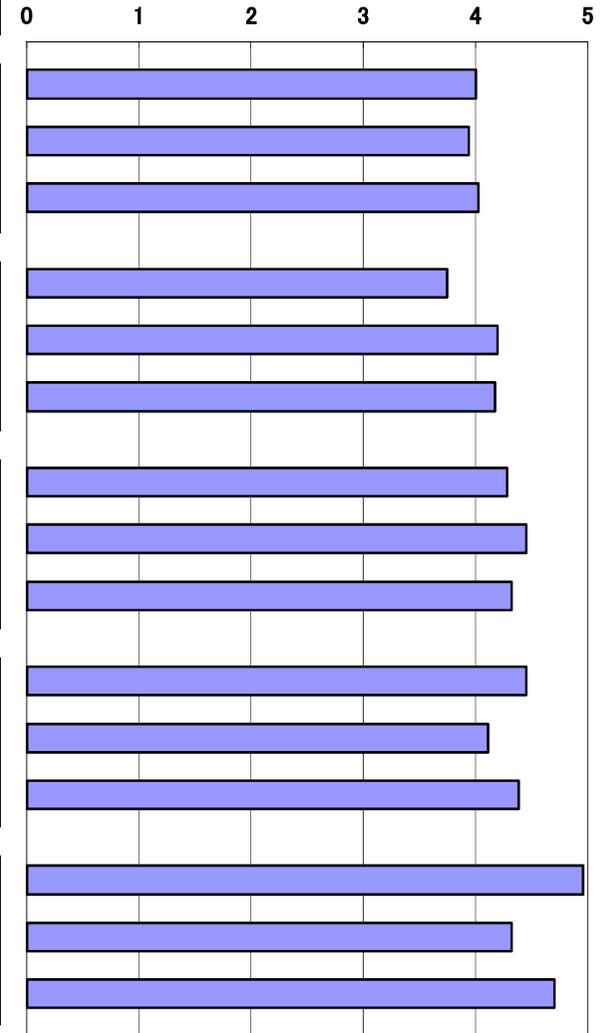


[00]

N=139

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	18	18	6	3	2	0	4.00	1.07
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	15	20	7	4	1	0	3.94	1.00
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	16	20	7	4	0	0	4.02	0.91
34.0		42.6	14.9	8.5	0.0	0.0	0.0	4.02	0.91
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	16	11	14	4	2	0	3.74	1.14
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	18	22	5	2	0	0	4.19	0.79
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	22	15	6	4	0	0	4.17	0.95
46.8		31.9	12.8	8.5	0.0	0.0	0.0	4.17	0.95
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	20	20	7	0	0	0	4.28	0.71
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	25	18	4	0	0	0	4.45	0.65
⑨	授業の進行速度は適切だった。	23	16	8	0	0	0	4.32	0.75
48.9		34.0	17.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.32	0.75
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	27	14	6	0	0	0	4.45	0.71
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	20	16	8	2	1	0	4.11	0.97
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	30	8	6	3	0	0	4.38	0.94
63.8		17.0	12.8	6.4	0.0	0.0	0.0	4.38	0.94
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	45	2	0	0	0	0	4.96	0.20
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	23	17	6	1	0	0	4.32	0.77
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	34	12	1	0	0	0	4.70	0.50
72.3		25.5	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.70	0.50



科目コード	1A0100	科目名	赤十字概論	担当教員名	小池政行
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

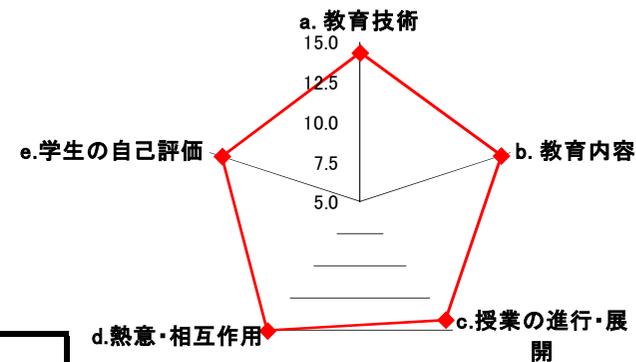
本科目は赤十字の看護大学として必須科目として位置づけられており、ここ数年コマ数の減少とともに、毎回1限に配置されている。担当教員としては全員の全講義出席を第一目的として、学生の90%以上が合格を果たしたと自己評価していることは認めたい。一方で自由記載に事実と異なる記載、理解力不足が近年の入学制に多いことは残念である。しかしながら140名以上の一年生を一度に教えることへの教育効果の分析が必要とされる。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	12	回収数	12	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:赤十字概論
担当者:
井上忠男

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	11	14.36	0.98
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	10	14.40	0.92
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	11	14.18	1.11
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	11	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	11	14.18	1.70

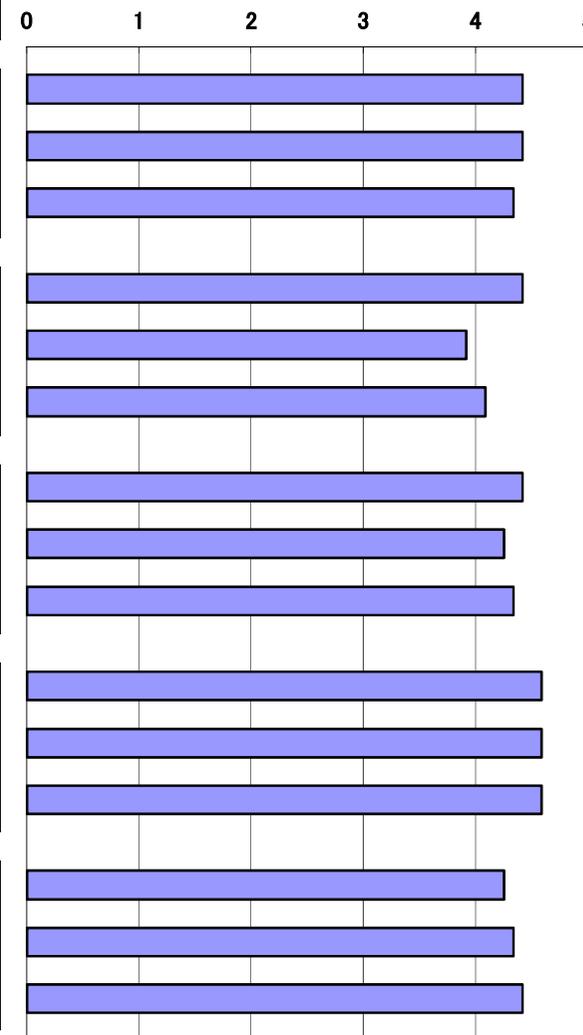


[00]

N=12

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	9	2	0	0	0	1	4.42	1.38
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	9	2	0	0	0	1	4.42	1.38
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8	3	0	0	0	1	4.33	1.37
75.0		16.7	0.0	0.0	0.0	8.3			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	9	2	0	0	0	1	4.42	1.38
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	7	3	0	0	0	2	3.92	1.80
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	9	1	0	0	0	2	4.08	1.85
58.3		25.0	0.0	0.0	0.0	16.7			
75.0		8.3	0.0	0.0	0.0	16.7			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	9	2	0	0	0	1	4.42	1.38
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	8	2	1	0	0	1	4.25	1.42
⑨	授業の進行速度は適切だった。	8	3	0	0	0	1	4.33	1.37
66.7		16.7	8.3	0.0	0.0	8.3			
66.7		25.0	0.0	0.0	0.0	8.3			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	11	0	0	0	0	1	4.58	1.38
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	11	0	0	0	0	1	4.58	1.38
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	11	0	0	0	0	1	4.58	1.38
91.7		0.0	0.0	0.0	0.0	8.3			
91.7		0.0	0.0	0.0	0.0	8.3			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	8	2	1	0	0	1	4.25	1.42
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9	1	1	0	0	1	4.33	1.43
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入室をしない等)に協力した。	10	0	1	0	0	1	4.42	1.44
66.7		16.7	8.3	0.0	0.0	8.3			
75.0		8.3	8.3	0.0	0.0	8.3			
83.3		0.0	8.3	0.0	0.0	8.3			



科目コード	1A0103	科目名	赤十字概論	担当教員名	井上忠男
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

大変、身に余る評価をいただき率直に嬉しく思いました。特に「講義を受ける毎に赤十字の素晴らしさを知ることができました」「日看大生としての意識が湧いてきた」「興味がなかったことに興味もてるようになった」などの感想は特に嬉しく思いました。授業は、教師と学生の相互の熱意、参加意欲により成立するもので、そこに相乗効果が生み出されるものです。皆さんには専門外の内容であるにもかかわらず、授業では大変、的を得た本質的な質問が多く皆さんの考える力の高さに敬服しました。こうした質の高い質疑応答が成立したことは教師冥利に尽きます。これも学生諸君の真摯かつ主体的な姿勢による授業参加のタマモノと思っています。とかく専門外の領域には無関心な人が多いものですが、皆さんの社会やより広い世界に対する興味の強さを感じることができました。今後は、私自身もさらに「魅力ある授業」「参加して楽しく、知的触発を強く受ける授業」を目指して研鑽を積みたいと思っていますので宜しくお願いいたします。できれば、「授業で改善してほしいこと」にも遠慮せず様々な要望を記載していただければと思いました。授業の一層の質向上に役立ちます。授業で見せた主体的姿勢をこれからも失わずにあらゆることにチャレンジされることを期待しています。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

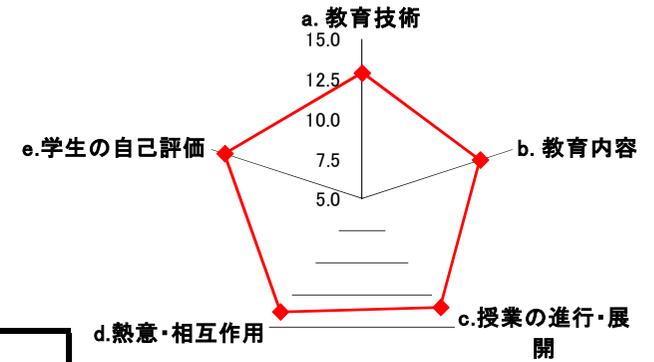
履修者数	35	回収数	33	回収率	94.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:赤十字国際活動論

担当者:

小池政行

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	33	12.91	2.23
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	33	12.85	2.58
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	33	13.42	2.06
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	32	13.78	2.00
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	33	14.15	1.40



[00]

N=33

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	18	8	7	0	0	0	4.33	0.80
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	16	10	6	1	0	0	4.24	0.85
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	17	11	4	1	0	0	4.33	0.80

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	16	5	7	4	1	0	3.94	1.20
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	19	11	2	0	1	0	4.42	0.85
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	20	10	2	1	0	0	4.48	0.74

c. 授業の進行・展開

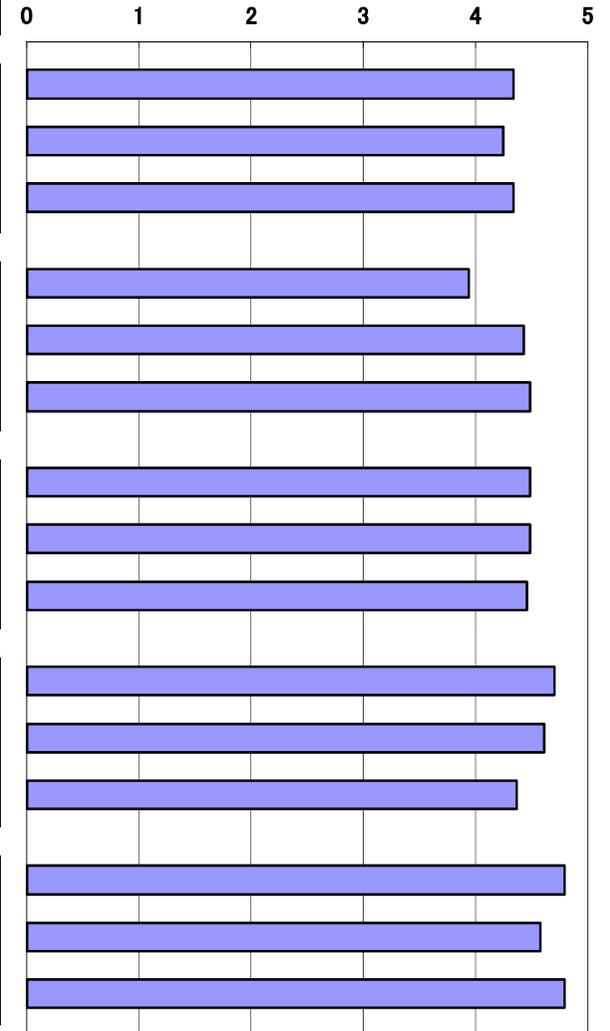
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	21	8	3	1	0	0	4.48	0.78
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	20	9	4	0	0	0	4.48	0.70
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	20	8	5	0	0	0	4.45	0.74

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	25	6	2	0	0	0	4.70	0.58
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	25	4	3	1	0	0	4.61	0.78
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	22	5	4	1	0	1	4.36	1.12

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	27	5	1	0	0	0	4.79	0.48
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	22	8	3	0	0	0	4.58	0.65
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	27	5	1	0	0	0	4.79	0.48



科目コード	1A0200	科目名	赤十字国際活動論	担当教員名	小池政行
-------	--------	-----	----------	-------	------

<教員からのコメント>

学生から広く赤十字、世界のことが知れてよかったとのコメントが多く、教育技術、教育内容、授業の進行度・展開、熱意・相互作用、学生の自己評価がバランスよく高い評点となったのは評価したい。しかし、本来は演習と一体なものなので、3年は平成28年度隔年実施で他教員で実施される演習に参加することとなるので、その一体性を維持することに意を注ぎたい。

科目コード	1B0100	科目名	哲学と倫理	担当教員名	榊原哲也
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

アンケートの結果を今後の授業に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

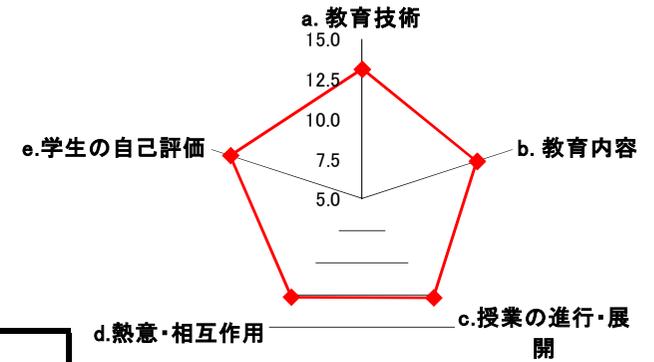
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	136	回収数	76	回収率	55.9%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:心理学 I

担当者:
遠藤久久

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	76	13.16	1.97
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	76	12.63	2.58
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	76	12.68	2.41
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	75	12.63	2.58
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	76	13.76	1.53

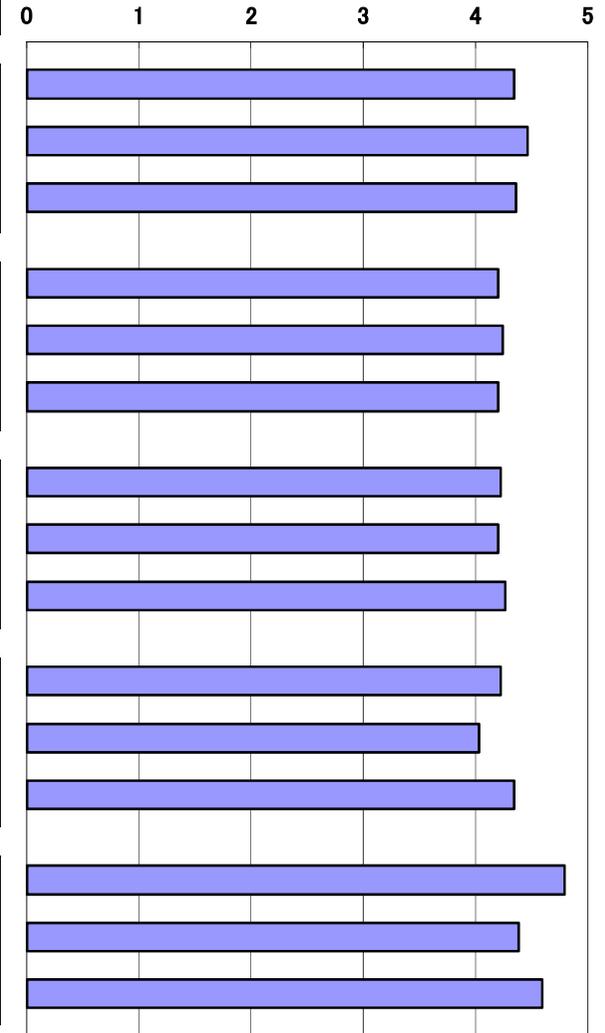


[00]

N=105

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	36	32	6	2	0	0	4.34	0.74
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	42	28	5	1	0	0	4.46	0.68
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	40	24	11	1	0	0	4.36	0.77
52.6		31.6	14.5	1.3	0.0	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	35	25	12	4	0	0	4.20	0.89
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	37	24	12	2	1	0	4.24	0.90
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	35	26	11	3	1	0	4.20	0.92
46.1		34.2	14.5	3.9	1.3	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	40	19	11	6	0	0	4.22	0.97
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	36	25	9	6	0	0	4.20	0.93
⑨	授業の進行速度は適切だった。	38	26	6	6	0	0	4.26	0.91
50.0		34.2	7.9	7.9	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	34	30	7	5	0	0	4.22	0.87
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	37	16	13	9	0	1	4.03	1.16
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	41	22	11	2	0	0	4.34	0.82
53.9		28.9	14.5	2.6	0.0	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	62	12	2	0	0	0	4.79	0.47
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	40	27	7	2	0	0	4.38	0.76
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	50	21	5	0	0	0	4.59	0.61
65.8		27.6	6.6	0.0	0.0	0.0			



科目コード	1B0300	科目名	心理学 I	担当教員名	遠藤公久
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

テキストを独自で作成、配布している。その印刷が少し不鮮明な点もあったようで、来年度はもう少しきれいな印刷になるようにしたいと思います。毎回、前回の復習を兼ねて、小テストをして自分で採点してもらっているが、そのときに問題に、前回話しそびれた内容も時々入っていたこともあり、改善してほしいということでしたので、再度問題もチェックしたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

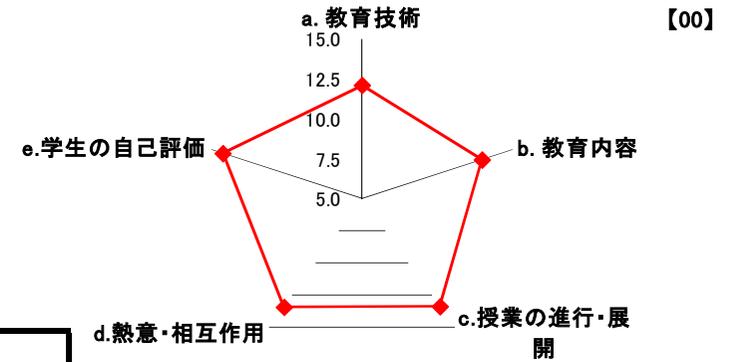
履修者数	34	回収数	32	回収率	94.1%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:身体運動論Ⅱ(実技)

担当者:

緒形ひとみ

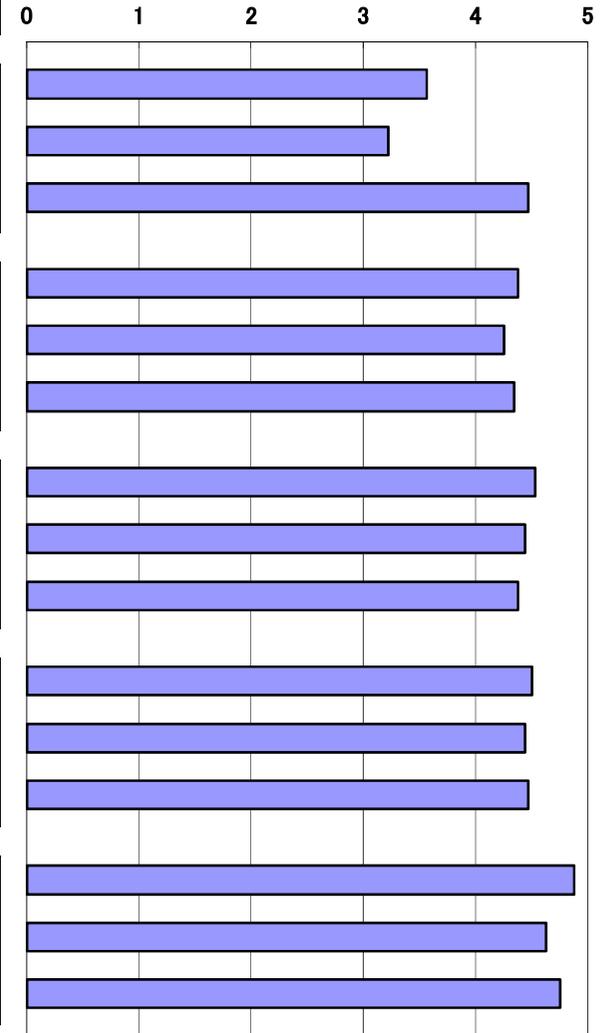
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	27	12.11	2.51
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	32	12.97	2.36
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	32	13.34	1.96
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	32	13.41	2.04
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	32	14.25	1.39



N=32

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	9	8	12	0	1	2	3.56	1.32
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	10	4	12	0	1	5	3.22	1.69
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	18	11	3	0	0	0	4.47	0.66
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	18	8	6	0	0	0	4.38	0.78
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	15	10	7	0	0	0	4.25	0.79
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	19	6	6	1	0	0	4.34	0.89
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	21	7	4	0	0	0	4.53	0.71
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	18	10	4	0	0	0	4.44	0.70
⑨	授業の進行速度は適切だった。	17	10	5	0	0	0	4.38	0.74
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	20	8	4	0	0	0	4.50	0.71
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	19	8	5	0	0	0	4.44	0.75
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	20	7	5	0	0	0	4.47	0.75
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	29	2	1	0	0	0	4.88	0.41
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	22	8	2	0	0	0	4.63	0.60
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	26	4	2	0	0	0	4.75	0.56



科目コード	1B0801	科目名	身体運動論Ⅱ(実技)	担当教員名	緒形ひとみ
-------	--------	-----	------------	-------	-------

<教員からのコメント>

基本的に広尾ホールでの活動がメインであり、黒板やスライドを使用することがなく配布プリントで行ったため、教育技術②の平均点が低いと思われる。

1年次の前期授業である体育の授業の役割として、意図的にさまざまな人と触れ合う機会を設けた。また積極的にコミュニケーションをとってもらいたかったので、多少の私語はOKとし、お互いを理解する手助けになればと思って授業を進めていった。この授業をきっかけに、今後の学生生活での友達の輪を広げてもらえればと思う。

「ヨガマットが長い」というコメントがあったので、授業全体また授業時間の配分を考え、さらに各個人の能力を見極めながら改善していこうと思う。

「体育」の授業としてしっかりとしたスポーツをやりたいとの意見も挙がっているが、この授業の目的を最初のオリエンテーションの際に話しているので、多くの学生が趣旨を理解して授業に参加してくれたように思う。

多様なニーズの学生が集まって授業を行うため、本格的なスポーツを行いたい人は、サークル活動に参加して取り組んでもらえればと思う。

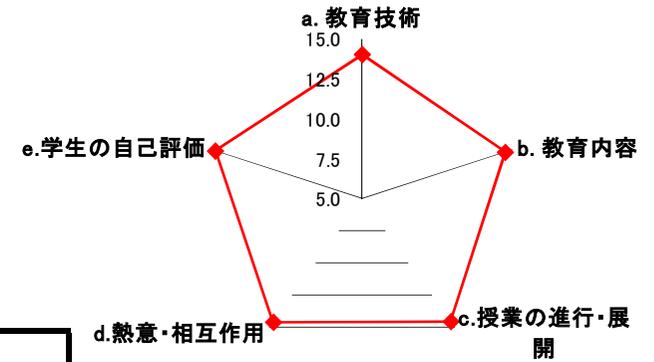
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	31	回収数	31	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:身体運動論Ⅱ(実技)

担当者:
岸田登美

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	31	14.06	1.48
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	31	14.52	1.10
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	31	14.52	1.13
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	31	14.58	1.01
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	31	14.77	0.71



[00]

N=31

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	21	8	2	0	0	0	4.61	0.61
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	22	6	3	0	0	0	4.61	0.66
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	26	5	0	0	0	0	4.84	0.37

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	26	5	0	0	0	0	4.84	0.37
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	26	5	0	0	0	0	4.84	0.37
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	26	5	0	0	0	0	4.84	0.37

c. 授業の進行・展開

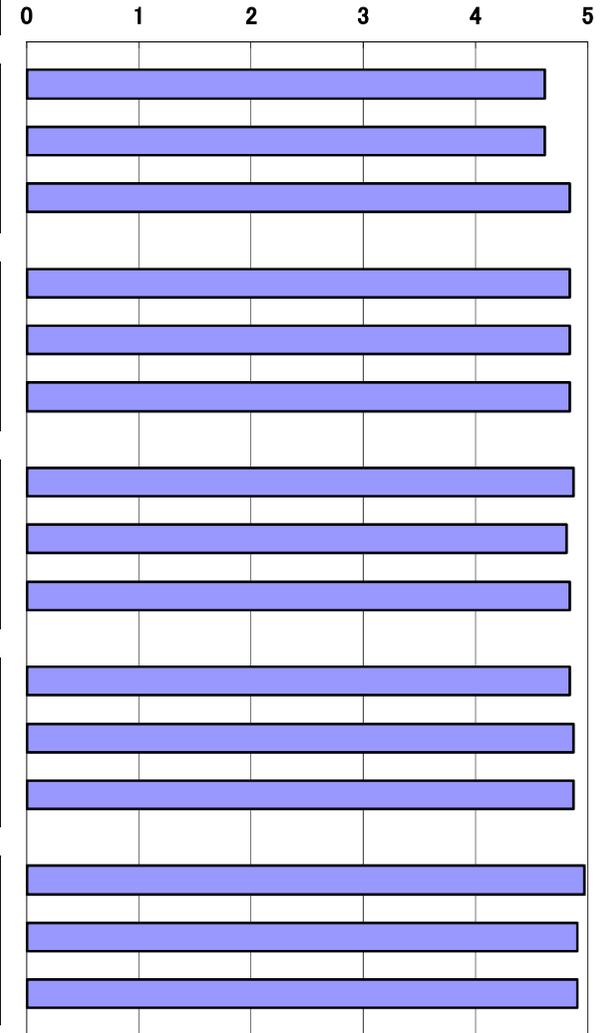
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	27	4	0	0	0	0	4.87	0.34
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	26	4	1	0	0	0	4.81	0.47
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	26	5	0	0	0	0	4.84	0.37

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	26	5	0	0	0	0	4.84	0.37
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	27	4	0	0	0	0	4.87	0.34
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	27	4	0	0	0	0	4.87	0.34

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	30	1	0	0	0	0	4.97	0.18
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	28	3	0	0	0	0	4.90	0.30
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	28	3	0	0	0	0	4.90	0.30



科目コード	1B0802	科目名	身体運動論Ⅱ(実技)	担当教員名	岸田登美
-------	--------	-----	------------	-------	------

<教員からのコメント>

多くの人とコミュニケーションをとることができた。楽しかったという評価をいただけて、うれしく思いました。
私にとっても楽しく学ぶことの多い授業でした。
授業終了時間が遅くなってしまったことがありました。反省し、今後は改善していきます。
今後からだを動かす機会が少なくなる学生が多いと思います。授業で行ったトレーニングを
思い出し、少しでも運動をし、筋肉を落とさない(付ける)ようにしてください。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

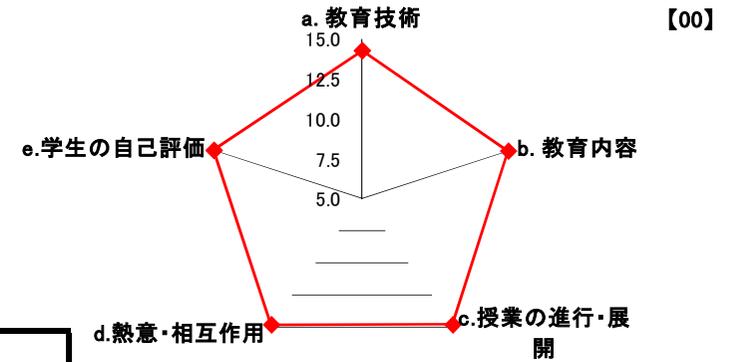
履修者数	33	回収数	32	回収率	97.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:身体運動論Ⅱ(実技)

担当者:

緒形ひとみ

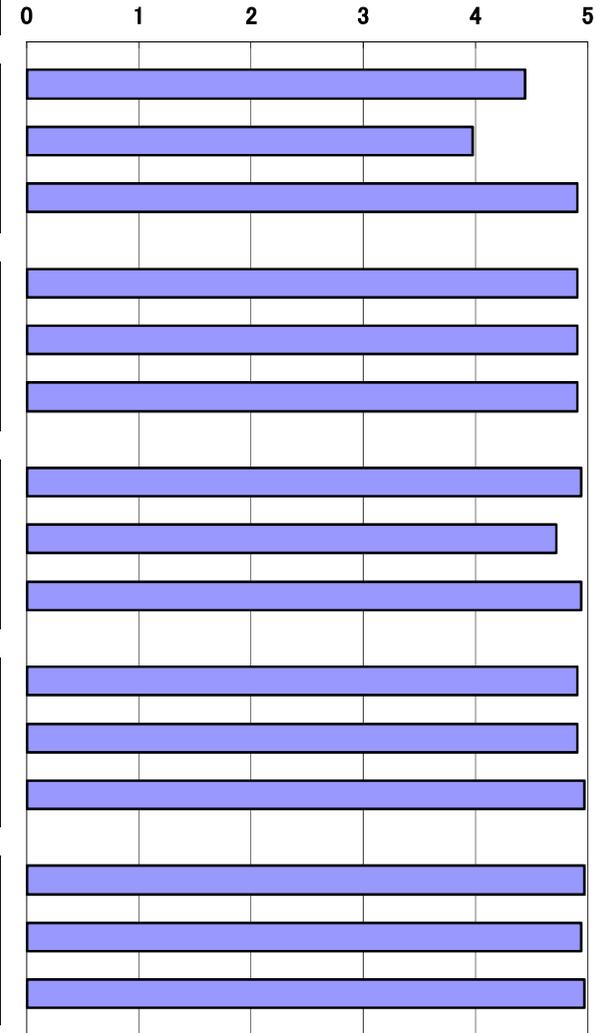
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	27	14.30	1.21
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	32	14.72	0.72
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	31	14.74	0.80
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	32	14.78	0.70
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	32	14.88	0.41



N=32

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

①	19	11	1	0	0	1	4.44	0.97
① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	59.4	34.4	3.1	0.0	0.0	3.1	4.44	0.97
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	21	4	2	0	0	5	3.97	1.79
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	29	3	0	0	0	0	4.91	0.29
④ 授業の内容はわかりやすかった。	29	3	0	0	0	0	4.91	0.29
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	29	3	0	0	0	0	4.91	0.29
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	29	3	0	0	0	0	4.91	0.29
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	30	2	0	0	0	0	4.94	0.24
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	28	2	1	0	0	1	4.72	0.94
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	30	2	0	0	0	0	4.94	0.24
⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	29	3	0	0	0	0	4.91	0.29
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	29	3	0	0	0	0	4.91	0.29
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	31	1	0	0	0	0	4.97	0.17
⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	31	1	0	0	0	0	4.97	0.17
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	30	2	0	0	0	0	4.94	0.24
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	31	1	0	0	0	0	4.97	0.17



科目コード	1B0803	科目名	身体運動論Ⅱ(実技)	担当教員名	緒形ひとみ
-------	--------	-----	------------	-------	-------

<教員からのコメント>

基本的に広尾ホールでの活動がメインであり、黒板やスライドを使用することがなく配布プリントで行ったため、教育技術②の平均点が低いと思われる。

1年次の前期授業である体育の授業の役割として、意図的にさまざまな人と触れ合う機会を設けた。また積極的にコミュニケーションをとってもらいたかったので、多少の私語はOKとし、お互いを理解する手助けになればと思って授業を進めていった。この授業をきっかけに、今後の学生生活での友達の輪を広げてもらえればと思う。

「何のためのその運動をするのか説明がほしい」というコメントがあったので、授業の開始前またその運動を行う前に説明をするようにしようと思う。

「外でもっと活動したい」というコメントがあったので、今回は1回だけにしたのを複数回に変更できるように授業全体のプランを考えることにしようと思う。

「体育」の授業としてしっかりとしたスポーツをやりたいとの意見も挙がっているが、この授業の目的を最初のオリエンテーションの際に話しているので、多くの学生が趣旨を理解して授業に参加してくれたように思う。

多様なニーズの学生が集まって授業を行うため、本格的なスポーツを行いたい人は、サークル活動に参加して取り組んでもらえればと思う。

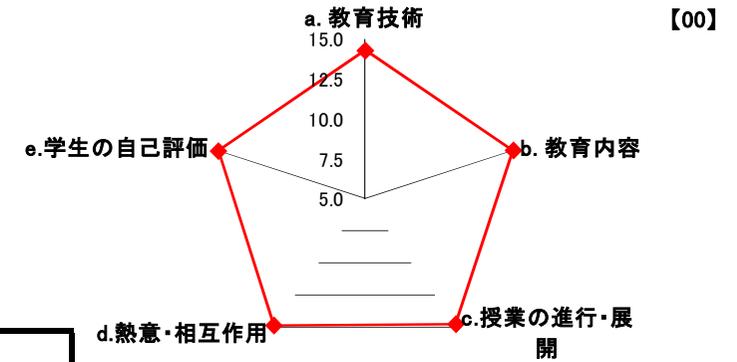
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	35	回収数	29	回収率	82.9%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:身体運動論Ⅱ(実技)

担当者:
岸田登美

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	28	14.32	1.47
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	29	14.83	0.65
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	29	14.72	0.98
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	29	14.83	0.75
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	29	14.76	0.68



N=29

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	22	5	2	0	0	0	4.69	0.59
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	24	0	4	0	0	1	4.55	1.10
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	27	1	1	0	0	0	4.90	0.40

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	28	1	0	0	0	0	4.97	0.18
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	27	2	0	0	0	0	4.93	0.25
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	27	2	0	0	0	0	4.93	0.25

c. 授業の進行・展開

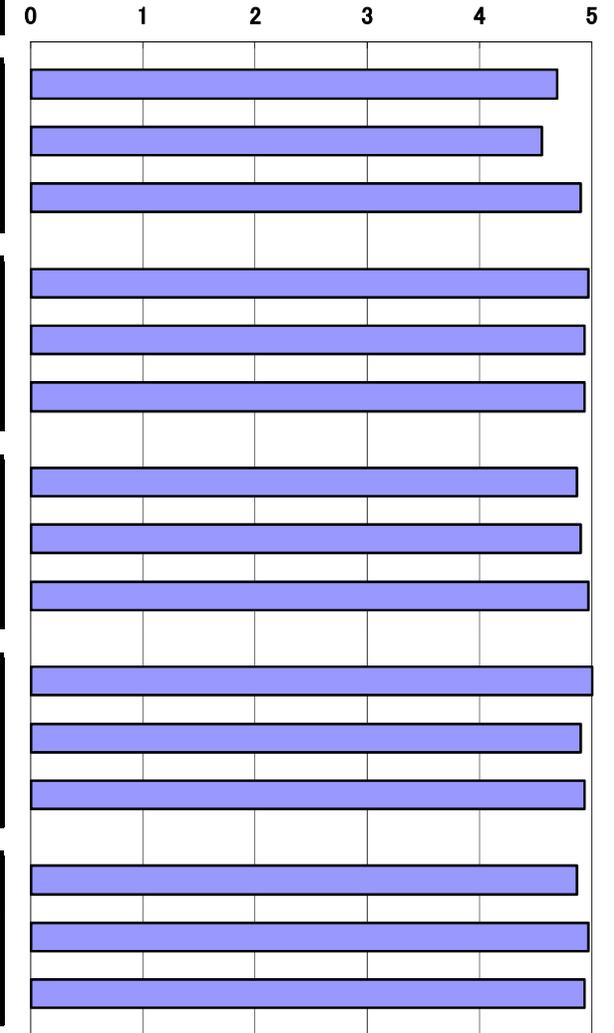
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	26	2	1	0	0	0	4.86	0.43
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	27	1	1	0	0	0	4.90	0.40
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	28	1	0	0	0	0	4.97	0.18

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	29	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	27	1	1	0	0	0	4.90	0.40
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	28	0	1	0	0	0	4.93	0.36

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	25	4	0	0	0	0	4.86	0.34
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	28	1	0	0	0	0	4.97	0.18
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	27	2	0	0	0	0	4.93	0.25



科目コード	1B0804	科目名	身体運動論Ⅱ(実技)	担当教員名	岸田登美
-------	--------	-----	------------	-------	------

<教員からのコメント>

多くの人とコミュニケーションをとることができた。楽しかったという評価をいただけて、うれしく思いました。
私にとっても楽しく学ぶことの多い授業でした。
授業終了時間が遅くなってしまったことがありました。反省し、今後は改善していきます。
今後からだを動かす機会が少なくなる学生が多いと思います。授業で行ったトレーニングを
思い出し、少しでも運動をし、筋肉を落とさない(付ける)ようにしてください。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

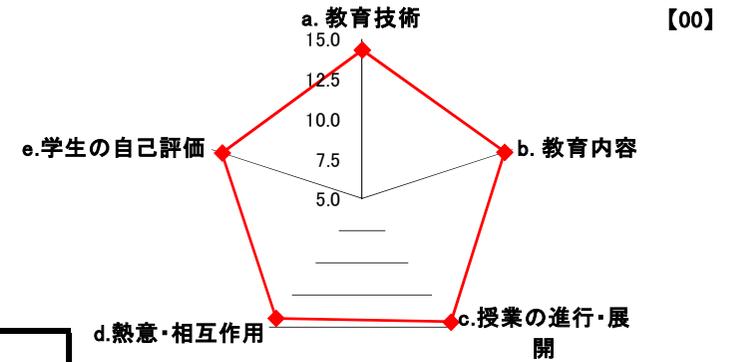
履修者数	28	回収数	29	回収率	103.6%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:障がい論

担当者:

川名るり・江本リナ・山内朋子・太田智子・
吉田玲子・小宮敬子・鷹野朋実・坂口千鶴・乙黒千鶴

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	29	14.34	1.15
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	29	14.48	1.13
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	29	14.55	1.04
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	29	14.28	1.23
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	29	14.31	1.09



N=29

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	23	6	0	0	0	0	4.79	0.41
79.3	20.7	0.0	0.0	0.0	0.0			
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	23	6	0	0	0	0	4.79	0.41
79.3	20.7	0.0	0.0	0.0	0.0			
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	22	7	0	0	0	0	4.76	0.43
75.9	24.1	0.0	0.0	0.0	0.0			

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	24	5	0	0	0	0	4.83	0.38
82.8	17.2	0.0	0.0	0.0	0.0			
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	24	5	0	0	0	0	4.83	0.38
82.8	17.2	0.0	0.0	0.0	0.0			
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	24	5	0	0	0	0	4.83	0.38
82.8	17.2	0.0	0.0	0.0	0.0			

c. 授業の進行・展開

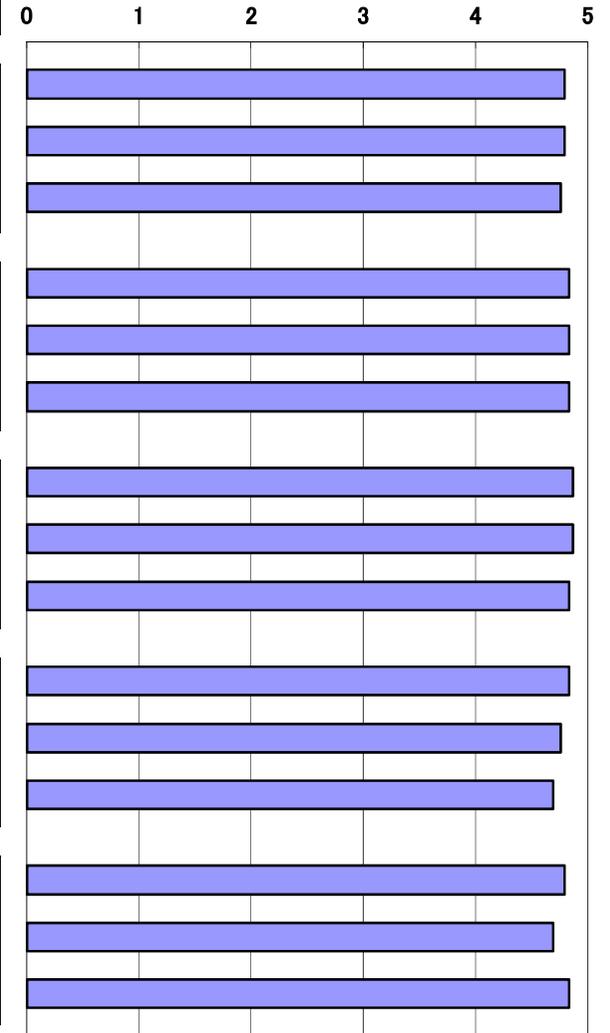
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	25	4	0	0	0	0	4.86	0.34
86.2	13.8	0.0	0.0	0.0	0.0			
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	25	4	0	0	0	0	4.86	0.34
86.2	13.8	0.0	0.0	0.0	0.0			
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	24	5	0	0	0	0	4.83	0.38
82.8	17.2	0.0	0.0	0.0	0.0			

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	24	5	0	0	0	0	4.83	0.38
82.8	17.2	0.0	0.0	0.0	0.0			
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	22	7	0	0	0	0	4.76	0.43
75.9	24.1	0.0	0.0	0.0	0.0			
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	21	7	1	0	0	0	4.69	0.53
72.4	24.1	3.4	0.0	0.0	0.0			

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	23	6	0	0	0	0	4.79	0.41
79.3	20.7	0.0	0.0	0.0	0.0			
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	21	7	1	0	0	0	4.69	0.53
72.4	24.1	3.4	0.0	0.0	0.0			
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	24	5	0	0	0	0	4.83	0.38
82.8	17.2	0.0	0.0	0.0	0.0			



科目コード	1B1000	科目名	障がい論	担当教員名	川名るり・江本リナ・山内朋子・太田智子・吉田玲子・小宮敬子・鷹野朋実・坂口千鶴・乙黒千鶴
-------	--------	-----	------	-------	--

<教員からのコメント>

様々な領域の教員によるオムニバス形式での授業展開により、一層学びが深まったとの感想を多数いただきました。とても嬉しく思います。ありがとうございました。

次年度も引き続き、障がいについて幅広い視点から理解できるように工夫していきたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	126	回収数	47	回収率	37.3%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:社会学 I

担当者:

三橋弘次

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	14.72	0.79
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	14.81	0.73
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	14.72	0.84
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	14.77	0.78
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	46	14.83	0.52

N=117

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	44	3	0	0	0	0	4.94	0.24
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	44	3	0	0	0	0	4.94	0.24
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	44	3	0	0	0	0	4.94	0.24

c. 授業の進行・展開

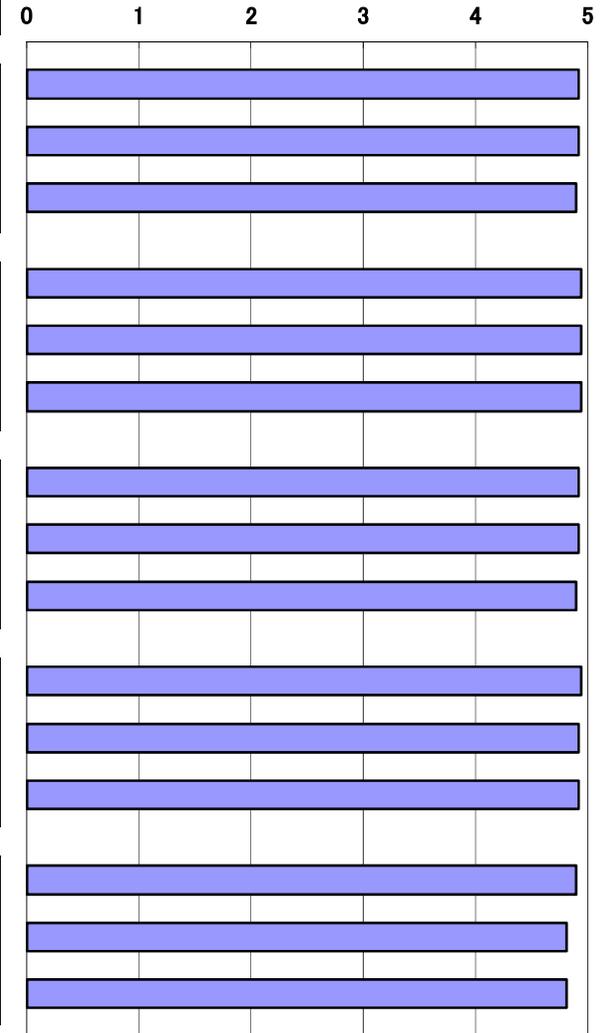
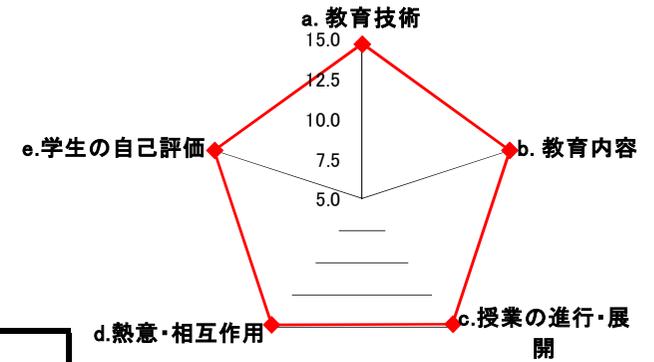
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	44	3	0	0	0	0	4.94	0.24
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	46	0	0	0	0	1	4.89	0.72
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	42	4	0	0	0	1	4.81	0.76
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	42	4	0	0	0	1	4.81	0.76



[00]

科目コード	1C0100	科目名	社会学I	担当教員名	三橋弘次
-------	--------	-----	------	-------	------

<教員からのコメント>

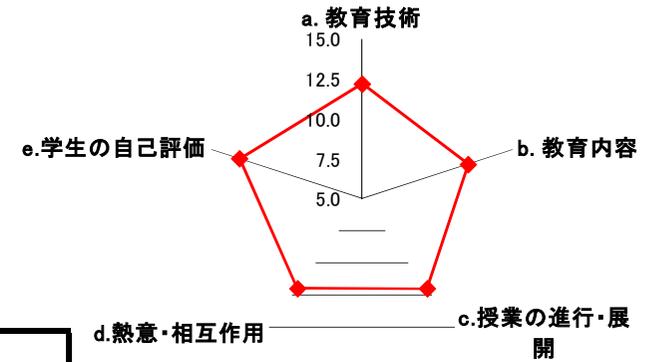
全ての項目において高得点であったことは、担当教員と受講生との間に良い相互作用があった結果だと思われる。担当教員が講義準備を念入りしてくることは当然として、受講生が極めて高い積極性をもって講義にのぞんだことから、そうした良い相互作用が生まれたのではないかと思われる。本講義を受講したことが、受講生の将来にプラスになってくれればよいと心から願っている。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	152	回収数	88	回収率	57.9%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目: 社会保障論
担当者:
島中亨

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	88	12.23	2.64
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	88	12.05	2.80
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	88	11.98	2.88
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	88	11.95	2.92
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	88	13.16	2.26

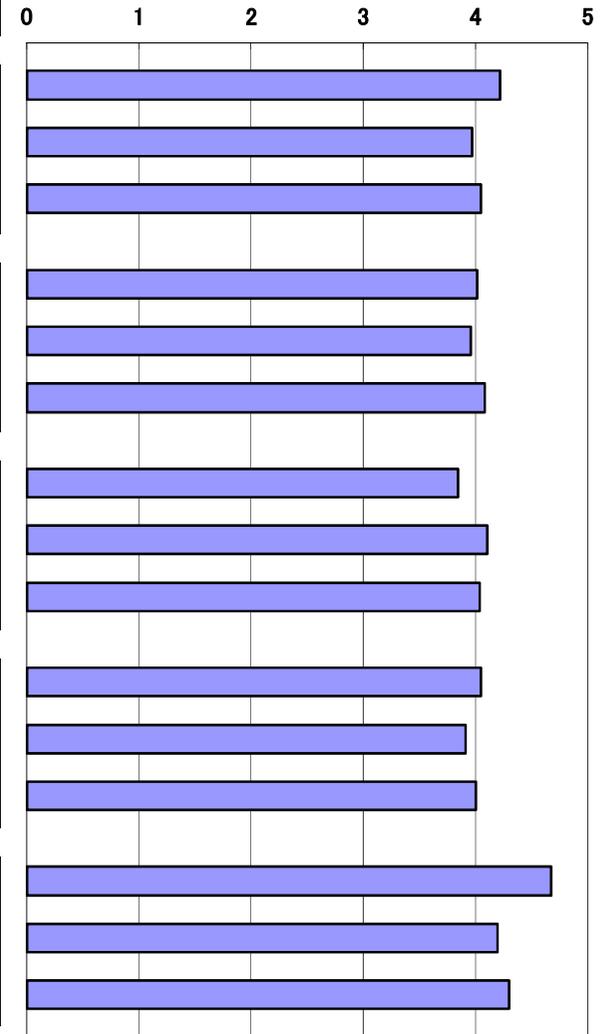


[00]

N=123

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	36	39	10	2	1	0	4.22	0.82
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	30	36	14	5	3	0	3.97	1.02
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	34	32	16	4	2	0	4.05	0.98
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	34	29	18	6	1	0	4.01	0.98
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	33	27	20	7	1	0	3.95	1.01
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	34	32	19	1	2	0	4.08	0.92
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	34	26	13	10	5	0	3.84	1.21
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	37	26	23	1	1	0	4.10	0.91
⑨	授業の進行速度は適切だった。	34	28	23	1	2	0	4.03	0.95
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	37	27	18	3	3	0	4.05	1.03
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	32	27	21	5	3	0	3.91	1.06
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	34	28	20	4	2	0	4.00	1.00
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	66	17	4	0	1	0	4.67	0.67
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	40	31	13	2	2	0	4.19	0.93
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	47	25	13	1	2	0	4.30	0.92



科目コード	1C0300	科目名	社会保障論	担当教員名	畠中亨
-------	--------	-----	-------	-------	-----

<教員からのコメント>

質疑の時間がほしいというコメントを頂きました。
必修科目であり受講生が多く、講義回数も8回と限られているため、質疑の時間は設けていませんでしたが、
何らかの方法で質問・感想をヒアリングする方法を検討したいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

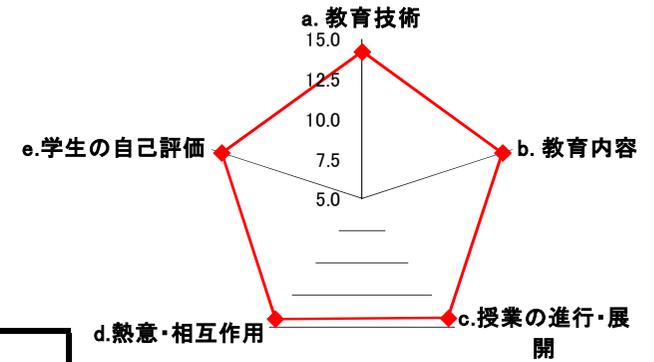
履修者数	14	回収数	12	回収率	85.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:世界の文化と宗教

担当者:

佐藤真

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	12	14.25	1.30
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	12	14.33	1.18
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	12	14.25	1.30
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	12	14.33	1.18
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	12	14.33	1.11

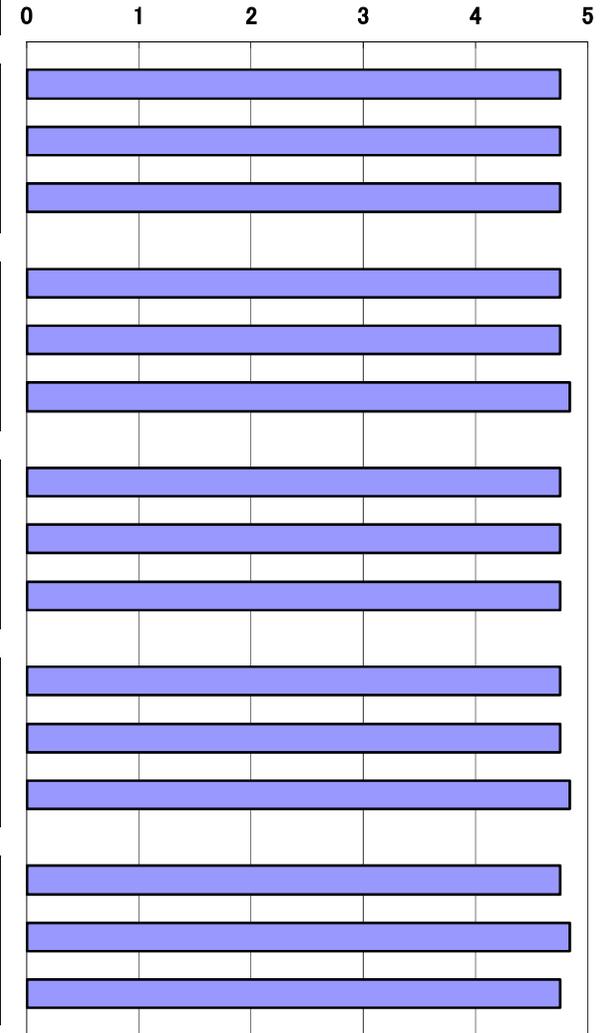


[00]

N=12

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	9	3	0	0	0	0	4.75	0.43
		75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	9	3	0	0	0	0	4.75	0.43
		75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	9	3	0	0	0	0	4.75	0.43
		75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	9	3	0	0	0	0	4.75	0.43
		75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	9	3	0	0	0	0	4.75	0.43
		75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	10	2	0	0	0	0	4.83	0.37
		83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0		
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	9	3	0	0	0	0	4.75	0.43
		75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9	3	0	0	0	0	4.75	0.43
		75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑨	授業の進行速度は適切だった。	9	3	0	0	0	0	4.75	0.43
		75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	9	3	0	0	0	0	4.75	0.43
		75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	9	3	0	0	0	0	4.75	0.43
		75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	10	2	0	0	0	0	4.83	0.37
		83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0		
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	9	3	0	0	0	0	4.75	0.43
		75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10	2	0	0	0	0	4.83	0.37
		83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	9	3	0	0	0	0	4.75	0.43
		75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0		



科目コード	1C0500	科目名	世界の文化と宗教	担当教員名	佐藤真
-------	--------	-----	----------	-------	-----

<教員からのコメント>

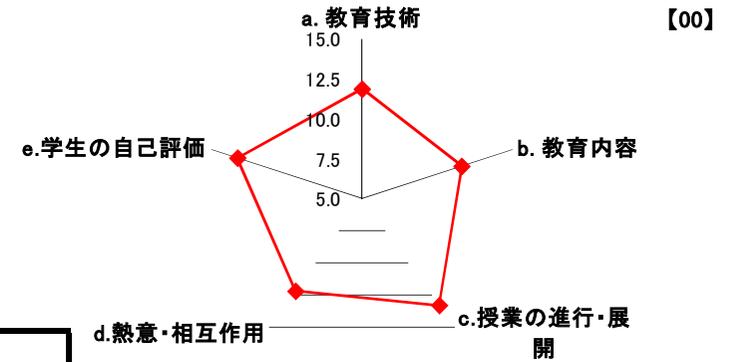
ある宗教のひとつの項目を自分で調べる→発表する→質疑応答→教員によるその宗教全体の説明→その宗教施設の見学という順に授業を進めました。学生の皆さんが関心を持って参加してくれたことをうれしく思います。もっと多くの施設を見学できるとよいのですが、時間の制約もあり、なかなか難しいところです。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	110	回収数	64	回収率	58.2%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:日本国憲法
担当者:
吉田直正

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	64	11.89	2.94
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	62	11.63	3.27
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	63	13.29	2.14
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	63	12.16	2.86
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	62	13.29	2.22



N=85

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	27	15	15	6	1	0	3.95	1.08
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	25	14	19	4	2	0	3.88	1.10
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	28	18	13	4	1	0	4.06	1.01
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	24	15	16	7	2	0	3.81	1.14
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	24	18	14	5	3	0	3.86	1.14
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	26	14	13	8	1	2	3.78	1.30
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	43	15	4	1	0	1	4.52	0.88
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	37	18	6	2	0	1	4.36	0.96
⑨	授業の進行速度は適切だった。	33	16	12	2	0	1	4.20	1.02
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	27	20	13	2	1	1	4.05	1.07
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	27	14	17	3	2	1	3.91	1.18
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	29	14	17	2	1	1	4.02	1.11
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	53	8	1	0	1	1	4.70	0.86
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	30	16	14	0	2	2	4.03	1.21
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	37	16	7	1	2	1	4.28	1.10



科目コード	1C0700	科目名	日本国憲法	担当教員名	吉田直正
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

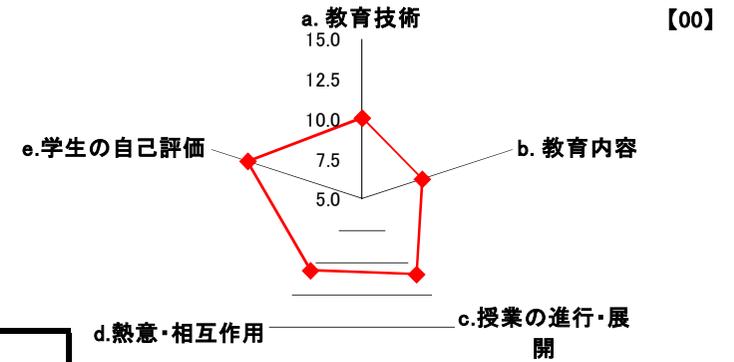
去年のアンケート結果に比べると、少し改善されているようです。
これも、アンケートへのフィードバックの成果でしょうか。
話の進め方というより、話し方、発声法など、もっと気をつけるようにします。
レジュメの作成を心がけるようにします。
時事問題への関連づけをより以上に増やそうと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	67	回収数	47	回収率	70.1%
------	----	-----	----	-----	-------

科目: 数学 I
 担当者:
 二宮真理子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	46	10.09	3.06
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	9.00	3.22
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	10.85	2.91
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	46	10.57	3.26
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	12.62	2.20



N=65

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		5点	4点	3点	2点	1点	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	6	20	12	6	3	0	3.43	1.07
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	6	12	18	6	4	1	3.15	1.18
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	9	17	11	7	3	0	3.47	1.15
b. 教育内容		5	9	12	15	6	0	2.83	1.19
④	授業の内容はわかりやすかった。	10.6	19.1	25.5	31.9	12.8	0.0	2.89	1.22
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	4	13	12	10	8	0	3.28	1.12
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	8.5	27.7	25.5	21.3	17.0	0.0	3.28	1.12
c. 授業の進行・展開		12	24	5	4	2	0	3.85	1.03
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	25.5	51.1	10.6	8.5	4.3	0.0	3.74	1.00
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	10	22	10	3	2	0	3.26	1.25
⑨	授業の進行速度は適切だった。	21.3	46.8	21.3	6.4	4.3	0.0	3.26	1.25
d. 熱意・相互作用		8	18	12	6	3	0	3.47	1.11
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	17.0	38.3	25.5	12.8	6.4	0.0	3.38	1.30
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	23.4	27.7	25.5	10.6	12.8	0.0	3.62	1.25
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	12	18	9	4	3	1	4.64	0.73
e. 学生の自己評価		35	9	1	2	0	0	3.81	1.00
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	74.5	19.1	2.1	4.3	0.0	0.0	4.17	1.00
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	25.5	44.7	17.0	10.6	2.1	0.0	4.17	1.00
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	46.8	34.0	10.6	6.4	2.1	0.0	4.17	1.00



科目コード	1D0101	科目名	数学 I	担当教員名	二宮真理子
-------	--------	-----	------	-------	-------

<教員からのコメント>

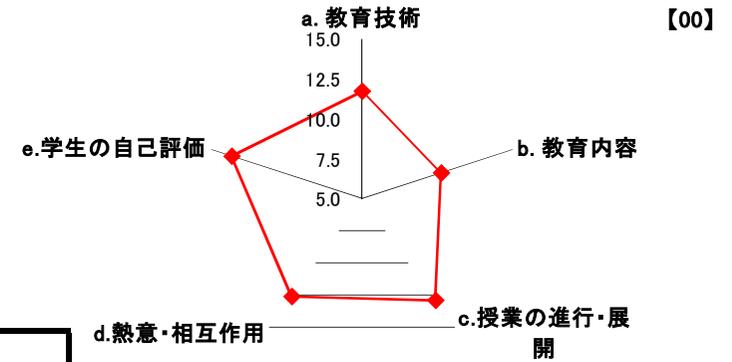
高1年の数学から大学の数学までを8回の講義でつなぐ方法を再考したいと思う。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	66	回収数	47	回収率	71.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目: 数学 I
 担当者:
 二宮真理子

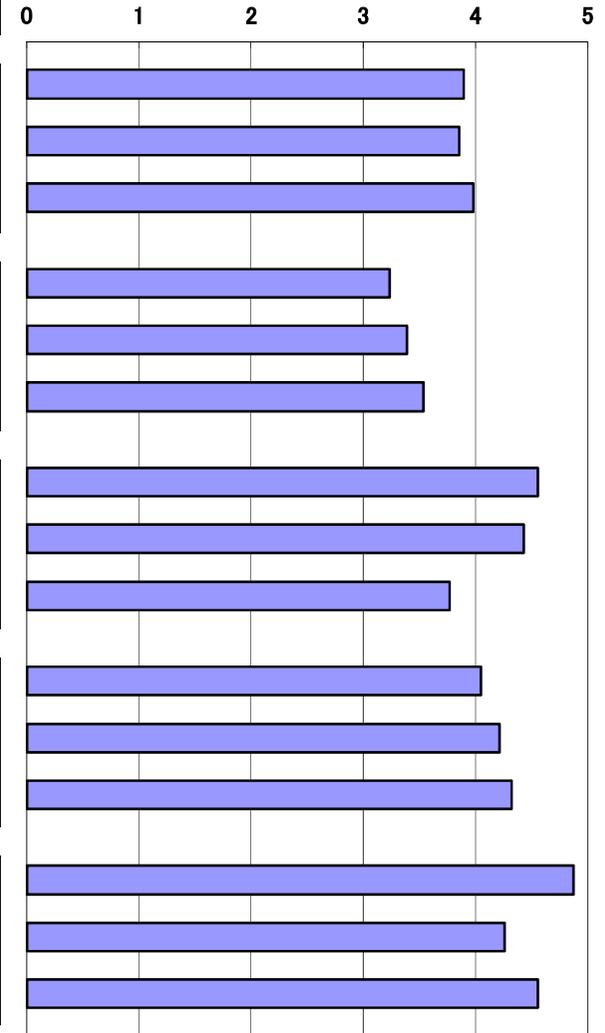
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	46	11.76	2.77
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	46	10.26	3.77
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	46	12.87	2.22
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	12.57	2.82
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	13.68	1.80



N=58

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	18	14	8	6	1	0	3.89	1.12
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	17	13	12	3	2	0	3.85	1.11
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	17	18	8	3	0	1	3.98	1.06
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	12	8	14	6	6	1	3.23	1.40
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	13	9	14	5	6	0	3.38	1.33
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	12	13	14	4	4	0	3.53	1.20
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	32	9	6	0	0	0	4.55	0.71
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	31	9	5	1	0	1	4.43	1.01
⑨	授業の進行速度は適切だった。	17	12	10	6	2	0	3.77	1.19
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	22	9	13	2	1	0	4.04	1.05
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	25	12	6	3	1	0	4.21	1.03
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	27	11	7	1	1	0	4.32	0.95
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	25	13	6	2	1	0	4.26	0.98
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	32	10	4	1	0	0	4.55	0.74



科目コード	1D0102	科目名	数学 I	担当教員名	二宮真理子
-------	--------	-----	------	-------	-------

<教員からのコメント>

高1年の数学から大学の数学までを8回の講義でつなぐ方法を再考したいと思う。

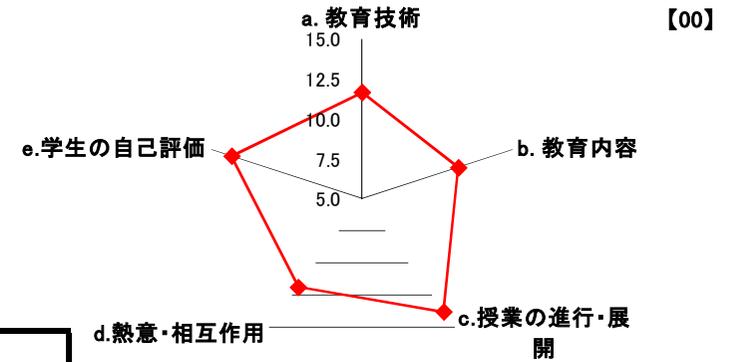
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	123	回収数	47	回収率	38.2%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:生物学 I

担当者:
吉田健一

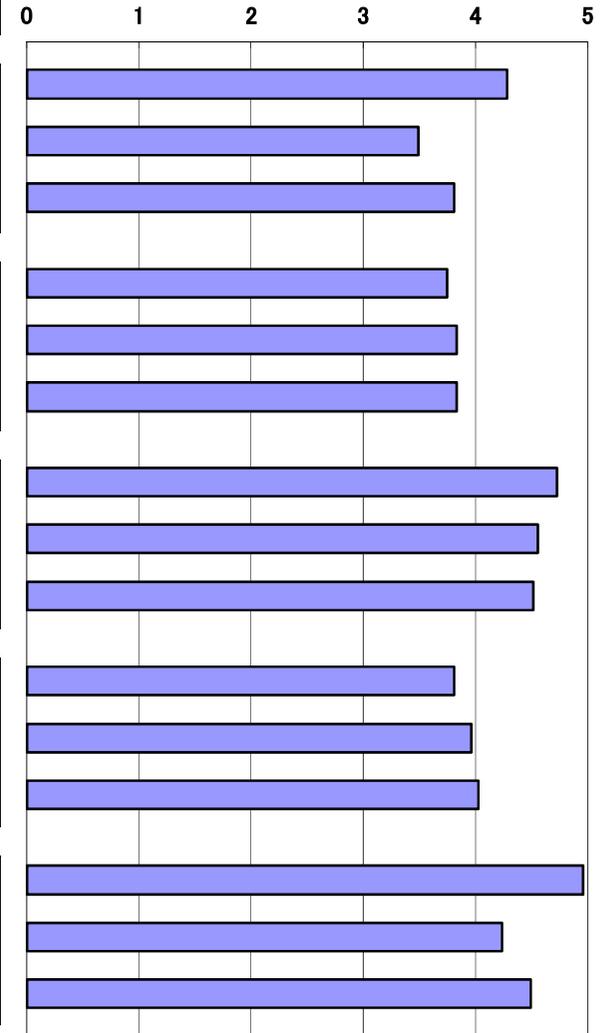
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	46	11.67	1.81
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	11.40	2.43
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	13.79	1.57
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	46	11.85	2.25
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	13.68	1.20



N=98

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	16	28	3	0	0	0	4.28	0.57
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	5	20	17	4	0	1	3.49	0.94
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11	19	14	3	0	0	3.81	0.87
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	13	15	14	4	1	0	3.74	1.02
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	11	20	13	3	0	0	3.83	0.86
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	9	24	11	3	0	0	3.83	0.81
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	36	9	2	0	0	0	4.72	0.53
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	31	11	5	0	0	0	4.55	0.68
⑨	授業の進行速度は適切だった。	27	17	3	0	0	0	4.51	0.61
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	12	20	11	3	0	1	3.81	1.02
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	13	23	7	4	0	0	3.96	0.87
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	14	23	8	1	1	0	4.02	0.86
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	45	2	0	0	0	0	4.96	0.20
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	18	22	7	0	0	0	4.23	0.69
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	28	15	3	1	0	0	4.49	0.71

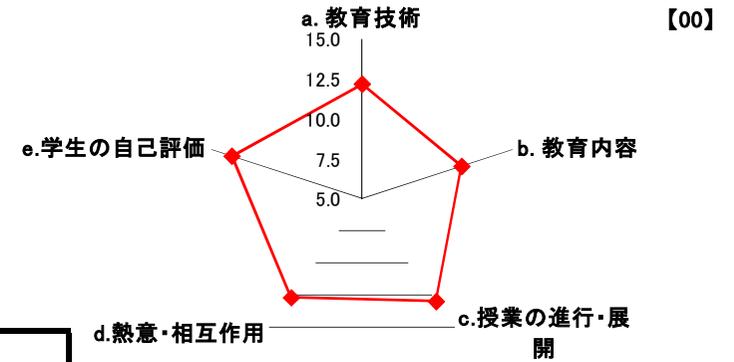


授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	21	回収数	21	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:化学 I
担当者:
三好洋

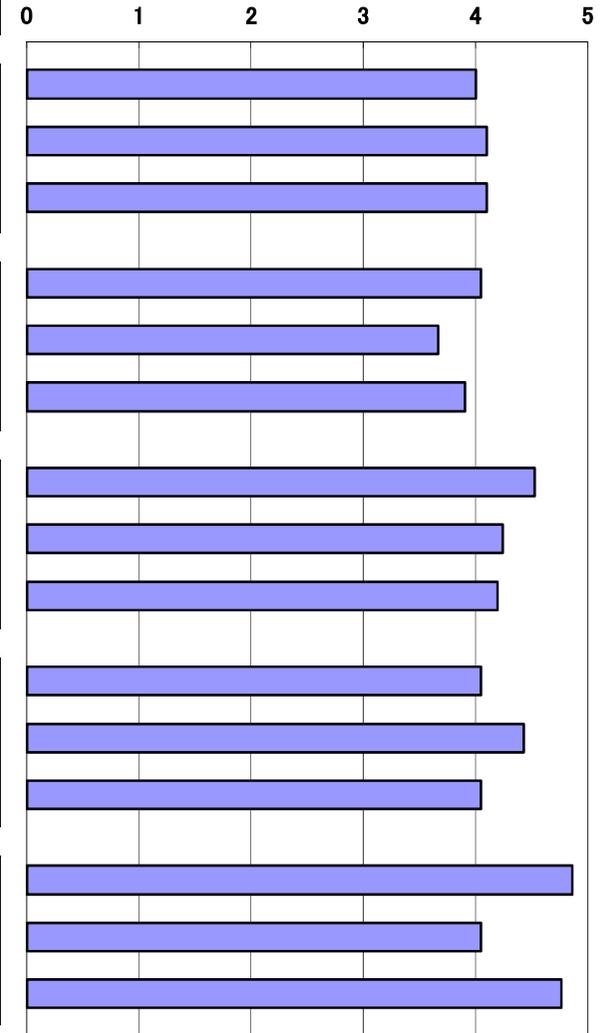
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	21	12.19	2.15
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	21	11.62	2.01
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	21	12.95	1.81
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	20	12.65	2.13
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	21	13.67	1.13



N=21

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	6	10	4	1	0	0	4.00	0.82
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	7	11	1	2	0	0	4.10	0.87
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	6	12	2	1	0	0	4.10	0.75
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	6	12	1	2	0	0	4.05	0.84
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	3	11	4	3	0	0	3.67	0.89
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	5	9	7	0	0	0	3.90	0.75
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	11	10	0	0	0	0	4.52	0.50
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9	9	2	1	0	0	4.24	0.81
⑨	授業の進行速度は適切だった。	8	10	2	1	0	0	4.19	0.79
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	6	12	1	2	0	0	4.05	0.84
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	11	9	0	1	0	0	4.43	0.73
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	9	8	2	1	0	1	4.05	1.21
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	18	3	0	0	0	0	4.86	0.35
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	7	8	6	0	0	0	4.05	0.79
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	16	5	0	0	0	0	4.76	0.43



科目コード	1D0501	科目名	化学 I	担当教員名	三好洋
-------	--------	-----	------	-------	-----

<教員からのコメント>

本学での化学の講義担当初年度であったため不慣れな点が多々あり、受講された学生の皆様には色々なご不便があったと思います。それでも、講義の進行に協力していただき感謝しています。また、多数のご意見をいただき、もう一度講義の内容や方法に見直しを計りたいと思います。多数のご意見、有難うございます。

個別の意見に可能な限り、コメントさせていただきます。

授業の進行速度は速すぎるとの指摘がありましたので、落として行いたいと思います。また、それに伴って化学 I での講義内容をさらに絞ろうと思います。内容の絞り込みによって、講義の全体的な進行速度と各回の講義の難易度も改善したいと思います。

教科書に関して不要との意見がありましたが、講義はすべて教科書に沿って行っていました。スライドへ教科書の対応ページの表記を行って改善したいと思います。教科書には例題もあり、有意義だと考えています。

講義内での問題の解説は書きとめて欲しかったので印刷物にしていまませんでした。教科書の件と重なりますが、講義内での問題は教科書の例題を多く採用しており、教科書に解説の記載があるので有効利用していただければと思います。

使用した用語で、言葉が難しかったとの指摘がありました。さらに平易な言葉で置き換えて解説出来るように努力しようと思います。

単位換算が難しかったとの指摘には、来年度はこの解説にさらに時間を割くことで対応します。

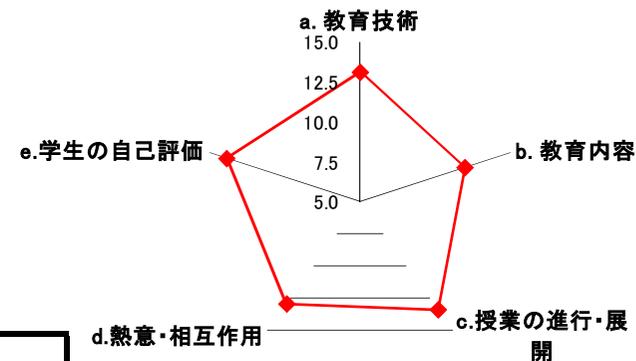
講義中の動画による解説は評価が良かったようですので、さらに増やすようにします。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	37	回収数	32	回収率	86.5%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:化学 I
担当者:
三好洋

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	32	13.16	1.79
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	32	11.97	2.59
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	31	13.39	1.88
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	32	12.94	2.19
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	32	13.88	0.99

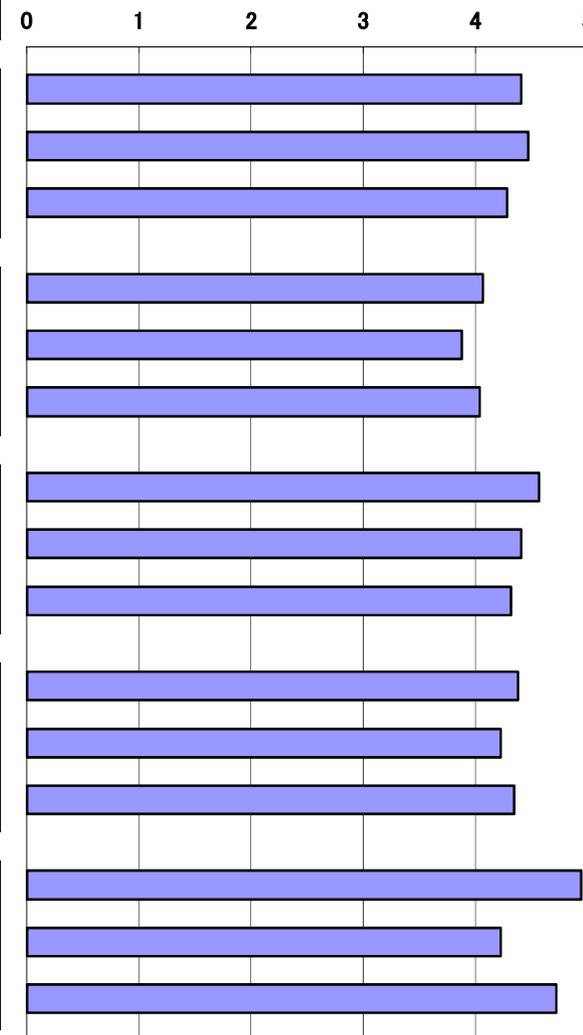


[00]

N=32

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	14	17	1	0	0	0	4.41	0.55
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	18	11	3	0	0	0	4.47	0.66
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	16	10	5	1	0	0	4.28	0.84
b. 教育内容		50.0	31.3	15.6	3.1	0.0	0.0		
④	授業の内容はわかりやすかった。	13	9	9	1	0	0	4.06	0.90
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	11	8	11	2	0	0	3.88	0.96
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	13	8	10	1	0	0	4.03	0.92
c. 授業の進行・展開		40.6	25.0	31.3	3.1	0.0	0.0		
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	19	12	1	0	0	0	4.56	0.56
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	19	10	2	0	0	1	4.41	1.00
⑨	授業の進行速度は適切だった。	19	7	3	3	0	0	4.31	0.98
d. 熱意・相互作用		59.4	37.5	3.1	0.0	0.0	0.0		
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	17	11	3	1	0	0	4.38	0.78
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	14	13	3	2	0	0	4.22	0.86
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	16	12	3	1	0	0	4.34	0.77
e. 学生の自己評価		50.0	31.3	15.6	3.1	0.0	0.0		
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	30	2	0	0	0	0	4.94	0.24
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	12	15	5	0	0	0	4.22	0.70
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	24	7	1	0	0	0	4.72	0.51
		75.0	21.9	3.1	0.0	0.0	0.0		



科目コード	1D0502	科目名	化学 I	担当教員名	三好洋
-------	--------	-----	------	-------	-----

<教員からのコメント>

本学での化学の講義担当初年度であったため不慣れな点が多々あり、受講された学生の皆様には色々なご不便があったと思います。それでも、講義の進行に協力していただき感謝しています。また、多数のご意見をいただき、もう一度講義の内容や方法に見直しを計りたいと思います。多数のご意見、有難うございます。

個別の意見に可能な限り、コメントさせていただきます。

授業の進行速度は速すぎるとの指摘がありましたので、落として行いたいと思います。また、それに伴って化学 I での講義内容をさらに絞ろうと思います。内容の絞り込みによって、講義の全体的な進行速度と各回の講義の難易度も改善したいと思います。

教科書に関して不要との意見がありましたが、講義はすべて教科書に沿って行っていました。スライドへ教科書の対応ページの表記を行って改善したいと思います。教科書には例題もあり、有意義だと考えています。

講義内での問題の解説は書きとめて欲しかったので印刷物にしていまませんでした。教科書の件と重なりますが、講義内での問題は教科書の例題を多く採用しており、教科書に解説の記載があるので有効利用していただければと思います。

使用した用語で、言葉が難しかったとの指摘がありました。さらに平易な言葉で置き換えて解説出来るように努力しようと思います。

単位換算が難しかったとの指摘には、来年度はこの解説にさらに時間を割くことで対応します。

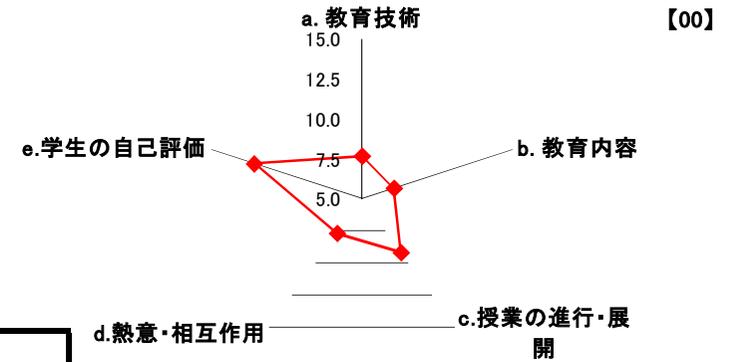
講義中の動画による解説は評価が良かったようですので、さらに増やすようにします。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	72	回収数	47	回収率	65.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:保健統計学
担当者:
逸見功

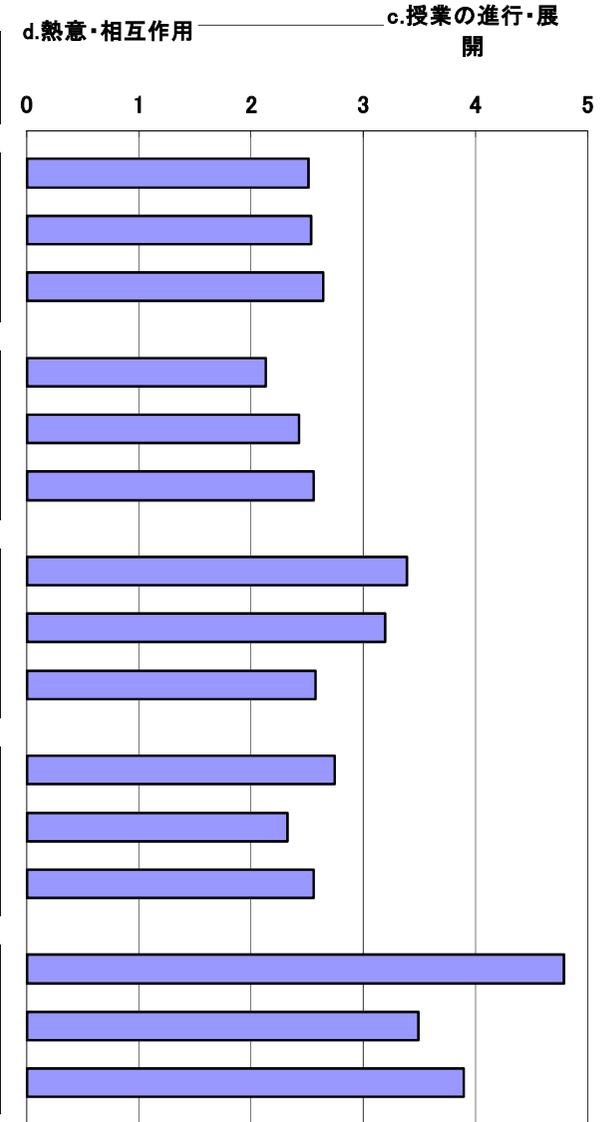
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	7.68	3.62
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	7.11	3.73
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	9.15	3.70
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	46	7.70	3.68
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	12.17	2.42



N=60

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	授業の内容はわかりやすかった。	授業の内容は興味のあるものだった。	この授業は自分にとって価値があった。	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	授業の進行速度は適切だった。	教員の熱意が伝わってきた。	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入室をしない等)に協力した。	
4 8.5	8 17.0	8 17.0	15 31.9	12 25.5	0 0.0	2.51	1.27	4 10.6	5 12.8	3 23.4	16 25.5	19 27.7	0 0.0	2.13	1.28
8 17.0	11 23.4	12 25.5	13 27.7	11 23.4	0 0.0	2.53	1.30	5 10.6	7 14.9	6 12.8	14 29.8	15 31.9	0 0.0	2.43	1.35
5 10.6	8 17.0	10 21.3	13 27.7	11 23.4	0 0.0	2.64	1.30	6 12.8	6 12.8	10 21.3	11 23.4	14 29.8	0 0.0	2.55	1.37
12 25.5	17 36.2	3 6.4	7 14.9	8 17.0	0 0.0	3.38	1.44	10 21.3	13 27.7	8 17.0	8 17.0	8 17.0	0 0.0	3.19	1.39
5 10.6	5 10.6	12 25.5	15 31.9	10 21.3	0 0.0	2.57	1.23	5 10.6	5 10.6	12 25.5	15 31.9	10 21.3	0 0.0	2.57	1.23
6 12.8	7 14.9	13 27.7	11 23.4	10 21.3	0 0.0	2.74	1.30	5 10.6	4 8.5	7 14.9	16 34.0	15 31.9	0 0.0	2.32	1.29
5 10.6	8 17.0	9 19.1	12 25.5	12 25.5	1 2.1	2.55	1.37	5 10.6	8 17.0	9 19.1	12 25.5	12 25.5	0 0.0	2.55	1.37
38 80.9	8 17.0	1 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.79	0.46	15 31.9	6 12.8	17 36.2	5 10.6	4 8.5	0 0.0	3.49	1.27
21 44.7	9 19.1	10 21.3	5 10.6	2 4.3	0 0.0	3.89	1.21	21 44.7	9 19.1	10 21.3	5 10.6	2 4.3	0 0.0	3.89	1.21



科目コード	1E0301	科目名	保健統計学	担当教員名	逸見功
-------	--------	-----	-------	-------	-----

<教員からのコメント>

保健統計学の授業では、保健師国家試験の出題範囲を1学期で扱うため、かなり盛りだくさんの内容で時間的にハードであり、学生の努力を要求するものとなっています。今年度は教科書による事前学習およびノートを作成する事後学修を指示して、昨年度よりアクティブラーニング的な要素を強めました。また、学生の授業評価が悪くなるのは承知で、授業に集中して自らノートをとるようになるため、敢えて授業時にスライド資料を配付しませんでした。教科書を読んでもわからないという学生が多く、事前学習の効果があまりなかったようである。

来年度は高校数学 I で統計学の初歩を学修してきた学生が主体となります。医療系向けの適当な教科書が最近出版されたので、来年度はこの教科書を主に用いて授業をしたいと考えています。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

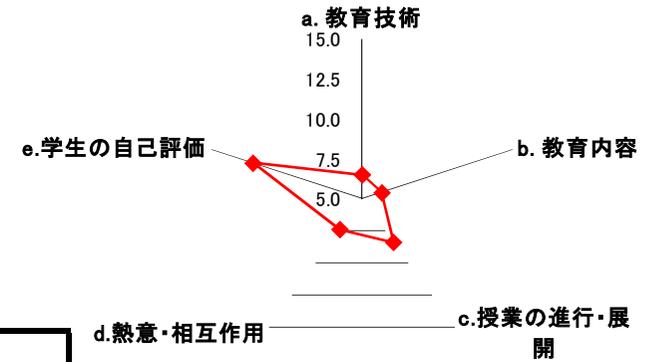
履修者数	83	回収数	47	回収率	56.6%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:保健統計学

担当者:

逸見功

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	6.51	3.60
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	6.30	3.13
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	8.38	3.47
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	7.38	3.62
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	12.26	2.87

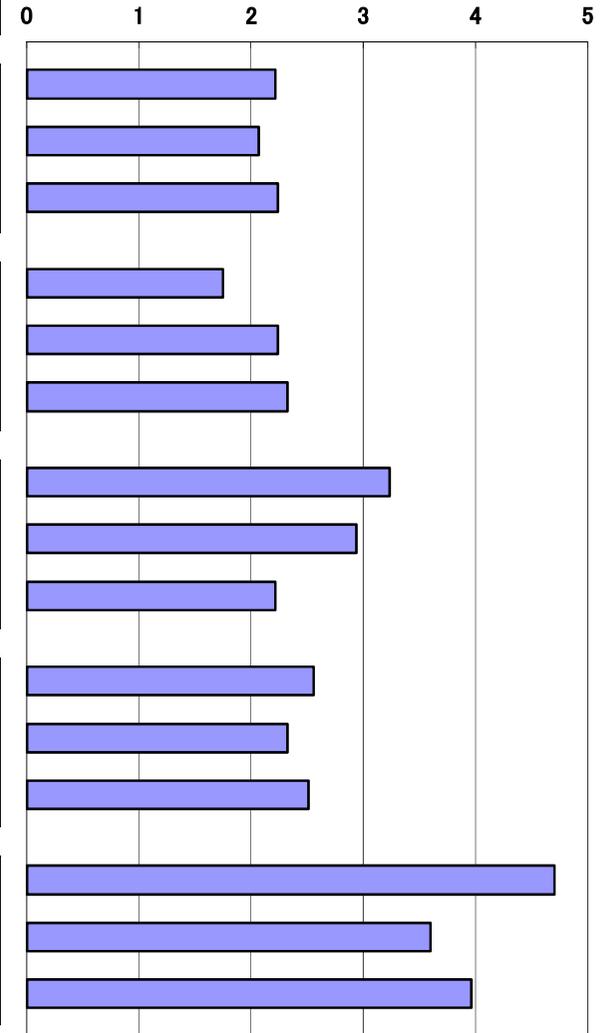


[00]

N=75

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	2	8	7	11	19	0	2.21	1.25
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	4.3	17.0	14.9	23.4	40.4	0.0	2.06	1.23
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3	8	4	14	18	0	2.23	1.29
		6.4	17.0	8.5	29.8	38.3	0.0		
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	1	3	4	14	25	0	1.74	1.00
		2.1	6.4	8.5	29.8	53.2	0.0		
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	3	6	10	8	20	0	2.23	1.29
		6.4	12.8	21.3	17.0	42.6	0.0		
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	3	7	10	9	18	0	2.32	1.29
		6.4	14.9	21.3	19.1	38.3	0.0		
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	8	18	7	5	9	0	3.23	1.37
		17.0	38.3	14.9	10.6	19.1	0.0		
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	8	10	9	11	9	0	2.94	1.37
		17.0	21.3	19.1	23.4	19.1	0.0		
⑨	授業の進行速度は適切だった。	2	5	12	10	18	0	2.21	1.18
		4.3	10.6	25.5	21.3	38.3	0.0		
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	5	8	10	9	15	0	2.55	1.37
		10.6	17.0	21.3	19.1	31.9	0.0		
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4	7	8	9	19	0	2.32	1.35
		8.5	14.9	17.0	19.1	40.4	0.0		
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	5	5	13	10	14	0	2.51	1.30
		10.6	10.6	27.7	21.3	29.8	0.0		
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	41	2	2	0	2	0	4.70	0.90
		87.2	4.3	4.3	0.0	4.3	0.0		
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	15	13	9	5	5	0	3.60	1.32
		31.9	27.7	19.1	10.6	10.6	0.0		
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	21	14	5	3	4	0	3.96	1.25
		44.7	29.8	10.6	6.4	8.5	0.0		



科目コード	1E0302	科目名	保健統計学	担当教員名	逸見功
-------	--------	-----	-------	-------	-----

<教員からのコメント>

保健統計学の授業では、保健師国家試験の出題範囲を1学期で扱うため、かなり盛りだくさんの内容で時間的にハードであり、学生の努力を要求するものとなっています。今年度は教科書による事前学習およびノートを作成する事後学修を指示して、昨年度よりアクティブラーニング的な要素を強めました。また、学生の授業評価が悪くなるのは承知で、授業に集中して自らノートをとるようにするため、敢えて授業時にスライド資料を配付しませんでした。教科書を読んでもわからないという学生が多く、事前学習の効果があまりなかったようである。

来年度は高校数学 I で統計学の初歩を学修してきた学生が主体となります。医療系向けの適当な教科書が最近出版されたので、来年度はこの教科書を主に用いて授業をしたいと考えています。

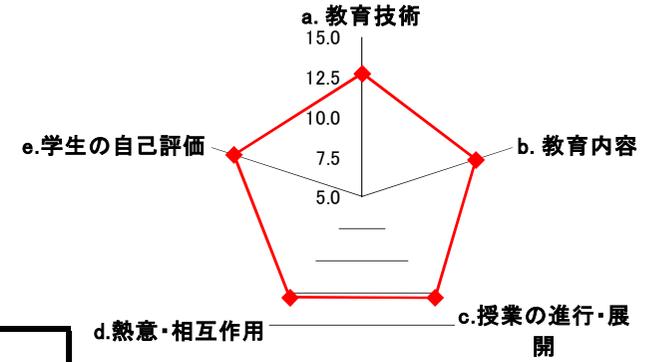
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	61	回収数	47	回収率	77.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:日本語の表現

担当者:
越後敬子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	12.74	1.79
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	12.57	2.10
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	12.83	2.00
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	12.81	2.05
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	13.53	1.71



[00]

N=57

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	18	25	4	0	0	0	4.30	0.62
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	15	26	6	0	0	0	4.19	0.64
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	17	25	5	0	0	0	4.26	0.63
36.2		53.2	10.6	0.0	0.0	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	18	21	8	0	0	0	4.21	0.71
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	16	20	11	0	0	0	4.11	0.75
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	20	19	8	0	0	0	4.26	0.73
34.0		42.6	23.4	0.0	0.0	0.0			
42.6		40.4	17.0	0.0	0.0	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	20	20	6	1	0	0	4.26	0.76
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	19	22	6	0	0	0	4.28	0.67
⑨	授業の進行速度は適切だった。	19	23	5	0	0	0	4.30	0.65
40.4		46.8	12.8	0.0	0.0	0.0			
40.4		48.9	10.6	0.0	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	19	22	5	1	0	0	4.26	0.73
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	18	22	7	0	0	0	4.23	0.69
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	21	20	6	0	0	0	4.32	0.69
38.3		46.8	14.9	0.0	0.0	0.0			
44.7		42.6	12.8	0.0	0.0	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	36	8	3	0	0	0	4.70	0.58
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	23	18	5	1	0	0	4.34	0.75
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	28	14	5	0	0	0	4.49	0.68
76.6		17.0	6.4	0.0	0.0	0.0			
48.9		38.3	10.6	2.1	0.0	0.0			
59.6		29.8	10.6	0.0	0.0	0.0			



科目コード	1F0101	科目名	日本語の表現	担当教員名	越後敬子
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

高校までの「国語」ではなく、「日本語」を社会の中で「実践的」に使いこなすことができるようになるよう授業を進めてきました。学んだことをこれからの生活で生かしていきましょう。

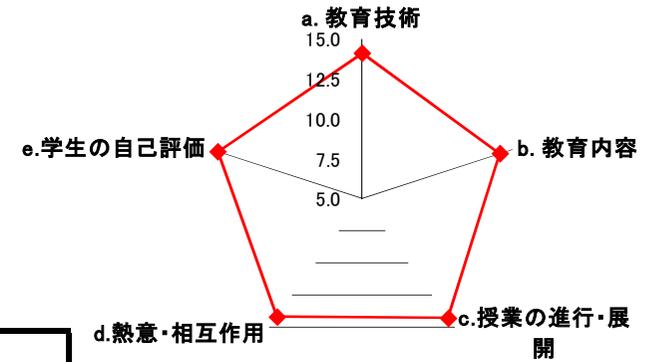
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	63	回収数	47	回収率	74.6%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:日本語の表現

担当者:
越後敬子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	14.15	1.47
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	44	14.16	1.43
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	46	14.24	1.27
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	46	14.15	1.25
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	14.60	1.10



[00]

N=52

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	35	12	0	0	0	0	4.74	0.44
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	34	12	0	0	1	0	4.66	0.69
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	35	12	0	0	0	0	4.74	0.44

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	35	9	1	0	0	2	4.55	1.07
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	30	13	3	0	0	1	4.49	0.90
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	35	10	2	0	0	0	4.70	0.54

c. 授業の進行・展開

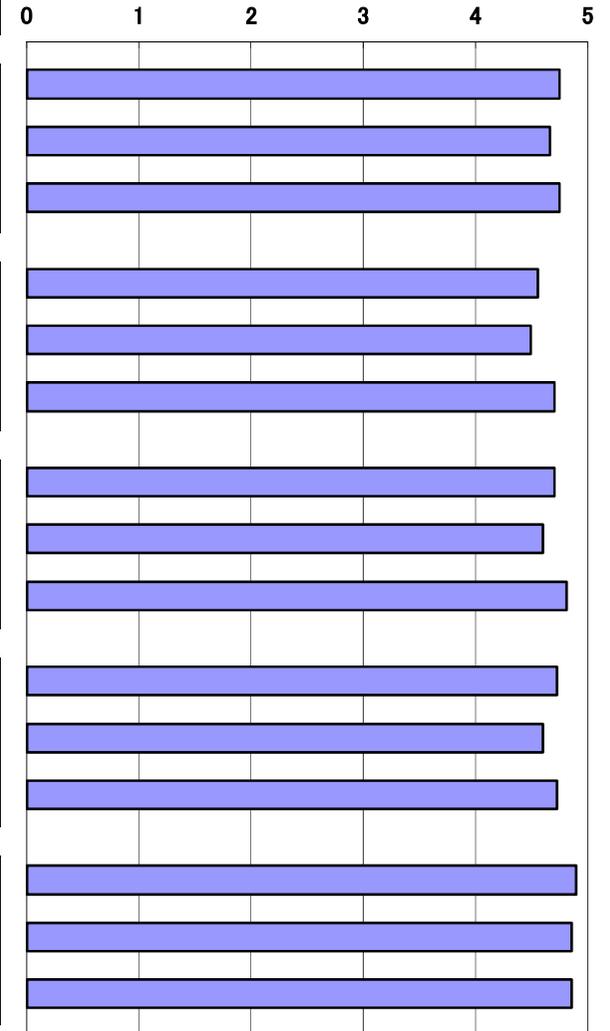
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	35	10	2	0	0	0	4.70	0.54
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	36	7	2	1	0	1	4.60	0.94
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	38	9	0	0	0	0	4.81	0.39

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	34	13	0	0	0	0	4.72	0.45
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	32	14	0	0	0	1	4.60	0.82
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	34	13	0	0	0	0	4.72	0.45

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	41	5	1	0	0	0	4.85	0.41
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	41	5	1	0	0	0	4.85	0.41



科目コード	1F0102	科目名	日本語の表現	担当教員名	越後敬子
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

これまで何気なく使っていた日本語ですが、それを正しく運用していくことは意外にも難しいと感じたかもしれません。一朝一夕で身につくものではないと思いますので実生活の中で時には思い返してみてください。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

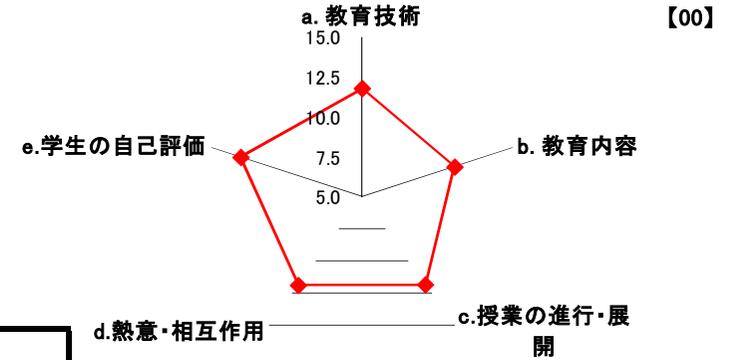
履修者数	38	回収数	35	回収率	92.1%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R1-1

担当者:

佐藤真

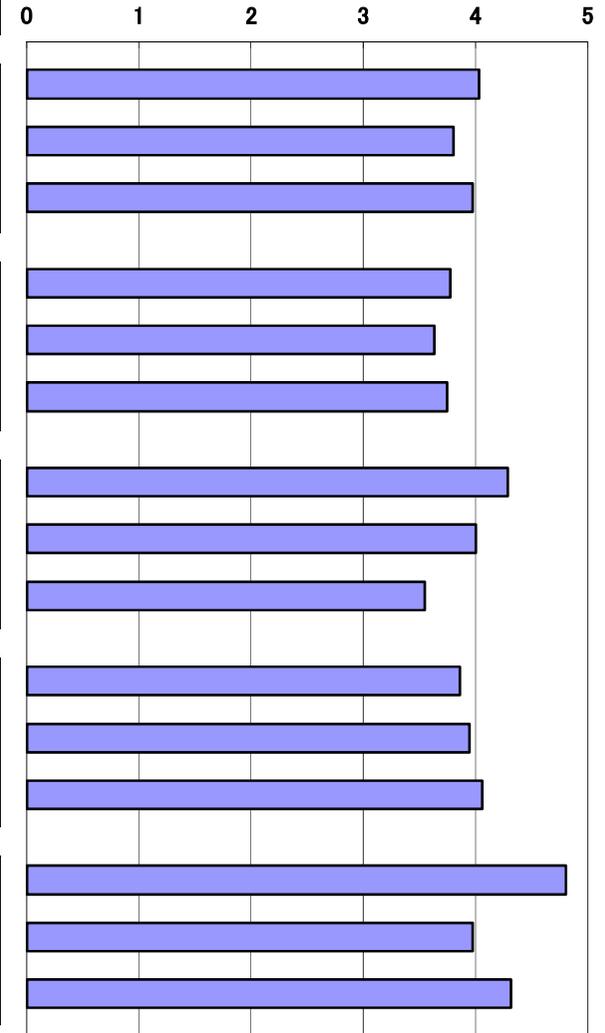
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	35	11.80	2.75
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	35	11.14	2.99
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	35	11.83	2.26
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	35	11.86	2.88
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	35	13.09	2.14



N=35

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	授業の内容はわかりやすかった。	授業の内容は興味のあるものだった。	この授業は自分にとって価値があった。	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	授業の進行速度は適切だった。	教員の熱意が伝わってきた。	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。
12	11	12	11	9	9	16	12	7	10	13	14	29	16	19
34.3	31.4	34.3	31.4	25.7	25.7	45.7	34.3	20.0	28.6	37.1	40.0	82.9	45.7	54.3
16	11	13	9	11	14	13	13	13	14	11	13	5	9	9
3	9	7	11	9	7	6	8	8	8	8	5	1	4	6
4	3	3	4	5	4	0	2	6	2	2	2	0	5	1
0	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	1	0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4.03	3.80	3.97	3.77	3.63	3.74	4.29	4.00	3.54	3.86	3.94	4.06	4.80	3.97	4.31
0.94	1.06	0.94	1.02	1.10	1.05	0.74	0.89	1.08	0.99	1.04	1.01	0.47	1.18	0.85



科目コード	1F0201	科目名	英語R1-1	担当教員名	佐藤真
-------	--------	-----	--------	-------	-----

<教員からのコメント>

「速読」、「情報探し」、「精読」という3種類の練習それぞれの目的を、もう少し理解してもらえるとよかったのかと思います。

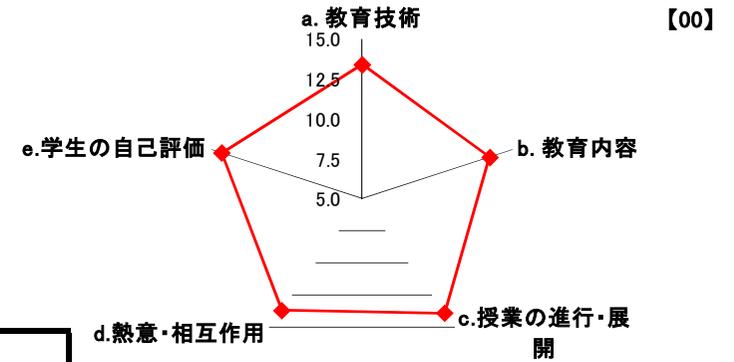
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	34	回収数	34	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:英語R1-1

担当者:
川崎修一

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	34	13.44	1.70
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	33	13.48	1.79
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	34	13.88	1.35
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	34	13.65	1.61
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	33	14.33	1.03



N=34

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	17	15	2	0	0	0	4.44	0.60
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	19	12	3	0	0	0	4.47	0.65
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	20	12	2	0	0	0	4.53	0.61

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	21	11	2	0	0	0	4.56	0.60
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	17	15	2	0	0	0	4.44	0.60
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	19	10	4	0	0	1	4.32	1.02

c. 授業の進行・展開

⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	22	12	0	0	0	0	4.65	0.48
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	24	10	0	0	0	0	4.71	0.46
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	21	10	3	0	0	0	4.53	0.65

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	19	14	1	0	0	0	4.53	0.55
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	19	14	1	0	0	0	4.53	0.55
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	21	12	1	0	0	0	4.59	0.55

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	29	4	0	0	0	1	4.74	0.88
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	25	8	0	0	0	1	4.62	0.91
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	23	10	0	0	0	1	4.56	0.91



科目コード	1F0202	科目名	英語R1-1	担当教員名	川崎修一
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

過分な評価をありがとうございました。素晴らしい学生に恵まれたことに感謝します。指摘されていない至らない点も多くあったと思います。自省して来年度に活かしたいと思います。テキストの難易度や内容の重複については改善したいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

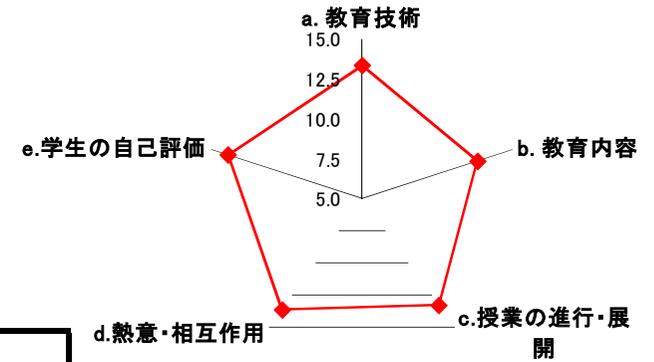
履修者数	35	回収数	33	回収率	94.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R1-1

担当者:

佐藤真

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	33	13.36	1.82
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	33	12.67	2.52
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	32	13.25	2.30
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	33	13.61	2.24
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	33	13.91	1.44

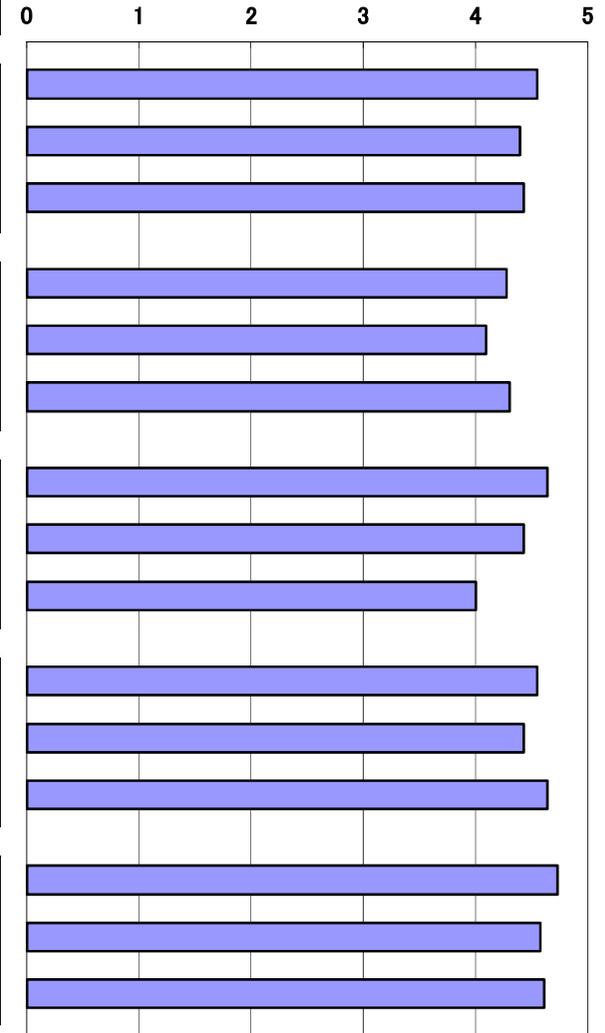


[00]

N=33

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	20	11	2	0	0	0	4.55	0.61
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	17	12	4	0	0	0	4.39	0.69
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	20	7	6	0	0	0	4.42	0.78
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	16	11	5	1	0	0	4.27	0.83
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	14	11	5	3	0	0	4.09	0.96
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	17	11	3	2	0	0	4.30	0.87
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	25	5	2	1	0	0	4.64	0.73
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	22	6	4	0	0	1	4.42	1.05
⑨	授業の進行速度は適切だった。	18	3	7	4	1	0	4.00	1.23
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	22	8	2	1	0	0	4.55	0.74
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	22	5	5	0	1	0	4.42	0.95
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	25	5	2	1	0	0	4.64	0.73
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	26	5	2	0	0	0	4.73	0.57
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	21	10	2	0	0	0	4.58	0.60
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	22	10	0	1	0	0	4.61	0.65



科目コード	1F0203	科目名	英語R1-1	担当教員名	佐藤真
-------	--------	-----	--------	-------	-----

<教員からのコメント>

「Review Test の解答を配って欲しい」という声がありました。前の週のテキストですし、20問のQuizもやっているので必要ないと思いました。後期からは解答も配ることにします。

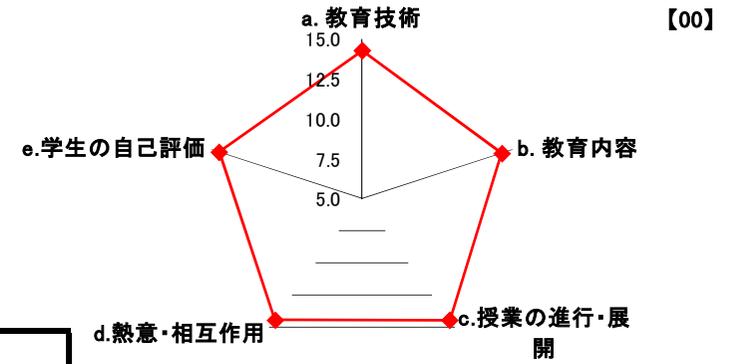
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	38	回収数	36	回収率	94.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R1-1

担当者:
川崎修一

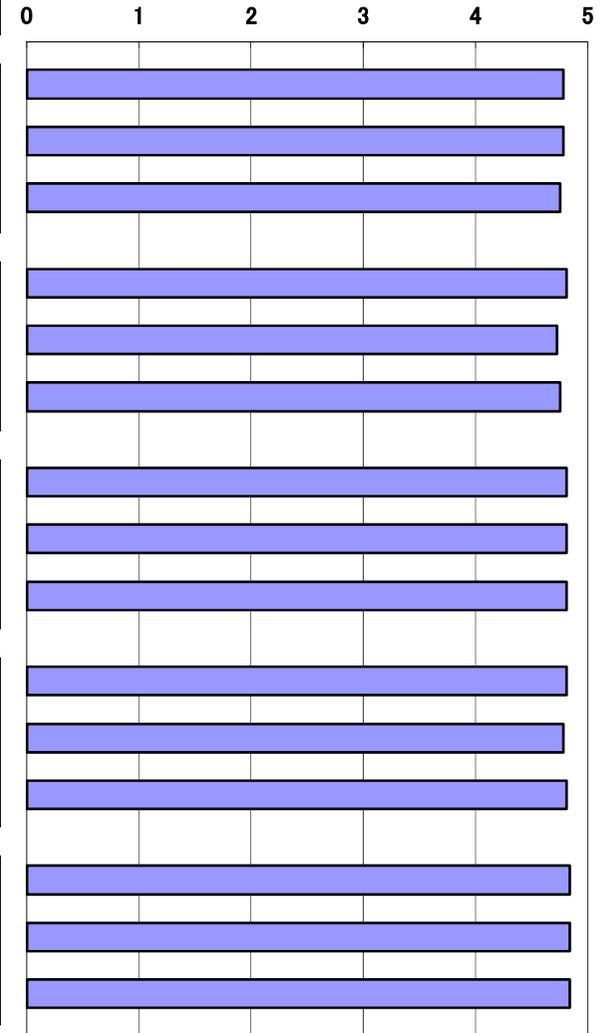
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	36	14.31	1.43
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	36	14.28	1.45
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	36	14.42	1.38
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	36	14.39	1.38
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	36	14.50	1.24



N=36

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	29	6	1	0	0	0	4.78	0.48
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	29	6	1	0	0	0	4.78	0.48
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	28	7	1	0	0	0	4.75	0.49
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	30	5	1	0	0	0	4.81	0.46
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	28	6	2	0	0	0	4.72	0.56
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	28	7	1	0	0	0	4.75	0.49
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	30	5	1	0	0	0	4.81	0.46
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	30	5	1	0	0	0	4.81	0.46
⑨	授業の進行速度は適切だった。	30	5	1	0	0	0	4.81	0.46
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	30	5	1	0	0	0	4.81	0.46
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	29	6	1	0	0	0	4.78	0.48
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	30	5	1	0	0	0	4.81	0.46
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	31	4	1	0	0	0	4.83	0.44
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	30	6	0	0	0	0	4.83	0.37
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	32	3	0	1	0	0	4.83	0.55



科目コード	1F0204	科目名	英語R1-1	担当教員名	川崎修一
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

過分な評価をありがとうございました。素晴らしい学生に恵まれたことに感謝します。指摘されていない至らない点も多くあったと思います。自省して来年度に活かしたいと思います。電車の遅延による遅刻の扱いは関係各所相談の上再考したいと思います。

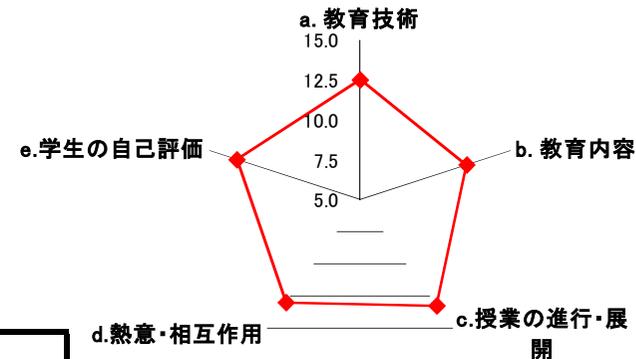
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	38	回収数	35	回収率	92.1%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語W1-1

担当者:
遠藤花子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	35	12.54	2.09
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	35	12.09	2.33
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	35	13.23	1.81
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	35	12.97	2.14
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	35	13.20	1.94

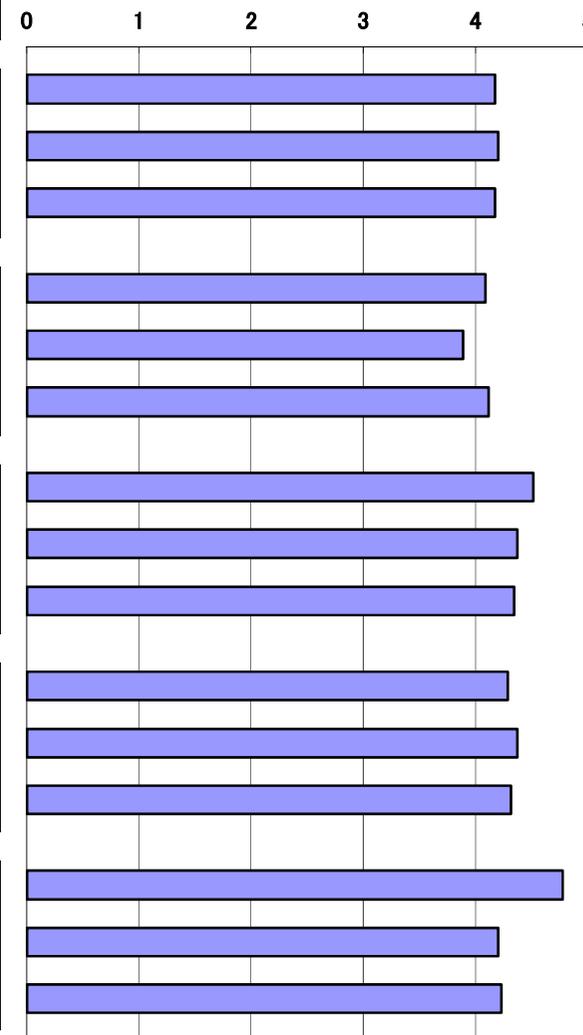


[00]

N=35

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	12	18	4	1	0	0	4.17	0.74
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	13	17	4	1	0	0	4.20	0.75
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	13	16	5	1	0	0	4.17	0.77
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	13	13	8	1	0	0	4.09	0.84
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	11	12	9	3	0	0	3.89	0.95
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	11	18	5	1	0	0	4.11	0.75
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	20	13	2	0	0	0	4.51	0.60
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	15	18	2	0	0	0	4.37	0.59
⑨	授業の進行速度は適切だった。	19	11	3	2	0	0	4.34	0.86
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	17	12	5	1	0	0	4.29	0.81
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	18	12	5	0	0	0	4.37	0.72
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	20	8	5	2	0	0	4.31	0.92
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	28	6	1	0	0	0	4.77	0.48
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	18	9	5	3	0	0	4.20	0.98
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	17	11	5	2	0	0	4.23	0.90



科目コード	1F0401	科目名	英語W1-1	担当教員名	遠藤花子
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

授業内で行う課題のエッセイは2回に1回くらいの割合で実施し、添削したものを一人ひとりにコメントをしながら返却した。中には難しい課題もあったと思うが、前期終了に近づくに従って、かなり実力を発揮した学生も見られ、また、書くことが好きだという意見が聞けたのは嬉しい限りである。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

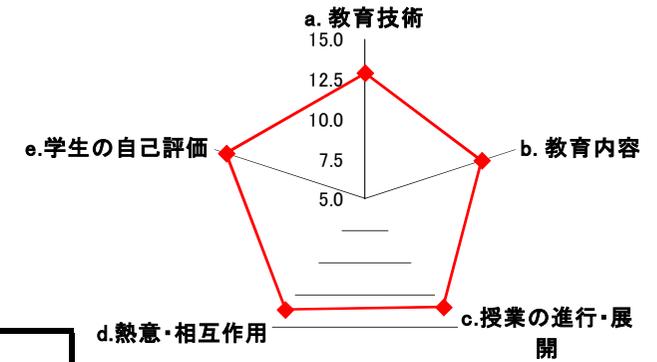
履修者数	34	回収数	34	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:英語W1-1

担当者:

David Baldwin

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	34	12.88	1.74
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	33	12.76	1.76
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	34	13.41	1.35
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	34	13.59	1.56
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	34	14.24	1.11

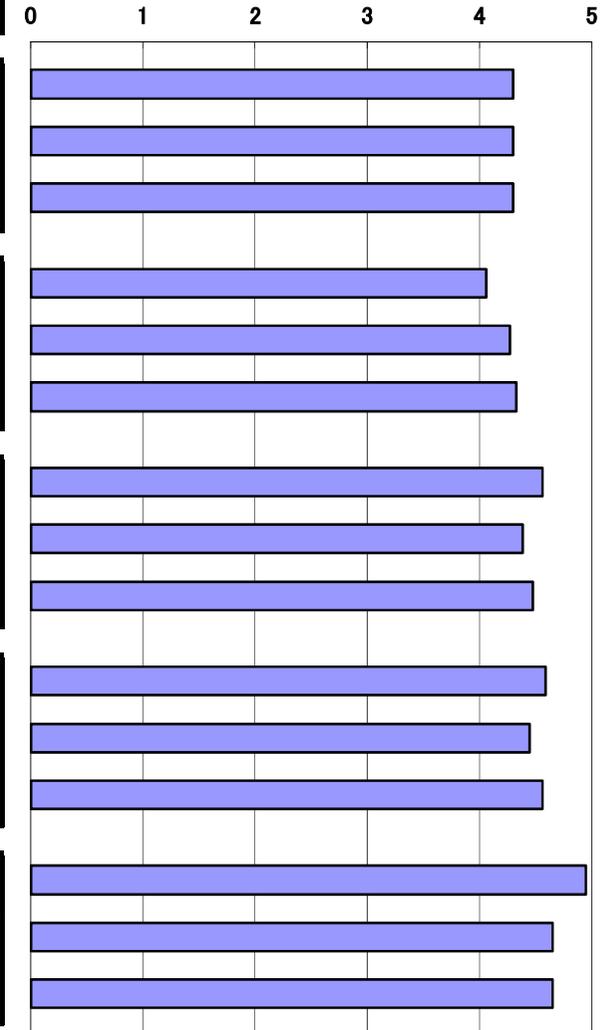


[00]

N=34

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	13	18	3	0	0	0	4.29	0.62
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	14	16	4	0	0	0	4.29	0.67
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	13	18	3	0	0	0	4.29	0.62
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	10	19	4	0	0	1	4.06	0.94
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	13	17	4	0	0	0	4.26	0.66
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	14	17	3	0	0	0	4.32	0.63
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	19	15	0	0	0	0	4.56	0.50
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	13	21	0	0	0	0	4.38	0.49
⑨	授業の進行速度は適切だった。	17	16	1	0	0	0	4.47	0.55
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	21	12	1	0	0	0	4.59	0.55
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	16	17	1	0	0	0	4.44	0.55
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	20	13	1	0	0	0	4.56	0.55
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	32	2	0	0	0	0	4.94	0.24
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	23	10	1	0	0	0	4.65	0.54
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	23	10	1	0	0	0	4.65	0.54



code	1F0402	subject	W1-1	NAME	David Baldwin
------	--------	---------	------	------	---------------

<commnet>

Thank you for taking up any writing assignment I give you. I hope it was challenging enough for you.

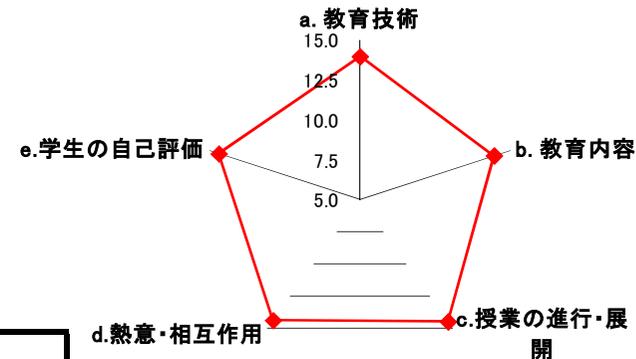
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	35	回収数	28	回収率	80.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語W1-1

担当者:
遠藤花子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	28	14.00	1.98
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	28	13.89	2.09
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	27	14.44	1.83
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	28	14.36	1.86
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	28	14.39	1.18

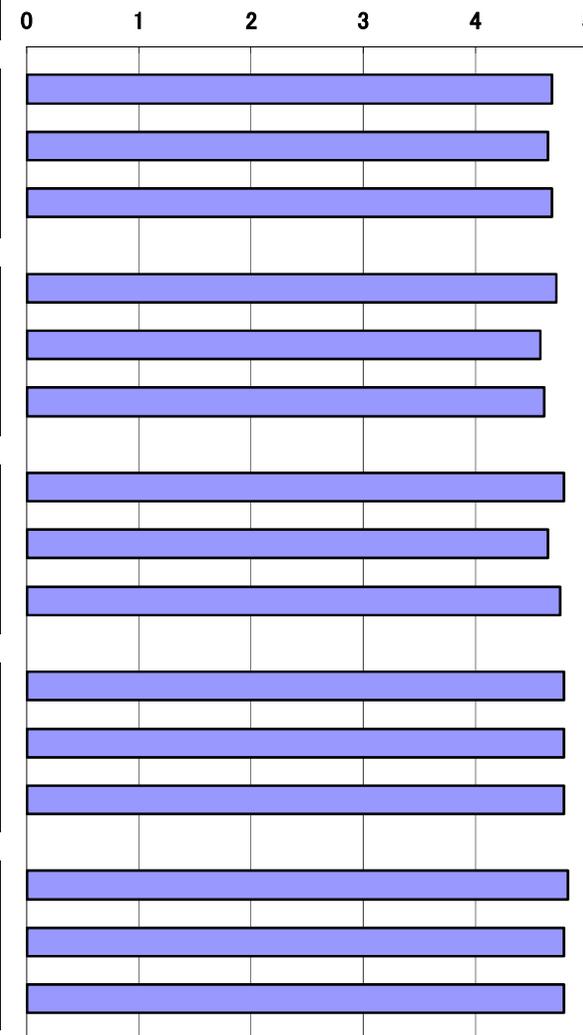


[00]

N=28

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	21	6	0	1	0	0	4.68	0.66
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	20	7	0	1	0	0	4.64	0.67
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	22	4	1	1	0	0	4.68	0.71
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	23	3	1	1	0	0	4.71	0.70
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	20	5	2	1	0	0	4.57	0.78
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	20	6	1	1	0	0	4.61	0.72
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	24	3	0	1	0	0	4.79	0.62
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	24	2	0	1	0	1	4.64	1.08
⑨	授業の進行速度は適切だった。	24	2	1	1	0	0	4.75	0.69
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	24	3	0	1	0	0	4.79	0.62
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	24	3	0	1	0	0	4.79	0.62
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	24	3	0	1	0	0	4.79	0.62
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	25	2	0	1	0	0	4.82	0.60
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	23	4	1	0	0	0	4.79	0.49
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	24	2	2	0	0	0	4.79	0.56



科目コード	1F0403	科目名	英語W1-1	担当教員名	遠藤花子
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

授業内で行う課題のエッセイは2回に1回くらいの割合で実施し、添削したものを一人ひとりにコメントをしながら返却した。中には難しい課題もあったと思うが、前期終了に近づくに従って、かなり実力を発揮した学生も見られ、また、書くことが好きだという意見が聞けたのは嬉しい限りである。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

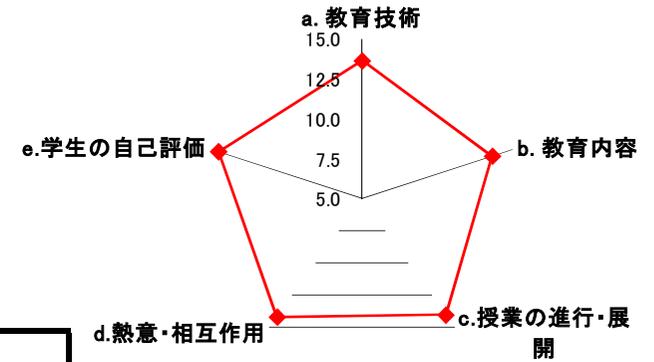
履修者数	38	回収数	34	回収率	89.5%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語W1-1

担当者:

David Baldwin

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	34	13.68	1.47
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	34	13.65	1.47
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	34	14.00	1.35
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	33	14.18	1.22
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	34	14.56	0.98

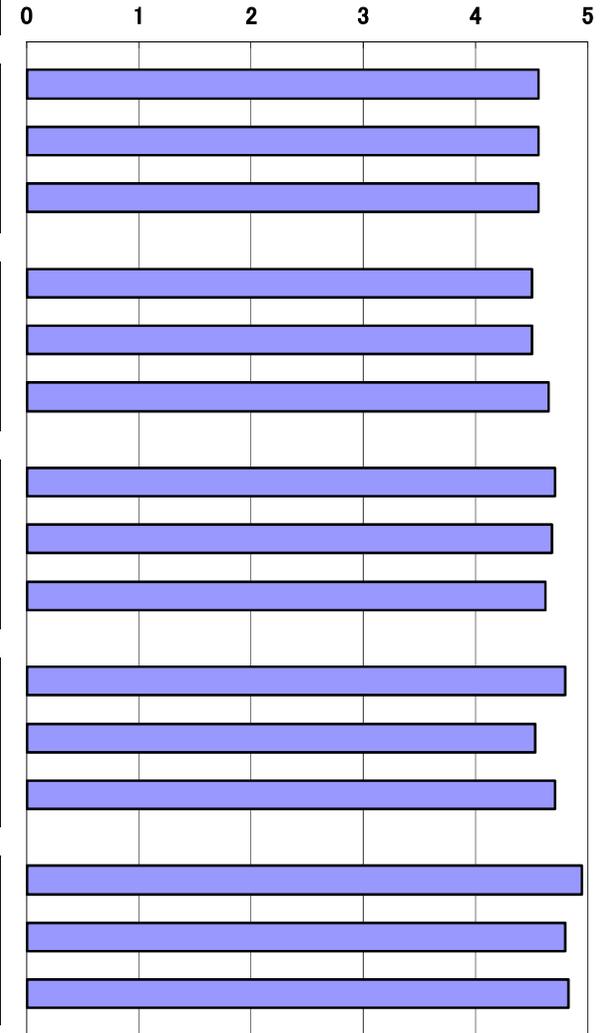


[00]

N=34

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	19	15	0	0	0	0	4.56	0.50
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	19	15	0	0	0	0	4.56	0.50
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	20	13	1	0	0	0	4.56	0.55
58.8		38.2	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0		
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	18	15	1	0	0	0	4.50	0.56
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	19	14	0	1	0	0	4.50	0.65
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	22	12	0	0	0	0	4.65	0.48
64.7		35.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	24	10	0	0	0	0	4.71	0.46
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	23	11	0	0	0	0	4.68	0.47
⑨	授業の進行速度は適切だった。	22	11	1	0	0	0	4.62	0.54
64.7		32.4	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0		
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	27	7	0	0	0	0	4.79	0.40
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	22	11	0	0	0	1	4.53	0.92
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	25	8	1	0	0	0	4.71	0.52
73.5		23.5	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0		
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	32	2	0	0	0	0	4.94	0.24
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	28	5	1	0	0	0	4.79	0.47
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	28	6	0	0	0	0	4.82	0.38
82.4		17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		



code	1F0404	subject	W1-1	NAME	David Baldwin
------	--------	---------	------	------	---------------

<commnet>

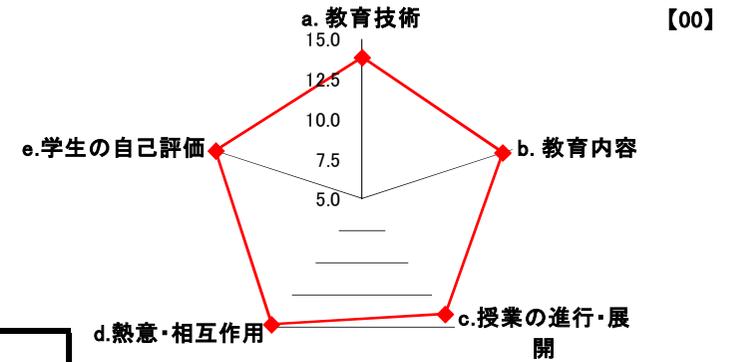
This class was a lot of fun to teach. I especially liked the drawings you made of idioms. Keep working hard.

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	25	回収数	23	回収率	92.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語LS1-1
 担当者:
 Benjamin Tutcher

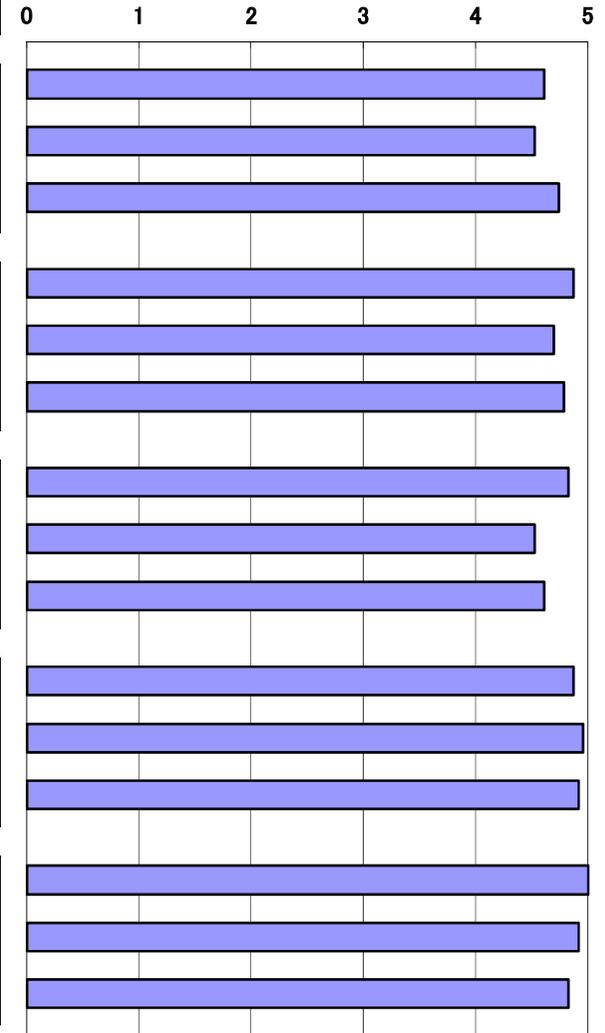
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	23	13.87	1.48
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	23	14.35	1.31
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	23	13.96	1.30
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	23	14.74	0.61
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	23	14.74	0.53



N=23

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	15	7	1	0	0	0	4.61	0.57
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	14	7	2	0	0	0	4.52	0.65
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	18	4	1	0	0	0	4.74	0.53
78.3		17.4	4.3	0.0	0.0	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	20	3	0	0	0	0	4.87	0.34
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	17	5	1	0	0	0	4.70	0.55
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	19	3	1	0	0	0	4.78	0.51
82.6		13.0	4.3	0.0	0.0	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	19	4	0	0	0	0	4.83	0.38
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	14	7	2	0	0	0	4.52	0.65
⑨	授業の進行速度は適切だった。	16	5	2	0	0	0	4.61	0.64
69.6		21.7	8.7	0.0	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	20	3	0	0	0	0	4.87	0.34
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	22	1	0	0	0	0	4.96	0.20
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	21	2	0	0	0	0	4.91	0.28
91.3		8.7	0.0	0.0	0.0	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	23	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	21	2	0	0	0	0	4.91	0.28
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	19	4	0	0	0	0	4.83	0.38
82.6		17.4	0.0	0.0	0.0	0.0			



code	1F0601	subject	LS1-1	NAMAE	Ben Tutcher
------	--------	---------	-------	-------	-------------

<commnet>

I have enjoyed teaching this group of students very much. They have an excellent group character, as well as individual characters, which makes classes fun and interesting. They display creativity and innovation in thought and attempt to complete any task I set them with enthusiasm. As with all classes I have been interested to see how they grow through the academic year and this class has been a pleasure to observe and teach. Thank you students!

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

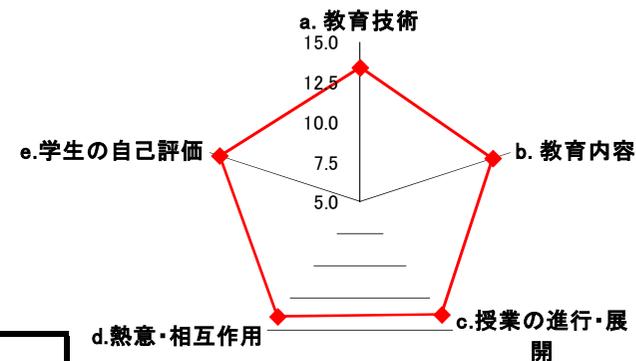
履修者数	23	回収数	21	回収率	91.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語LS1-1

担当者:

Tony Dani

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	21	13.43	1.40
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	21	13.81	1.43
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	21	13.76	1.41
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	21	13.90	1.41
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	21	14.33	1.13

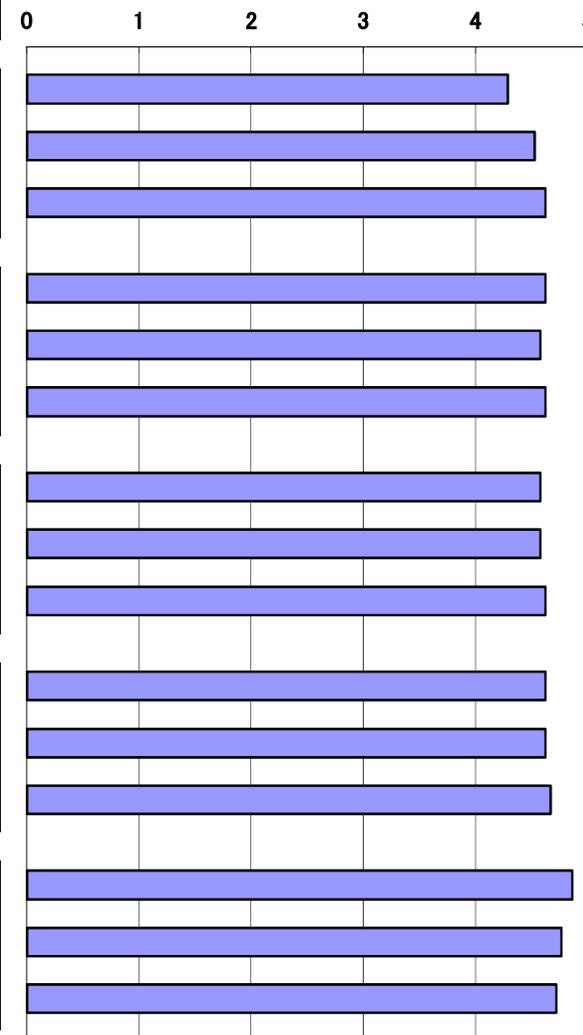


[00]

N=21

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	8	11	2	0	0	0	4.29	0.63
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	12	8	1	0	0	0	4.52	0.59
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	13	8	0	0	0	0	4.62	0.49
61.9		38.1	0.0	0.0	0.0	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	13	8	0	0	0	0	4.62	0.49
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	12	9	0	0	0	0	4.57	0.49
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	13	8	0	0	0	0	4.62	0.49
61.9		38.1	0.0	0.0	0.0	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	12	9	0	0	0	0	4.57	0.49
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	12	9	0	0	0	0	4.57	0.49
⑨	授業の進行速度は適切だった。	13	8	0	0	0	0	4.62	0.49
61.9		38.1	0.0	0.0	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	13	8	0	0	0	0	4.62	0.49
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	13	8	0	0	0	0	4.62	0.49
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	14	7	0	0	0	0	4.67	0.47
66.7		33.3	0.0	0.0	0.0	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	18	3	0	0	0	0	4.86	0.35
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	16	5	0	0	0	0	4.76	0.43
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	15	6	0	0	0	0	4.71	0.45
71.4		28.6	0.0	0.0	0.0	0.0			



code	1F0602	subject	LS1-1	NAMAE	Tony Dany
------	--------	---------	-------	-------	-----------

<commnet>

Something which I have continued to incorporate into my classes from last academic year is what I call a 'Photo Diary'. Each week, each student takes a photo or short video of something interesting which they experience. At the start of each lesson, they have talk about those images or video. It gives the students the opportunity to communicate in English with their classmates in a relaxed manner, which in turn, increases their confidence, vocabulary and grammar. Having this at the start of each class is an ideal way to prepare the class for the more focussed textbook work which follows.

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

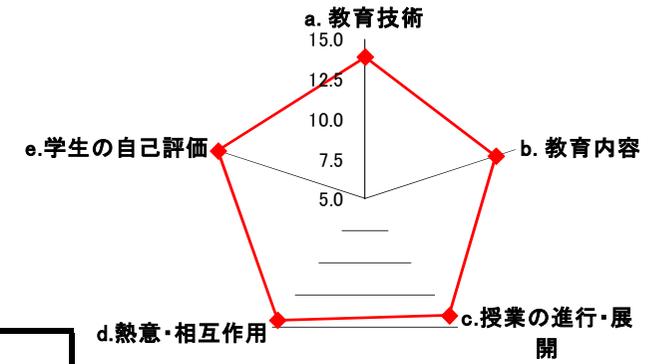
履修者数	22	回収数	19	回収率	86.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語LS1-1

担当者:

David Baldwin

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	19	13.89	1.41
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	19	13.68	1.62
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	19	14.05	1.23
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	19	14.42	1.04
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	19	14.79	0.52

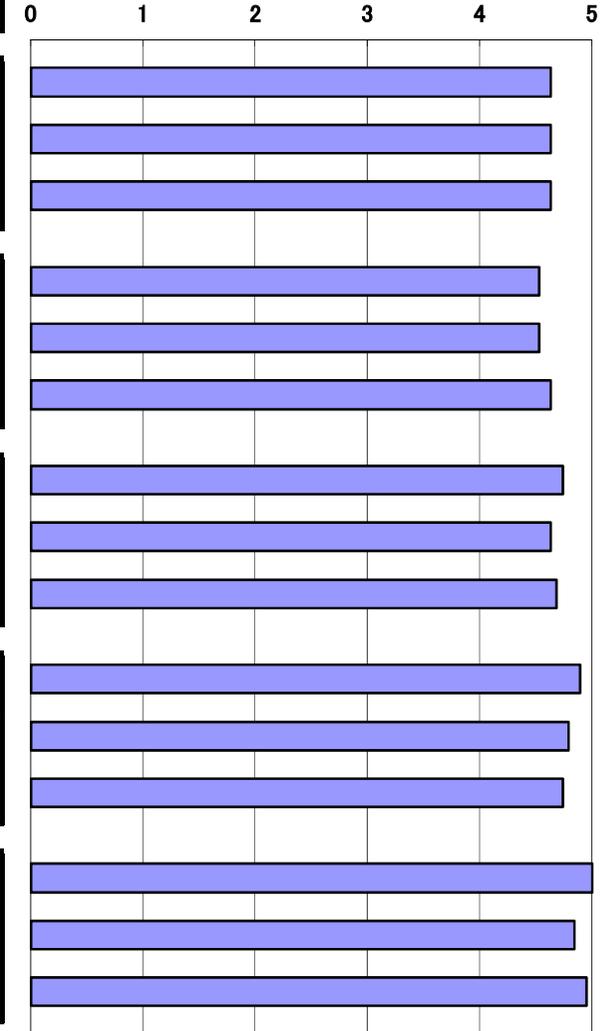


[00]

N=19

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	12	7	0	0	0	0	4.63	0.48
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	12	7	0	0	0	0	4.63	0.48
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	13	5	1	0	0	0	4.63	0.58
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	11	7	1	0	0	0	4.53	0.60
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	11	7	1	0	0	0	4.53	0.60
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	13	5	1	0	0	0	4.63	0.58
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	14	5	0	0	0	0	4.74	0.44
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	12	7	0	0	0	0	4.63	0.48
⑨	授業の進行速度は適切だった。	13	6	0	0	0	0	4.68	0.46
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	17	2	0	0	0	0	4.89	0.31
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	15	4	0	0	0	0	4.79	0.41
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	15	3	1	0	0	0	4.74	0.55
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	19	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	16	3	0	0	0	0	4.84	0.36
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	18	1	0	0	0	0	4.95	0.22



code	1F0603	subject	LS1-1	NAME	David Baldwin
------	--------	---------	-------	------	---------------

<commnet>

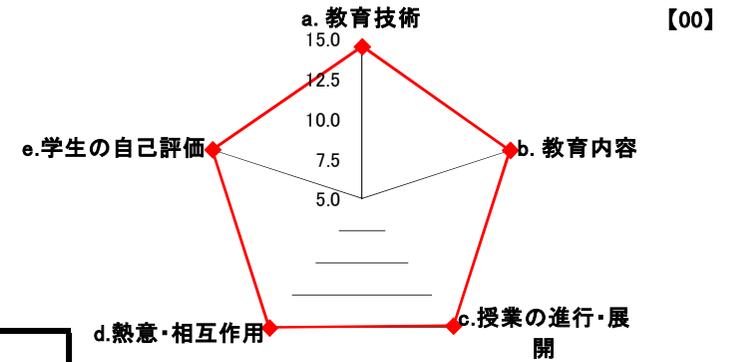
Keep up the hard work. I know that we stand up a lot in class but it is good for your health and for learning. I was impressed by the posters you made. Good job so far.

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	26	回収数	25	回収率	96.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語LS1-1
 担当者:
 Benjamin Tutcher

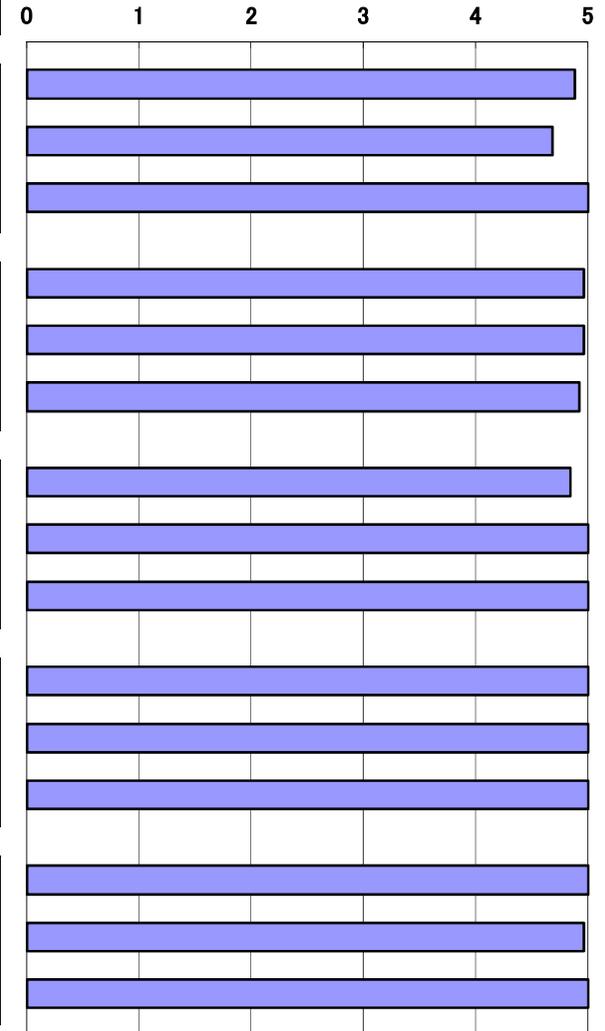
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	25	14.56	0.98
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	25	14.84	0.61
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	25	14.84	0.37
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	25	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	25	14.96	0.20



N=25

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	22	3	0	0	0	0	4.88	0.32
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	20	2	3	0	0	0	4.68	0.68
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	25	0	0	0	0	0	5.00	0.00
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	24	1	0	0	0	0	4.96	0.20
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	24	1	0	0	0	0	4.96	0.20
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	23	2	0	0	0	0	4.92	0.27
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	21	4	0	0	0	0	4.84	0.37
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	25	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑨	授業の進行速度は適切だった。	25	0	0	0	0	0	5.00	0.00
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	25	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	25	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	25	0	0	0	0	0	5.00	0.00
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	25	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	24	1	0	0	0	0	4.96	0.20
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	25	0	0	0	0	0	5.00	0.00



code	1F0604	subject	LS1-1	NAMAE	Ben Tutcher
------	--------	---------	-------	-------	-------------

<commnet>

I am happy the students seem to have enjoyed the classes and gained something from them. I try to make sure my classes have enough variety in topics and activities to be interesting to most students. I have enjoyed seeing the class progress and change as they become more familiar and comfortable with expressing themselves in English. I hope what the students learn will be valuable to them in their future.

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

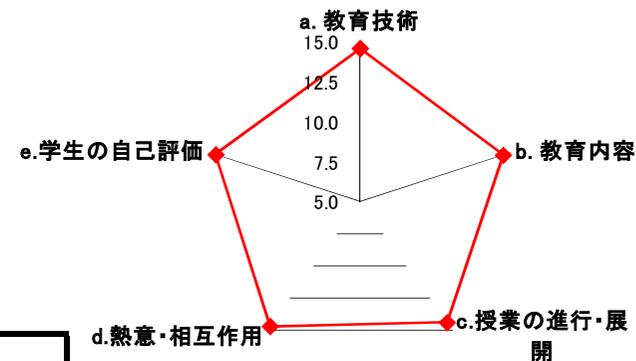
履修者数	24	回収数	21	回収率	87.5%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語LS1-1

担当者:

Tony Dani

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	21	14.62	0.90
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	21	14.52	1.40
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	20	14.35	0.96
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	21	14.67	0.84
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	21	14.62	1.05

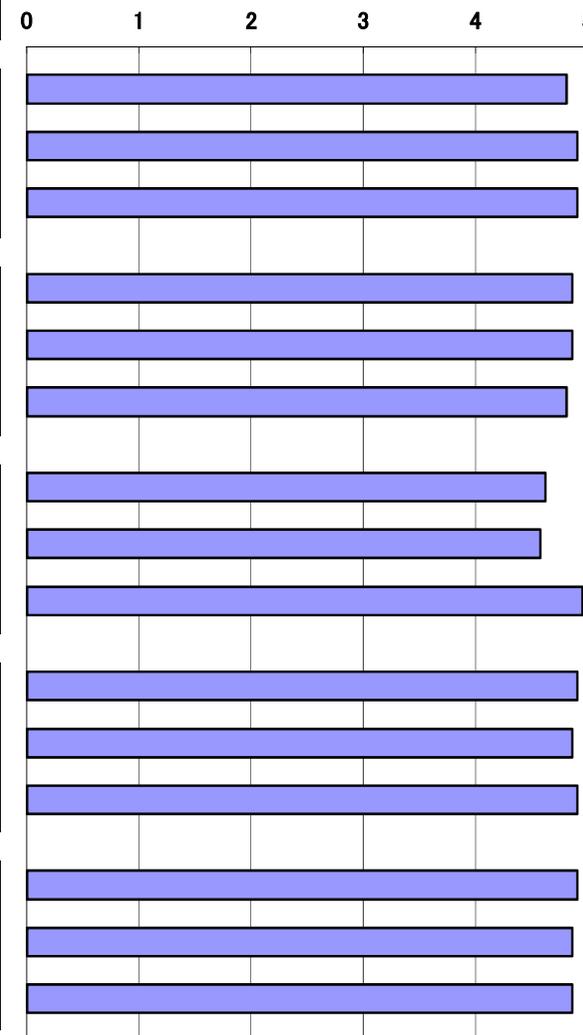


[00]

N=21

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	17	4	0	0	0	0	4.81	0.39
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	19	2	0	0	0	0	4.90	0.29
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	19	2	0	0	0	0	4.90	0.29
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	18	3	0	0	0	0	4.86	0.35
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	19	1	1	0	0	0	4.86	0.47
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	19	1	0	1	0	0	4.81	0.66
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	15	4	2	0	0	0	4.62	0.65
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	16	4	0	0	0	1	4.57	1.09
⑨	授業の進行速度は適切だった。	20	1	0	0	0	0	4.95	0.21
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	19	2	0	0	0	0	4.90	0.29
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	18	3	0	0	0	0	4.86	0.35
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	19	2	0	0	0	0	4.90	0.29
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	19	2	0	0	0	0	4.90	0.29
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	19	1	1	0	0	0	4.86	0.47
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	19	1	1	0	0	0	4.86	0.47



code	1F0605	subject	LS1-1	NAMAE	Tony Dany
------	--------	---------	-------	-------	-----------

<commnet>

As always, its important and useful for me to receive feedback from my students. Naturally, I'm pleased to read that my students have enjoyed and benefited from my classes. Of course, this is something I can sense directly every week during my class. I continue to teach my classes using a combination of textbook and textbook related activities which challenge and extend my students English language skills.

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

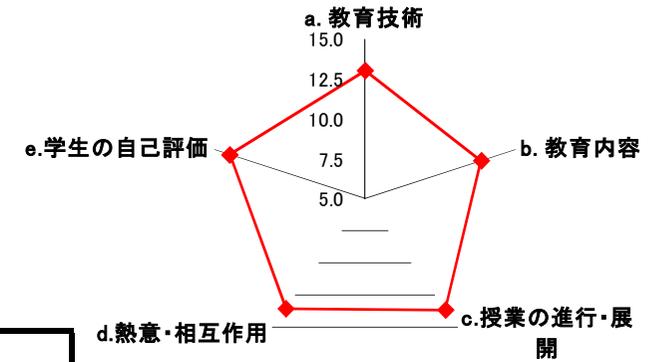
履修者数	23	回収数	21	回収率	91.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語LS1-1

担当者:

David Baldwin

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	21	13.05	1.40
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	21	12.71	2.27
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	21	13.62	1.46
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	21	13.52	1.71
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	21	14.00	1.27

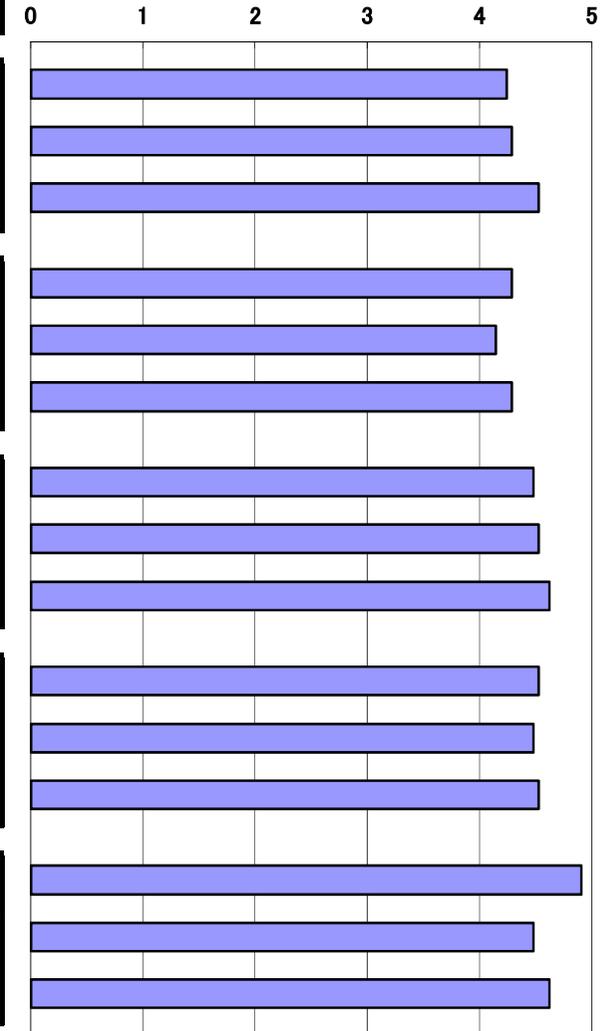


[00]

N=21

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	6	14	1	0	0	0	4.24	0.53
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	7	13	1	0	0	0	4.29	0.55
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11	10	0	0	0	0	4.52	0.50
52.4		47.6	0.0	0.0	0.0	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	10	7	4	0	0	0	4.29	0.76
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	9	6	6	0	0	0	4.14	0.83
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	10	7	4	0	0	0	4.29	0.76
47.6		33.3	19.0	0.0	0.0	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	11	9	1	0	0	0	4.48	0.59
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	11	10	0	0	0	0	4.52	0.50
⑨	授業の進行速度は適切だった。	13	8	0	0	0	0	4.62	0.49
61.9		38.1	0.0	0.0	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	12	8	1	0	0	0	4.52	0.59
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	11	9	1	0	0	0	4.48	0.59
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	12	8	1	0	0	0	4.52	0.59
57.1		38.1	4.8	0.0	0.0	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	19	2	0	0	0	0	4.90	0.29
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	12	7	2	0	0	0	4.48	0.66
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	14	6	1	0	0	0	4.62	0.58
66.7		28.6	4.8	0.0	0.0	0.0			



code	1F0606	subject	LS1-1	NAME	David Baldwin
------	--------	---------	-------	------	---------------

<commnet>

Thank you for being such a positive class this first semester. I look forward to teaching you every Thursday. Please use the time in class to use as much English as possible.

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

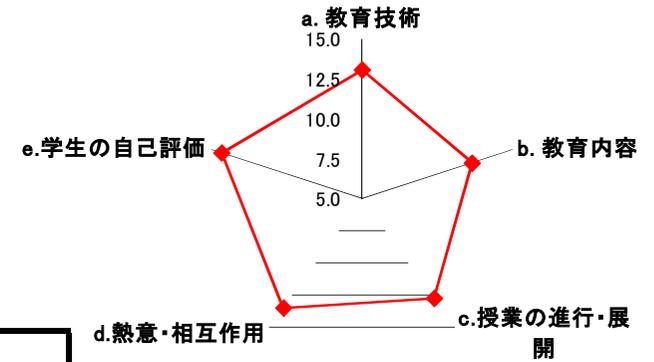
履修者数	36	回収数	33	回収率	91.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R2-1

担当者:

皆川 健次郎

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	33	13.09	2.15
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	33	12.30	2.74
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	33	12.73	2.43
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	32	13.47	1.94
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	33	14.33	1.53

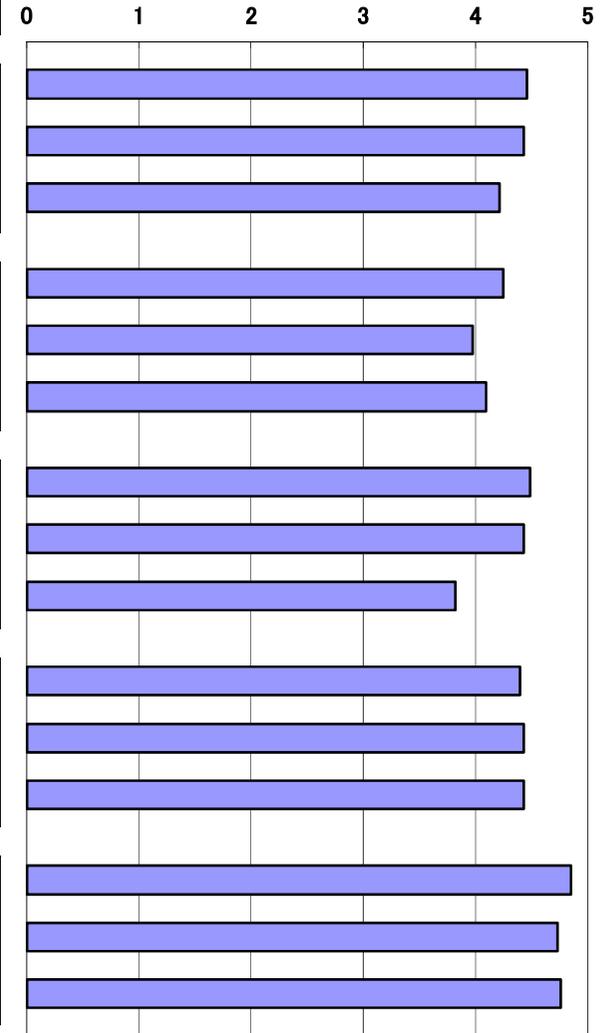


[00]

N=33

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	20	8	5	0	0	0	4.45	0.74
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	19	9	5	0	0	0	4.42	0.74
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	18	7	5	3	0	0	4.21	1.01
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	17	10	4	1	1	0	4.24	0.99
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	13	9	9	1	1	0	3.97	1.03
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	16	6	9	2	0	0	4.09	1.00
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	21	8	3	1	0	0	4.48	0.78
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	19	9	5	0	0	0	4.42	0.74
⑨	授業の進行速度は適切だった。	15	4	8	5	1	0	3.82	1.24
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	19	8	6	0	0	0	4.39	0.78
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	19	9	5	0	0	0	4.42	0.74
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	21	8	3	0	0	1	4.42	1.02
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	30	1	2	0	0	0	4.85	0.50
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	26	5	2	0	0	0	4.73	0.57
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	27	4	2	0	0	0	4.76	0.55



科目コード	1F0801	科目名	英語R2-1	担当教員名	皆川健次郎
-------	--------	-----	--------	-------	-------

<教員からのコメント>
もう少し速く進みたいと思います。

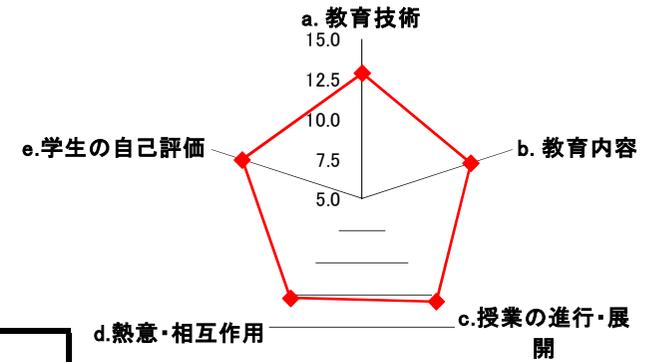
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	36	回収数	35	回収率	97.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R2-1

担当者:
富田佳子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	35	12.89	2.31
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	35	12.23	3.00
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	35	12.97	2.38
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	35	12.71	2.43
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	35	12.97	2.43



[00]

N=35

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	18	12	4	1	0	0	4.34	0.79
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	16	12	6	1	0	0	4.23	0.83
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	18	11	5	1	0	0	4.31	0.82

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	17	9	6	3	0	0	4.14	0.99
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	15	10	6	3	1	0	4.00	1.10
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	15	11	6	3	0	0	4.09	0.97

c. 授業の進行・展開

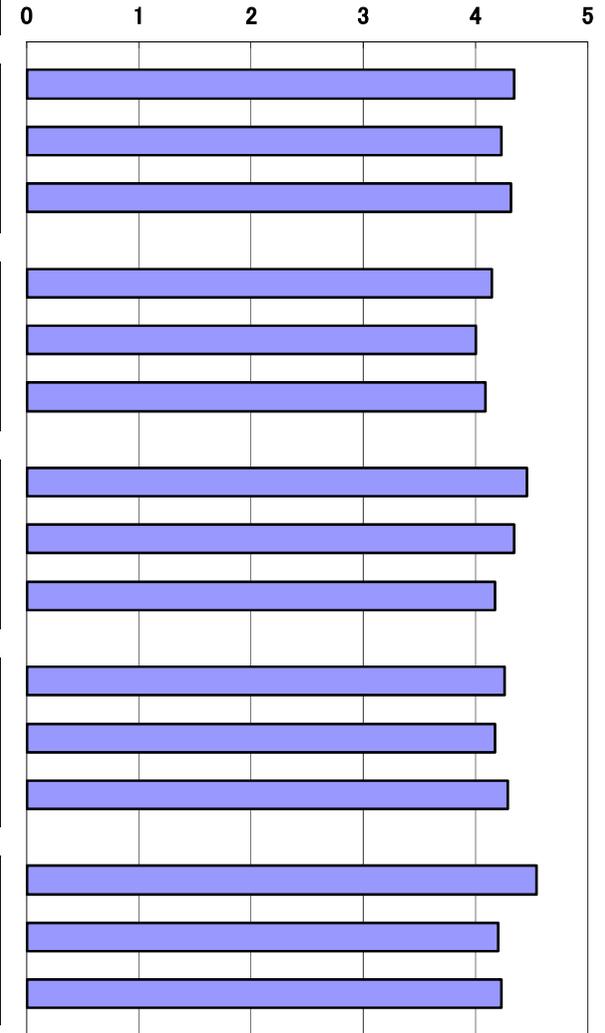
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	21	10	3	1	0	0	4.46	0.77
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	19	10	5	1	0	0	4.34	0.83
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	17	9	7	2	0	0	4.17	0.94

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	16	13	5	1	0	0	4.26	0.81
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	15	13	5	2	0	0	4.17	0.88
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	18	10	6	1	0	0	4.29	0.85

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	24	7	3	1	0	0	4.54	0.77
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	18	8	7	2	0	0	4.20	0.95
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	18	9	6	2	0	0	4.23	0.93



科目コード	1F0802	科目名	英語R2-1	担当教員名	富田佳子
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

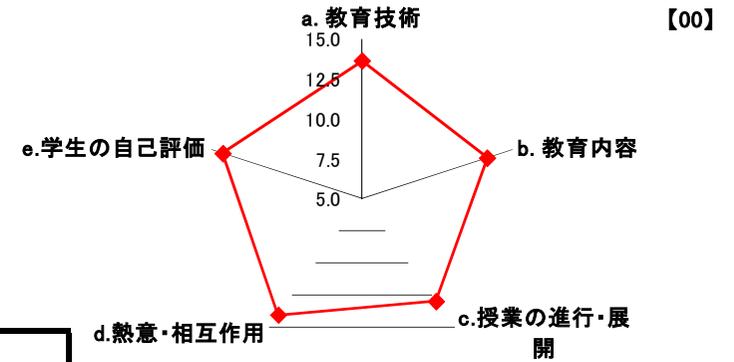
毎回の復習テストに加えてさまざまな英文を精読していく、学生のみなさんにとって負担の大きい授業でした。個人個人の授業参加が重要である授業形態でしたので、アンケート項目の「学生の自己評価」が比較的高いことは、今後の励みとなりそうです。授業の内容・その他については、みなさんからいただいたコメントをもとに、改善できるところを極力検討していきたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	42	回収数	36	回収率	85.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R2-1
 担当者:
 皆川 健次郎

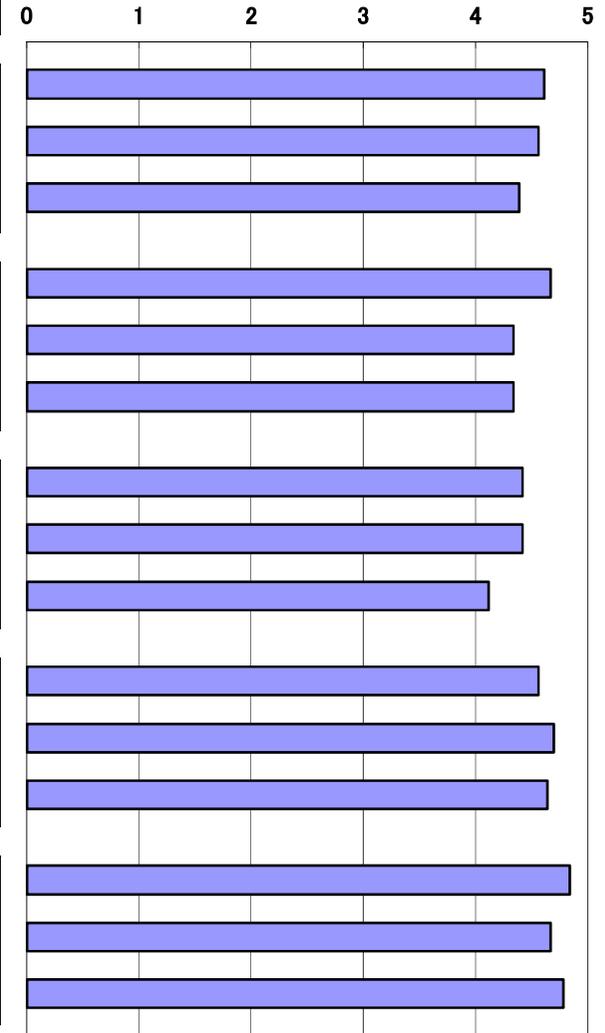
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	35	13.66	2.14
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	36	13.33	2.24
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	36	12.94	2.92
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	35	14.03	1.65
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	36	14.28	1.10



N=36

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	25	8	3	0	0	0	4.61	0.64
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	24	9	2	1	0	0	4.56	0.72
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	23	9	2	0	1	1	4.39	1.11
63.9		25.0	5.6	0.0	2.8	2.8			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	26	8	2	0	0	0	4.67	0.58
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	21	8	5	2	0	0	4.33	0.91
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	21	9	4	1	1	0	4.33	0.97
58.3		25.0	11.1	2.8	2.8	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	24	7	1	4	0	0	4.42	0.98
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	24	6	3	3	0	0	4.42	0.95
⑨	授業の進行速度は適切だった。	20	7	4	3	2	0	4.11	1.22
55.6		19.4	11.1	8.3	5.6	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	24	9	2	1	0	0	4.56	0.72
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	27	7	2	0	0	0	4.69	0.57
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	27	8	0	0	0	1	4.64	0.89
75.0		22.2	0.0	0.0	0.0	2.8			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	30	6	0	0	0	0	4.83	0.37
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	26	8	2	0	0	0	4.67	0.58
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	29	6	1	0	0	0	4.78	0.48
80.6		16.7	2.8	0.0	0.0	0.0			



科目コード	1F0803	科目名	英語R2-1	担当教員名	皆川健次郎
-------	--------	-----	--------	-------	-------

<教員からのコメント>

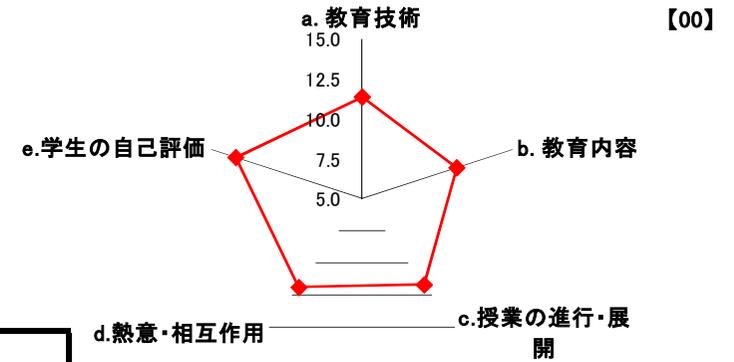
復習を少なくして、もう少し速く進むようにしたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	41	回収数	38	回収率	92.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R2-1
 担当者:
 富田佳子

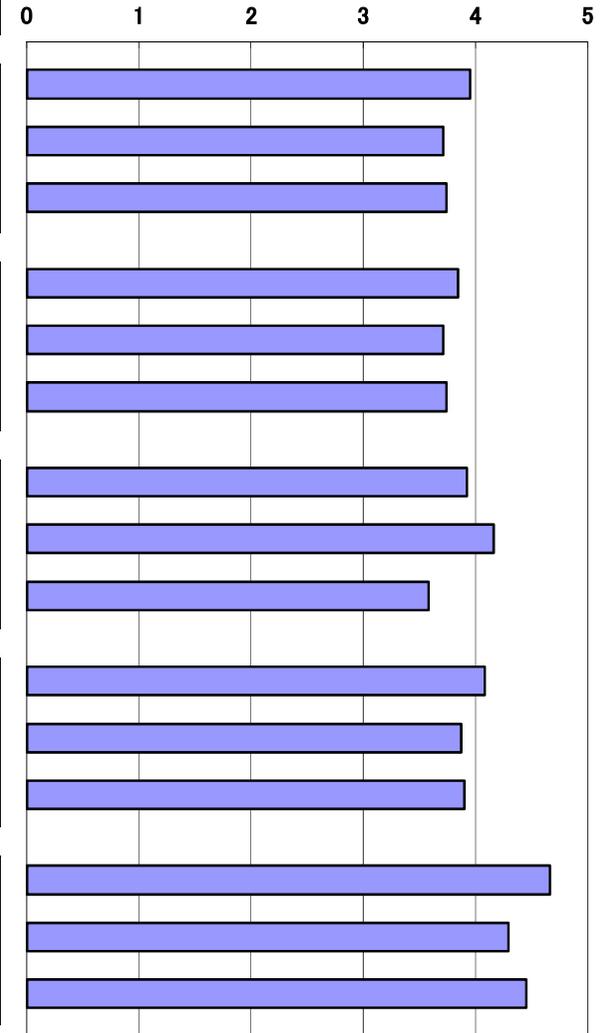
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	38	11.39	3.42
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	38	11.29	3.49
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	38	11.66	2.78
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	38	11.84	3.17
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	38	13.39	1.84



N=38

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	17	12	3	2	4	0	3.95	1.30
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	11	14	7	3	3	0	3.71	1.19
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	13	13	4	5	3	0	3.74	1.27
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	11	18	4	2	3	0	3.84	1.14
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	13	12	5	5	3	0	3.71	1.28
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	12	14	6	2	4	0	3.74	1.25
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	13	15	5	4	1	0	3.92	1.06
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	15	15	7	1	0	0	4.16	0.81
⑨	授業の進行速度は適切だった。	11	10	10	4	3	0	3.58	1.23
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	16	13	6	2	1	0	4.08	1.01
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	13	15	5	2	3	0	3.87	1.17
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	14	13	7	1	3	0	3.89	1.17
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	27	9	2	0	0	0	4.66	0.57
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	20	12	4	1	1	0	4.29	0.94
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	23	9	6	0	0	0	4.45	0.75



科目コード	1F0804	科目名	英語R2-1	担当教員名	富田佳子
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

毎回の復習テストに加えてさまざまな英文を精読していく、学生のみなさんにとって負担の大きい授業でした。個人個人の授業参加が重要である授業形態でしたので、アンケート項目の「学生の自己評価」が比較的高いことは、今後の励みとなりそうです。授業の内容・その他については、みなさんからいただいたコメントをもとに、改善できるところを極力検討していきたいと思ひます。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

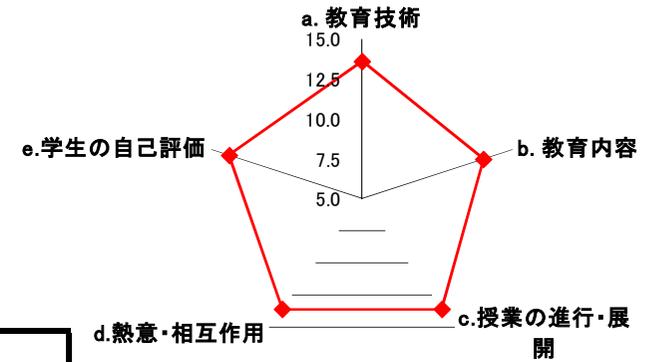
履修者数	10	回収数	14	回収率	140.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:英語W2-1

担当者:

佐藤真

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	14	13.64	1.84
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	14	13.07	2.15
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	14	13.57	1.84
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	14	13.57	1.84
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	14	13.86	1.81

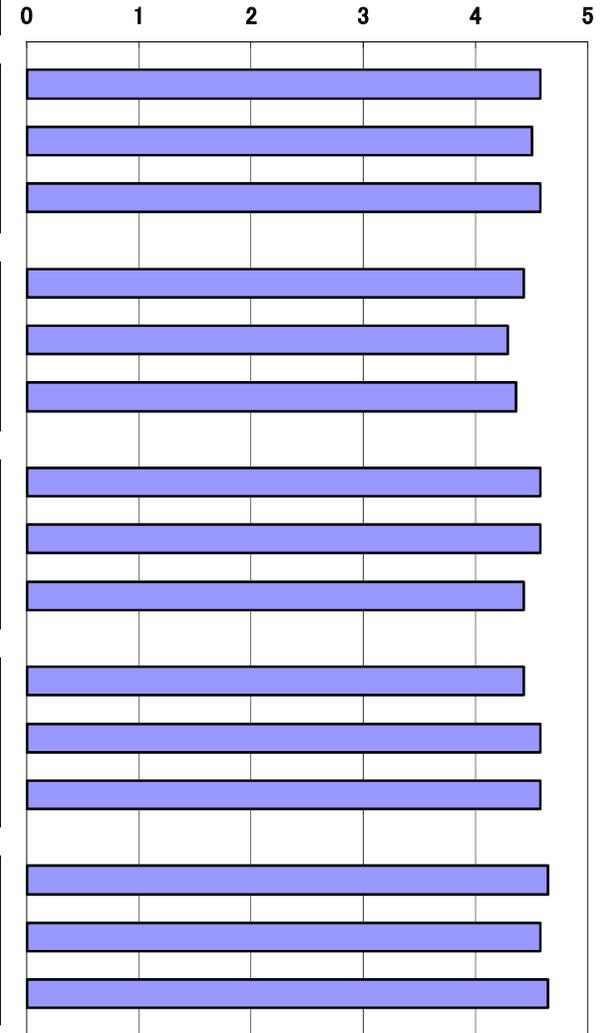


[00]

N=14

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	9	4	1	0	0	0	4.57	0.62
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	8	5	1	0	0	0	4.50	0.63
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	9	4	1	0	0	0	4.57	0.62
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	8	4	2	0	0	0	4.43	0.73
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	7	4	3	0	0	0	4.29	0.80
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	7	5	2	0	0	0	4.36	0.72
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	9	4	1	0	0	0	4.57	0.62
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9	4	1	0	0	0	4.57	0.62
⑨	授業の進行速度は適切だった。	8	4	2	0	0	0	4.43	0.73
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	8	4	2	0	0	0	4.43	0.73
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	9	4	1	0	0	0	4.57	0.62
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	9	4	1	0	0	0	4.57	0.62
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	10	3	1	0	0	0	4.64	0.61
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9	4	1	0	0	0	4.57	0.62
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	10	3	1	0	0	0	4.64	0.61



科目コード	1F1001	科目名	英語W2-1	担当教員名	佐藤真
-------	--------	-----	--------	-------	-----

<教員からのコメント>

「よくわからないことがあった」というコメントがありました。わかりやすくしたいという思いで、ひとつのことを異なる言い方で説明することもありました。かえってわかりにくくしたのかな、という気もしますので、説明方法を考えてみます。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

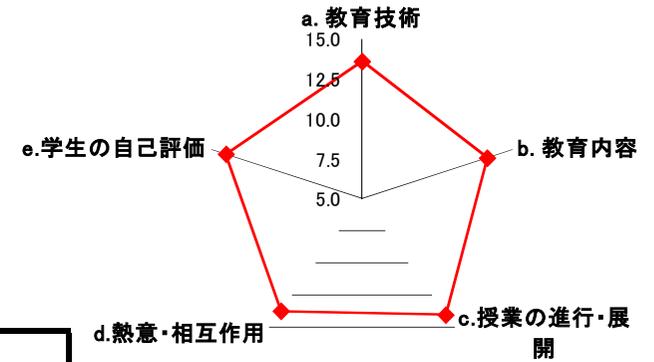
履修者数	13	回収数	15	回収率	115.4%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:英語W2-1

担当者:

佐藤真

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	14	13.64	1.95
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	15	13.33	2.33
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	15	14.00	1.79
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	15	13.73	1.84
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	14	14.07	1.75

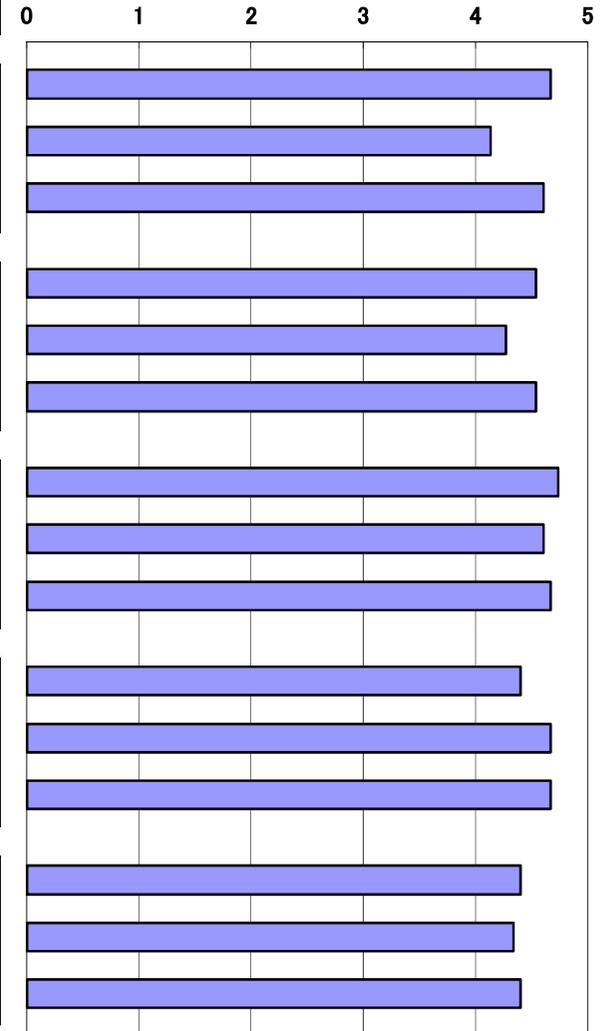


[00]

N=15

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	11	3	1	0	0	0	4.67	0.60
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	9	2	3	0	0	1	4.13	1.36
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	10	4	1	0	0	0	4.60	0.61
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	10	3	2	0	0	0	4.53	0.72
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	9	2	3	1	0	0	4.27	1.00
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	10	3	2	0	0	0	4.53	0.72
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	12	2	1	0	0	0	4.73	0.57
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	11	2	2	0	0	0	4.60	0.71
⑨	授業の進行速度は適切だった。	11	3	1	0	0	0	4.67	0.60
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	9	3	3	0	0	0	4.40	0.80
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	11	3	1	0	0	0	4.67	0.60
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	11	3	1	0	0	0	4.67	0.60
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	11	2	1	0	0	1	4.40	1.31
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10	3	1	0	0	1	4.33	1.30
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	11	2	1	0	0	1	4.40	1.31



科目コード	1F1002	科目名	英語W2-1	担当教員名	佐藤真
-------	--------	-----	--------	-------	-----

<教員からのコメント>

「何をすると決まりからはずれているのかわかりにくかった」という声があります。「このように書きます」という側を中心に説明をしてきました。あまり「あれもだめ、これもだめ」という事を言いすぎると書きにくいだらうと思ってそうしてきました。必要そうなところでは、「これはだめ」という説明も加えることを検討します。

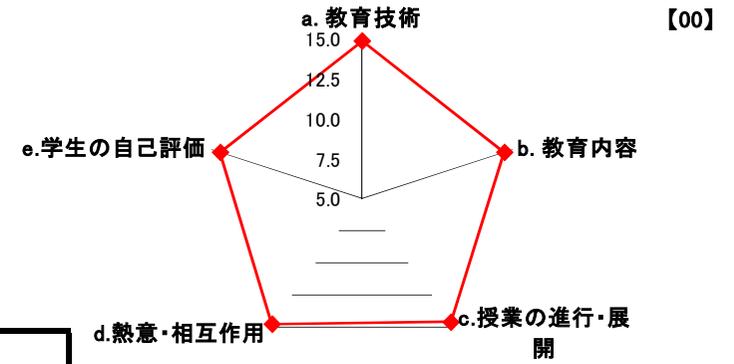
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	12	回収数	11	回収率	91.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語W2-1

担当者:
川崎修一

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	11	14.91	0.29
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	11	14.45	1.16
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	11	14.55	0.89
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	11	14.73	0.86
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	11	14.45	0.99



N=11

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	11	0	0	0	0	0	5.00	0.00
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11	0	0	0	0	0	5.00	0.00

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	9	1	1	0	0	0	4.73	0.62
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	9	2	0	0	0	0	4.82	0.39

c. 授業の進行・展開

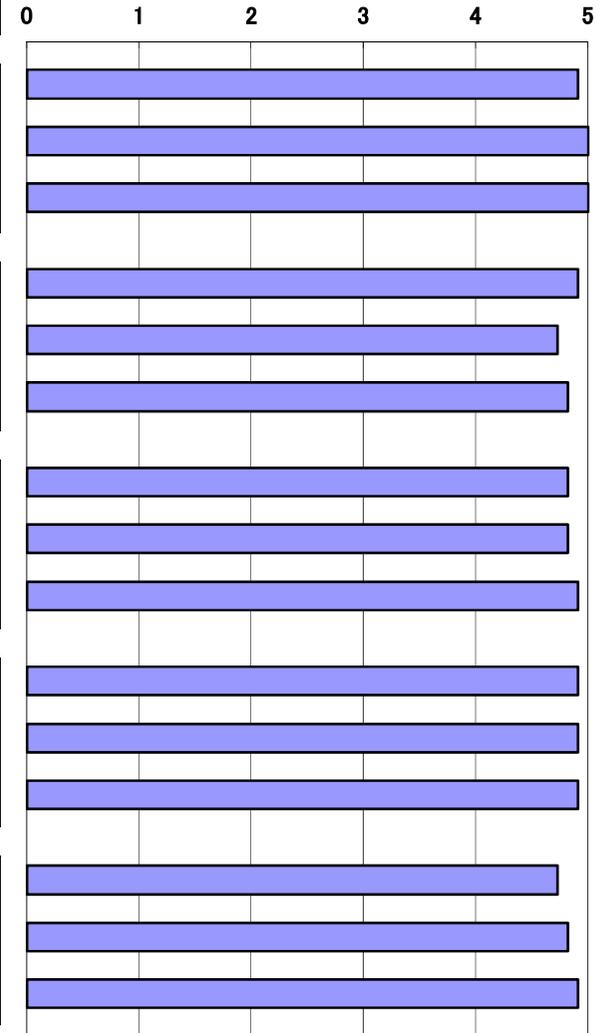
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	9	2	0	0	0	0	4.82	0.39
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9	2	0	0	0	0	4.82	0.39
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	8	3	0	0	0	0	4.73	0.45
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9	2	0	0	0	0	4.82	0.39
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29



科目コード	1F1003	科目名	英語W2-1	担当教員名	川崎修一
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

過分な評価をありがとうございました。素晴らしい学生に恵まれたことに感謝します。指摘を受けた課題添削から本提出までの時間を十分に確保できるように、スケジュールを考慮したいと思います。また、指摘されていない至らない点も多くあったと思います。自省して次年度に活かしたいと思います。

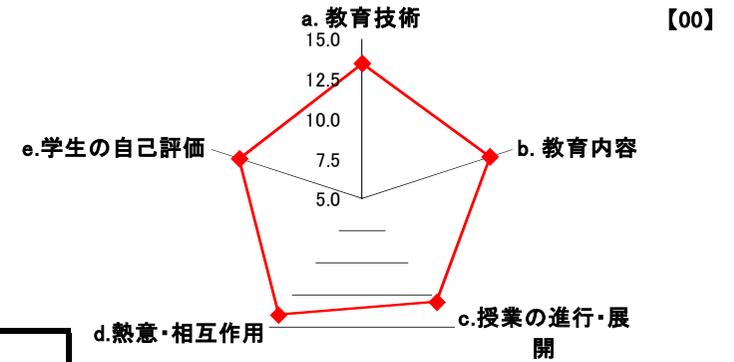
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	7	回収数	6	回収率	85.7%
------	---	-----	---	-----	-------

科目:英語LS2-1

担当者:
川崎修一

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	6	13.50	2.29
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	6	13.50	2.29
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	6	13.00	2.31
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	6	14.00	2.24
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	6	13.17	2.61



N=6

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	4	1	1	0	0	0	4.50	0.76
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	4	0	2	0	0	0	4.33	0.94
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5	0	1	0	0	0	4.67	0.75

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	5	0	1	0	0	0	4.67	0.75
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	4	0	1	1	0	0	4.17	1.21
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	5	0	1	0	0	0	4.67	0.75

c. 授業の進行・展開

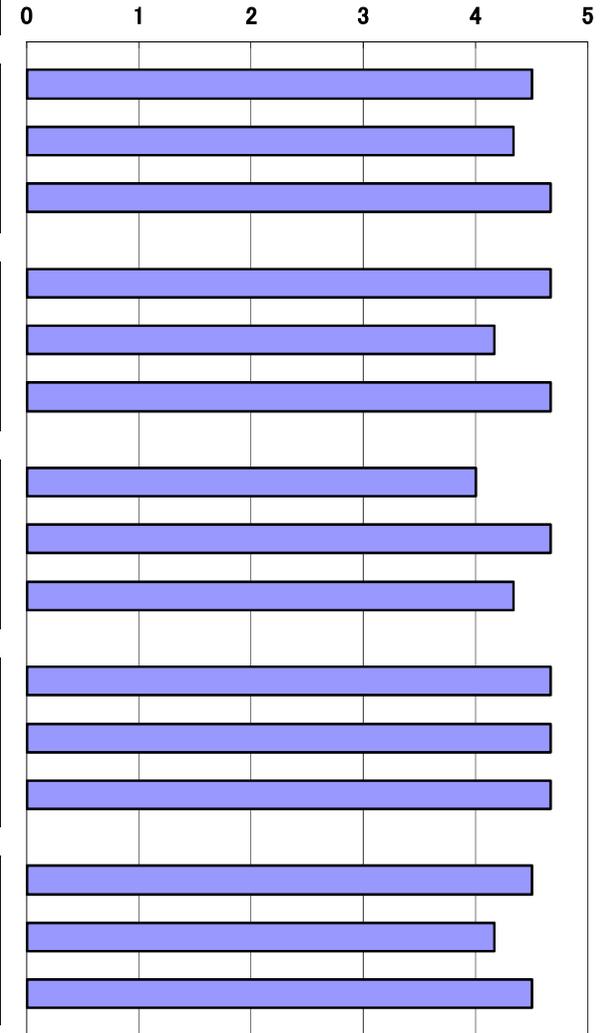
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	3	0	3	0	0	0	4.00	1.00
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5	0	1	0	0	0	4.67	0.75
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	4	0	2	0	0	0	4.33	0.94

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	5	0	1	0	0	0	4.67	0.75
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5	0	1	0	0	0	4.67	0.75
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	5	0	1	0	0	0	4.67	0.75

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	4	1	1	0	0	0	4.50	0.76
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4	0	1	1	0	0	4.17	1.21
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	4	1	1	0	0	0	4.50	0.76



科目コード	1F1200	科目名	英語LS2-1	担当教員名	川崎修一
-------	--------	-----	---------	-------	------

<教員からのコメント>

過分な評価をありがとうございました。素晴らしい学生に恵まれたことに感謝します。指摘を受けた内容の難易度に関しては再考したいと思います。指摘されていない至らない点も多くあったと思います。自省して次年度に活かしたいと思います。

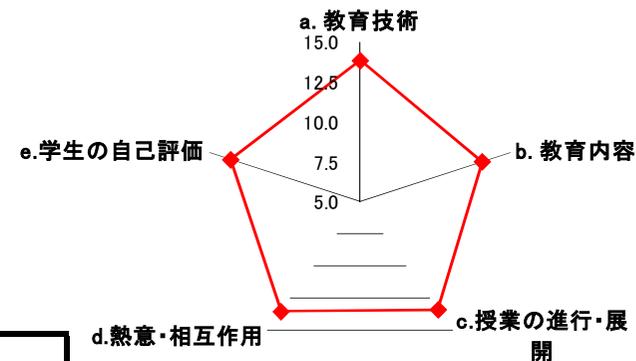
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	10	回収数	8	回収率	80.0%
------	----	-----	---	-----	-------

科目:英語文献を読むⅠ

担当者:
川崎修一

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	8	13.88	1.45
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	8	13.13	2.09
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	8	13.38	1.65
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	8	13.50	1.50
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	8	13.63	1.41

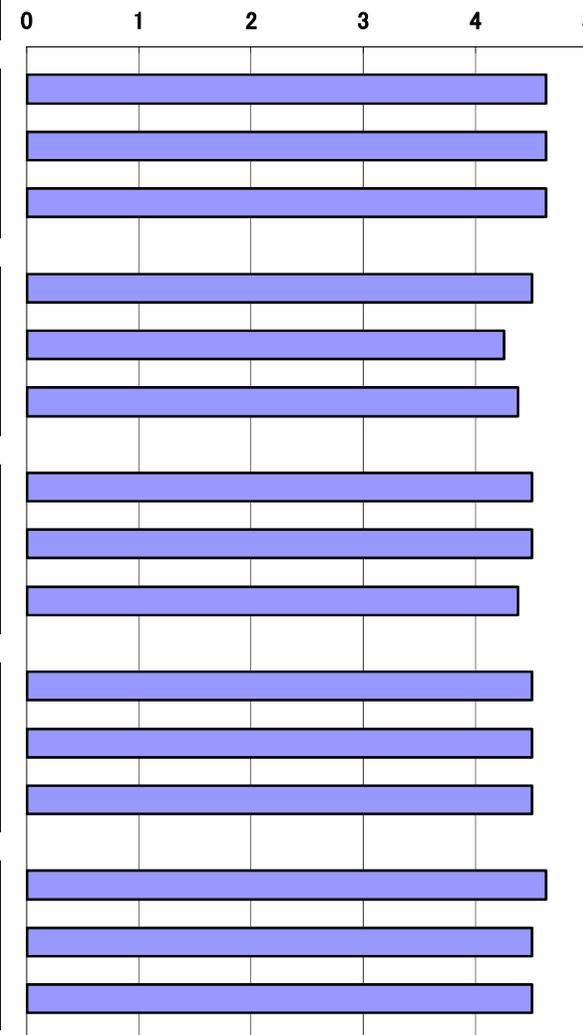


[00]

N=8

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	5	3	0	0	0	0	4.63	0.48
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	5	3	0	0	0	0	4.63	0.48
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5	3	0	0	0	0	4.63	0.48
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	4	4	0	0	0	0	4.50	0.50
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	4	3	0	1	0	0	4.25	0.97
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	4	3	1	0	0	0	4.38	0.70
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	4	4	0	0	0	0	4.50	0.50
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	4	4	0	0	0	0	4.50	0.50
⑨	授業の進行速度は適切だった。	4	3	1	0	0	0	4.38	0.70
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	4	4	0	0	0	0	4.50	0.50
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4	4	0	0	0	0	4.50	0.50
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	4	4	0	0	0	0	4.50	0.50
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	5	3	0	0	0	0	4.63	0.48
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4	4	0	0	0	0	4.50	0.50
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	4	4	0	0	0	0	4.50	0.50



科目コード	1F1400	科目名	英語文献を読む I	担当教員名	川崎修一
-------	--------	-----	-----------	-------	------

<教員からのコメント>

過分な評価をありがとうございました。素晴らしい学生に恵まれたことに感謝します。コメントはありませんでしたが、指摘されていない至らない点も多くあったと思います。自省して次年度に活かしたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

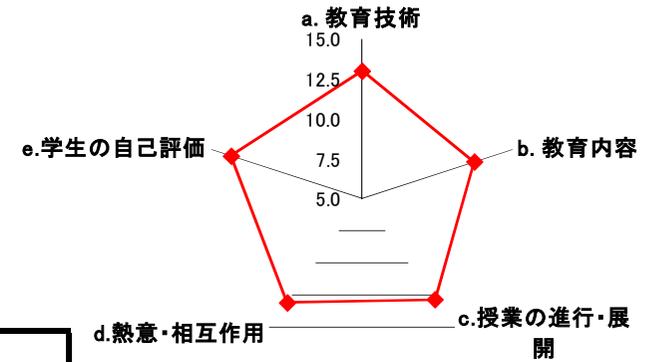
履修者数	50	回収数	47	回収率	94.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:中国語 I

担当者:

王英輝

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	13.02	1.79
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	12.47	2.35
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	12.83	2.09
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	13.06	1.76
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	46	13.72	1.62



[00]

N=49

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	23	22	2	0	0	0	4.45	0.58
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	20	20	7	0	0	0	4.28	0.71
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	20	21	6	0	0	0	4.30	0.68
42.6		44.7	12.8	0.0	0.0	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	18	19	9	1	0	0	4.15	0.80
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	17	20	8	1	1	0	4.09	0.90
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	18	24	4	0	1	0	4.23	0.78
38.3		51.1	8.5	0.0	2.1	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	20	23	3	1	0	0	4.32	0.69
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	20	20	6	1	0	0	4.26	0.76
⑨	授業の進行速度は適切だった。	21	18	7	1	0	0	4.26	0.78
42.6		42.6	12.8	2.1	0.0	0.0			
44.7		38.3	14.9	2.1	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	19	27	1	0	0	0	4.38	0.53
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	20	23	4	0	0	0	4.34	0.63
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	21	21	5	0	0	0	4.34	0.66
40.4		57.4	2.1	0.0	0.0	0.0			
42.6		48.9	8.5	0.0	0.0	0.0			
44.7		44.7	10.6	0.0	0.0	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	38	8	1	0	0	0	4.79	0.46
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	26	17	3	1	0	0	4.45	0.71
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	26	16	3	1	0	1	4.36	0.95
80.9		17.0	2.1	0.0	0.0	0.0			
55.3		36.2	6.4	2.1	0.0	0.0			
55.3		34.0	6.4	2.1	0.0	2.1			



科目コード	1F1601	科目名	中国語	担当教員名	王英輝
-------	--------	-----	-----	-------	-----

<教員からのコメント>

中国語はほとんどの学生にとって初めて習う外国語なので、最初はとても難しいと感じる人もいたと思いますが、多くの学生は授業にまじめに取り組んで、外国語を勉強する楽しさを感じてもらえたようで、よかったですと思います。中国の文化や中国人と日本人との違いなど、言葉以外にも様々なことにも興味を持ってもらえればうれしいです。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

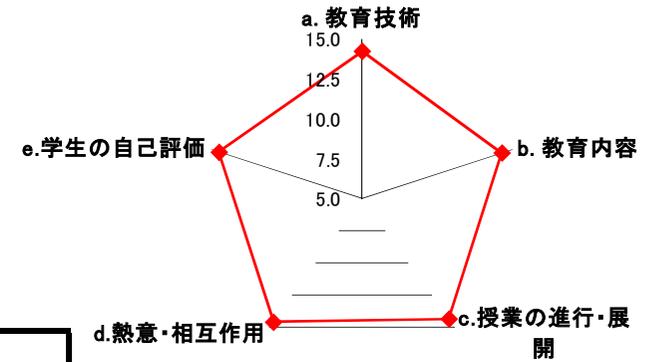
履修者数	51	回収数	34	回収率	66.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:中国語 I

担当者:

王英輝

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	34	14.26	1.44
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	34	14.29	1.47
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	34	14.32	1.39
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	34	14.56	1.29
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	34	14.53	1.29



[00]

N=34

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	26	7	1	0	0	0	4.74	0.50
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	28	5	1	0	0	0	4.79	0.47
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	26	7	1	0	0	0	4.74	0.50

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	26	7	1	0	0	0	4.74	0.50
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	28	4	2	0	0	0	4.76	0.55
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	28	5	1	0	0	0	4.79	0.47

c. 授業の進行・展開

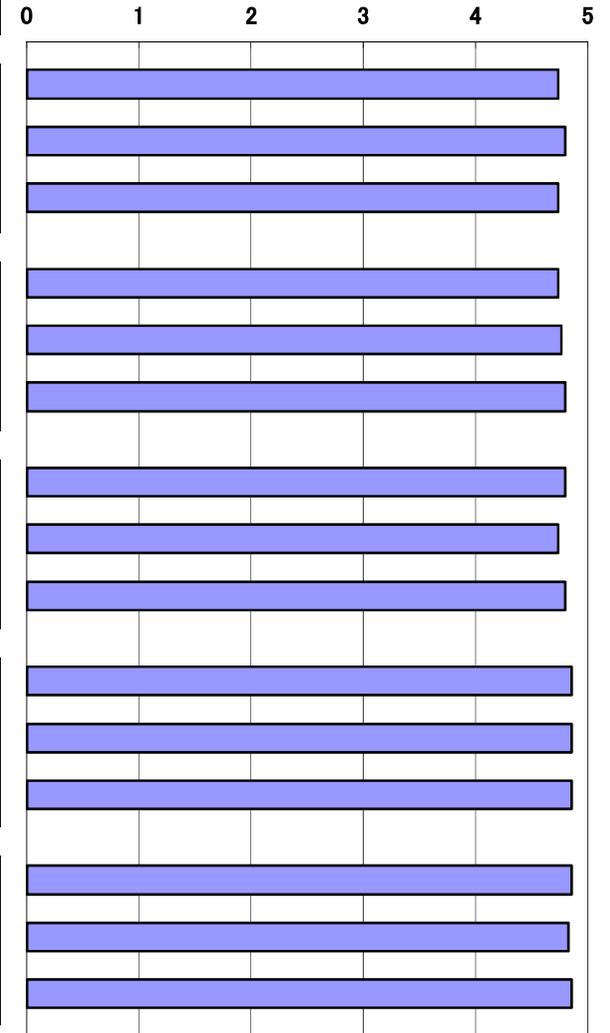
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	28	5	1	0	0	0	4.79	0.47
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	27	5	2	0	0	0	4.74	0.56
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	29	3	2	0	0	0	4.79	0.53

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	30	3	1	0	0	0	4.85	0.43
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	30	3	1	0	0	0	4.85	0.43
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	30	3	1	0	0	0	4.85	0.43

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	30	3	1	0	0	0	4.85	0.43
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	29	4	1	0	0	0	4.82	0.45
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	30	3	1	0	0	0	4.85	0.43



科目コード	1F1602	科目名	中国語	担当教員名	王英輝
-------	--------	-----	-----	-------	-----

<教員からのコメント>

中国語はほとんどの学生にとって初めて習う外国語なので、最初はとても難しいと感じる人もいたと思いますが、多くの学生は授業にまじめに取り組んで、外国語を勉強する楽しさを感じてもらえたようで、よかったですと思います。ただし、前期は人数が多く、50人もあり、一人一人の発音を確認したことで、シラバスより進行が遅かったことが反省点として今後改善していきたいと思います。また、黒板の文字を大きくしてほしいという意見もいただき、今後気を付けたいと思います。このような意見は遠慮なく、授業の時に言っていただけると助かります。

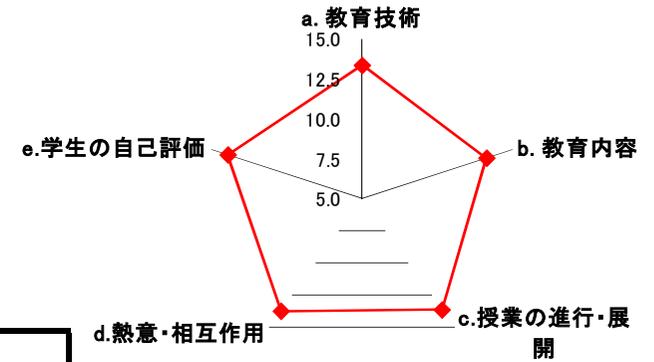
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	18	回収数	15	回収率	83.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:フランス語 I

担当者:
坂原真里

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	15	13.40	1.67
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	15	13.27	1.53
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	15	13.60	1.50
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	15	13.73	1.44
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	15	13.93	1.53

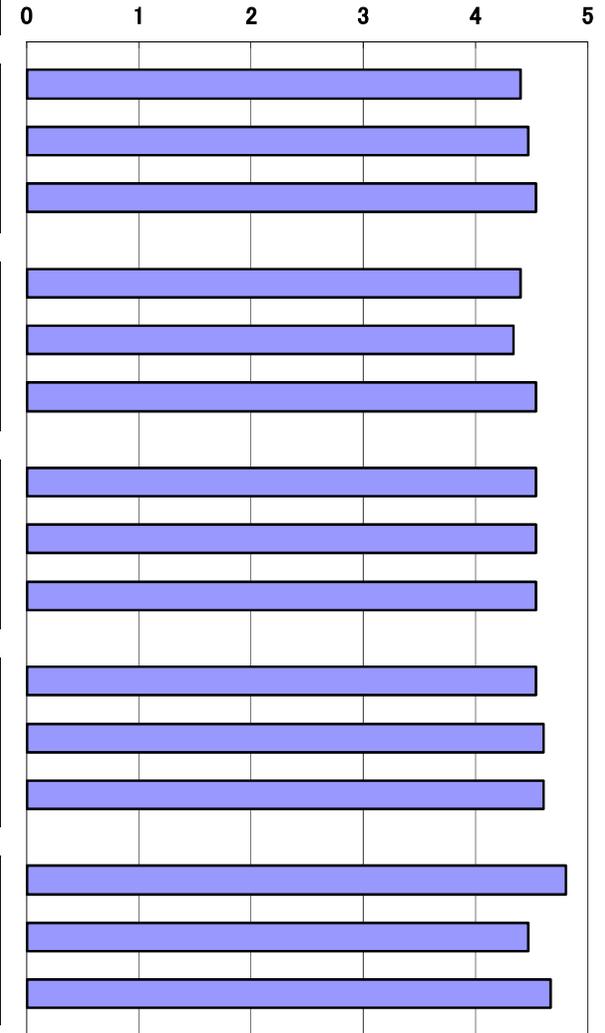


[00]

N=15

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	7	7	1	0	0	0	4.40	0.61
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	8	6	1	0	0	0	4.47	0.62
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8	7	0	0	0	0	4.53	0.50
53.3		46.7	0.0	0.0	0.0	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	7	7	1	0	0	0	4.40	0.61
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	7	7	0	1	0	0	4.33	0.79
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	8	7	0	0	0	0	4.53	0.50
53.3		46.7	0.0	0.0	0.0	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	8	7	0	0	0	0	4.53	0.50
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	8	7	0	0	0	0	4.53	0.50
⑨	授業の進行速度は適切だった。	8	7	0	0	0	0	4.53	0.50
53.3		46.7	0.0	0.0	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	8	7	0	0	0	0	4.53	0.50
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	9	6	0	0	0	0	4.60	0.49
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	9	6	0	0	0	0	4.60	0.49
60.0		40.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	12	3	0	0	0	0	4.80	0.40
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9	5	0	1	0	0	4.47	0.81
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	10	5	0	0	0	0	4.67	0.47
66.7		33.3	0.0	0.0	0.0	0.0			



科目コード	1F1801	科目名	フランス語 I	担当教員名	坂原眞里
-------	--------	-----	---------	-------	------

<教員からのコメント>

コミュニケーションの場やことばの背景にも関心が向かうことを願って、文法・会話・文化を柱に授業を組み立てています。学生の自由記載欄を読むと、会話を楽しんだ人、文法に苦手意識をもった人と様々ですが、各項目の内容や時間配分を考える上で参考になります。板書の文字が小さいという指摘については、早速改めます。学期中でも、教科の目標に沿ってできることは改善します。授業評価アンケートまで待たずに遠慮なく意見を聞かせてください。

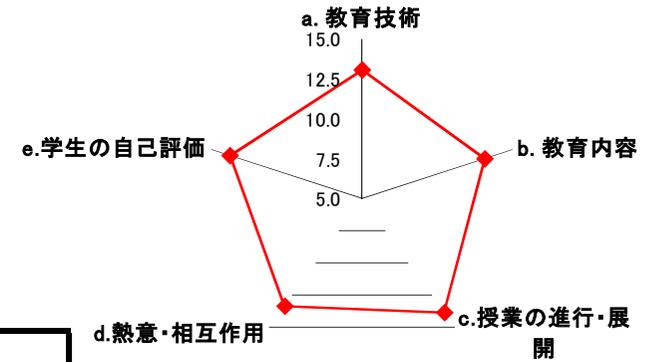
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	25	回収数	24	回収率	96.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:フランス語 I

担当者:
坂原真里

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	24	13.08	2.10
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	24	13.17	2.11
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	23	13.83	2.06
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	24	13.33	2.01
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	24	13.79	1.78



[00]

N=24

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	15	5	4	0	0	0	4.46	0.76
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	13	6	5	0	0	0	4.33	0.80
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	12	7	5	0	0	0	4.29	0.79

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	11	7	5	1	0	0	4.17	0.90
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	16	5	3	0	0	0	4.54	0.71
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	14	7	3	0	0	0	4.46	0.71

c. 授業の進行・展開

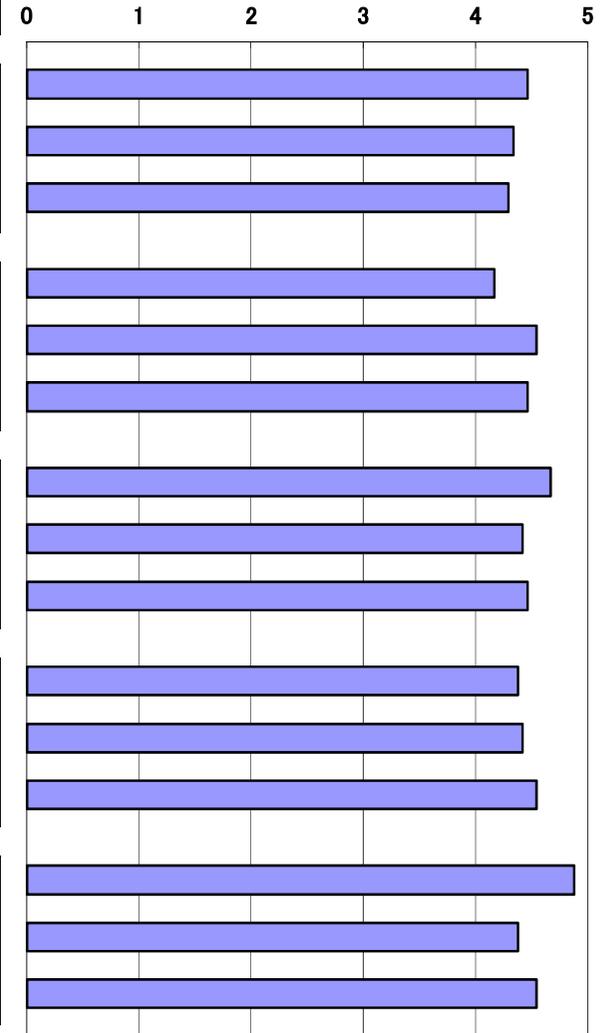
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	19	2	3	0	0	0	4.67	0.69
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	17	3	3	0	0	1	4.42	1.15
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	17	2	4	1	0	0	4.46	0.91

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	12	9	3	0	0	0	4.38	0.70
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	14	6	4	0	0	0	4.42	0.76
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	16	5	3	0	0	0	4.54	0.71

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	22	1	1	0	0	0	4.88	0.44
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	15	3	6	0	0	0	4.38	0.86
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	18	1	5	0	0	0	4.54	0.82



科目コード	1F1802	科目名	フランス語 I	担当教員名	坂原眞里
-------	--------	-----	---------	-------	------

<教員からのコメント>

学生の自由記載欄に、学習が楽しかった、視野が広がったとの書き込みがあり、嬉しく思いました。このような感想が多くの受講生のものとなるよう、評価結果全般を参考に工夫を重ねたいと思います。板書の文字が小さいという指摘については、早速改めます。学期中でも、教科目標に沿ってできることは改善します。授業評価アンケートを待たずに遠慮なく意見を聞かせてください。

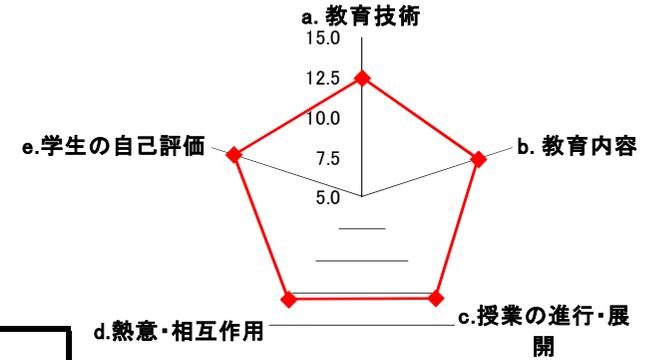
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	18	回収数	17	回収率	94.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:基礎ゼミ I

担当者:
遠藤久久

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	17	12.47	1.68
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	17	12.71	2.08
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	17	12.88	2.42
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	17	12.94	2.31
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	17	13.53	2.28



[00]

N=17

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	5	11	1	0	0	0	4.24	0.55
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	4	9	4	0	0	0	4.00	0.69
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	6	9	2	0	0	0	4.24	0.64
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	6	9	2	0	0	0	4.24	0.64
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	7	7	3	0	0	0	4.24	0.73
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	8	6	2	1	0	0	4.24	0.88
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	8	7	1	1	0	0	4.29	0.82
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9	6	1	1	0	0	4.35	0.84
⑨	授業の進行速度は適切だった。	8	6	2	1	0	0	4.24	0.88
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	8	7	2	0	0	0	4.35	0.68
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	8	7	1	1	0	0	4.29	0.82
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	8	7	1	1	0	0	4.29	0.82
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	14	1	1	1	0	0	4.65	0.84
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10	5	1	1	0	0	4.41	0.84
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	10	5	2	0	0	0	4.47	0.70



科目コード	1G0101	科目名	基礎ゼミ I	担当教員名	遠藤公久
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

特にコメントがなかったので、ここでは回答できませんが、評価を概ね良好でしたので、少し安心しました。

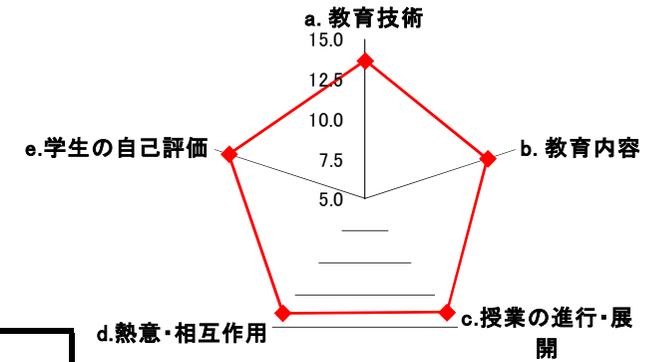
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	18	回収数	15	回収率	83.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:基礎ゼミ I

担当者:
川崎修一

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	15	13.67	1.45
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	15	13.13	1.71
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	15	13.80	1.47
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	15	13.87	1.41
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	15	14.07	1.18



[00]

N=15

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	8	7	0	0	0	0	4.53	0.50
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	8	7	0	0	0	0	4.53	0.50
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	9	6	0	0	0	0	4.60	0.49

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	8	7	0	0	0	0	4.53	0.50
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	6	6	3	0	0	0	4.20	0.75
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	8	5	2	0	0	0	4.40	0.71

c. 授業の進行・展開

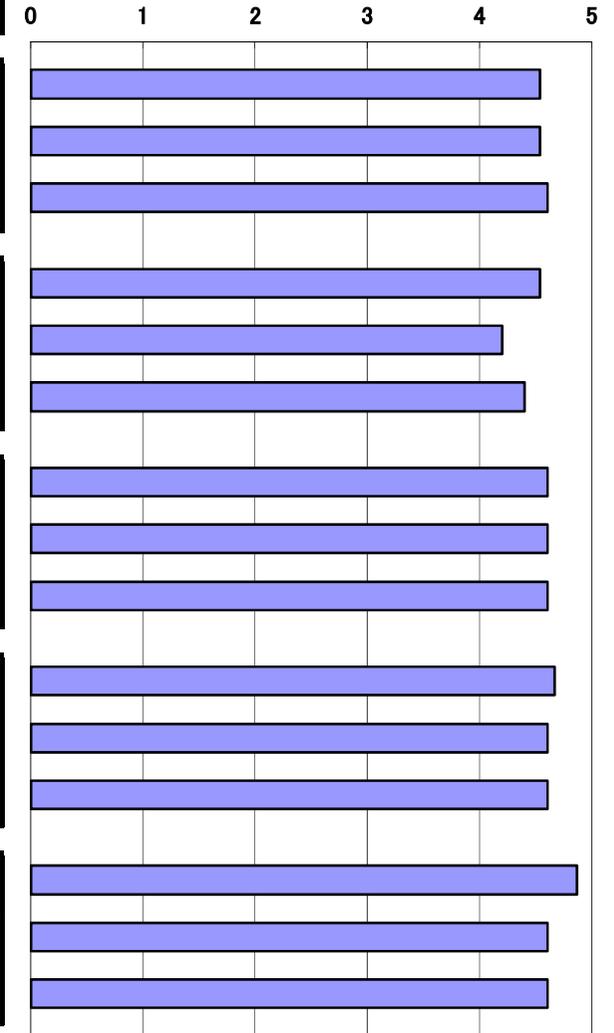
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	9	6	0	0	0	0	4.60	0.49
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9	6	0	0	0	0	4.60	0.49
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	9	6	0	0	0	0	4.60	0.49

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	10	5	0	0	0	0	4.67	0.47
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	9	6	0	0	0	0	4.60	0.49
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	9	6	0	0	0	0	4.60	0.49

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	13	2	0	0	0	0	4.87	0.34
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9	6	0	0	0	0	4.60	0.49
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	9	6	0	0	0	0	4.60	0.49



科目コード	1G0102	科目名	基礎ゼミ I	担当教員名	川崎修一
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

過分な評価をありがとうございました。素晴らしい学生に恵まれたことに感謝します。改善コメントはありませんでしたが、指摘されていない至らない点も多くあったと思います。自省して次年度に活かしたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

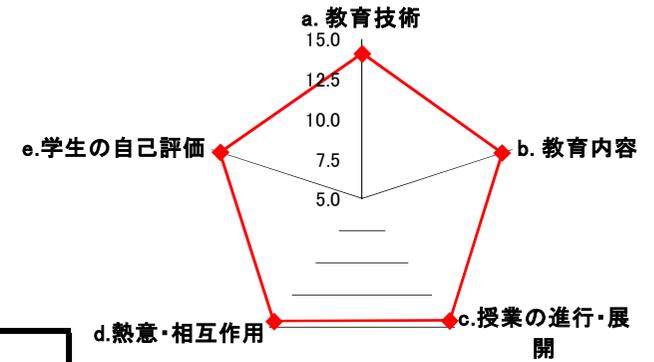
履修者数	18	回収数	16	回収率	88.9%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:基礎ゼミ I

担当者:

佐藤真

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	16	14.13	1.27
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	16	14.31	1.04
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	16	14.44	1.06
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	16	14.50	1.06
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	16	14.44	1.22

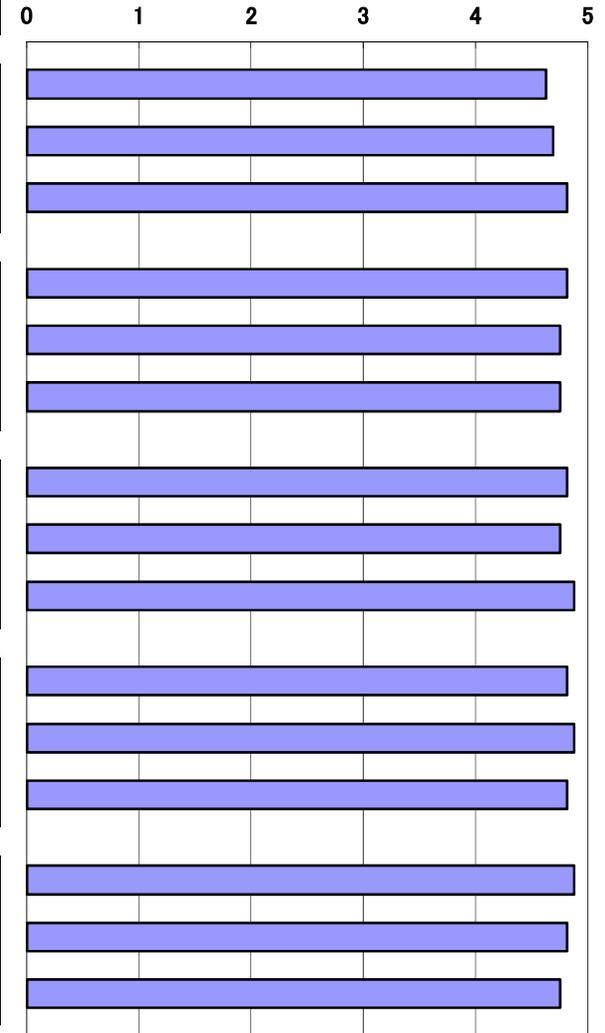


[00]

N=16

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	11	4	1	0	0	0	4.63	0.60
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	11	5	0	0	0	0	4.69	0.46
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	13	3	0	0	0	0	4.81	0.39
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	13	3	0	0	0	0	4.81	0.39
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	12	4	0	0	0	0	4.75	0.43
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	12	4	0	0	0	0	4.75	0.43
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	13	3	0	0	0	0	4.81	0.39
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	12	4	0	0	0	0	4.75	0.43
⑨	授業の進行速度は適切だった。	14	2	0	0	0	0	4.88	0.33
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	13	3	0	0	0	0	4.81	0.39
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	14	2	0	0	0	0	4.88	0.33
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	13	3	0	0	0	0	4.81	0.39
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	14	2	0	0	0	0	4.88	0.33
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	13	3	0	0	0	0	4.81	0.39
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	13	2	1	0	0	0	4.75	0.56



科目コード	1G0104	科目名	基礎ゼミ I	担当教員名	佐藤真
-------	--------	-----	--------	-------	-----

<教員からのコメント>

「自分のためになることが多かった」、「人前で話すことに慣れた」等の声がありました。基礎ゼミの目的としていることを身につけてくれて良かったと思います。今後も話しやすい、意見を言いやすい場を作っていきたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

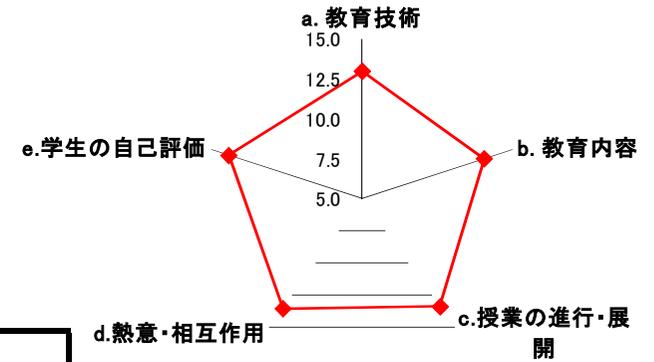
履修者数	17	回収数	17	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:基礎ゼミ I

担当者:

佐藤裕子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	17	13.00	2.06
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	17	13.12	1.87
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	17	13.35	1.78
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	17	13.53	1.42
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	17	13.88	1.37

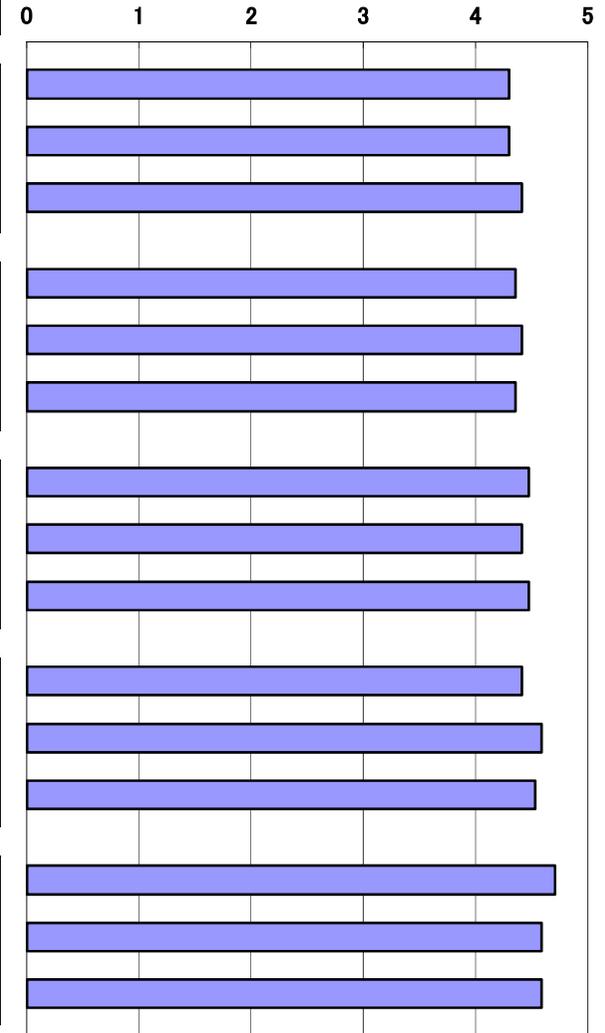


[00]

N=17

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	8	6	3	0	0	0	4.29	0.75
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	8	6	3	0	0	0	4.29	0.75
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8	8	1	0	0	0	4.41	0.60
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	8	7	2	0	0	0	4.35	0.68
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	9	6	2	0	0	0	4.41	0.69
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	8	7	2	0	0	0	4.35	0.68
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	9	7	1	0	0	0	4.47	0.61
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	8	8	1	0	0	0	4.41	0.60
⑨	授業の進行速度は適切だった。	9	7	1	0	0	0	4.47	0.61
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	8	8	1	0	0	0	4.41	0.60
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10	7	0	0	0	0	4.59	0.49
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	9	8	0	0	0	0	4.53	0.50
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	12	5	0	0	0	0	4.71	0.46
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10	7	0	0	0	0	4.59	0.49
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	10	7	0	0	0	0	4.59	0.49



授業(講義)評価結果(2015年度前期)

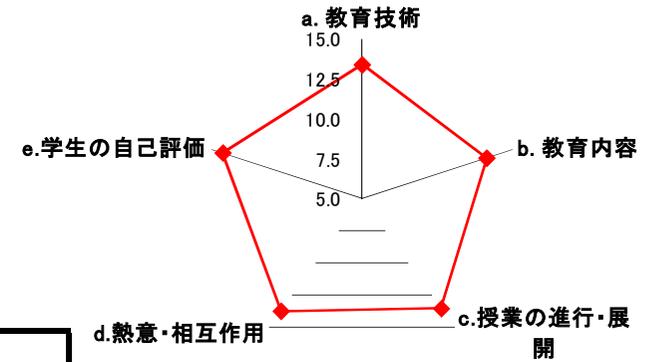
履修者数	17	回収数	14	回収率	82.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:基礎ゼミ I

担当者:

井上忠男

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	14	13.43	1.68
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	14	13.29	2.12
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	14	13.50	1.64
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	14	13.71	1.67
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	14	14.29	1.10



[00]

N=14

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	7	6	1	0	0	0	4.43	0.62
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	7	6	1	0	0	0	4.43	0.62
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8	6	0	0	0	0	4.57	0.49

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	8	4	2	0	0	0	4.43	0.73
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	8	4	2	0	0	0	4.43	0.73
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	8	4	2	0	0	0	4.43	0.73

c. 授業の進行・展開

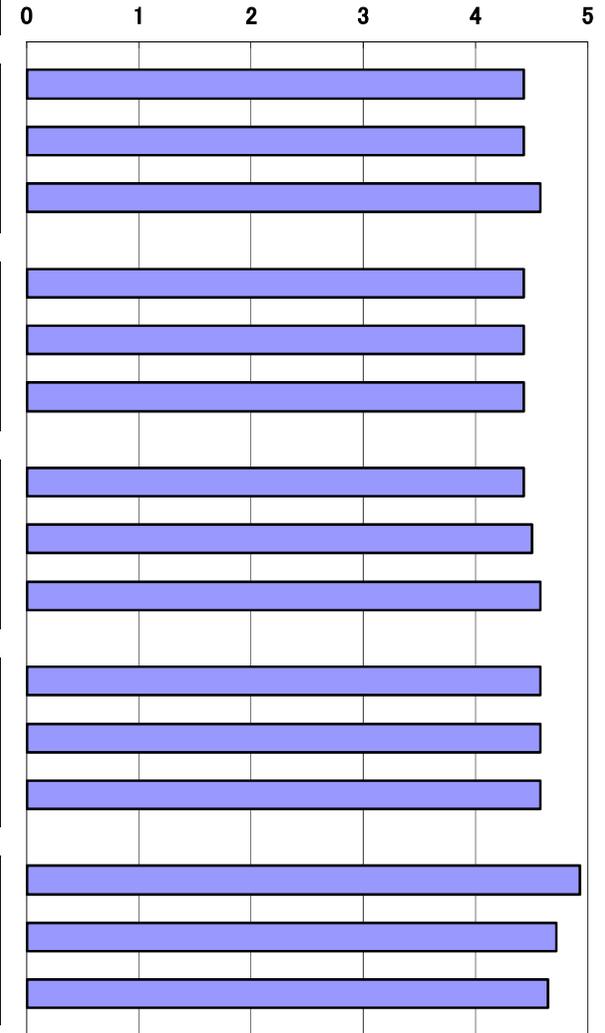
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	8	4	2	0	0	0	4.43	0.73
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	7	7	0	0	0	0	4.50	0.50
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	8	6	0	0	0	0	4.57	0.49

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	8	6	0	0	0	0	4.57	0.49
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	9	4	1	0	0	0	4.57	0.62
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	9	4	1	0	0	0	4.57	0.62

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	13	1	0	0	0	0	4.93	0.26
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10	4	0	0	0	0	4.71	0.45
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	10	3	1	0	0	0	4.64	0.61



科目コード	1G0106	科目名	基礎ゼミ I	担当教員名	井上忠男
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

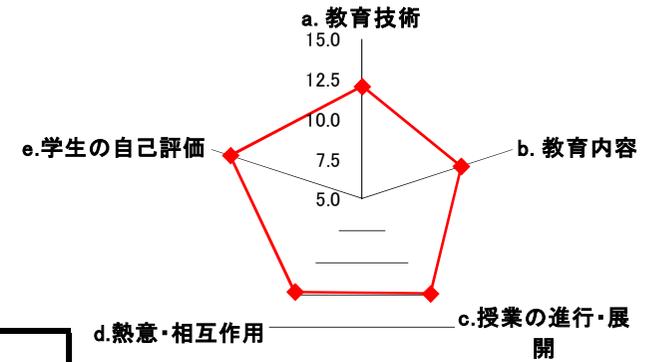
ゼミの目的の一つに、幅広い教養(幅広いものの考え方)を身に着けることがあると思います。またそれらを身に着けるための方法論や作法といったことを学ぶのが基礎ゼミの役割でもあったと思います。大学生に求められる主体的に学ぶ姿勢は、皆さんが学んできた義務教育の中では育まれにくかったこともあり、突然「主体性と言われても…」といった戸惑いがあったかもしれません。とはいえ、中世の大学の原点が学生側の「学びたい」という意志にあったように、大学の学びの本質が「学生の学ぶ意欲」がベースにあることに変わりはありません。教師がそれにいかに応えることができるかが問われているようです。ご意見の中に「興味深い内容が多く、おもしろかった」という感想が幾つかありましたが、何が興味深かったのか、なぜ面白いと感じたのかなどについて具体的に書いていただくとゼミの運営に生かします。より良く学生をサポートするために、学生諸君のモチベーションを高めるどのような取り組みができるか、更に考えていきたいと思っています。ゼミを通じ、実に多様な個性の皆さんと出会え、楽しい時間を持つことができました。そうした「楽しい時間」の中にも「明日の社会人」としてのエチケットや「大人の振る舞い」も意識し、ゼミと通じてさらに成長されることを期待します。卒後の社会生活を意識し、自己を知り、他者を理解し、よりよく生きる技術や態度を学ぶためにゼミが皆さんのお役に立てればと思っています。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	17	回収数	17	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:基礎ゼミ I
担当者:
逸見功

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	17	12.06	2.86
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	17	11.59	3.13
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	17	12.35	2.74
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	17	12.24	2.29
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	17	13.76	1.44



[00]

N=17

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	8	5	2	2	0	0	4.12	1.02
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	7	6	2	2	0	0	4.06	1.00
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	6	5	5	0	1	0	3.88	1.08
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	6	6	4	1	0	0	4.00	0.91
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	6	5	3	2	1	0	3.76	1.21
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	6	5	4	1	1	0	3.82	1.15
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	6	7	3	0	1	0	4.00	1.03
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	7	6	3	0	1	0	4.06	1.06
⑨	授業の進行速度は適切だった。	8	6	3	0	0	0	4.29	0.75
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	6	6	5	0	0	0	4.06	0.80
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	6	4	6	1	0	0	3.88	0.96
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	7	8	2	0	0	0	4.29	0.67
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	12	3	1	1	0	0	4.53	0.85
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9	7	1	0	0	0	4.47	0.61
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	13	4	0	0	0	0	4.76	0.42



科目コード	1G0107	科目名	基礎ゼミ I	担当教員名	逸見功
-------	--------	-----	--------	-------	-----

<教員からのコメント>

基礎ゼミ I は大学での学修に必要なスキルを身につけるための基礎的なトレーニングでしたので、学生によってはつまらないという感想をもったかもしれませんが、多少なりとも今後の学修に役立てばよいと思います。

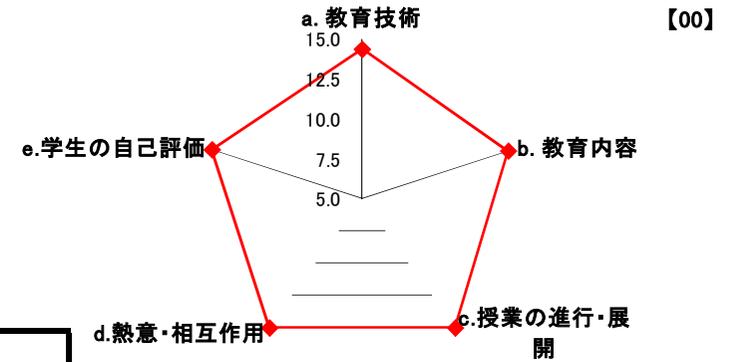
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	10	回収数	10	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:基礎ゼミ I

担当者:
越後敬子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	10	14.40	0.92
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	10	14.70	0.64
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	10	15.00	0.00
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	10	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	10	15.00	0.00



N=10

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	7	3	0	0	0	0	4.70	0.46
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	7	3	0	0	0	0	4.70	0.46
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30

c. 授業の進行・展開

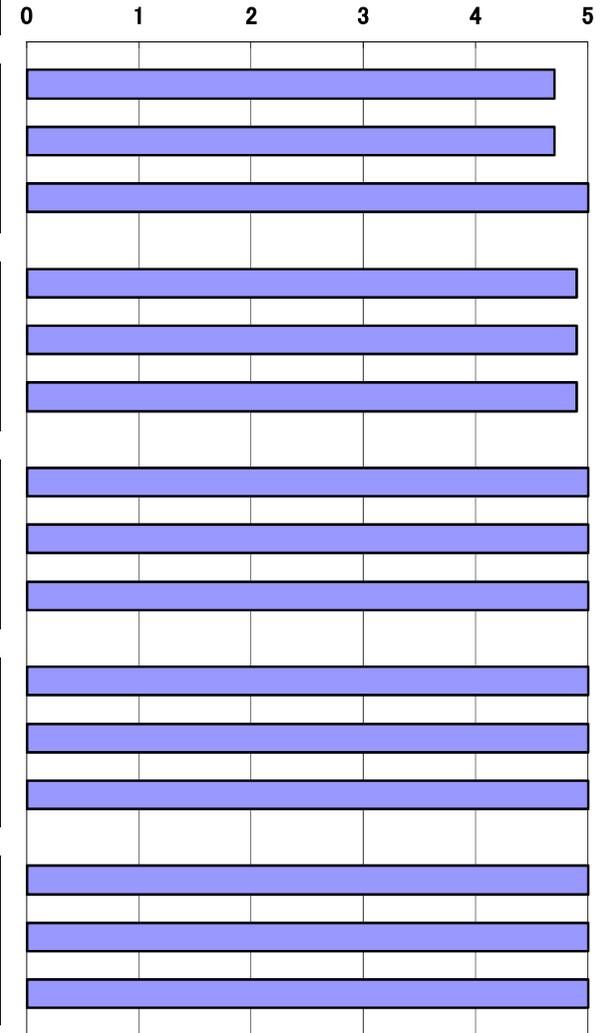
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00



科目コード	1G0109	科目名	基礎ゼミ I	担当教員名	越後敬子
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

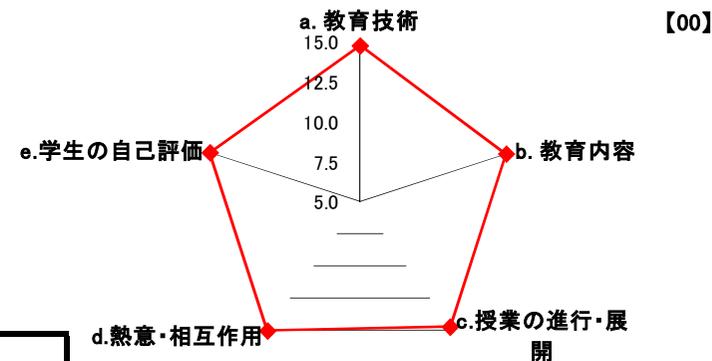
基礎ゼミ I で学んだことは今はピンとこなくてもいずれ上級生になった時に役立つものだと思います。その時にはテキストを見返してください。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	10	回収数	10	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:基礎ゼミ I
担当者:
緒形ひとみ

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	10	14.80	0.60
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	10	14.70	0.90
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	10	14.70	0.90
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	10	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	10	15.00	0.00



N=10

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	9	0	1	0	0	0	4.80	0.60
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
⑨	授業の進行速度は適切だった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00



科目コード	1G0110	科目名	基礎ゼミ I	担当教員名	緒形ひとみ
-------	--------	-----	--------	-------	-------

<教員からのコメント>

初めて今回「基礎ゼミ」を担当させてもらったが、10名の学生は積極的に意見を述べてくれ、こちらのコメントに対しても真摯に向き合ってくれたため、授業をしてもとても楽しかった。

この授業を通して学んだことを生かして、今後の学生生活に役立てていってもらえればと思う。

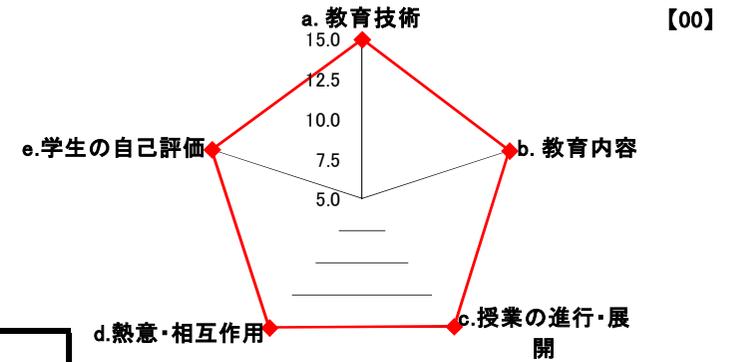
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	10	回収数	10	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:基礎ゼミ I

担当者:
熊澤武志

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	10	15.00	0.00
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	10	14.80	0.60
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	10	14.90	0.30
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	10	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	10	15.00	0.00



N=10

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30

c. 授業の進行・展開

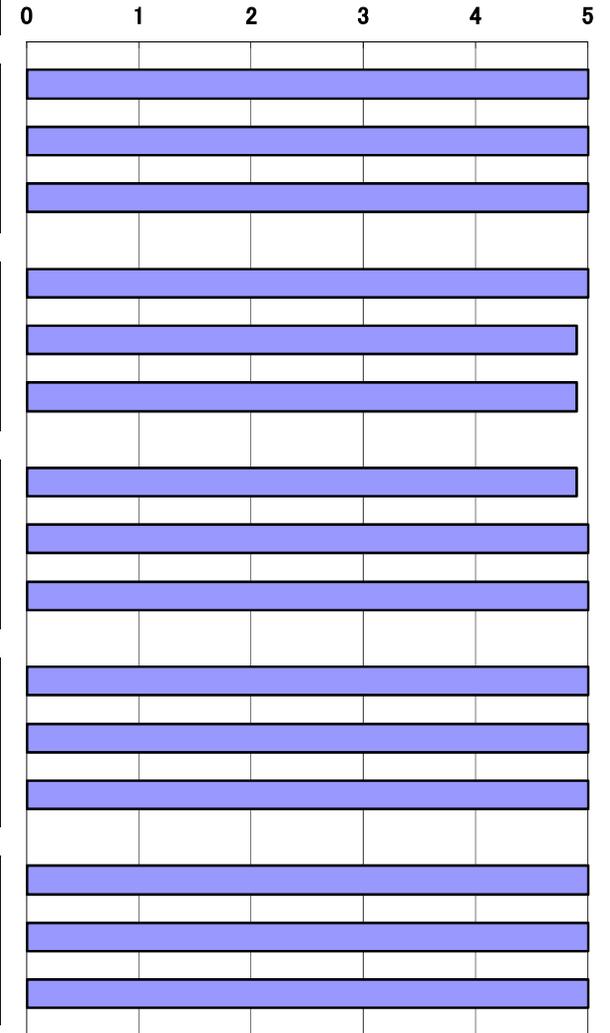
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00



科目コード	1G0111	科目名	基礎ゼミ I	担当教員名	熊澤武志
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

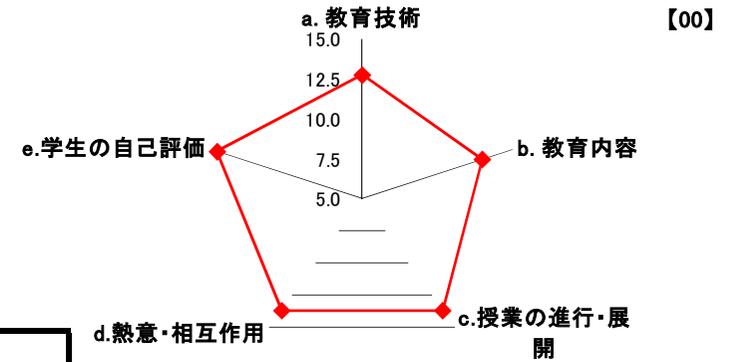
今年度のゼミは全員が皆勤でした。また、質問や討論も活発に行われたことに、ゼミ生のモチベーションの高さを感じ取ることができました。担当教員として、来年度もゼミ生が学びやすい雰囲気作り・環境作りを心がけたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	10	回収数	9	回収率	90.0%
------	----	-----	---	-----	-------

科目:基礎ゼミ I
 担当者:
 三具淳子

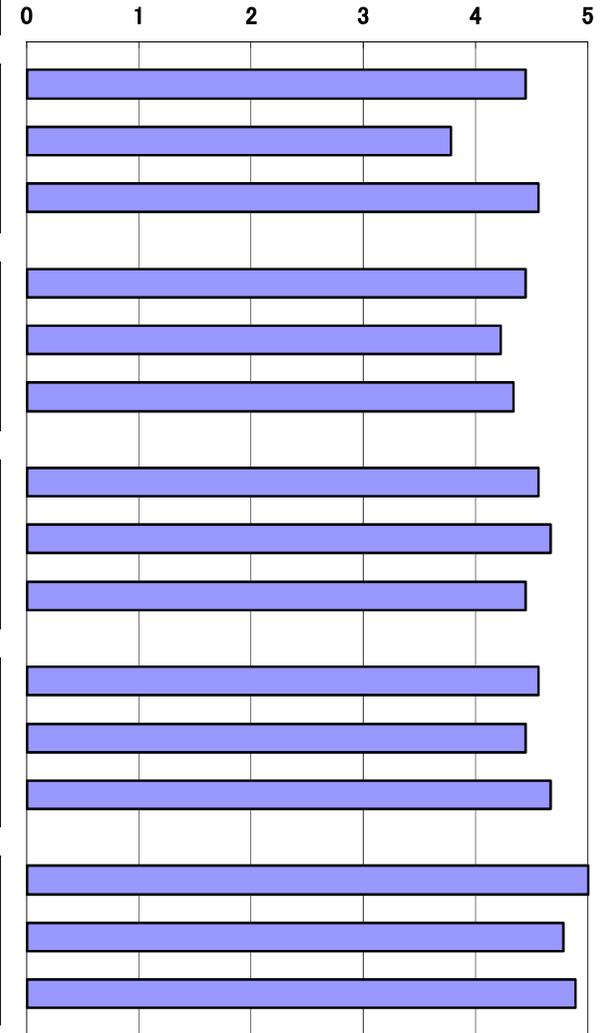
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	9	12.78	1.31
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	9	13.00	1.63
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	9	13.67	1.25
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	9	13.67	1.15
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	9	14.67	0.67



N=9

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	4	5	0	0	0	0	4.44	0.50
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	2	3	4	0	0	0	3.78	0.79
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	6	2	1	0	0	0	4.56	0.68
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	4	5	0	0	0	0	4.44	0.50
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	4	4	0	1	0	0	4.22	0.92
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	4	4	1	0	0	0	4.33	0.67
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	5	4	0	0	0	0	4.56	0.50
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	6	3	0	0	0	0	4.67	0.47
⑨	授業の進行速度は適切だった。	4	5	0	0	0	0	4.44	0.50
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	5	4	0	0	0	0	4.56	0.50
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4	5	0	0	0	0	4.44	0.50
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	6	3	0	0	0	0	4.67	0.47
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	7	2	0	0	0	0	4.78	0.42
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31

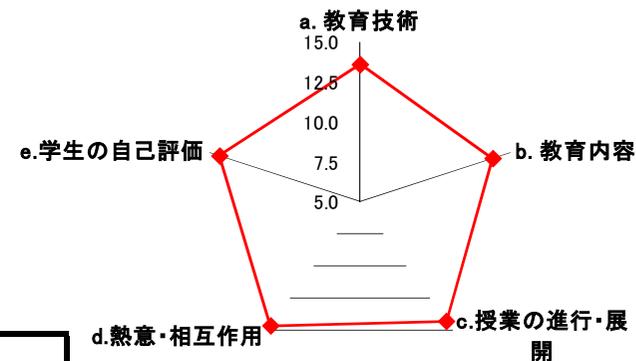


授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	12	回収数	11	回収率	91.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:基礎ゼミ I
 担当者:
 遠藤久久

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	11	13.64	1.37
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	11	13.82	1.40
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	11	14.27	1.14
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	11	14.64	0.88
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	11	14.36	0.98

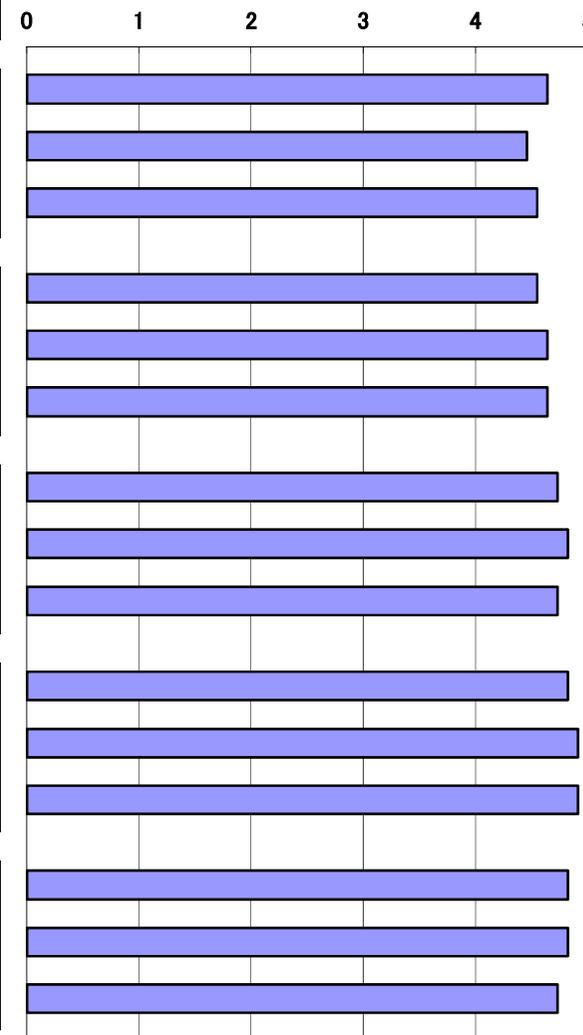


[00]

N=11

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	7	4	0	0	0	0	4.64	0.48
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	6	4	1	0	0	0	4.45	0.66
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	6	5	0	0	0	0	4.55	0.50
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	6	5	0	0	0	0	4.55	0.50
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	7	4	0	0	0	0	4.64	0.48
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	7	4	0	0	0	0	4.64	0.48
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	8	3	0	0	0	0	4.73	0.45
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9	2	0	0	0	0	4.82	0.39
⑨	授業の進行速度は適切だった。	8	3	0	0	0	0	4.73	0.45
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	9	2	0	0	0	0	4.82	0.39
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	9	2	0	0	0	0	4.82	0.39
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9	2	0	0	0	0	4.82	0.39
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	8	3	0	0	0	0	4.73	0.45



科目コード	1G0130	科目名	基礎ゼミ I (編入用)	担当教員名	遠藤公久
-------	--------	-----	--------------	-------	------

<教員からのコメント>

ディスカッション中心の授業でもあり、他者の意見などを深く聞けたことは、良い経験であったようです。改善としては、レジユメの書式が不統一であったことのようにです。あまり厳しくしてもどうかと思い、私も少し遠慮したところがありました。来年度は少し統一できる場所はしたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

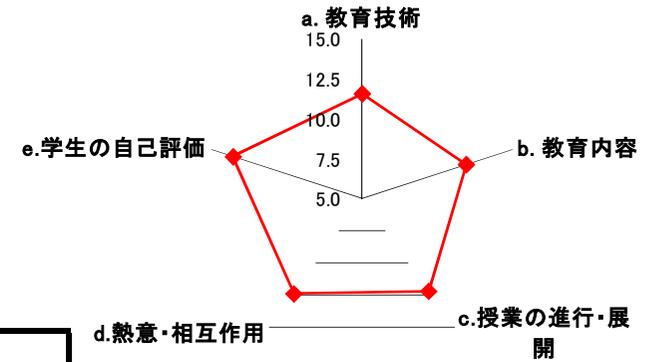
履修者数	72	回収数	47	回収率	65.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:人体の構造と機能 I

担当者:

佐藤裕子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	46	11.59	2.45
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	11.94	2.33
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	12.17	2.19
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	12.36	2.14
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	46	13.59	1.80



[00]

N=61

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	14	19	11	2	0	1	3.89	1.02
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	12	18	14	1	1	1	3.77	1.06
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	12	16	15	4	0	0	3.77	0.93

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	12	19	13	2	1	0	3.83	0.93
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	16	20	10	1	0	0	4.09	0.79
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	16	17	13	1	0	0	4.02	0.84

c. 授業の進行・展開

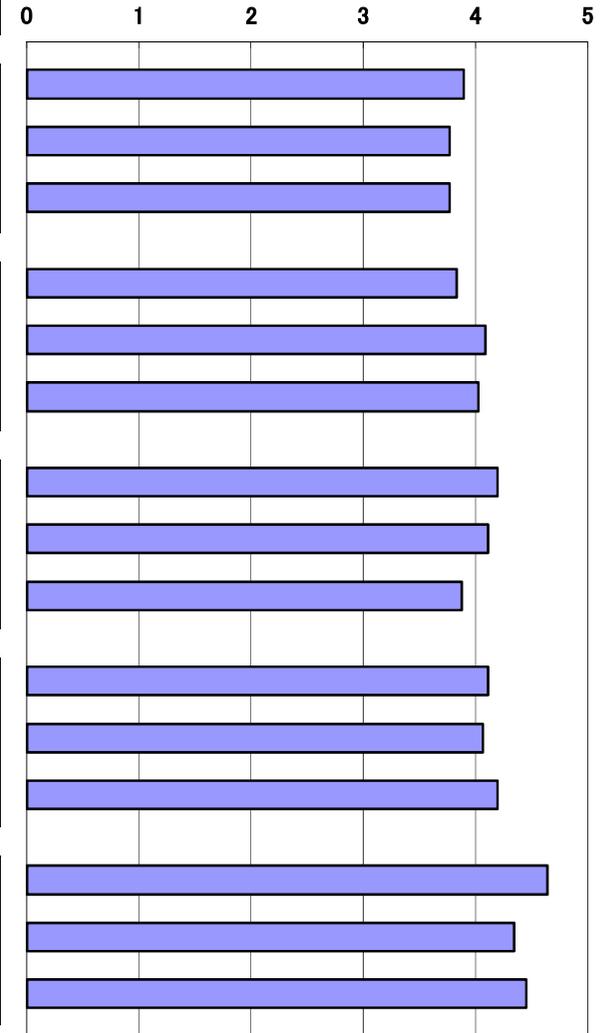
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	19	18	10	0	0	0	4.19	0.76
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	15	22	10	0	0	0	4.11	0.72
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	13	19	12	2	1	0	3.87	0.94

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	15	22	10	0	0	0	4.11	0.72
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	17	17	12	1	0	0	4.06	0.84
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	19	18	10	0	0	0	4.19	0.76

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	37	6	3	0	0	1	4.64	0.89
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	25	13	9	0	0	0	4.34	0.78
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	28	12	7	0	0	0	4.45	0.74



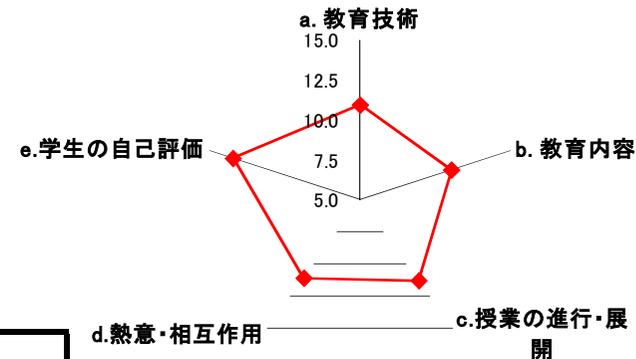
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	73	回収数	39	回収率	53.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:人体の構造と機能 I

担当者:
佐藤裕子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	39	10.97	3.31
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	39	11.08	3.34
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	39	11.28	3.54
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	39	11.08	3.49
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	38	13.45	2.46

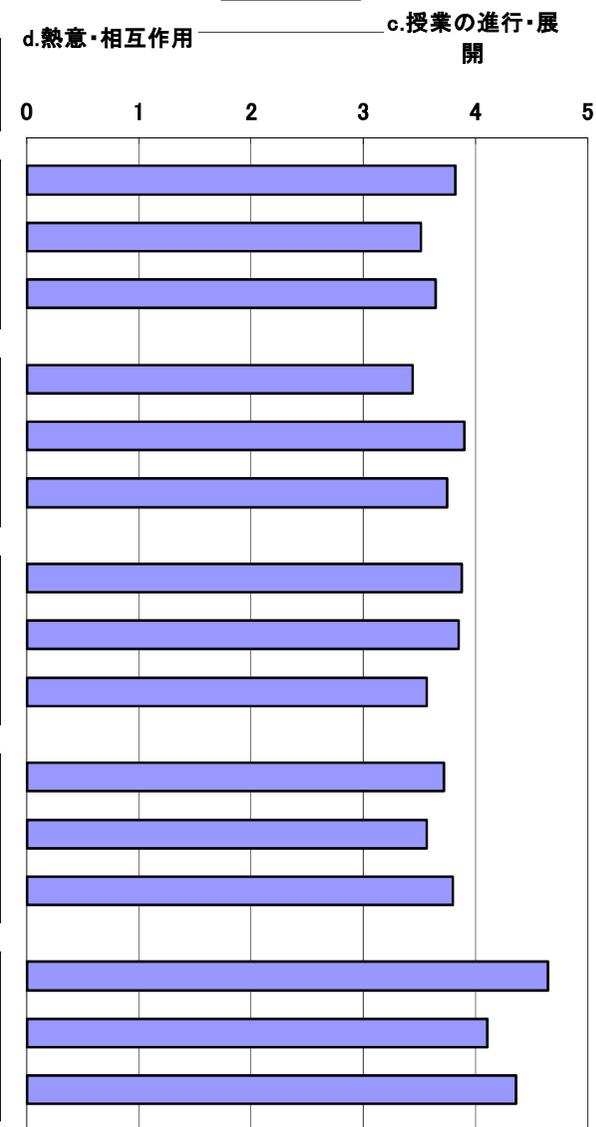


[00]

N=39

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	16	8	9	4	2	0	3.82	1.22
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	11	8	12	6	2	0	3.51	1.20
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11	12	9	5	2	0	3.64	1.17
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	9	11	9	8	2	0	3.44	1.19
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	15	12	7	3	2	0	3.90	1.15
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	15	9	7	6	2	0	3.74	1.26
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	16	10	7	4	2	0	3.87	1.20
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	17	8	7	5	2	0	3.85	1.25
⑨	授業の進行速度は適切だった。	12	10	7	8	2	0	3.56	1.26
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	14	9	9	5	2	0	3.72	1.22
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	12	8	12	4	3	0	3.56	1.24
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	15	8	11	3	2	0	3.79	1.18
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	32	4	1	1	0	1	4.64	0.97
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	21	9	5	1	2	1	4.10	1.28
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	29	3	3	1	2	1	4.36	1.29



授業(講義)評価結果(2015年度前期)

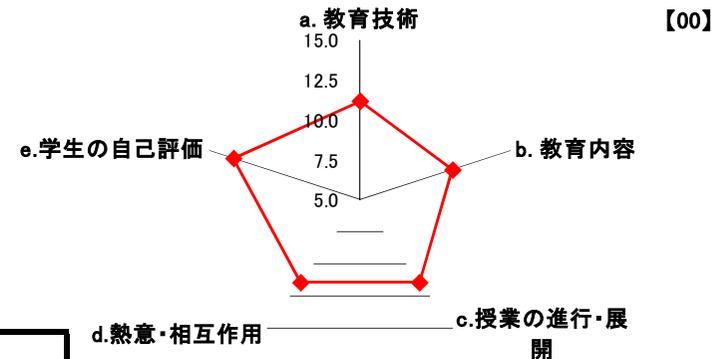
履修者数	72	回収数	37	回収率	51.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:人体の構造と機能Ⅱ

担当者:

佐藤裕子

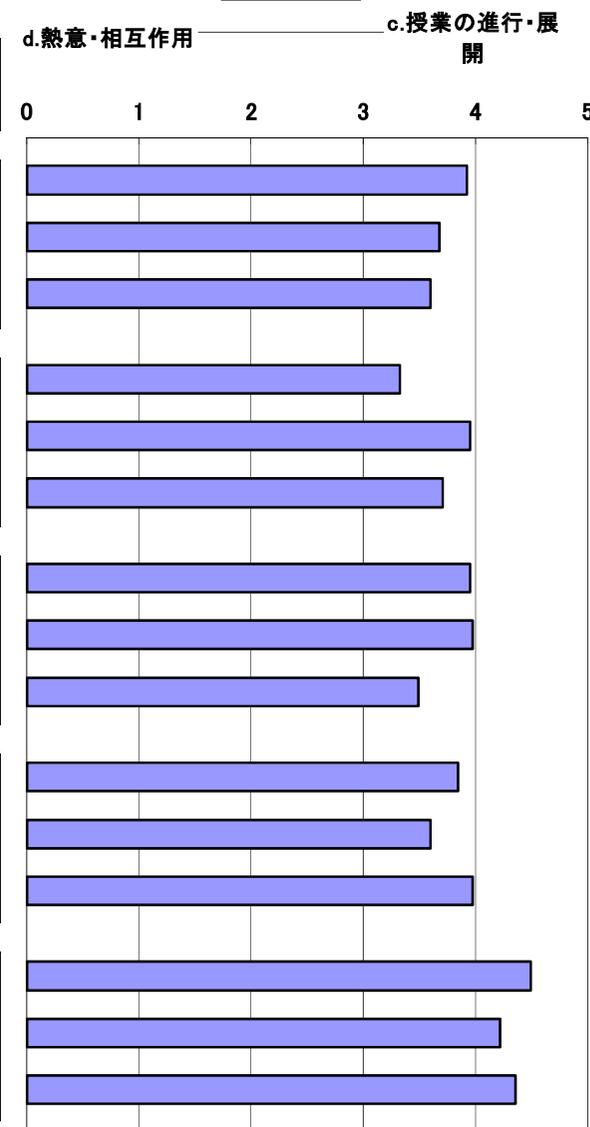
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	37	11.19	2.86
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	36	11.14	2.98
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	37	11.41	2.88
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	37	11.41	2.91
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	36	13.42	2.18



N=37

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	授業の内容はわかりやすかった。	授業の内容は興味のあるものだった。	この授業は自分にとって価値があった。	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	授業の進行速度は適切だった。	教員の熱意が伝わってきた。	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。
15	11	11	9	13	14	14	15	9	11	10	15	27	19	23
8	8	7	6	12	7	12	10	9	13	10	9	5	11	8
10	13	12	12	9	9	6	8	11	9	10	10	3	5	4
4	5	7	8	3	6	5	4	7	4	6	3	1	1	1
0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3.92	3.68	3.59	3.32	3.95	3.70	3.95	3.97	3.49	3.84	3.59	3.97	4.49	4.22	4.35
1.05	1.04	1.10	1.21	0.96	1.27	1.04	1.03	1.13	0.97	1.13	1.00	1.06	1.07	1.07



授業(講義)評価結果(2015年度前期)

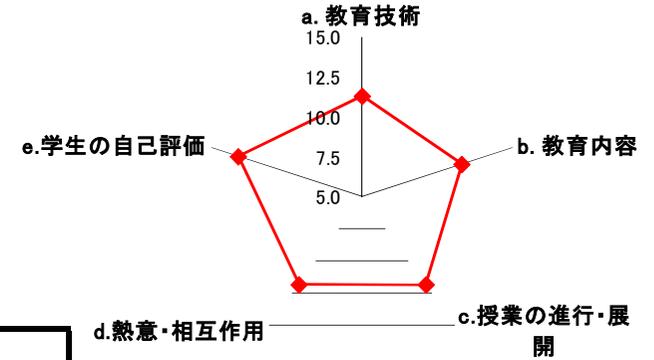
履修者数	73	回収数	47	回収率	64.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:人体の構造と機能Ⅱ

担当者:

佐藤裕子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	11.34	2.42
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	11.64	2.07
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	11.83	1.99
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	11.81	2.31
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	13.23	2.00



[00]

N=63

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	11	26	7	3	0	0	3.96	0.80
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	9	18	13	7	0	0	3.62	0.96
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	9	21	15	1	1	0	3.77	0.86
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	9	17	17	3	1	0	3.64	0.93
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	13	24	9	1	0	0	4.04	0.74
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	9	28	9	1	0	0	3.96	0.68
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	15	25	6	1	0	0	4.15	0.71
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	13	27	6	1	0	0	4.11	0.69
⑨	授業の進行速度は適切だった。	9	18	13	5	2	0	3.57	1.05
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	13	23	8	3	0	0	3.98	0.84
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	11	20	12	4	0	0	3.81	0.89
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	14	21	11	1	0	0	4.02	0.79
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	37	7	2	1	0	0	4.70	0.65
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	20	17	8	2	0	0	4.17	0.86
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	25	16	4	2	0	0	4.36	0.81



授業(講義)評価結果(2015年度前期)

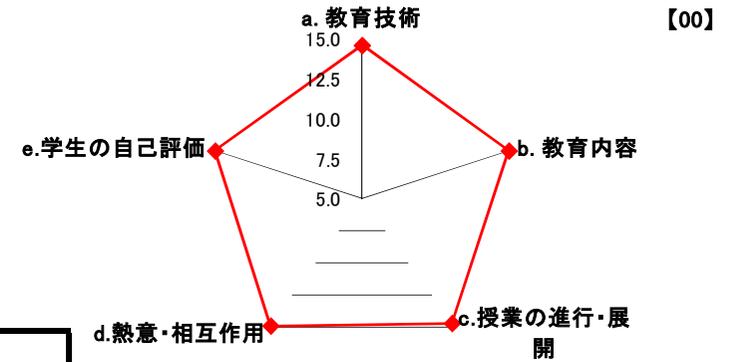
履修者数	141	回収数	47	回収率	33.3%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目: 疾病の成り立ちと回復の促進VI

担当者:

林公輔

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	46	14.65	0.87
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	46	14.76	0.70
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	46	14.67	1.08
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	46	14.87	0.61
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	46	14.78	0.81



N=121

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	39	7	0	0	0	1	4.74	0.78
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	41	5	0	0	0	1	4.79	0.77
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	42	4	0	0	0	1	4.81	0.76

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	42	4	0	0	0	1	4.81	0.76
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	43	3	0	0	0	1	4.83	0.75
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	42	4	0	0	0	1	4.81	0.76

c. 授業の進行・展開

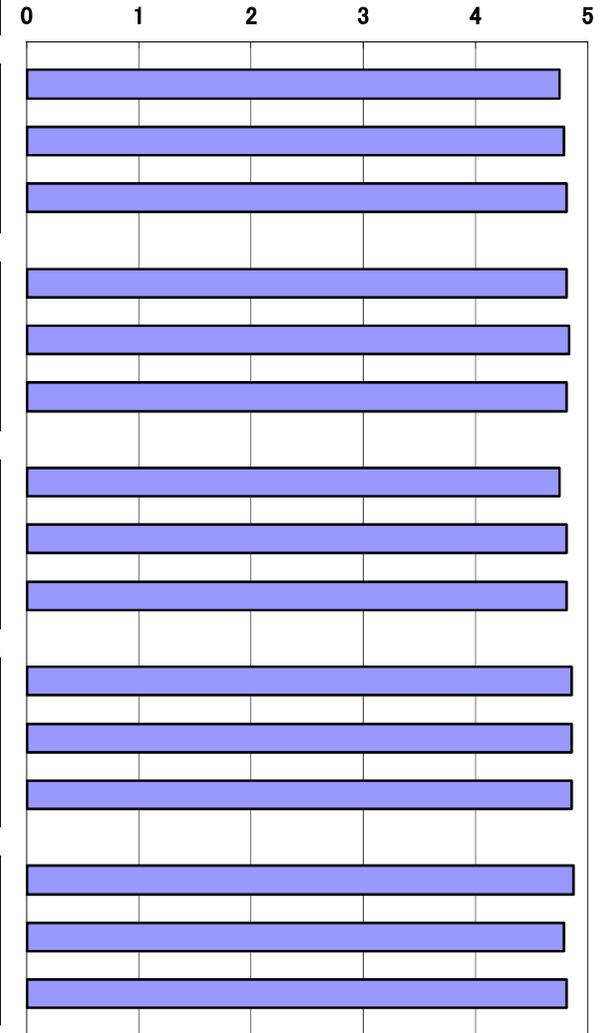
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	42	2	1	1	0	1	4.74	0.89
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	43	2	1	0	0	1	4.81	0.79
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	42	4	0	0	0	1	4.81	0.76

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	44	2	0	0	0	1	4.85	0.74
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	44	2	0	0	0	1	4.85	0.74
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	44	2	0	0	0	1	4.85	0.74

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	45	1	0	0	0	1	4.87	0.73
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	42	3	1	0	0	1	4.79	0.80
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	43	2	1	0	0	1	4.81	0.79



科目コード	1H0900	科目名	疾病の成り立ちと回復の促進IV	担当教員名	林公輔
-------	--------	-----	-----------------	-------	-----

<教員からのコメント>

過分な評価をいただき、ありがとうございます。とても励みになりました。試行錯誤しながら授業に取り組んできた甲斐が報われた思いでいます。私は美味しいフランス料理やイタリア料理は作れないかもしれませんが、できるだけ美味しい、皆さんに満足してもらえるようなラーメンを作るための工夫を、これからも続けていきたいと思っています。もう皆さんの前で授業をすることはありませんが、いつか臨床場面で再会し、同僚として共に働ける日を、今から楽しみにしています。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

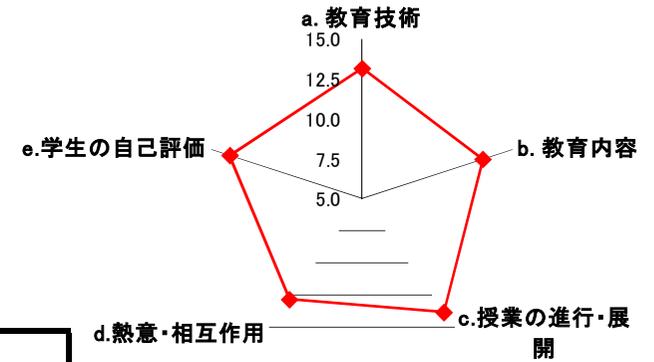
履修者数	154	回収数	79	回収率	51.3%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:リハビリテーション医学

担当者:

森本正・長晶子・中西景子・樋口晶

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	79	13.19	2.38
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	79	13.03	2.64
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	79	13.80	1.79
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	79	12.81	2.71
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	79	13.81	1.86

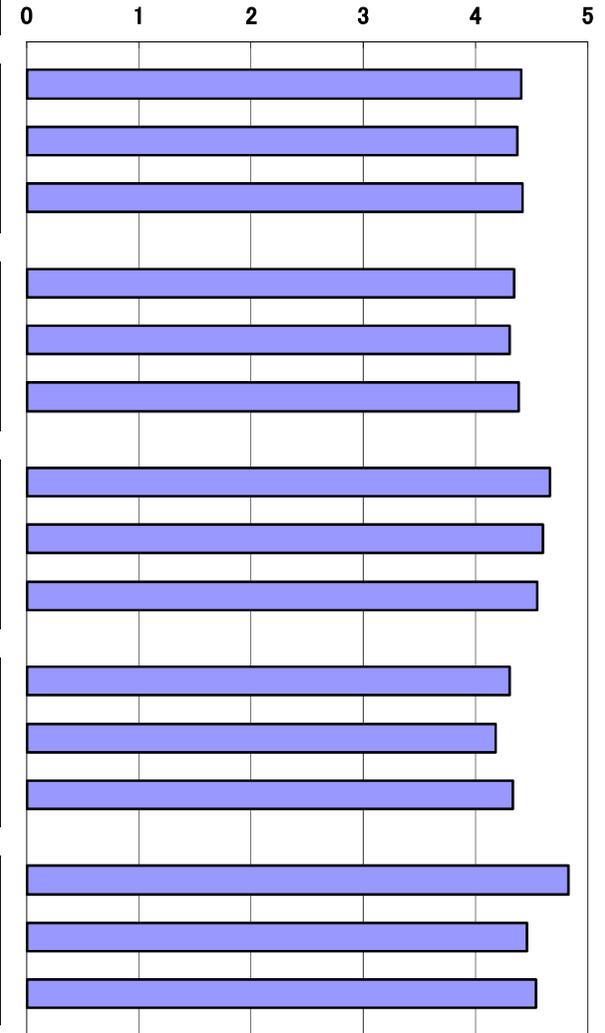


[00]

N=126

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	46	22	8	3	0	0	4.41	0.82
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	44	23	9	3	0	0	4.37	0.83
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	47	22	7	2	1	0	4.42	0.85
59.5		27.8	8.9	2.5	1.3	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	44	24	8	0	3	0	4.34	0.94
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	43	24	6	5	1	0	4.30	0.95
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	46	22	7	3	1	0	4.38	0.89
58.2		27.8	8.9	3.8	1.3	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	57	17	5	0	0	0	4.66	0.59
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	54	19	5	1	0	0	4.59	0.67
⑨	授業の進行速度は適切だった。	51	20	8	0	0	0	4.54	0.67
64.6		25.3	10.1	0.0	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	41	27	7	2	2	0	4.30	0.92
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	40	22	11	3	3	0	4.18	1.05
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	44	19	15	0	1	0	4.33	0.87
55.7		24.1	19.0	0.0	1.3	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	68	8	3	0	0	0	4.82	0.47
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	48	23	5	2	1	0	4.46	0.82
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	52	20	5	1	1	0	4.53	0.78
65.8		25.3	6.3	1.3	1.3	0.0			



科目コード	1H1100	科目名	リハビリテーション医学	担当教員名	森本正・長晶子・中西景子・樋口晶
-------	--------	-----	-------------	-------	------------------

<教員からのコメント>

リハビリテーション医学が対象とする疾患は多岐にわたるため代表的な疾患にしぼって講義を行っています。
配布資料が多すぎることがないようにし、また重要な点がわかり易いように修正を試みます。
PT. OT. STなど各職種の講義は継続して行います。

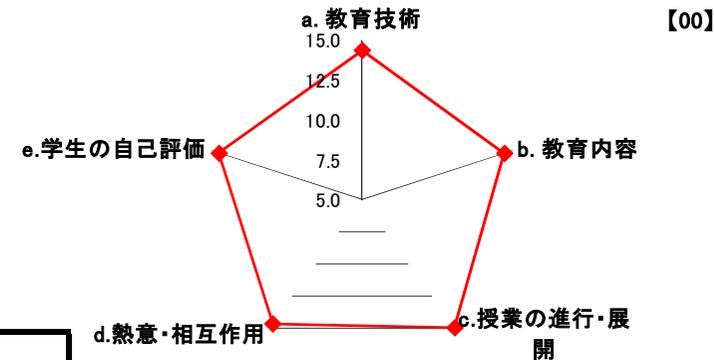
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	20	回収数	13	回収率	65.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:ラボラトリー・プラクティス

担当者:
藤原睦憲・村上康弘

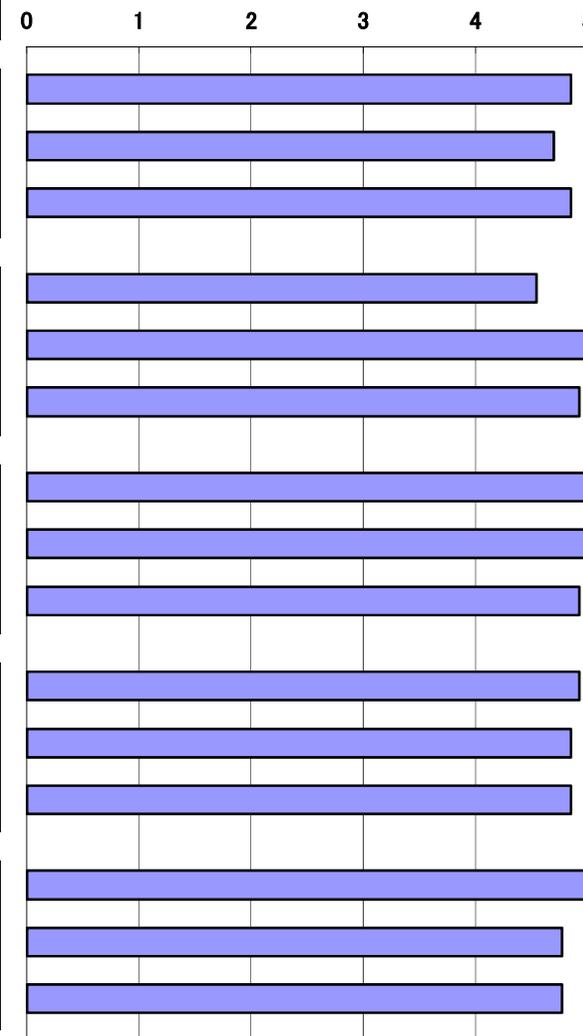
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	13	14.38	1.27
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	13	14.46	1.08
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	13	14.92	0.27
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	13	14.62	0.92
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	13	14.54	1.08



N=13

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	11	2	0	0	0	0	4.85	0.36
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	11	0	2	0	0	0	4.69	0.72
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11	2	0	0	0	0	4.85	0.36
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	10	1	1	1	0	0	4.54	0.93
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	13	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	12	1	0	0	0	0	4.92	0.27
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	13	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	13	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑨	授業の進行速度は適切だった。	12	1	0	0	0	0	4.92	0.27
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	12	1	0	0	0	0	4.92	0.27
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	11	2	0	0	0	0	4.85	0.36
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	11	2	0	0	0	0	4.85	0.36
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	13	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	11	1	1	0	0	0	4.77	0.58
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	11	1	1	0	0	0	4.77	0.58



科目コード	1H1400	科目名	ラボラトリー・プラクティス	担当教員名	藤原睦憲・村上康弘
-------	--------	-----	---------------	-------	-----------

<教員からのコメント>

試験の結果からも学生達が良く講義内容を理解できており、今後の人生に役立ってくれると確信しております。
又、検査医学とは直接関係はしていませんが、「ストレスの劇的解消法」や「病理学(学問)上達の極意」も十分に伝授されたと思っています。
社会へ出てから本講義が影ながら良い影響を与えてくれると信じております。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

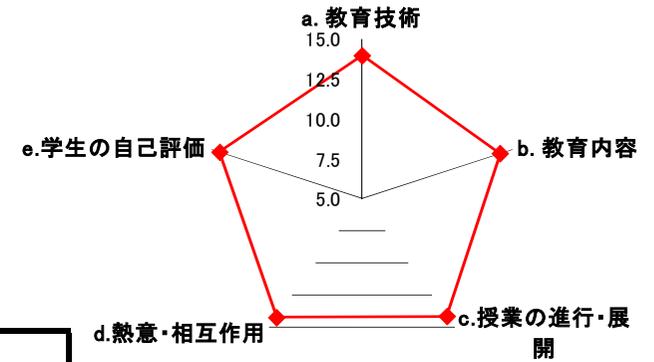
履修者数	72	回収数	47	回収率	65.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護学概論Ⅰ

担当者:

守田美奈子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	14.00	1.24
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	14.17	1.29
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	46	14.13	1.41
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	45	14.20	1.65
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	46	14.48	0.83

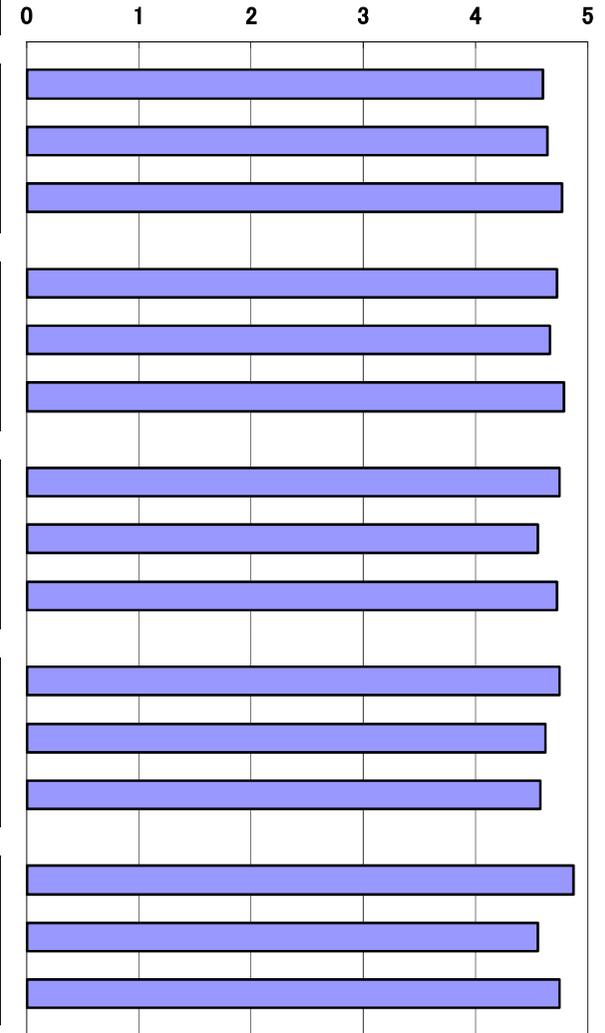


[00]

N=67

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	29	17	1	0	0	0	4.60	0.53
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	31	15	1	0	0	0	4.64	0.52
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	37	9	1	0	0	0	4.77	0.47
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	35	11	1	0	0	0	4.72	0.49
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	33	12	2	0	0	0	4.66	0.56
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	37	10	0	0	0	0	4.79	0.41
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	36	10	1	0	0	0	4.74	0.48
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	33	10	3	0	0	1	4.55	0.89
⑨	授業の進行速度は適切だった。	36	9	2	0	0	0	4.72	0.53
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	37	9	0	1	0	0	4.74	0.56
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	33	11	2	1	0	0	4.62	0.67
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	37	7	0	1	0	2	4.57	1.11
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	45	1	0	0	0	1	4.87	0.73
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	32	12	2	0	0	1	4.55	0.87
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	39	7	0	0	0	1	4.74	0.78



科目コード	110101	科目名	看護学概論 I	担当教員名	守田美奈子
-------	--------	-----	---------	-------	-------

<教員からのコメント>

看護へのイメージが湧くように、事例を通して全体に問いかけたり、グループで話し合うという方法を中心に授業を展開できるよう工夫したつもりです。みなさんの感想から、授業の意図をくみとり、積極的に参加してくれたことが理解できました。また、いろいろな人の発想や意見に触れることができ楽しかったという意見も多く頂きました。授業展開に関してはよい評価を頂いていますので、次年度も話し合いを多く取り入れた授業をより進めていきたいと思います。このクラスは月曜日の1時間目なので、集中力が高まるまで時間がかかるようです。3時間目の時間と比べると、授業評価が低くなっていますので、みなさんに意識を集中してもらおう工夫が必要なのかもしれません。学生のみなさんも、月曜日の朝の意識をどのように覚醒するか、お互いに努力をして、よい授業にしていきたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

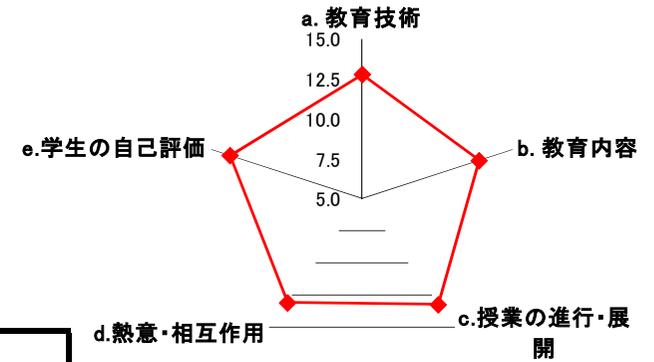
履修者数	73	回収数	47	回収率	64.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護学概論Ⅰ

担当者:

守田美奈子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	12.81	1.73
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	12.79	1.87
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	13.19	1.55
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	13.04	1.92
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	13.79	1.20



[00]

N=67

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	19	25	3	0	0	0	4.34	0.59
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	16	25	3	3	0	0	4.15	0.80
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	18	26	3	0	0	0	4.32	0.59

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	16	26	4	1	0	0	4.21	0.68
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	18	23	6	0	0	0	4.26	0.67
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	20	23	3	1	0	0	4.32	0.69

c. 授業の進行・展開

⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	24	22	1	0	0	0	4.49	0.54
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	20	24	3	0	0	0	4.36	0.60
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	19	25	3	0	0	0	4.34	0.59

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	17	28	1	1	0	0	4.30	0.62
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	22	20	4	1	0	0	4.34	0.72
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	24	19	3	1	0	0	4.40	0.70

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	46	1	0	0	0	0	4.98	0.14
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	21	21	4	1	0	0	4.32	0.72
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入室をしない等)に協力した。	26	18	3	0	0	0	4.49	0.61



科目コード	110102	科目名	看護学概論 I	担当教員名	守田美奈子
-------	--------	-----	---------	-------	-------

<教員からのコメント>

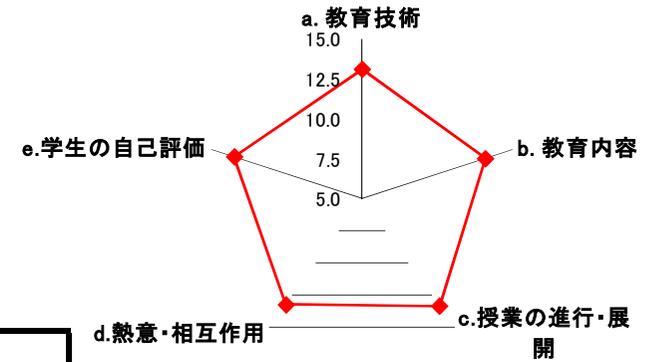
看護へのイメージが湧くように、事例を通して全体に問いかけたり、グループで話し合うという方法を中心に授業を展開できるよう工夫したつもりです。みなさんの感想から、授業の意図をくみとり、積極的に参加してくれたことが理解できました。また、いろいろな人の発想や意見に触れることができ楽しかったという意見も多く頂きました。授業展開に関してはよい評価を頂いていますので、次年度も話し合いを多く取り入れた授業をより進めていきたいと思っています。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	134	回収数	53	回収率	39.6%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:看護関係法規
 担当者:
 安部陽子・鶴田恵子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	53	13.13	2.61
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	52	13.19	2.79
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	52	13.33	2.69
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	52	13.21	2.68
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	52	13.52	2.52

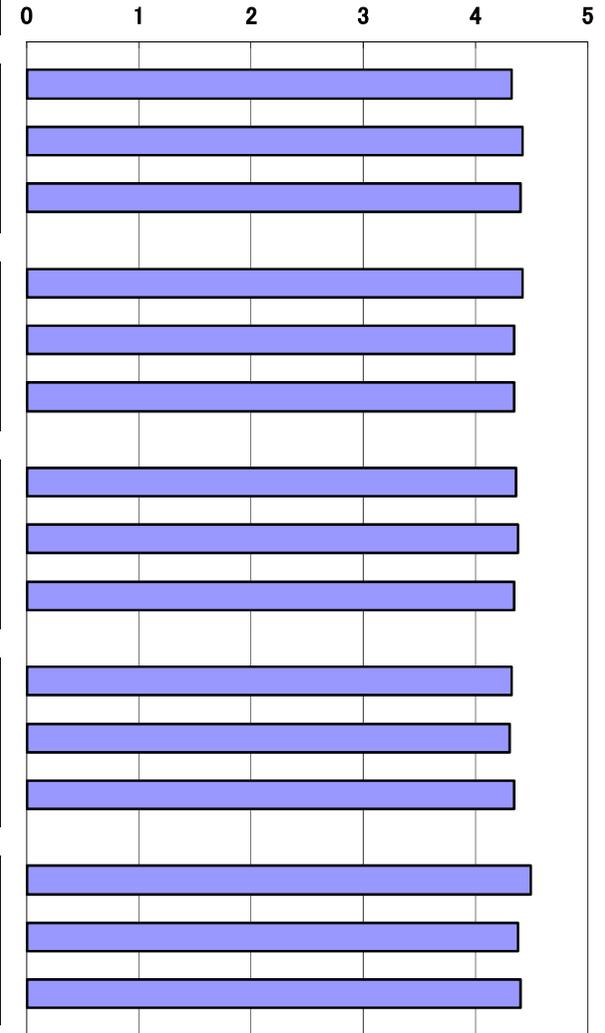


[00]

N=80

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	27	21	2	1	2	0	4.32	0.93
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	32	15	4	0	2	0	4.42	0.92
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	30	18	3	0	2	0	4.40	0.90
56.6		34.0	5.7	0.0	3.8	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	32	16	2	1	2	0	4.42	0.94
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	28	20	2	1	2	0	4.34	0.93
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	32	15	2	1	2	1	4.34	1.11
60.4		28.3	3.8	1.9	3.8	1.9			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	32	16	1	1	2	1	4.36	1.10
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	32	16	2	0	2	1	4.38	1.07
⑨	授業の進行速度は適切だった。	31	16	3	0	2	1	4.34	1.08
58.5		30.2	5.7	0.0	3.8	1.9			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	30	17	3	0	2	1	4.32	1.08
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	29	18	3	0	2	1	4.30	1.07
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	31	16	3	0	2	1	4.34	1.08
58.5		30.2	5.7	0.0	3.8	1.9			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	36	14	0	0	2	1	4.49	1.04
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	31	18	1	0	2	1	4.38	1.05
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	32	17	1	0	2	1	4.40	1.05
60.4		32.1	1.9	0.0	3.8	1.9			



科目コード	110300	科目名	看護関係法規	担当教員名	安部陽子・鶴田恵子
-------	--------	-----	--------	-------	-----------

<教員からのコメント>

実際に起きた事例がある場合はそれと法律を関連付けて講義をしました。また、授業内容の理解の確認、国家試験の準備、出席の確認という目的で、毎回クイズを行いました。これらに関してはよい評価をいただいていますので、継続していきたいと考えます。さらに、改善して欲しいという要望があった授業の提供方法、資料の書式、教材については検討し、よりよいものを提供していきます。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

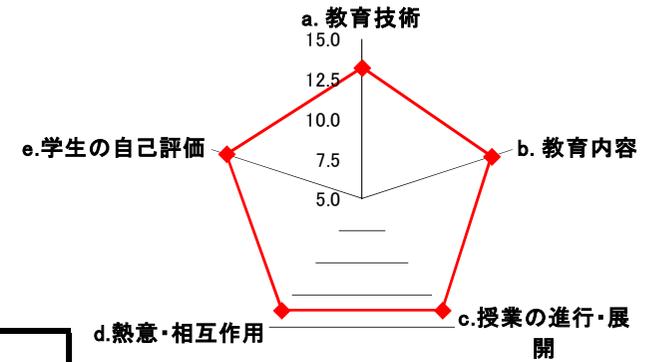
履修者数	72	回収数	47	回収率	65.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護技術論Ⅰ

担当者:

堀井湖浪・遠藤公久・小宮敬子・佐々木幾美・鶴田恵子・鷹野朋実・岡本有子・亀井縁・江見香月・太田智子・濱田真由美

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	13.23	1.49
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	13.60	1.59
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	13.64	1.34
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	13.64	1.52
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	14.02	1.16



[00]

N=68

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	20	27	0	0	0	0	4.43	0.49
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	20	25	2	0	0	0	4.38	0.57
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	23	21	3	0	0	0	4.43	0.61

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	27	19	1	0	0	0	4.55	0.54
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	28	16	3	0	0	0	4.53	0.61
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	27	17	3	0	0	0	4.51	0.61

c. 授業の進行・展開

⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	25	22	0	0	0	0	4.53	0.50
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	28	19	0	0	0	0	4.60	0.49
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	25	21	1	0	0	0	4.51	0.54

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	27	19	1	0	0	0	4.55	0.54
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	26	19	2	0	0	0	4.51	0.58
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	28	18	1	0	0	0	4.57	0.54

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	43	3	1	0	0	0	4.89	0.37
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	24	21	2	0	0	0	4.47	0.58
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入室をしない等)に協力した。	31	16	0	0	0	0	4.66	0.47



科目コード	1J0101	科目名	看護技術論 I	担当教員名	堀井湖浪・遠藤公久・小宮敬子・佐々木幾美・鶴田恵子・鷹野朋 実・亀井縁・岡本有子・太田智子・江見香月・濱田真由美
-------	--------	-----	---------	-------	---

<教員からのコメント>

- ・この科目は、看護の基本をなす対象との援助的人間関係について、心理・社会的な観点を踏まえて理解を深め、実際の体験を通して学ぶことを目的としています。講義や演習を通して、自己理解が深まったり、他者との間で何が起きている・いたのか考えることができたようでよかったです。
- ・学生の皆様からは「実習で病院に行くときに大事なことが学べた」「看護に重要なことがつまっていた」などの声をいただき、とても嬉しく思いました。
- ・声のボリュームや演習に関するオリエンテーションについてご意見をいただいたので、考慮したいと思います。多くのご意見・ご感想をいただきありがとうございました。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

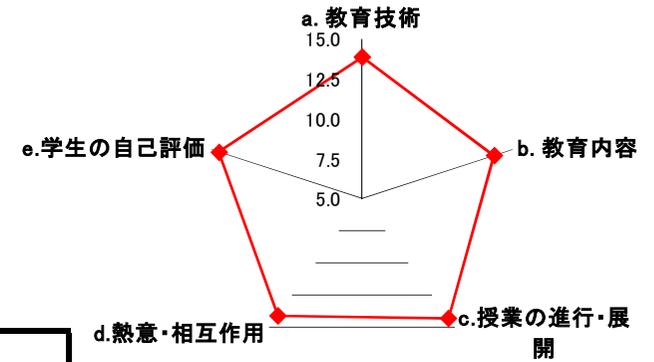
履修者数	73	回収数	47	回収率	64.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護技術論Ⅰ

担当者:

古城門靖子・遠藤公久・小宮敬子・佐々木
幾美・鶴田恵子・鷹野朋実・岡本有子・亀
井縁・江見香月・太田智子・濱田真由美

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	13.89	1.32
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	13.77	1.46
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	46	14.28	1.12
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	46	14.07	1.37
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	14.53	0.85



[00]

N=69

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	27	20	0	0	0	0	4.57	0.49
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	30	16	1	0	0	0	4.62	0.53
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	33	14	0	0	0	0	4.70	0.46

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	30	16	1	0	0	0	4.62	0.53
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	28	17	2	0	0	0	4.55	0.58
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	30	15	2	0	0	0	4.60	0.57

c. 授業の進行・展開

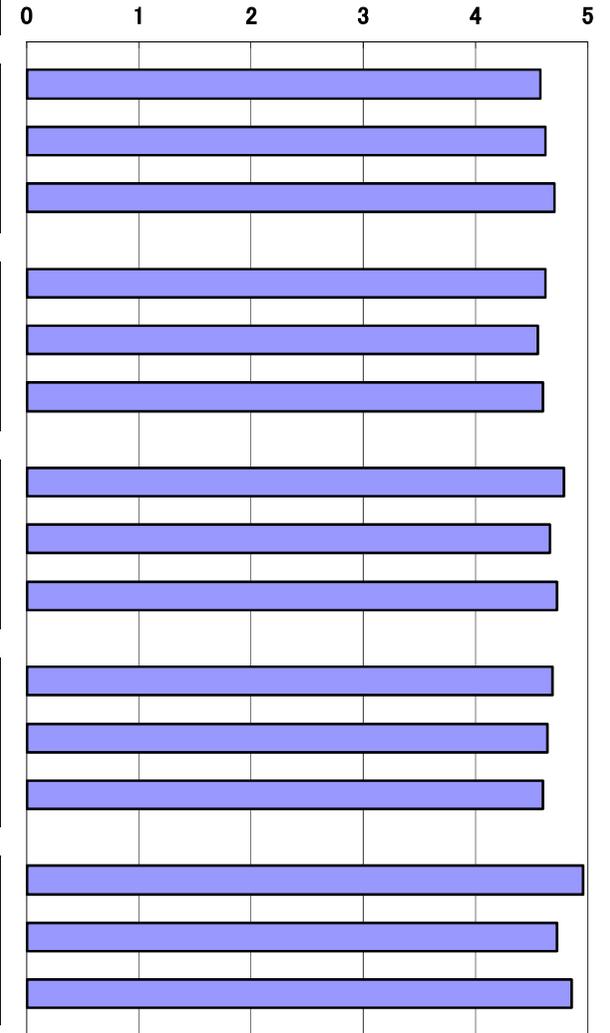
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	37	10	0	0	0	0	4.79	0.41
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	35	11	0	0	0	1	4.66	0.81
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	34	13	0	0	0	0	4.72	0.45

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	32	15	0	0	0	0	4.68	0.47
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	31	15	1	0	0	0	4.64	0.52
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	33	12	1	0	0	1	4.60	0.84

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	45	2	0	0	0	0	4.96	0.20
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	34	13	0	0	0	0	4.72	0.45
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	41	5	1	0	0	0	4.85	0.41



科目コード	1J0102	科目名	看護技術論 I	担当教員名	古城門靖子・遠藤公久・小宮敬子・佐々木幾美・鶴田恵子・鷹野朋実・亀井縁・岡本有子・太田智子・江見香月・濱田真由美
-------	--------	-----	---------	-------	--

<教員からのコメント>

- ・看護の基本をなす対象との援助的人間関係について、講義と演習で行なったグループワークを通して学んでいただけたことをうれしく思います。
- ・特に、自己理解の重要性、自己一致についての理解が深まったことはうれしく思います。
- ・スライド(の内容)は、事前にお配りした資料の補足説明を行なうために使用いたしました。追加の資料として配布したほうがよいとのご意見をいただきましたので、今後は資料としてお配りし、内容も具体例を増やすなど可能な限り改善していきたいと考えております。貴重なご意見ありがとうございました。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

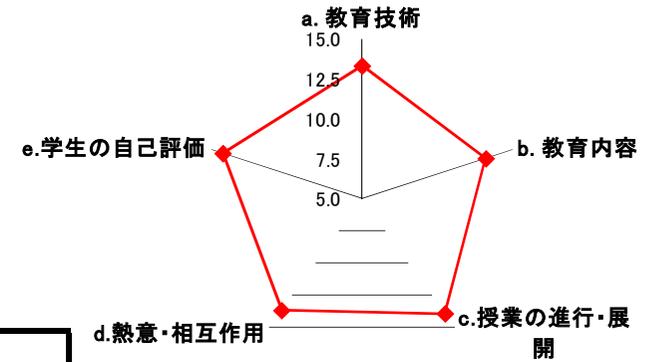
履修者数	71	回収数	50	回収率	70.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護援助論Ⅰ

担当者:

川原由佳里・下村裕子・殿城友紀・樋口佳栄・西田朋子・住谷ゆかり・和田美也子・山本伊都子・源川奈央子・梅田亜矢・安島幹子・桐原あずみ

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	50	13.36	2.22
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	50	13.22	2.41
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	50	13.92	1.67
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	49	13.65	2.08
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	50	14.26	1.35

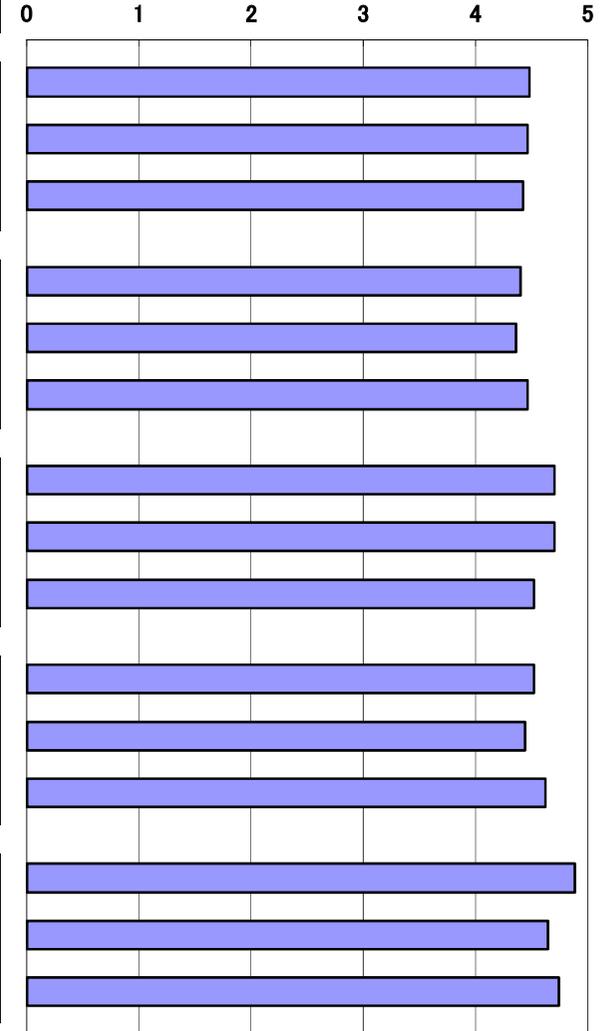


[00]

N=67

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	30	14	6	0	0	0	4.48	0.70
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	30	13	7	0	0	0	4.46	0.73
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	31	11	7	0	1	0	4.42	0.87
62.0		22.0	14.0	0.0	2.0	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	30	11	8	1	0	0	4.40	0.82
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	30	10	8	2	0	0	4.36	0.89
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	32	12	3	3	0	0	4.46	0.85
64.0		24.0	6.0	6.0	0.0	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	37	11	2	0	0	0	4.70	0.54
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	37	11	2	0	0	0	4.70	0.54
⑨	授業の進行速度は適切だった。	34	8	8	0	0	0	4.52	0.75
68.0		16.0	16.0	0.0	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	33	11	5	1	0	0	4.52	0.75
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	33	11	3	2	0	1	4.44	1.00
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	35	11	4	0	0	0	4.62	0.63
70.0		22.0	8.0	0.0	0.0	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	45	4	1	0	0	0	4.88	0.38
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	37	9	3	1	0	0	4.64	0.69
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	39	9	2	0	0	0	4.74	0.52
78.0		18.0	4.0	0.0	0.0	0.0			



科目コード	1K0101	科目名	看護援助論 I (看護過程)	担当教員名	川原由佳里・西田朋子・和田美也子・下村裕子・樋口佳栄・安島幹子・梅田亜矢・桐原あずみ・住谷ゆかり・殿城友紀・源川奈央子・山本伊都子
-------	--------	-----	----------------	-------	---

<教員からのコメント>

学生からのコメントとして「たのしかった」、「もっとやりたかった」、「大変だったけど頑張れた」、「実習で役立ちそう」という感想と、「グループワークにつく先生が丁寧に対応してくれた」、「詳しく教えてくれた」、「ヒントが的確で細かくてよかった」というご意見もいただきました。一方で、「学生に考えさせるだけでなく先生の考えについて説明してほしい」という要望の他、「パワーポイントの文字が多い」、「レジメが見にくい」、「アナウンスに間違いがあった」、「先生によって評価の基準が一定していない」などのご指摘や評価を受けました。来年度は、①アセスメントの過程についてさらに詳しい説明を加えること、②パワーポイント、レジメなどの教材の改善、③教員間での評価方法の統一に向けて改善したいと思います。ありがとうございました。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

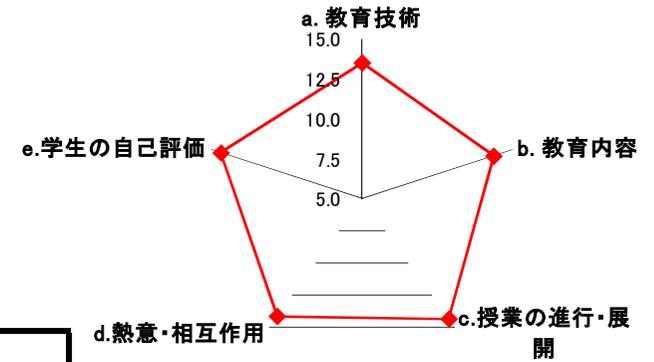
履修者数	71	回収数	47	回収率	66.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護援助論Ⅰ

担当者:

川原由佳里・下村裕子・殿城友紀・樋口佳栄・西田朋子・住谷ゆかり・和田美也子・山本伊都子・源川奈央子・梅田亜矢・安島幹子・桐原あずみ

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	13.53	1.96
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	13.74	1.77
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	14.32	1.39
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	14.13	1.45
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	14.40	1.28



[00]

N=53

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	31	13	3	0	0	0	4.60	0.61
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	28	14	5	0	0	0	4.49	0.68
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	30	9	7	1	0	0	4.45	0.82

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	29	9	7	2	0	0	4.38	0.89
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	32	12	3	0	0	0	4.62	0.60
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	38	6	3	0	0	0	4.74	0.56

c. 授業の進行・展開

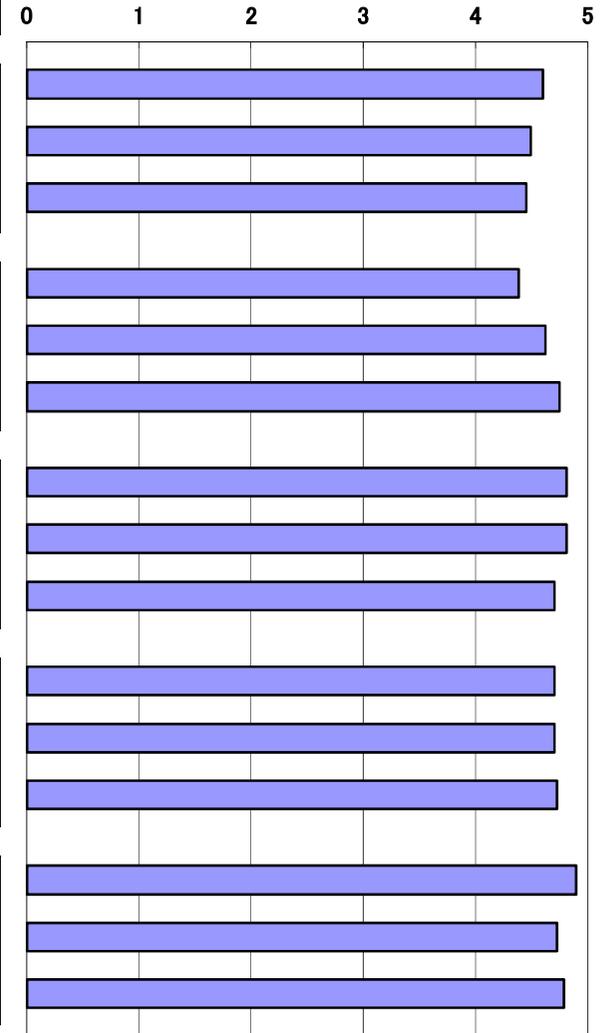
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	39	7	1	0	0	0	4.81	0.44
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	39	7	1	0	0	0	4.81	0.44
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	36	8	3	0	0	0	4.70	0.58

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	35	10	2	0	0	0	4.70	0.54
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	36	8	3	0	0	0	4.70	0.58
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	36	9	2	0	0	0	4.72	0.53

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	43	3	1	0	0	0	4.89	0.37
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	37	7	3	0	0	0	4.72	0.57
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	38	8	1	0	0	0	4.79	0.46



科目コード	1K0102	科目名	看護援助論 I (看護過程)	担当教員名	川原由佳里・西田朋子・和田美也子・下村裕子・樋口佳栄・安島幹子・梅田亜矢・桐原あずみ・住谷ゆかり・殿城友紀・源川奈央子・山本伊都子
-------	--------	-----	----------------	-------	---

<教員からのコメント>

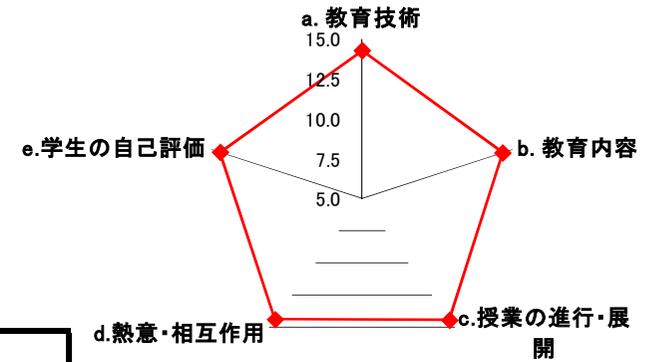
学生からのコメントとして「たのしかった」、「もっとやりたかった」、「大変だったけど頑張れた」、「実習で役立ちそう」という感想と、「グループワークにつく先生が丁寧に対応してくれた」、「詳しく教えてくれた」、「ヒントが的確で細かくてよかった」というご意見もいただきました。一方で、「学生に考えさせるだけでなく先生の考えについて説明してほしい」という要望の他、「パワーポイントの文字が多い」、「レジメが見にくい」、「アナウンスに間違いがあった」、「先生によって評価の基準が一定していない」などのご指摘や評価を受けました。来年度は、①アセスメントの過程についてさらに詳しい説明を加えること、②パワーポイント、レジメなどの教材の改善、③教員間での評価方法の統一に向けて改善したいと思います。ありがとうございました。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	71	回収数	50	回収率	70.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護援助論Ⅱ
担当者:
千葉京子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	50	14.30	1.22
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	50	14.36	1.21
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	50	14.40	1.20
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	50	14.36	1.21
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	50	14.44	1.06

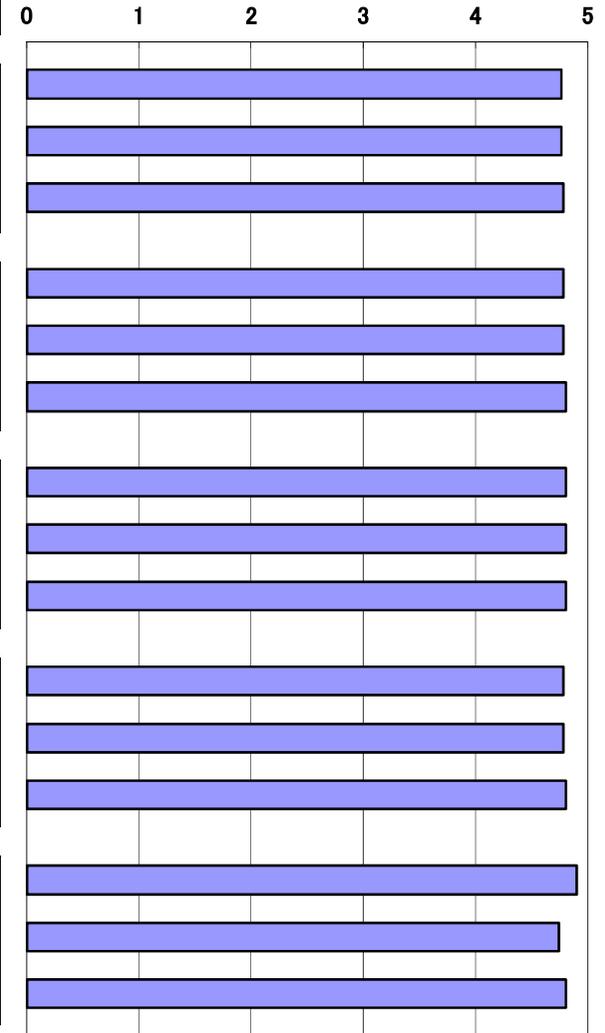


[00]

N=65

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	38	12	0	0	0	0	4.76	0.43
		76.0	24.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	38	12	0	0	0	0	4.76	0.43
		76.0	24.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	39	11	0	0	0	0	4.78	0.41
		78.0	22.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	39	11	0	0	0	0	4.78	0.41
		78.0	22.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	39	11	0	0	0	0	4.78	0.41
		78.0	22.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	40	10	0	0	0	0	4.80	0.40
		80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	40	10	0	0	0	0	4.80	0.40
		80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	40	10	0	0	0	0	4.80	0.40
		80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑨	授業の進行速度は適切だった。	40	10	0	0	0	0	4.80	0.40
		80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	39	11	0	0	0	0	4.78	0.41
		78.0	22.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	39	11	0	0	0	0	4.78	0.41
		78.0	22.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	40	10	0	0	0	0	4.80	0.40
		80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	45	5	0	0	0	0	4.90	0.30
		90.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	38	11	1	0	0	0	4.74	0.48
		76.0	22.0	2.0	0.0	0.0	0.0		
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	40	10	0	0	0	0	4.80	0.40
		80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0		



科目コード	1K0201	科目名	看護援助論Ⅱ	担当教員名	千葉京子
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

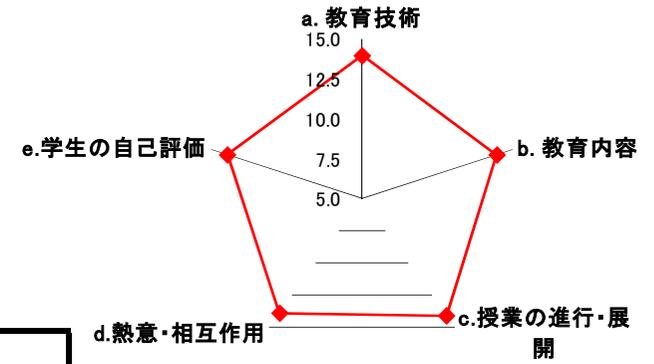
- ・「レジュメがわかりやすい」、「重要なポイントがわかりやすい」、「教科書での知識を確認しながら新しいことを学べた」などのコメントを頂きました。見やすさと学習ポイントの強調を心がけましたが、それを評価いただけたことを嬉しく思います。
- ・「プリントが穴埋め形式」は、前回の学習内容を小テストで確認するために配布したプリントのことですね。これは、知識の定着を促進する方略として実施しました。
- ・授業は『呼吸』と『循環』という重要な機能を障害された患者の看護をとりあつかうので、今年度も中間試験と最終試験の2つに分けて実施しました。皆さんの希望を考慮して実施し始めましたが、この点も評価を頂けているので次年度も続行したいと思います。
- ・貴重なご意見をありがとうございました。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	71	回収数	49	回収率	69.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護援助論Ⅱ
担当者:
千葉京子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	49	14.00	1.62
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	49	13.94	1.65
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	49	14.08	1.60
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	49	13.88	1.62
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	49	13.96	1.55

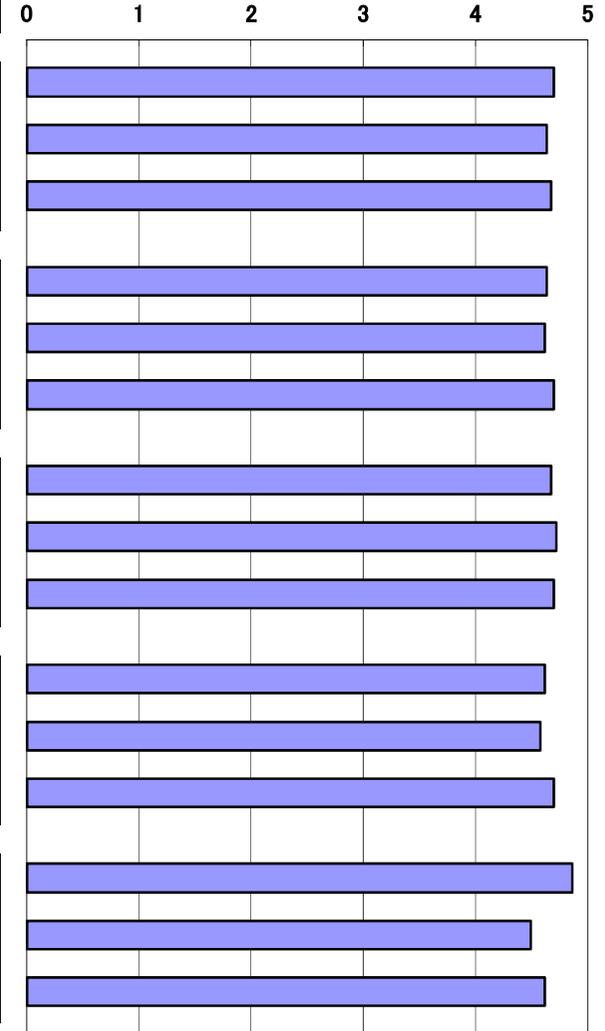


[00]

N=65

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	36	11	2	0	0	0	4.69	0.54
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	33	14	2	0	0	0	4.63	0.56
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	35	12	2	0	0	0	4.67	0.55
71.4		24.5	4.1	0.0	0.0	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	33	14	2	0	0	0	4.63	0.56
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	34	11	4	0	0	0	4.61	0.63
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	36	11	2	0	0	0	4.69	0.54
73.5		22.4	4.1	0.0	0.0	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	37	9	2	1	0	0	4.67	0.65
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	37	10	2	0	0	0	4.71	0.53
⑨	授業の進行速度は適切だった。	36	11	2	0	0	0	4.69	0.54
73.5		22.4	4.1	0.0	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	33	13	3	0	0	0	4.61	0.60
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	31	15	3	0	0	0	4.57	0.61
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	36	11	2	0	0	0	4.69	0.54
73.5		22.4	4.1	0.0	0.0	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	43	5	1	0	0	0	4.86	0.40
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	31	12	5	1	0	0	4.49	0.76
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	34	11	4	0	0	0	4.61	0.63
69.4		22.4	8.2	0.0	0.0	0.0			



科目コード	1K0202	科目名	看護援助論Ⅱ	担当教員名	千葉京子
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

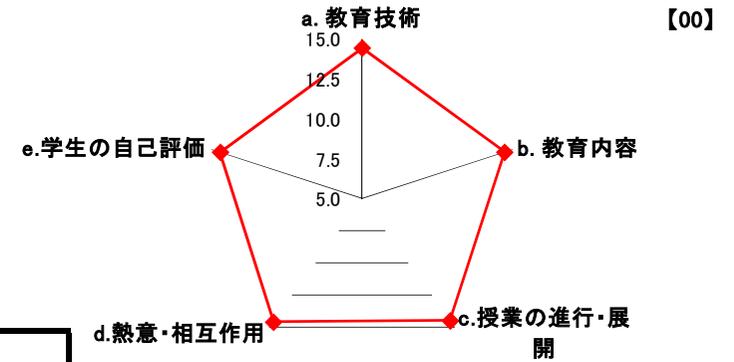
- ・授業は『呼吸』と『循環』という重要な機能を障害された患者の看護をとりあつかうので、今年度も中間試験と最終試験の2つに分けて実施しました。皆さんの希望を考慮して実施し始めましたが、この点も好評ですので次年度も続行したいと思います。
- ・前回の授業内容のポイントを小テストにしたのは知識の定着をはかったものですが、その点も評価頂けました。
- ・授業への興味・関心を高めるため、また実習に生かせるようにと考え実物や写真を活用しました。この点も効果的であったとのコメントは授業を工夫している側として励みになります。
- ・「たんととしてた」というコメントは、学生への関心が低かったという意味でしょうか。臨場感にかける語り口であったということでしょうか。貴重な意見として、次年度の授業に生かしたいと思います。
- ・「1年次の疾病の成り立ちの授業」との連携は重要なお意見と思います。改善できる点があるか検討してみます。ありがとうございました。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	72	回収数	47	回収率	65.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護援助論Ⅲ
 担当者:
 江本リナ

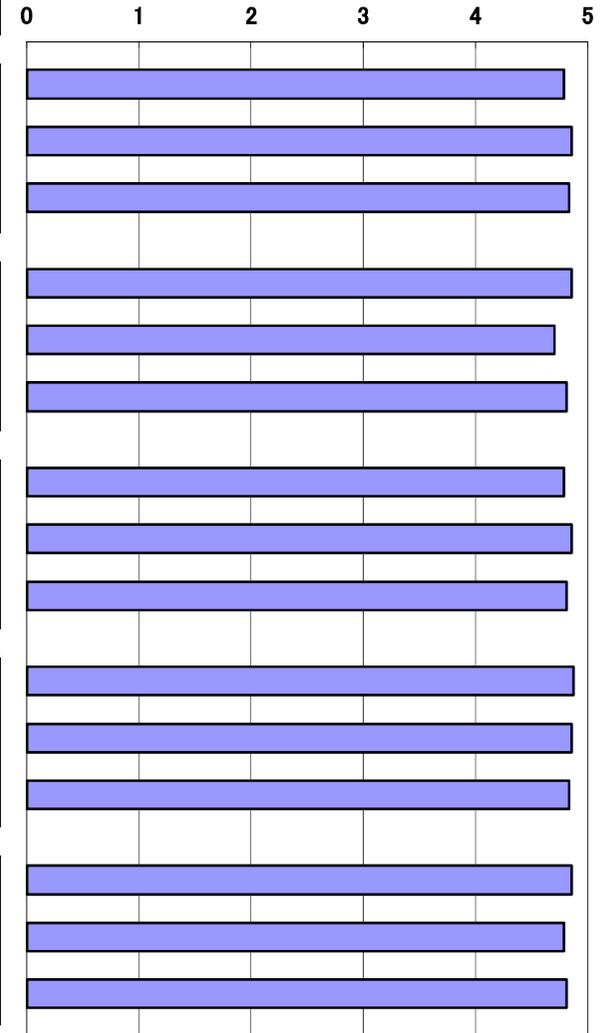
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	14.47	1.16
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	46	14.48	1.26
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	14.45	1.25
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	14.55	1.20
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	14.45	1.22



N=72

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	37	10	0	0	0	0	4.79	0.41
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	40	7	0	0	0	0	4.85	0.36
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	41	5	0	1	0	0	4.83	0.52
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	41	5	1	0	0	0	4.85	0.41
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	38	7	1	0	0	1	4.70	0.82
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	39	7	1	0	0	0	4.81	0.44
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	39	6	2	0	0	0	4.79	0.50
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	41	5	1	0	0	0	4.85	0.41
⑨	授業の進行速度は適切だった。	39	7	1	0	0	0	4.81	0.44
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	41	5	1	0	0	0	4.85	0.41
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	40	6	1	0	0	0	4.83	0.43
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	41	5	1	0	0	0	4.85	0.41
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	38	8	1	0	0	0	4.79	0.46
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	39	7	1	0	0	0	4.81	0.44



科目コード	1K0301	科目名	看護援助論Ⅲ	担当教員名	江本リナ
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

授業の良かった点として、DVD、動画、資料、実物、話し方などを挙げてくださり、授業内容を理解するのに役立ったという意見が多くありました。授業の進め方が効果的であったことが分かり、大変嬉しく思いました。これからも楽しく学べる工夫をしてまいります。

遅刻の扱いに関する要望がありましたが、2限に行われた授業でしたので十分に大学に到着できる時間帯だったと思います。これからは、時間を見計らって通学してくださいね。通常ではない交通事情が生じた場合には、もちろん考慮いたします。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

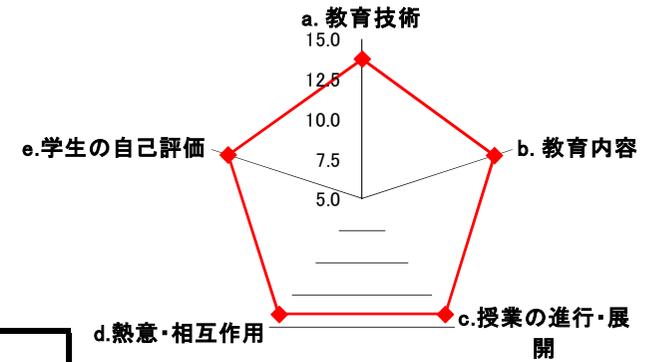
履修者数	71	回収数	47	回収率	66.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護援助論Ⅲ

担当者:

江本リナ

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	13.77	1.80
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	13.79	1.92
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	13.96	1.65
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	13.96	1.65
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	13.91	1.62

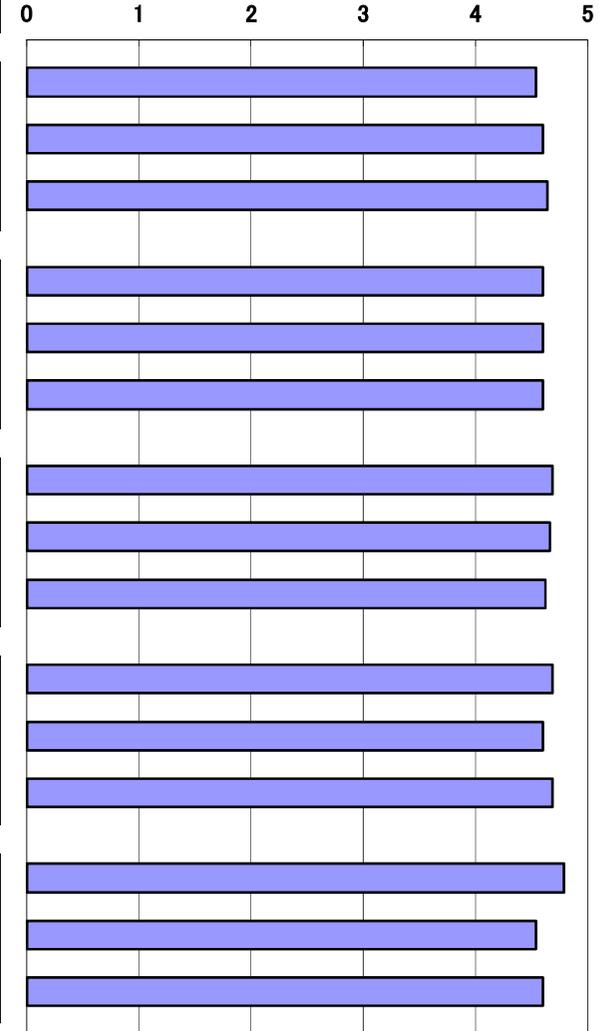


[00]

N=61

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	30	12	5	0	0	0	4.53	0.68
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	32	12	2	1	0	0	4.60	0.67
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	33	11	3	0	0	0	4.64	0.60
70.2		23.4	6.4	0.0	0.0	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	32	11	4	0	0	0	4.60	0.64
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	32	11	4	0	0	0	4.60	0.64
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	32	11	4	0	0	0	4.60	0.64
68.1		23.4	8.5	0.0	0.0	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	34	11	2	0	0	0	4.68	0.55
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	33	12	2	0	0	0	4.66	0.56
⑨	授業の進行速度は適切だった。	32	12	3	0	0	0	4.62	0.60
72.3		23.4	4.3	0.0	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	34	11	2	0	0	0	4.68	0.55
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	32	11	4	0	0	0	4.60	0.64
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	34	11	2	0	0	0	4.68	0.55
72.3		23.4	4.3	0.0	0.0	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	38	8	1	0	0	0	4.79	0.46
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	30	12	5	0	0	0	4.53	0.68
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	32	11	4	0	0	0	4.60	0.64
68.1		23.4	8.5	0.0	0.0	0.0			



科目コード	1K0302	科目名	看護援助論Ⅲ	担当教員名	江本リナ
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

DVDや動画などの映像から、想像しやすくいろいろ考える機会になったという意見がありました。
また、資料や説明も分かりやすく、参加型で授業が進み楽しく集中できたという意見もありました。
授業の進め方を工夫したことが効果的であったことが分かり、大変嬉しく思いました。
これからも楽しく学べる工夫をまいります。

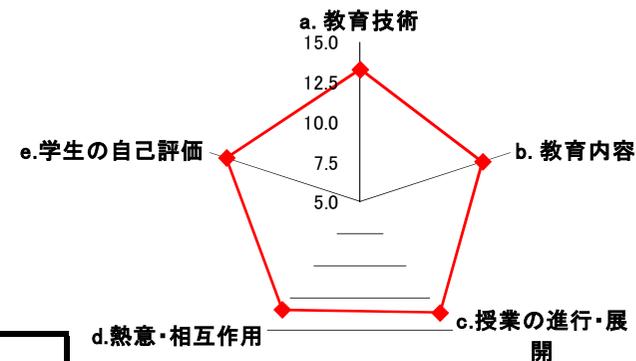
配布したレジメに書き込むスペースが欲しいという要望がありましたので、
もう少しメモ書きできるように工夫します。
ですが、レジメはあくまでも授業内容の柱ですので、自分で自由にノートを作ってください。
そのほうが理解力が増し記憶も増すそうですよ。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	71	回収数	56	回収率	78.9%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護援助論Ⅳ
 担当者:
 清田明美

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	56	13.30	1.85
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	56	13.14	2.03
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	56	13.61	1.77
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	56	13.38	1.89
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	55	13.89	1.52

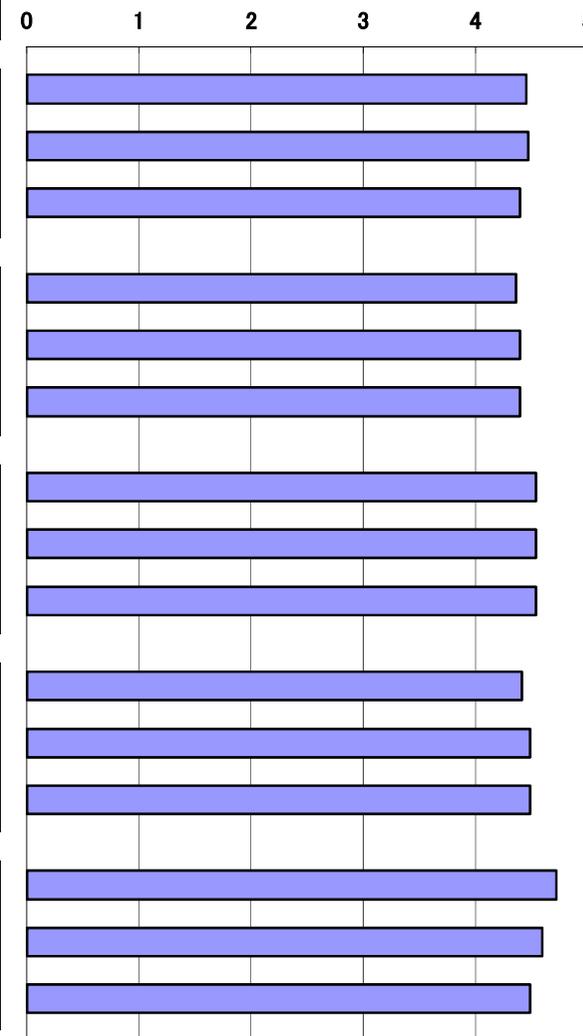


[00]

N=66

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	30	21	5	0	0	0	4.45	0.65
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	29	24	3	0	0	0	4.46	0.60
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	28	22	6	0	0	0	4.39	0.67
50.0		39.3	10.7	0.0	0.0	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	27	22	7	0	0	0	4.36	0.69
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	28	22	6	0	0	0	4.39	0.67
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	29	20	7	0	0	0	4.39	0.70
51.8		35.7	12.5	0.0	0.0	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	33	20	3	0	0	0	4.54	0.60
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	33	20	3	0	0	0	4.54	0.60
⑨	授業の進行速度は適切だった。	33	20	3	0	0	0	4.54	0.60
58.9		35.7	5.4	0.0	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	30	19	7	0	0	0	4.41	0.70
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	32	19	5	0	0	0	4.48	0.65
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	32	19	5	0	0	0	4.48	0.65
57.1		33.9	8.9	0.0	0.0	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	42	12	2	0	0	0	4.71	0.52
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	35	19	2	0	0	0	4.59	0.56
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	33	20	2	0	0	1	4.48	0.82
58.9		35.7	3.6	0.0	0.0	1.8			



科目コード	1K0401	科目名	看護援助論Ⅳ	担当教員名	清田明美
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

看護援助論Ⅳでは、人間の生活の営みの中で自然に行われている、食事を摂り排泄するまでの過程を理解していただくこと、その過程で障害が生じた場合、生きていく上で生活していく上でどのような影響があるのか、看護者はどのような支援ができるのか、について関連付けて考えられるように構成をしていきました。

嚙下の体験学習はよかったとの意見をいただいた一方、グループワークについては他教科でも多くなされていること、グループでの役割に個人差があること等、改善を求める意見もいただきました。グループワークを通してのディスカッションでは、受け身ではなく自ら学ぶ姿勢を養っていただきたいと思いましたが、グループでの作業や発表には個人差が生じることもふまえて、今後検討していきたいと思えます。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

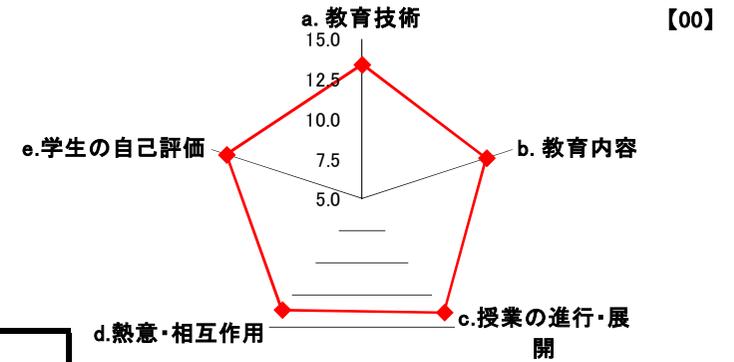
履修者数	71	回収数	53	回収率	74.6%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護援助論Ⅳ

担当者:

清田明美

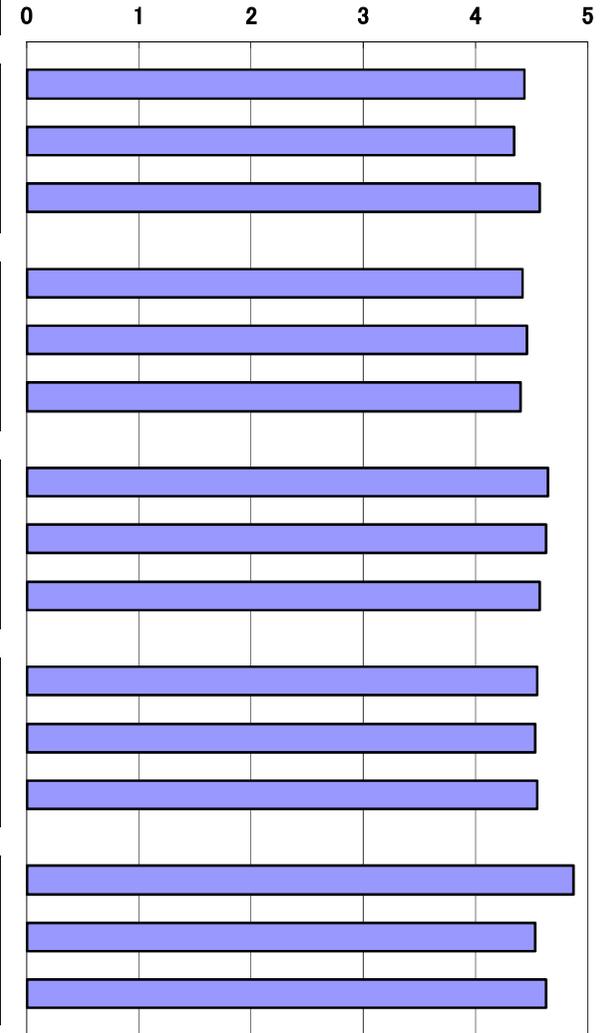
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	52	13.44	2.18
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	53	13.26	1.99
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	53	13.83	1.83
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	53	13.62	1.89
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	53	14.02	1.50



N=65

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	32	14	5	2	0	0	4.43	0.81
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	30	16	4	2	0	1	4.34	0.99
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	35	14	3	1	0	0	4.57	0.69
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	28	19	6	0	0	0	4.42	0.68
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	30	17	6	0	0	0	4.45	0.69
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	28	19	5	1	0	0	4.40	0.74
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	37	13	3	0	0	0	4.64	0.59
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	37	12	4	0	0	0	4.62	0.62
⑨	授業の進行速度は適切だった。	35	13	5	0	0	0	4.57	0.66
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	34	14	5	0	0	0	4.55	0.66
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	32	17	4	0	0	0	4.53	0.63
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	33	16	4	0	0	0	4.55	0.63
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	47	5	1	0	0	0	4.87	0.39
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	35	13	4	0	1	0	4.53	0.79
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	37	12	4	0	0	0	4.62	0.62



科目コード	1K0402	科目名	看護援助論Ⅳ	担当教員名	清田明美
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

看護援助論Ⅳでは、人間の生活の営みの中で自然に行われている、食事を摂り排泄するまでの過程を理解していただくこと、その過程で障害が生じた場合、生きていく上で生活していく上でどのような影響があるのか、看護者はどのような支援ができるのか、について関連付けて考えられるように構成をしていきました。

嚙下の体験学習はよかったとの意見をいただいた一方、グループワークについては他教科でも多くなされていること、グループでの役割に個人差があること等、改善を求める意見もいただきました。グループワークを通してのディスカッションでは、受け身ではなく自ら学ぶ姿勢を養っていただきたいと思いましたが、グループでの作業や発表には個人差が生じることもふまえて、今後検討していきたいと思えます。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

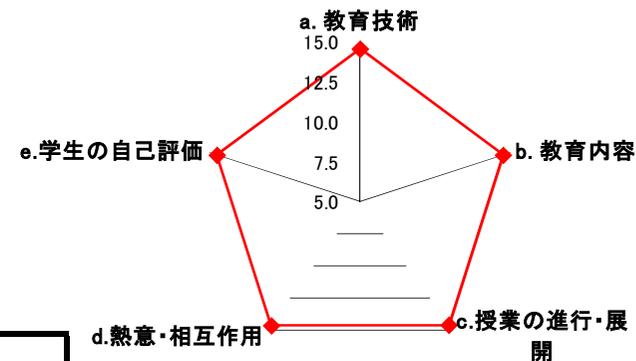
履修者数	71	回収数	47	回収率	66.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護援助論Ⅴ

担当者:

川名るり

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	14.60	1.07
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	14.51	1.22
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	14.57	0.98
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	14.60	1.00
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	14.53	0.87

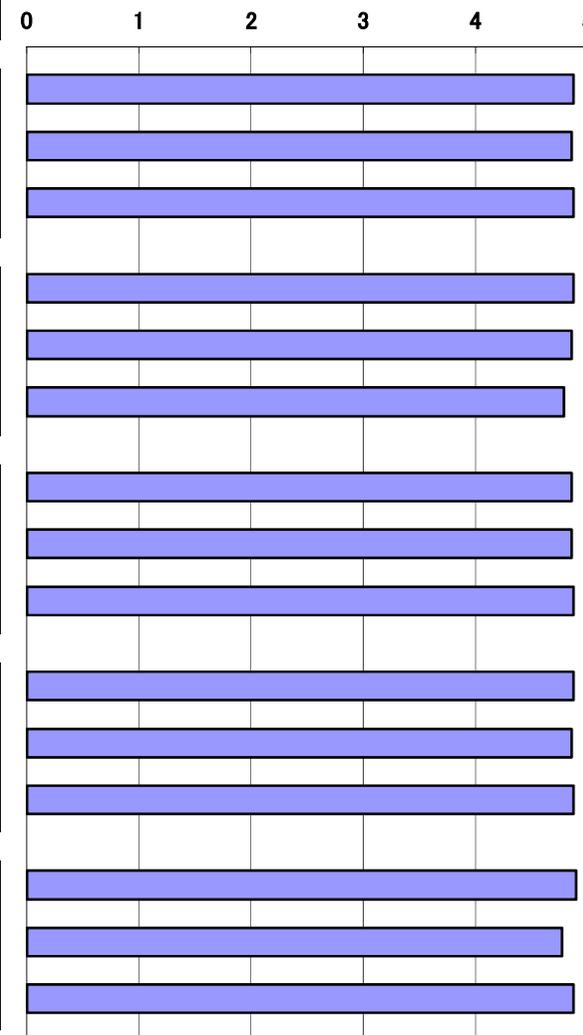


[00]

N=66

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	41	5	1	0	0	0	4.85	0.41
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	42	4	0	1	0	0	4.85	0.50
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	39	6	2	0	0	0	4.79	0.50
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	41	5	1	0	0	0	4.85	0.41
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	40	7	0	0	0	0	4.85	0.36
⑨	授業の進行速度は適切だった。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	40	7	0	0	0	0	4.85	0.36
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	43	3	1	0	0	0	4.89	0.37
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	38	7	2	0	0	0	4.77	0.51
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33



科目コード	1K0501	科目名	看護援助論Ⅴ	担当教員名	川名るり
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

映像や資料がわかりやすく、相手の立場になって考えることができた、「人」につなげて考えることができたとの感想をいただきました。また、おもしろくて楽しい授業だったと楽しみながら学んでいただけた様子が伺え、教員としてもとても嬉しく思いました。良かったです。

次年度も引き続き、楽しみながら興味を持って学んでもらえるように気合いを入れて工夫したいと思います！

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

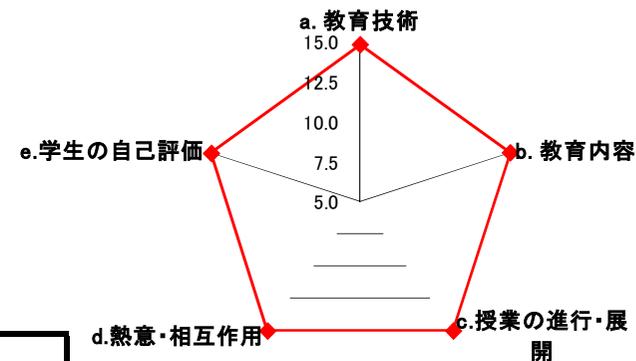
履修者数	71	回収数	47	回収率	66.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護援助論Ⅴ

担当者:

川名るり

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	14.87	0.53
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	14.98	0.14
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	15.00	0.00
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	45	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	14.91	0.35



[00]

N=66

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	44	3	0	0	0	0	4.94	0.24
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	45	2	0	0	0	0	4.96	0.20
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	46	1	0	0	0	0	4.98	0.14
97.9		2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	46	1	0	0	0	0	4.98	0.14
97.9		2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	47	0	0	0	0	0	5.00	0.00
100.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	47	0	0	0	0	0	5.00	0.00
100.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	47	0	0	0	0	0	5.00	0.00
100.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	47	0	0	0	0	0	5.00	0.00
100.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑨	授業の進行速度は適切だった。	47	0	0	0	0	0	5.00	0.00
100.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	46	0	0	0	0	1	4.89	0.72
97.9		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1		
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	47	0	0	0	0	0	5.00	0.00
100.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	46	0	0	0	0	1	4.89	0.72
97.9		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1		
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	46	1	0	0	0	0	4.98	0.14
97.9		2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	47	0	0	0	0	0	5.00	0.00
100.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	45	1	1	0	0	0	4.94	0.32
95.7		2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0		



科目コード	1K0502	科目名	看護援助論Ⅴ	担当教員名	川名るり
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

動画や具体例を含めた授業でとてもわかりやすく、とにかく楽しかった、興味を持てたとの感想をいただきました。
とても引き込まれた、心に残ったなどの感想もいただき、気合いを入れて工夫した甲斐があったとても嬉しく思います。

また、毎週受けるのを楽しみにしていた、毎授業やる気になっていましたなど、この授業を楽しみにしてくださっていたとの感想もいただき、担当教員として今後のモチベーションに繋がります。高い評価をいただきましてありがとうございました。

次年度も引き続き、授業で取り上げる内容や教授方法に工夫を凝らすとともに、みなさんの学習状況に合わせて進めていけるよう頑張ります！

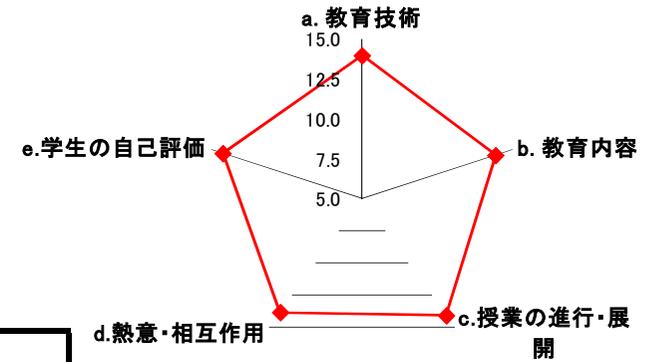
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	71	回収数	47	回収率	66.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護援助論VI

担当者:
谷津裕子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	14.00	1.47
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	13.87	1.59
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	14.04	1.46
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	13.83	1.68
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	14.26	1.19



[00]

N=61

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	34	13	0	0	0	0	4.72	0.45
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	32	13	2	0	0	0	4.64	0.56
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	31	15	1	0	0	0	4.64	0.52

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	30	15	2	0	0	0	4.60	0.57
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	31	15	1	0	0	0	4.64	0.52
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	31	15	1	0	0	0	4.64	0.52

c. 授業の進行・展開

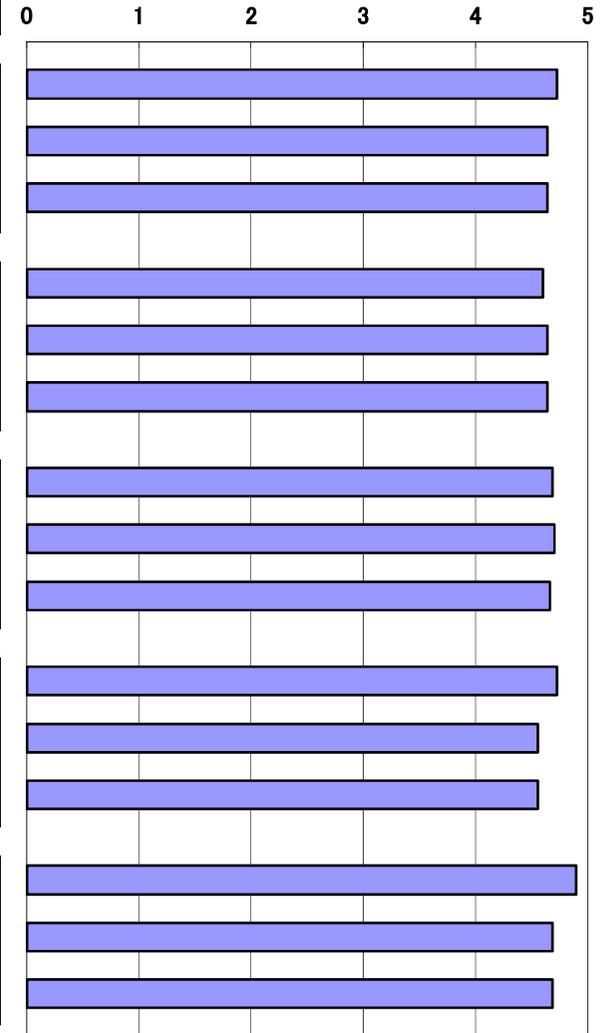
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	33	13	1	0	0	0	4.68	0.51
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	33	14	0	0	0	0	4.70	0.46
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	32	14	1	0	0	0	4.66	0.52

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	34	13	0	0	0	0	4.72	0.45
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	30	14	2	1	0	0	4.55	0.68
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	30	14	2	1	0	0	4.55	0.68

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	34	11	2	0	0	0	4.68	0.55
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	34	11	2	0	0	0	4.68	0.55



科目コード	1K0601	科目名	看護援助論VI	担当教員名	谷津裕子
-------	--------	-----	---------	-------	------

<教員からのコメント>

●全体的に高い評価、そして多くの感想をいただき、とても嬉しく思っています。

●「すごい大切な授業を丁寧に説明してくれたのが良かった」、「学生に気遣いながら、たくさんの知識を与えてもらった」など、私の授業内容や教授法を評価してくださった方がいました。性に対する意味づけや価値観は、その人がこれまで体験してきたことと切り離せないものがあり、正誤や善悪では推しはかれないものです。授業では、性をそのようなものとして大切に扱い、言葉を選びながら、丁寧に話を進めるようにしています。その姿勢が、皆さんにしっかり伝わっているように思い、励みになりました。

●「実際に性同一性障害の方の体験談を聞いたことが良かった」というご意見がありました。レジュメや手記などを通して得られる知識も大切ですが、やはり当事者と出会い、お話をじかに聞くことは、その何倍も多くのことを教えてくれます。そう考えて毎年このような機会を設けておりますが、その意図が皆さんに通じてとても満足しています。

●「プリントが見やすく復習しやすいものだった」、「関連する資料もついていたのが良かった」などの教育媒体に対する意見、「私語禁止(というルール)が良かった」、「静かな環境で講義が受けられてとても良かった」などの授業環境に対する意見は概ね肯定的で、嬉しく思っています。一方、「もっとディスカッションする時間があつたほうが良かった」、「疲れるので、もっとグループワーク等を入れて欲しい」というご意見については、たしかにその通りと感じます。これについては今後の課題として、より良い授業の組み立てを検討していきたいと思えます。

●「日本でタブー視されている性に関する話は、看護で必ず直面することなので、この授業で考える機会ができてとてもよかった」というご意見がありましたが、それは本学がこの科目を開講する大きな理由の1つです。この授業を通して、皆さんがセクシュアリティというものに対してこれまで以上に思いをはせたり考えを深めたりできた様子であることが、大変うれしかったです。皆さんには、個々人のセクシュアリティに関心を持ち尊重できる看護師になってほしいと心から願っています。加えて、看護師国家試験の出題基準にもセックス・ジェンダー・セクシュアリティの概念が明記されていますので、看護師に必須の知識としてしっかりと自分のものにしてほしいと思えます。

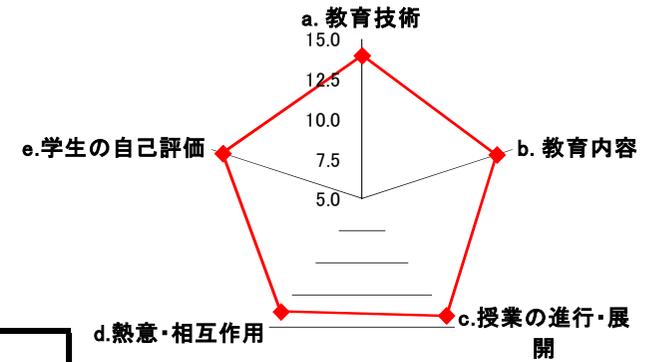
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	71	回収数	47	回収率	66.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護援助論VI

担当者:
谷津裕子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	14.00	1.35
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	13.94	1.48
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	14.06	1.46
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	13.74	1.72
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	14.28	1.22

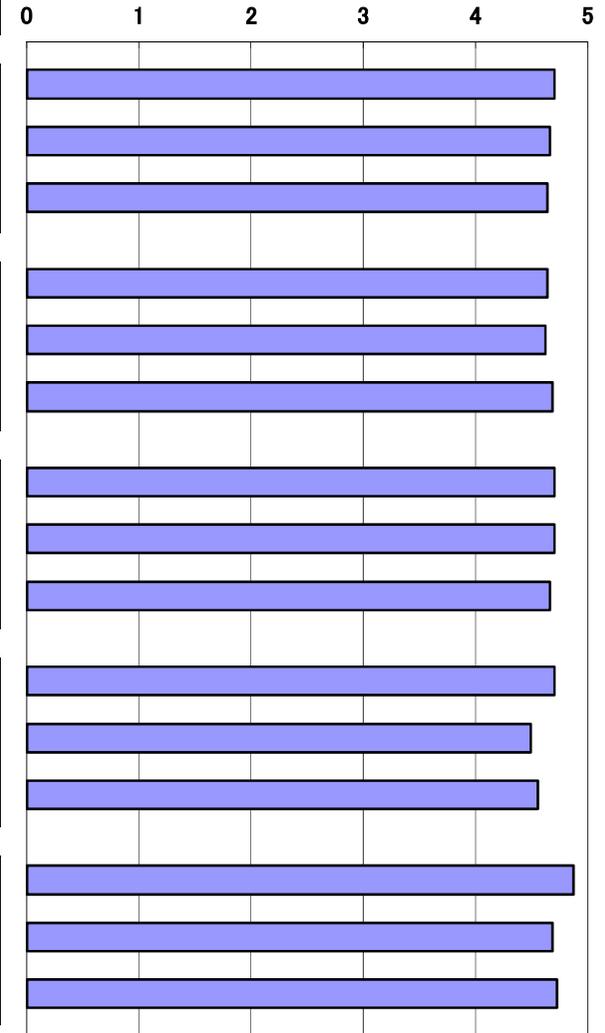


[00]

N=54

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	33	14	0	0	0	0	4.70	0.46
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	31	16	0	0	0	0	4.66	0.47
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	32	14	0	1	0	0	4.64	0.60
70.2		29.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	32	13	2	0	0	0	4.64	0.56
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	31	14	2	0	0	0	4.62	0.57
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	33	13	1	0	0	0	4.68	0.51
68.1		27.7	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0		
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	34	12	1	0	0	0	4.70	0.50
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	34	12	1	0	0	0	4.70	0.50
⑨	授業の進行速度は適切だった。	32	14	1	0	0	0	4.66	0.52
72.3		25.5	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0		
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	34	12	1	0	0	0	4.70	0.50
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	29	13	4	1	0	0	4.49	0.74
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	30	14	2	1	0	0	4.55	0.68
61.7		27.7	8.5	2.1	0.0	0.0	0.0		
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	34	11	2	0	0	0	4.68	0.55
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	36	9	2	0	0	0	4.72	0.53
76.6		19.1	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0		



科目コード	1K0602	科目名	看護援助論VI	担当教員名	谷津裕子
-------	--------	-----	---------	-------	------

<教員からのコメント>

●全体的に高い評価、そして多くの感想をいただき、とても嬉しく思っています。

●「すごい大切な授業を丁寧に説明してくれたのが良かった」、「学生に気遣いながら、たくさんの知識を与えてもらった」など、私の授業内容や教授法を評価してくださった方がいました。性に対する意味づけや価値観は、その人がこれまで体験してきたことと切り離せないものがあり、正誤や善悪では推しはかれないものです。授業では、性をそのようなものとして大切に扱い、言葉を選びながら、丁寧に話を進めるようにしています。その姿勢が、皆さんにしっかり伝わっているように思い、励みになりました。

●「実際に性同一性障害の方の体験談を聞いたことが良かった」というご意見がありました。レジュメや手記などを通して得られる知識も大切ですが、やはり当事者と出会い、お話をじかに聞くことは、その何倍も多くのことを教えてください。そう考えて毎年このような機会を設けておりますが、その意図が皆さんに通じてとても満足しています。

●「プリントが見やすく復習しやすいものだった」、「関連する資料もついていたのが良かった」などの教育媒体に対する意見、「私語禁止(というルール)が良かった」、「静かな環境で講義が受けられてとても良かった」などの授業環境に対する意見は概ね肯定的で、嬉しく思っています。一方、「もっとディスカッションする時間があつたほうが良かった」、「疲れるので、もっとグループワーク等を入れて欲しい」というご意見については、たしかにその通りと感じます。これについては今後の課題として、より良い授業の組み立てを検討していきたいと思えます。

●「日本でタブー視されている性に関する話は、看護で必ず直面することなので、この授業で考える機会ができてとてもよかった」というご意見がありましたが、それは本学がこの科目を開講する大きな理由の1つです。この授業を通して、皆さんがセクシュアリティというものに対してこれまで以上に思いをはせたり考えを深めたりできた様子であることが、大変うれしかったです。皆さんには、個々人のセクシュアリティに関心を持ち尊重できる看護師になってほしいと心から願っています。加えて、看護師国家試験の出題基準にもセックス・ジェンダー・セクシュアリティの概念が明記されていますので、看護師に必須の知識としてしっかりと自分のものにしてほしいと思えます。

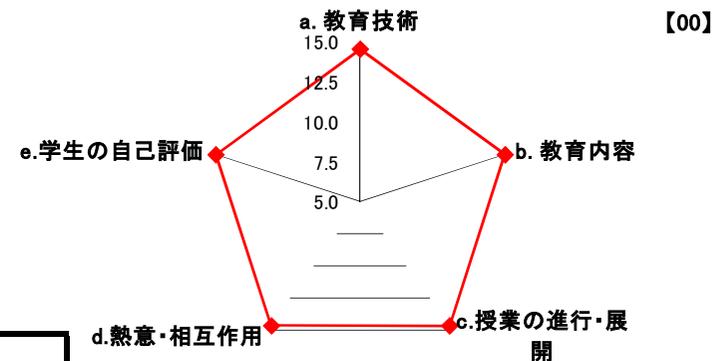
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	71	回収数	47	回収率	66.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護援助論Ⅶ

担当者:
鷹野朋実

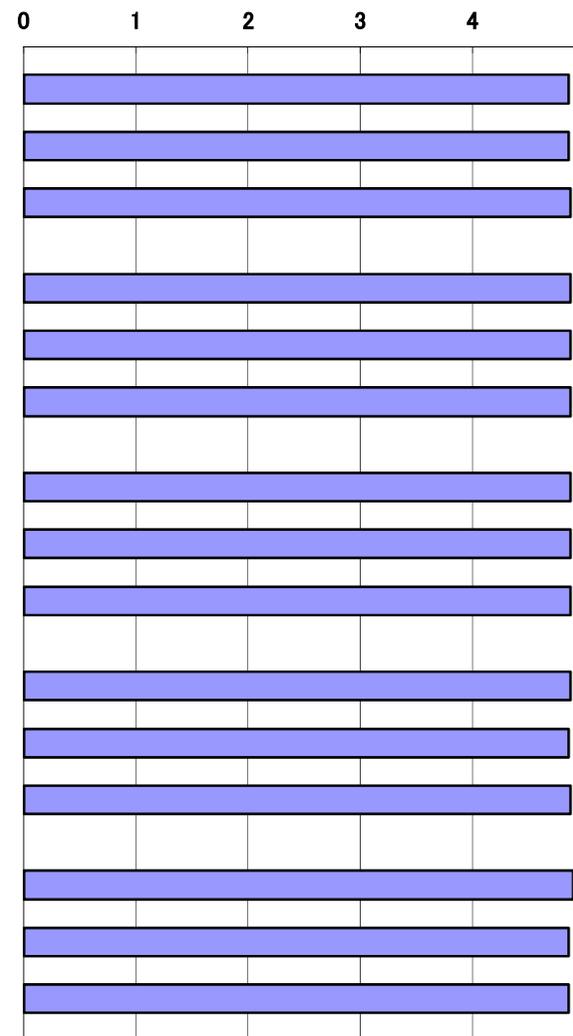
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	14.57	1.03
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	14.62	1.00
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	14.62	1.00
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	14.60	1.00
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	14.60	0.98



N=64

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	40	7	0	0	0	0	4.85	0.36
		85.1	14.9	0.0	0.0	0.0	0.0		
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	40	7	0	0	0	0	4.85	0.36
		85.1	14.9	0.0	0.0	0.0	0.0		
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33
		87.2	12.8	0.0	0.0	0.0	0.0		
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33
		87.2	12.8	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33
		87.2	12.8	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33
		87.2	12.8	0.0	0.0	0.0	0.0		
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33
		87.2	12.8	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33
		87.2	12.8	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑨	授業の進行速度は適切だった。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33
		87.2	12.8	0.0	0.0	0.0	0.0		
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33
		87.2	12.8	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	40	7	0	0	0	0	4.85	0.36
		85.1	14.9	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33
		87.2	12.8	0.0	0.0	0.0	0.0		
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31
		89.4	10.6	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	40	7	0	0	0	0	4.85	0.36
		85.1	14.9	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	40	7	0	0	0	0	4.85	0.36
		85.1	14.9	0.0	0.0	0.0	0.0		



科目コード	1K0701	科目名	看護援助論Ⅶ	担当教員名	鷹野朋実・堀井湖浪
-------	--------	-----	--------	-------	-----------

<教員からのコメント>

・ストレスなどの心の問題を取り扱う科目なのですが、学生の皆さんから「楽しかった」「面白かった」というコメントをいただいて、興味・関心をもってもらえてよかったです。ここで学んだ心の問題について、これから実習で出会う患者さんや実習時の自分自身の心を理解する上でも活用してもらえると嬉しいです。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

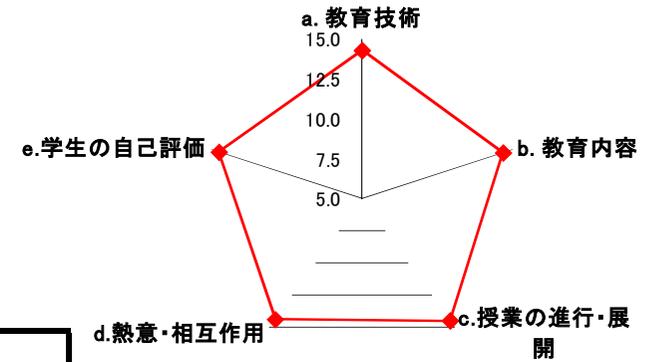
履修者数	71	回収数	47	回収率	66.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護援助論Ⅶ

担当者:

堀井湖浪

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	14.32	1.22
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	14.36	1.31
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	14.47	1.18
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	14.34	1.29
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	14.53	0.96

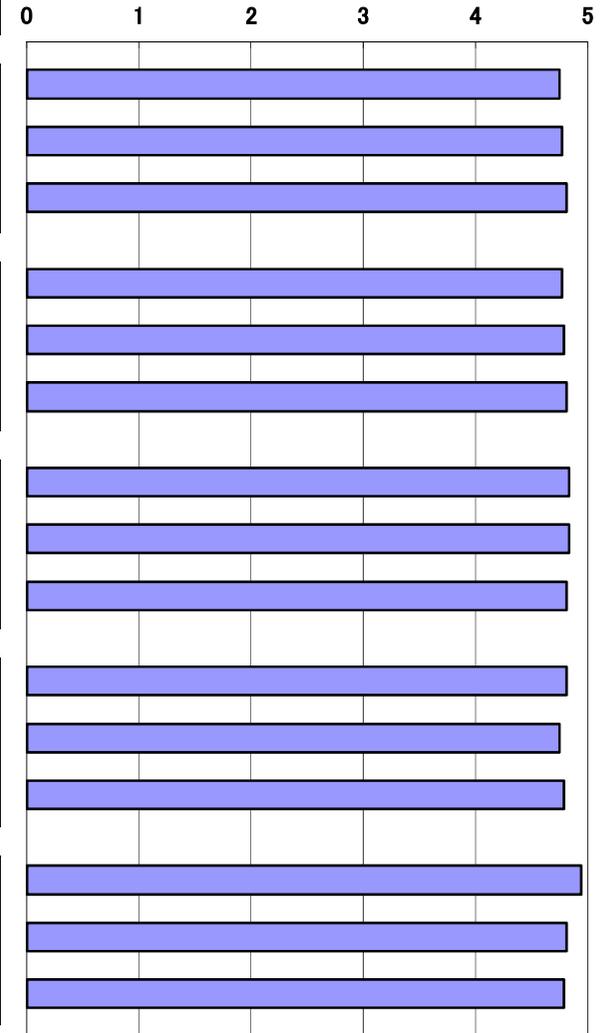


[00]

N=61

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	35	12	0	0	0	0	4.74	0.44
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	36	11	0	0	0	0	4.77	0.42
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	39	7	1	0	0	0	4.81	0.44
83.0		14.9	2.1	0.0	0.0	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	37	9	1	0	0	0	4.77	0.47
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	38	8	1	0	0	0	4.79	0.46
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	39	7	1	0	0	0	4.81	0.44
83.0		14.9	2.1	0.0	0.0	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	39	8	0	0	0	0	4.83	0.38
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	39	8	0	0	0	0	4.83	0.38
⑨	授業の進行速度は適切だった。	39	7	1	0	0	0	4.81	0.44
83.0		14.9	2.1	0.0	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	38	9	0	0	0	0	4.81	0.39
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	37	8	2	0	0	0	4.74	0.52
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	38	8	1	0	0	0	4.79	0.46
80.9		17.0	2.1	0.0	0.0	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	44	3	0	0	0	0	4.94	0.24
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	39	7	1	0	0	0	4.81	0.44
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	38	8	1	0	0	0	4.79	0.46
80.9		17.0	2.1	0.0	0.0	0.0			



科目コード	1K0702	科目名	看護援助論Ⅶ	担当教員名	堀井湖浪
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

- ・この科目は、「人間を、心理社会的、生理的な側面から総合的に理解できる」ことを目的としています。教員の体験談や提示した事例などが、学生の皆様の理解を助けることに役立てられたようで安心しました。また、自分自身について、自分と周囲の人々との関係についても考えることにつながったことも大変嬉しく思いました。
- ・非常に高い評価をいただき、ありがとうございました。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

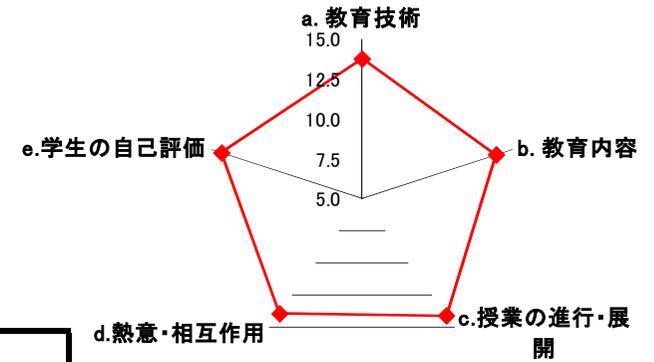
履修者数	71	回収数	47	回収率	66.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:精神保健看護学Ⅱ

担当者:

鷹野朋実・遠藤公久・小宮敬子・堀井湖浪・古城門靖子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	13.79	1.97
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	13.89	1.79
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	14.06	1.73
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	13.89	1.82
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	45	14.36	1.12



[00]

N=54

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	31	15	0	1	0	0	4.62	0.60
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	32	13	1	1	0	0	4.62	0.64
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	32	12	0	3	0	0	4.55	0.79

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	31	14	1	1	0	0	4.60	0.64
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	31	15	0	1	0	0	4.62	0.60
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	34	12	0	1	0	0	4.68	0.59

c. 授業の進行・展開

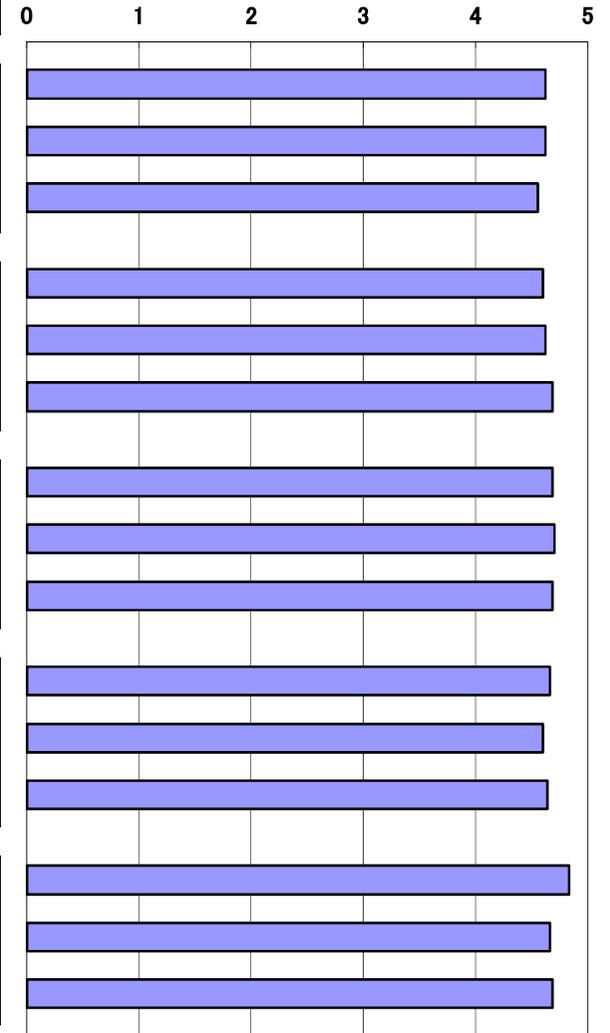
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	34	12	0	1	0	0	4.68	0.59
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	35	11	0	1	0	0	4.70	0.58
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	34	12	0	1	0	0	4.68	0.59

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	33	13	0	1	0	0	4.66	0.59
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	31	14	1	1	0	0	4.60	0.64
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	33	12	1	1	0	0	4.64	0.63

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	39	8	0	0	0	0	4.83	0.38
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	35	11	0	0	0	1	4.66	0.81
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	36	10	0	0	0	1	4.68	0.80



科目コード	1L0201	科目名	精神保健看護学Ⅱ	担当教員名	鷹野朋実・堀井湖浪・古城門靖子・遠藤公久・小宮敬子
-------	--------	-----	----------	-------	---------------------------

<教員からのコメント>

- ・地域に暮らす当事者の皆さんの講義については、皆さんのコメントや感想レポートでのご意見を踏まえ、次年度以降もぜひ継続していきたいと考えています。
- ・マイクの不備(充電不足)のため、不自由をかけてすみませんでした。今後は講義室備え付けのマイク以外のマイクを使用するなどの対応をしていきます。
- ・感想レポートを4回提出してもらっていますが、負担になっている学生さんもいるようです。この回数や時期などについては早速、担当教員で検討して見直しをします。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

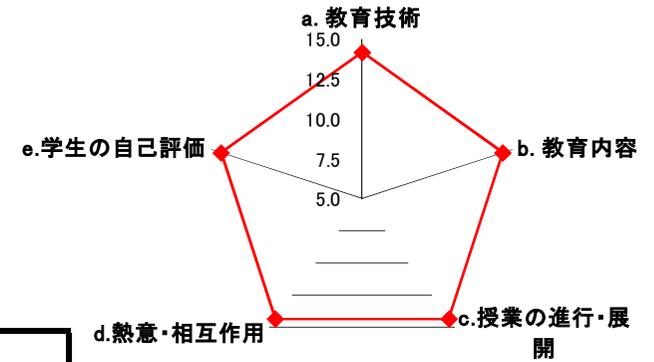
履修者数	71	回収数	48	回収率	67.6%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:精神保健看護学Ⅱ

担当者:

鷹野朋実・遠藤公久・小宮敬子・堀井湖浪・古城門靖子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	48	14.21	1.37
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	48	14.35	1.22
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	48	14.33	1.37
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	48	14.33	1.37
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	48	14.38	1.07



[00]

N=62

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	35	12	1	0	0	0	4.71	0.50
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	36	11	1	0	0	0	4.73	0.49
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	37	11	0	0	0	0	4.77	0.42

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	37	10	1	0	0	0	4.75	0.48
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	38	10	0	0	0	0	4.79	0.41
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	39	9	0	0	0	0	4.81	0.39

c. 授業の進行・展開

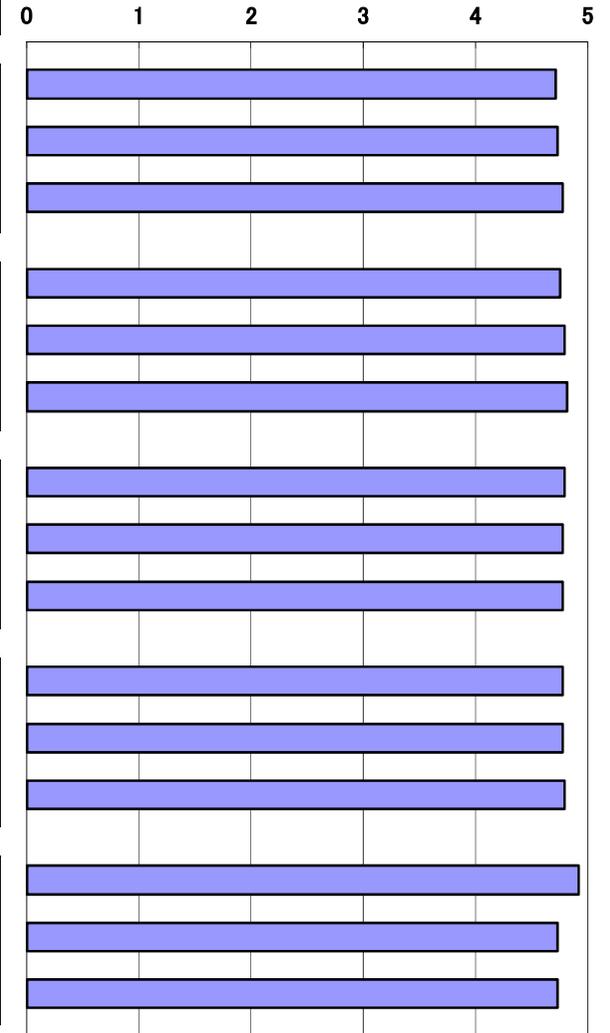
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	39	8	1	0	0	0	4.79	0.45
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	38	9	1	0	0	0	4.77	0.47
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	38	9	1	0	0	0	4.77	0.47

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	38	9	1	0	0	0	4.77	0.47
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	38	9	1	0	0	0	4.77	0.47
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	39	8	1	0	0	0	4.79	0.45

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	44	4	0	0	0	0	4.92	0.28
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	36	11	1	0	0	0	4.73	0.49
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	35	13	0	0	0	0	4.73	0.44



科目コード	1L0202	科目名	精神保健看護学Ⅱ	担当教員名	鷹野朋実・堀井湖浪・古城門靖子・遠藤公久・小宮敬子
-------	--------	-----	----------	-------	---------------------------

<教員からのコメント>

・患者さんとのエピソードを紹介する際には、聞き手の学生によって受け取り方が違うということにも十分配慮して、適切な言葉を選び慎重に話すようにしていきます。

・授業中の私語、化粧等については見かけたら積極的に注意するように心がけていきたいと思いますが、必ずしも全てが把握できるわけでもありません。学生同士でも声をかけあって教室環境を改善できるように、次年度以降は授業の最初のオリエンテーション時に伝えておきたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

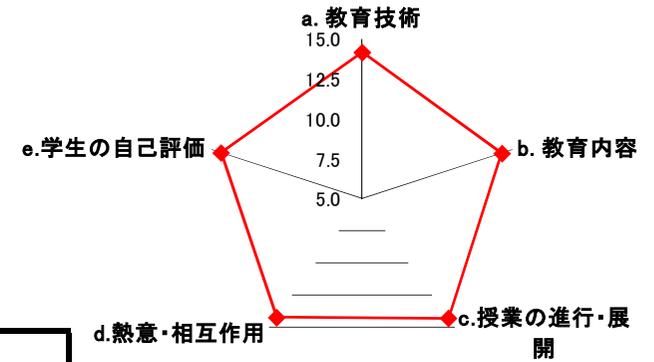
履修者数	71	回収数	47	回収率	66.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:発達看護学概論

担当者:

江本リナ・川名るり・千葉京子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	14.19	1.42
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	14.28	1.41
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	14.28	1.41
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	14.19	1.45
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	14.38	1.25

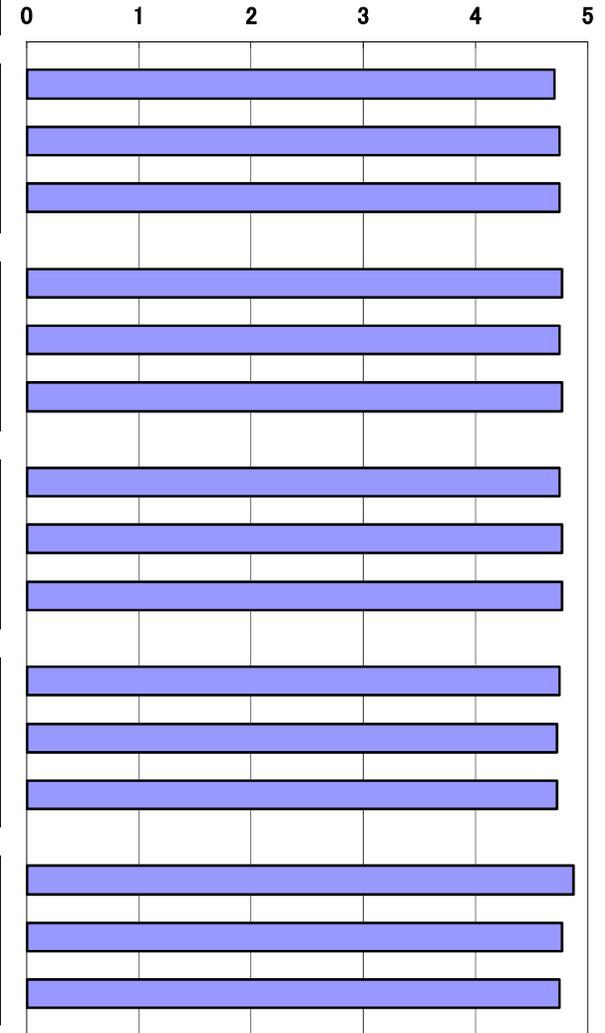


[00]

N=64

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

	強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
a. 教育技術								
① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	34	12	1	0	0	0	4.70	0.50
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	36	10	1	0	0	0	4.74	0.48
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	36	10	1	0	0	0	4.74	0.48
b. 教育内容								
④ 授業の内容はわかりやすかった。	37	9	1	0	0	0	4.77	0.47
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	36	10	1	0	0	0	4.74	0.48
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	37	9	1	0	0	0	4.77	0.47
c. 授業の進行・展開								
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	36	10	1	0	0	0	4.74	0.48
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	37	9	1	0	0	0	4.77	0.47
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	37	9	1	0	0	0	4.77	0.47
d. 熱意・相互作用								
⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	36	10	1	0	0	0	4.74	0.48
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	35	11	1	0	0	0	4.72	0.49
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	35	11	1	0	0	0	4.72	0.49
e. 学生の自己評価								
⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	37	9	1	0	0	0	4.77	0.47
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	37	8	2	0	0	0	4.74	0.52



科目コード	1M0101	科目名	発達看護学概論	担当教員名	江本リナ・川名るり・千葉京子
-------	--------	-----	---------	-------	----------------

<教員からのコメント>

大変高い評価をありがとうございました。

映像や図、説明などが分かりやすかったという点や、実物に触れたり体験したりする点が学びになっていることが分かりました。

レジメとして配布している資料はあくまでも授業内容の柱ですので、ご自分で自由にノートを作成していただければと思っています。

その方が理解力が増すとも言われていますので、みなさまの学習が効果的になるようにこれからも自由度のある資料を目指したいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

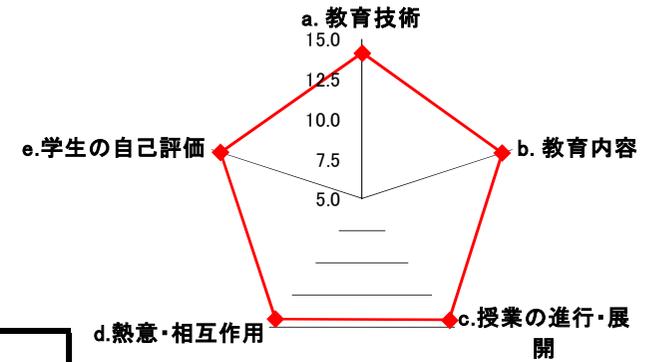
履修者数	73	回収数	55	回収率	75.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:発達看護学概論

担当者:

江本リナ・川名るり・千葉京子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	55	14.16	1.49
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	55	14.31	1.37
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	55	14.40	1.33
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	55	14.33	1.32
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	55	14.42	1.22



[00]

N=65

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	41	12	2	0	0	0	4.71	0.53
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	41	12	2	0	0	0	4.71	0.53
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	42	12	1	0	0	0	4.75	0.48
	74.5	21.8	3.6	0.0	0.0	0.0		

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	43	11	1	0	0	0	4.76	0.47
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	43	11	1	0	0	0	4.76	0.47
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	44	10	1	0	0	0	4.78	0.45
	78.2	20.0	1.8	0.0	0.0	0.0		

c. 授業の進行・展開

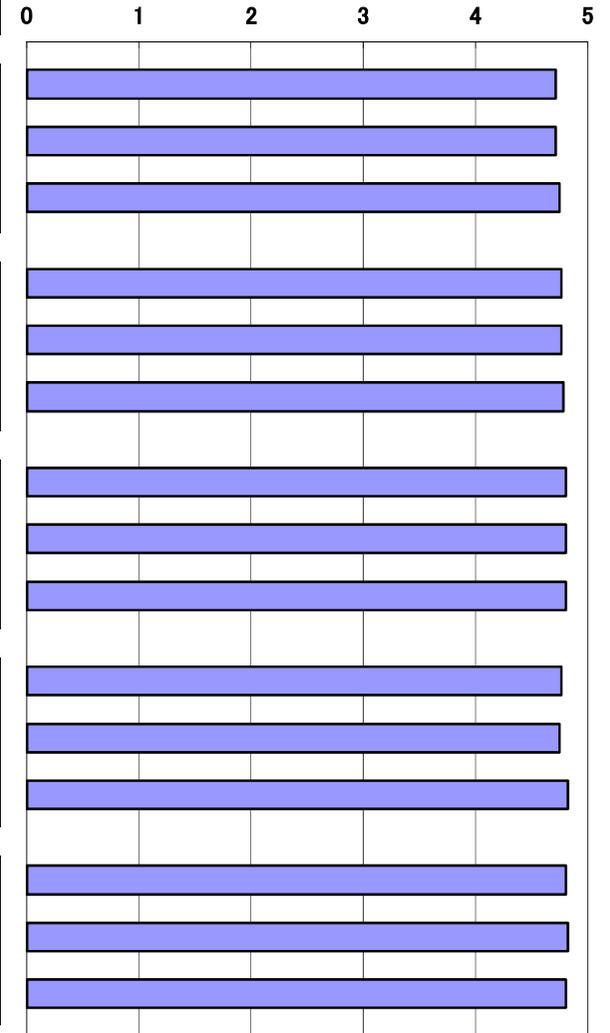
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	45	9	1	0	0	0	4.80	0.44
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	45	9	1	0	0	0	4.80	0.44
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	45	9	1	0	0	0	4.80	0.44
	81.8	16.4	1.8	0.0	0.0	0.0		

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	43	11	1	0	0	0	4.76	0.47
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	43	10	2	0	0	0	4.75	0.51
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	46	8	1	0	0	0	4.82	0.43
	78.2	18.2	3.6	0.0	0.0	0.0		
	83.6	14.5	1.8	0.0	0.0	0.0		

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	45	9	1	0	0	0	4.80	0.44
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	46	8	1	0	0	0	4.82	0.43
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	45	9	1	0	0	0	4.80	0.44
	81.8	16.4	1.8	0.0	0.0	0.0		



科目コード	1M0102	科目名	発達看護学概論	担当教員名	江本リナ・川名るり・千葉京子
-------	--------	-----	---------	-------	----------------

<教員からのコメント>

大変高い評価をありがとうございました。
興味深く分かりやすい、楽しかったというコメントをいただき、みなさまの理解を深めることにつながったことが分かりました。
これからも、映像、実物、体験などを取り入れていきたいと思えます。

レジメの空白を大きくしてほしいというご要望がありました。
資料全体の枚数を考慮しながら、記載できる余白を工夫してみます。

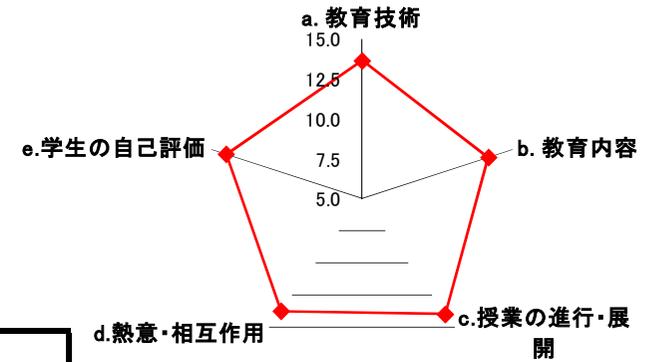
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	142	回収数	104	回収率	73.2%
------	-----	-----	-----	-----	-------

科目:発達看護学(成人期の看護)

担当者:
本庄恵子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	104	13.68	1.77
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	104	13.39	2.22
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	104	13.95	1.60
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	104	13.72	1.71
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	102	14.04	1.46

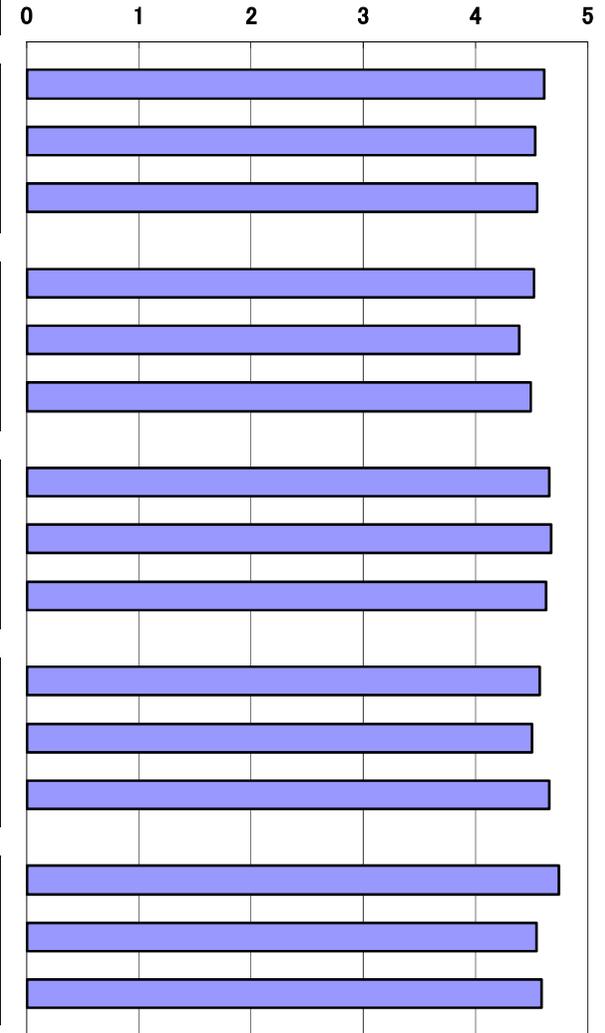


[00]

N=135

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	68	31	5	0	0	0	4.61	0.58
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	65	30	8	1	0	0	4.53	0.68
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	67	28	8	1	0	0	4.55	0.68
64.4		26.9	7.7	1.0	0.0	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	67	26	10	0	1	0	4.52	0.75
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	61	26	15	0	2	0	4.38	0.87
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	63	31	9	0	1	0	4.49	0.73
60.6		29.8	8.7	0.0	1.0	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	73	26	5	0	0	0	4.65	0.57
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	74	26	4	0	0	0	4.67	0.54
⑨	授業の進行速度は適切だった。	70	29	5	0	0	0	4.63	0.57
67.3		27.9	4.8	0.0	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	66	31	7	0	0	0	4.57	0.62
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	64	30	9	0	1	0	4.50	0.73
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	72	28	4	0	0	0	4.65	0.55
69.2		26.9	3.8	0.0	0.0	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	87	13	2	0	0	2	4.74	0.78
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	67	29	7	0	0	1	4.54	0.76
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	73	23	6	1	0	1	4.59	0.78
70.2		22.1	5.8	1.0	0.0	1.0			



科目コード	1M0200	科目名	発達看護学(成人期の看護)	担当教員名	本庄恵子
-------	--------	-----	---------------	-------	------

<教員からのコメント>

授業中に書きこみができる資料が役立つということですので、次年度も書きこみできる配布資料を作成したいと思います。

授業中に、教員からだけでなく、学生のみなさんからの意見を聞くことや、リアクションペーパーの学生のみなさんからの感想や質問を次の授業で紹介することが役立つということですので、次年度も継続したいと思います。ただし、感想の紹介はもう少し少なくてもよいのではないかという意見もありましたので、次年度は紹介する分量を調整したいと思います。視覚教材の音量調整もしていきたいと思います。

授業は、学生のみなさんと教員と双方向で創り上げるものだと思います。次年度も学生のみなさんが授業に積極的に取り組めるように、工夫を重ねていきたいと思っています。

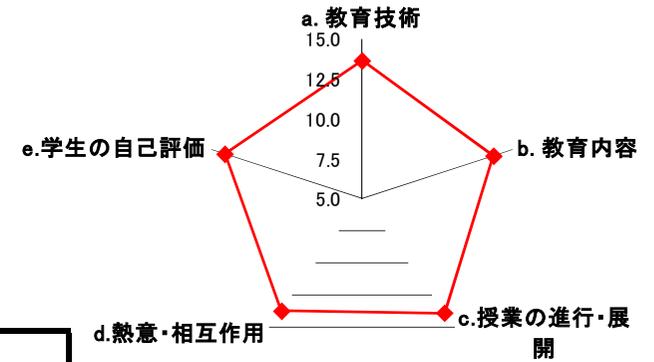
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	142	回収数	83	回収率	58.5%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:発達看護学 I ②

担当者:
新田真弓

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	82	13.67	1.89
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	83	13.73	1.78
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	83	13.87	1.68
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	83	13.70	1.96
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	83	14.13	1.38



[00]

N=101

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	52	27	3	0	0	1	4.54	0.75
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	53	25	4	1	0	0	4.57	0.64
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	53	23	5	1	1	0	4.52	0.77

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	53	24	5	1	0	0	4.55	0.66
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	53	23	7	0	0	0	4.55	0.64
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	55	25	3	0	0	0	4.63	0.55

c. 授業の進行・展開

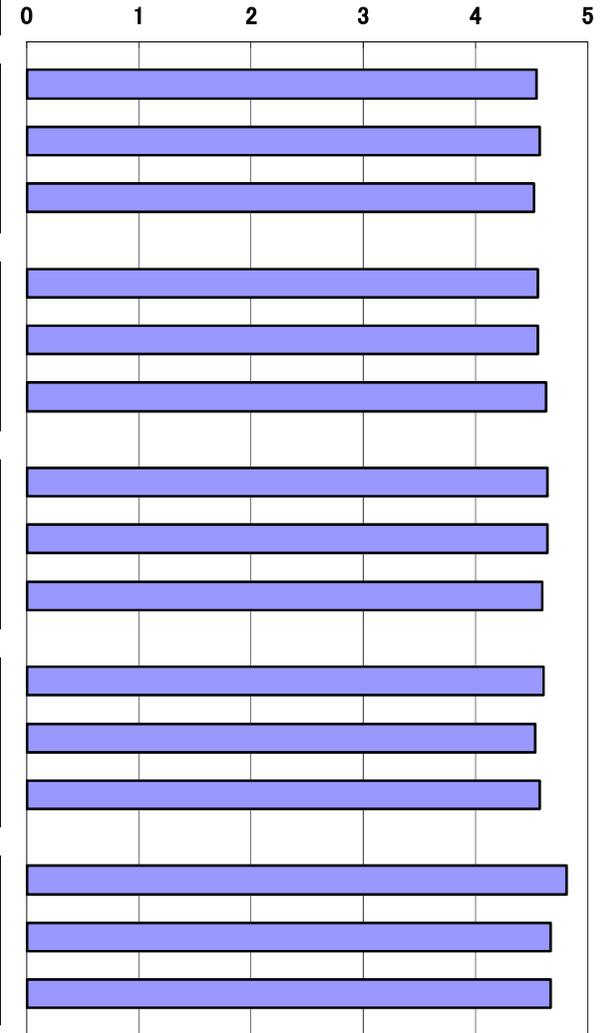
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	56	24	3	0	0	0	4.64	0.55
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	56	24	3	0	0	0	4.64	0.55
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	54	25	3	1	0	0	4.59	0.62

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	54	25	4	0	0	0	4.60	0.58
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	53	24	4	1	1	0	4.53	0.75
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	54	24	3	2	0	0	4.57	0.68

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	68	14	1	0	0	0	4.81	0.42
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	59	21	2	1	0	0	4.66	0.59
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	58	22	3	0	0	0	4.66	0.54



科目コード	1M0400	科目名	発達看護学 I ②	担当教員名	新田真弓
-------	--------	-----	-----------	-------	------

<教員からのコメント>

本授業では産褥期・新生児期の看護と実習で用いる記録用紙での看護過程の展開を行っております。

産褥期の女性の身体の変化と外界に適応する新生児の特徴を学ぶため、できるだけ映像やイラストなどを使用してイメージしやすいように工夫しています。

学生の皆さんにとっても理解が促されているようでよかったです。また、看護過程の展開では授業内で課題を進める演習時間をとっておりますが、今後もより実習で関わる教員の協力を得て、質問しやすい、疑問を解決しやすいように対応していきたいと思っております。

加えて、看護過程の展開については詳しいガイドと書き方についての資料を配布していますが、より活用しやすいように内容を工夫していきたいと思っております。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

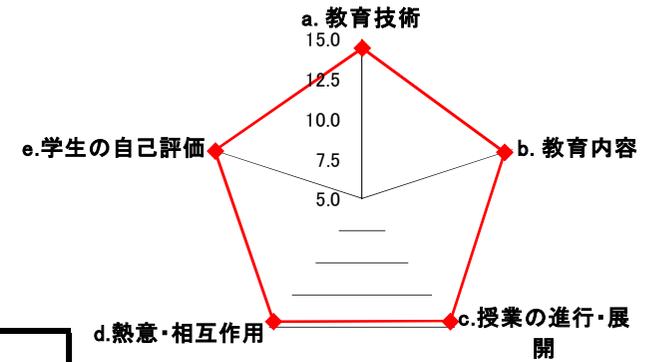
履修者数	71	回収数	47	回収率	66.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:発達看護学Ⅱ②

担当者:

川名るり・江本リナ・太田智子・吉田玲子・山内朋子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	14.47	1.29
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	14.47	1.29
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	14.49	1.25
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	47	14.53	1.22
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	46	14.78	0.69



[00]

N=59

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	39	7	1	0	0	0	4.81	0.44
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	40	6	1	0	0	0	4.83	0.43
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	40	6	1	0	0	0	4.83	0.43

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	39	7	1	0	0	0	4.81	0.44
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	40	6	1	0	0	0	4.83	0.43
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	40	6	1	0	0	0	4.83	0.43

c. 授業の進行・展開

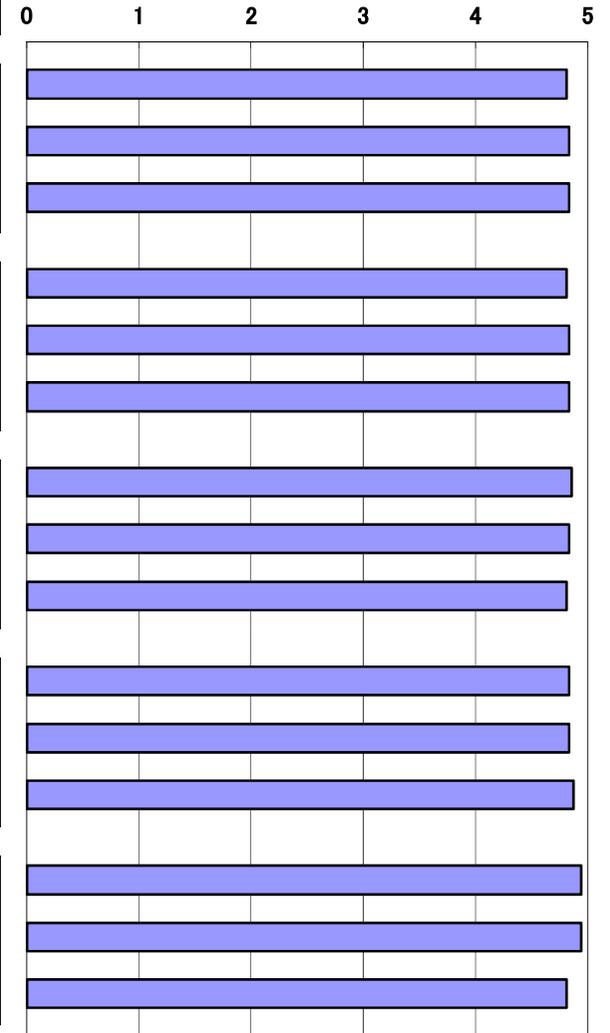
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	41	5	1	0	0	0	4.85	0.41
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	40	6	1	0	0	0	4.83	0.43
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	39	7	1	0	0	0	4.81	0.44

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	40	6	1	0	0	0	4.83	0.43
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	40	6	1	0	0	0	4.83	0.43
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	44	3	0	0	0	0	4.94	0.24
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	44	3	0	0	0	0	4.94	0.24
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	42	4	0	0	0	1	4.81	0.76



科目コード	1M0601	科目名	発達看護学Ⅱ②	担当教員名	川名るり・江本リナ・山内朋子・太田智子・吉田玲子
-------	--------	-----	---------	-------	--------------------------

<教員からのコメント>

この授業は、さまざまな状況にある子どもと家族の看護について学んでもらうために、小児看護学の教員全員が工夫を凝らして授業を行っていますので、全体的に高い評価をいただいたことを大変嬉しく思います。

VTR・本などの資料を使用したことで「頭に入りやすかった」「想像しやすかった」など授業方法に対する具体的なお意見とともに、「とてもわかりやすかった」「重要なところが分かる」「とても勉強になった」など学生自身の学びにつながっていると思われるコメントをいただけて良かったです。今後も、より分かりやすく興味・関心を持ってもらえる授業になるよう、努めていきます。

「出席が厳しい」とのご意見をいただきました。小児看護実習および国家試験にも関係する重要な授業ですので、出席していただくことを前提として臨んでいただければと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

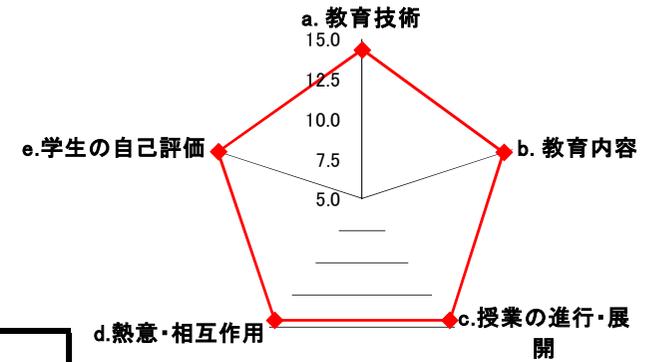
履修者数	71	回収数	55	回収率	77.5%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:発達看護学Ⅱ②

担当者:

川名るり・江本リナ・太田智子・吉田玲子・山内朋子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	55	14.36	1.34
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	55	14.42	1.37
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	55	14.42	1.30
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	55	14.42	1.30
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	55	14.56	1.02



[00]

N=67

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	44	10	1	0	0	0	4.78	0.45
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	44	10	1	0	0	0	4.78	0.45
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	45	9	1	0	0	0	4.80	0.44

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	45	9	0	1	0	0	4.78	0.53
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	46	8	1	0	0	0	4.82	0.43
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	46	8	1	0	0	0	4.82	0.43

c. 授業の進行・展開

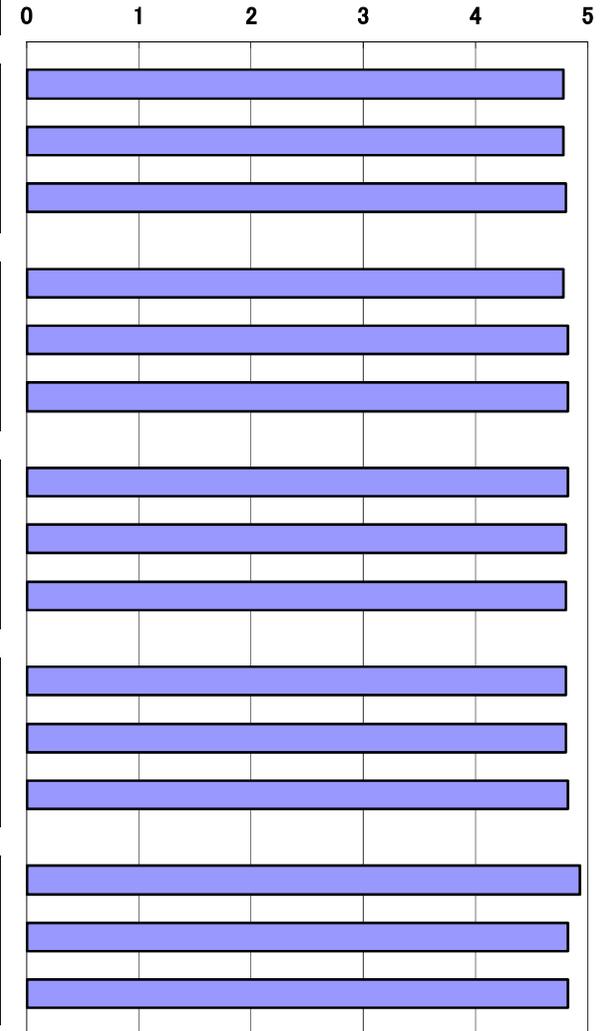
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	46	8	1	0	0	0	4.82	0.43
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	45	9	1	0	0	0	4.80	0.44
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	45	9	1	0	0	0	4.80	0.44

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	45	9	1	0	0	0	4.80	0.44
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	45	9	1	0	0	0	4.80	0.44
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	46	8	1	0	0	0	4.82	0.43

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	51	4	0	0	0	0	4.93	0.26
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	46	8	1	0	0	0	4.82	0.43
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	46	8	1	0	0	0	4.82	0.43



科目コード	1M0602	科目名	発達看護学Ⅱ②	担当教員名	川名るり・江本リナ・山内朋子・太田智子・吉田玲子
-------	--------	-----	---------	-------	--------------------------

<教員からのコメント>

すべての項目において高い評価をいただき、ありがとうございます。

さまざまな状況にある子どもと家族の看護について、小児看護学の教員全員が授業内容や資料などを毎年洗練させ、力を入れて授業をしておりますので、今回の評価を大変嬉しく思います。

「映像や資料が多く分かりやすかった」と教材に関してのコメントをいただきましたので、今後もイメージがしやすく理解の深まる授業になるよう工夫していきたいと思えます。また、「理解度を確認しながら進めてくれた」「先生の熱意が伝わった」「癒しだった」「口調がききとりやすかった」など、授業の進め方や授業の仕方についても嬉しいコメントをいただきました。このコメントを励みにさらに魅力的な授業となるよう努めていきます。

「アセスメントの練習をもっとしてほしい」とのご意見をいただきました。アセスメントは実習を行う中で具体的に展開できればと思っています。ただ、小児看護の特徴やアセスメントの基本的な考え方は実習前に知っておいていただくと良いと思えますので、授業方法や時間配分など今後検討していきたいと思えます。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

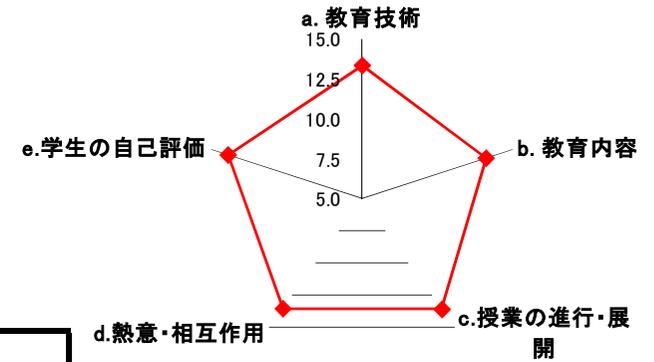
履修者数	141	回収数	84	回収率	59.6%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:発達看護学Ⅱ

担当者:

千葉京子・坂口千鶴・江見香月・比留間絵美・清田明美

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	84	13.38	1.92
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	84	13.25	1.99
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	84	13.55	1.80
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	83	13.52	1.81
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	84	13.92	1.58



[00]

N=97

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	47	29	8	0	0	0	4.46	0.66
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	45	31	7	1	0	0	4.43	0.69
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	47	31	6	0	0	0	4.49	0.63

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	44	34	6	0	0	0	4.45	0.62
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	44	29	9	2	0	0	4.37	0.77
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	45	30	9	0	0	0	4.43	0.68

c. 授業の進行・展開

⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	50	28	6	0	0	0	4.52	0.63
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	50	29	5	0	0	0	4.54	0.61
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	47	31	6	0	0	0	4.49	0.63

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	48	29	6	0	0	1	4.45	0.79
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	48	29	7	0	0	0	4.49	0.65
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	49	29	6	0	0	0	4.51	0.63

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	68	13	3	0	0	0	4.77	0.50
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	53	23	7	1	0	0	4.52	0.70
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入室をしない等)に協力した。	57	22	5	0	0	0	4.62	0.60



科目コード	1M0800	科目名	発達看護学Ⅲ②	担当教員名	千葉京子・坂口千鶴・清田明美・江見香月・比留間絵美
-------	--------	-----	---------	-------	---------------------------

<教員からのコメント>

・学生の参加を高めるアクティブ・ラーニングになるよう考慮した授業でした。昨年同様、授業の最初に事例とアセスメント記入用紙を提示し、アセスメント項目ごとの授業内容を進行させ、授業終了時にアセスメントが完成するプログラムとしました。アセスメントの大半が記入出来る所にグループワークを取り入れ、小グループによるアセスメントの検討ができるようにしました。

・改善が求められた点は、①アセスメント記入用紙の説明に不十分な点があったこと、②授業開講時期を2年次後期と早めること、③事前学習で記述した3つの疑問に十分な回答を得られなかったこと、でした。①については授業の初講時にわかりやすい説明を心がけたいと思います。②については他の教科との関係で検討したいと思います。③については回答資料を配布するなどの努力を行いましたが、充分ではない点がありました。さらに回答方法などを改善したいと思います。

・全体的には高い評価を頂けたと思います。ありがとうございます。さらに、高齢者の理解と関心を高める授業運営に取り組んでいきたいと思っています。

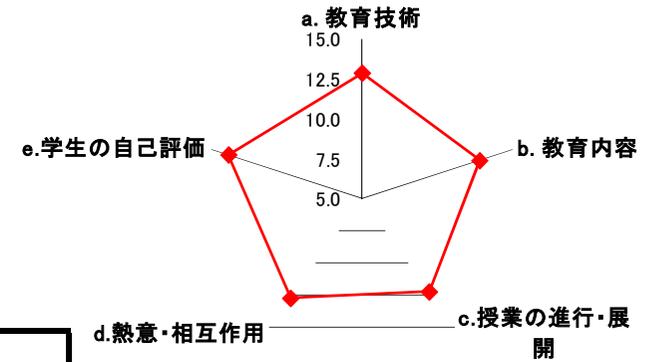
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	154	回収数	84	回収率	54.5%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:プライマリーヘルスケア

担当者:
岡本有子・福井小紀子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	83	12.88	2.26
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	83	12.82	2.62
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	82	12.21	2.88
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	83	12.70	2.51
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	84	13.89	1.61

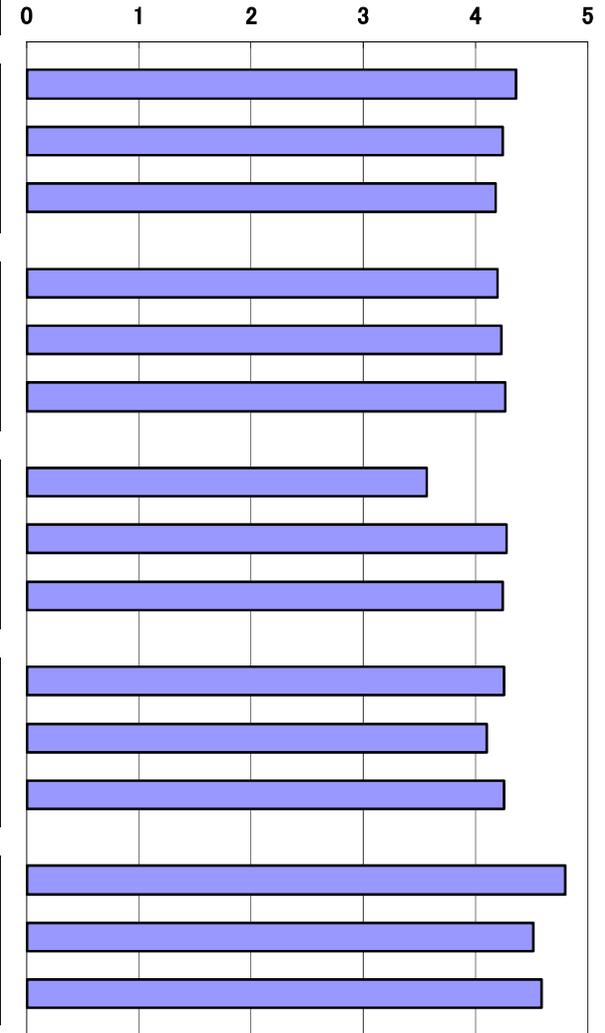


[00]

N=131

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	41	33	9	1	0	0	4.36	0.72
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	41	27	13	2	0	1	4.24	0.93
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	39	27	14	3	0	1	4.18	0.97
46.4		32.1	16.7	3.6	0.0	1.2			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	43	22	13	4	2	0	4.19	1.02
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	43	25	11	3	1	1	4.23	1.02
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	45	24	10	3	1	1	4.26	1.01
53.6		28.6	11.9	3.6	1.2	1.2			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	31	20	10	12	10	1	3.56	1.46
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	45	22	15	0	1	1	4.27	0.97
⑨	授業の進行速度は適切だった。	44	23	12	3	2	0	4.24	0.98
52.4		27.4	14.3	3.6	2.4	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	44	25	10	3	1	1	4.25	1.01
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	37	26	15	4	2	0	4.10	1.01
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	42	26	11	5	0	0	4.25	0.90
50.0		31.0	13.1	6.0	0.0	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	71	9	4	0	0	0	4.80	0.51
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	54	21	7	2	0	0	4.51	0.75
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	57	19	8	0	0	0	4.58	0.66
67.9		22.6	9.5	0.0	0.0	0.0			



科目コード	1N0100	科目名	プライマリーヘルスケア	担当教員名	岡本有子・福井小紀子
-------	--------	-----	-------------	-------	------------

<教員からのコメント>

概ね高い評価をいただき、嬉しく思います。

自由記載から、現場の実践者からの講義は大変好評で、地域看護にも関心や興味をもってもらえたと思います。

グループワークの進め方、配布資料の配布方法、講義時間の配分等、講義を進める上での課題については、改善していくように努めていきます。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

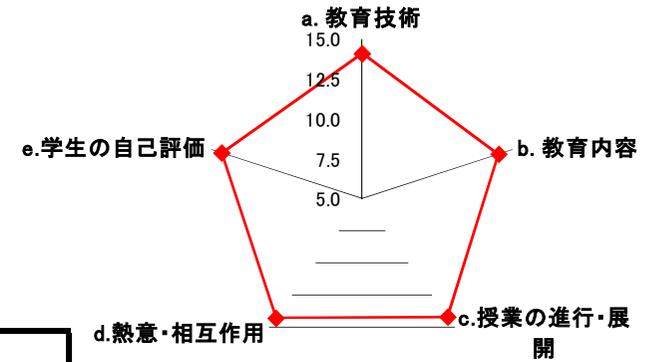
履修者数	143	回収数	100	回収率	69.9%
------	-----	-----	-----	-----	-------

科目:慢性期ケア

担当者:

住谷ゆかり・下村裕子・田中孝美

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	100	14.11	1.57
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	100	14.08	1.53
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	100	14.17	1.50
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	100	14.26	1.38
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	99	14.33	1.15



[00]

N=133

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	76	22	2	0	0	0	4.74	0.48
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	76	20	4	0	0	0	4.72	0.53
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	74	19	6	0	1	0	4.65	0.68

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	72	23	5	0	0	0	4.67	0.57
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	75	21	4	0	0	0	4.71	0.53
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	73	24	3	0	0	0	4.70	0.52

c. 授業の進行・展開

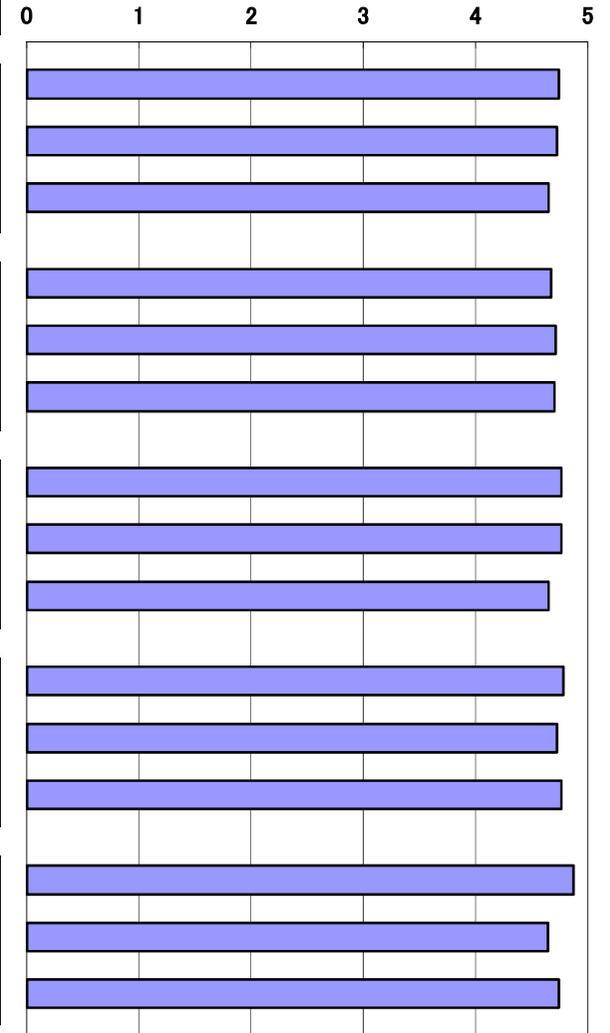
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	78	20	2	0	0	0	4.76	0.47
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	78	20	2	0	0	0	4.76	0.47
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	73	20	6	1	0	0	4.65	0.64

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	80	18	2	0	0	0	4.78	0.46
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	75	22	3	0	0	0	4.72	0.51
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	78	20	2	0	0	0	4.76	0.47

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	89	9	2	0	0	0	4.87	0.39
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	74	20	4	1	0	1	4.64	0.76
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	78	18	4	0	0	0	4.74	0.52



科目コード	1N0200	科目名	慢性期ケア	担当教員名	住谷ゆかり・下村裕子・田中孝美
-------	--------	-----	-------	-------	-----------------

<教員からのコメント>

前年度の授業評価をもとに、今年度は授業内容だけでなく学習環境の改善も図ってきました。慢性期ケアの授業では、慢性疾患をもつ人々の長期にわたる療養生活を支えていくための様々な看護支援方法を学び、臨床の場でのケア(実習)に活かすことができるように、授業内容や資料などを毎年洗練させています。また、今年度は慢性疾患を抱えた人々の事例を通して、患者さんや家族のニーズをどのように捉え、ケアにつなげていけばよいのか、学生同士で話し合い考える時間を設けたことで、個々の着眼点の相違や創意工夫などを共有しながら個別性のあるケアについて学ぶことができました。

今回の授業評価や、毎回の授業終了後のコメントを通して、皆さんが慢性期ケアに興味・関心を持って熱心に授業に参加してくれていたことが伝わり、うれしく思います。慢性期ケアはとても広範囲にわたる科目なので、授業も試験勉強も大変だと思います。しかし、看護のベースとなる大切な授業ですので、1年次の疾患各論の授業を思い出し、予習・復習をしながら取り組んでいきましょう。私達も皆さんのコメントをもとに、わかりやすい授業を目指して今後も努力していきます。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

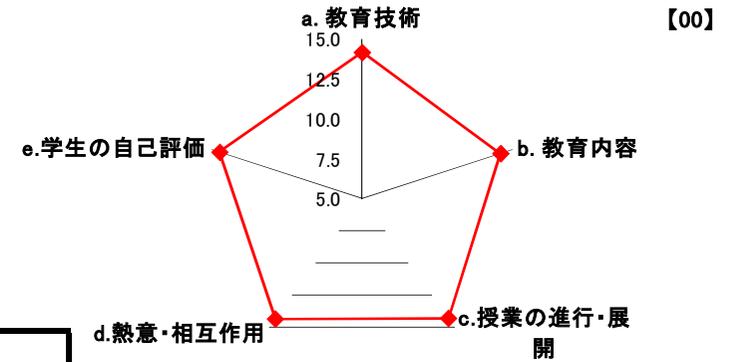
履修者数	142	回収数	85	回収率	59.9%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:急性期ケア

担当者:

和田美也子・山本伊都子・梅田亜矢・林宗博

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	85	14.20	1.60
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	85	14.20	1.58
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	85	14.27	1.51
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	85	14.33	1.46
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	85	14.49	1.15



N=100

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	68	13	4	0	0	0	4.75	0.53
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	67	13	5	0	0	0	4.73	0.56
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	66	14	5	0	0	0	4.72	0.57

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	65	15	5	0	0	0	4.71	0.57
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	67	14	4	0	0	0	4.74	0.53
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	68	13	4	0	0	0	4.75	0.53

c. 授業の進行・展開

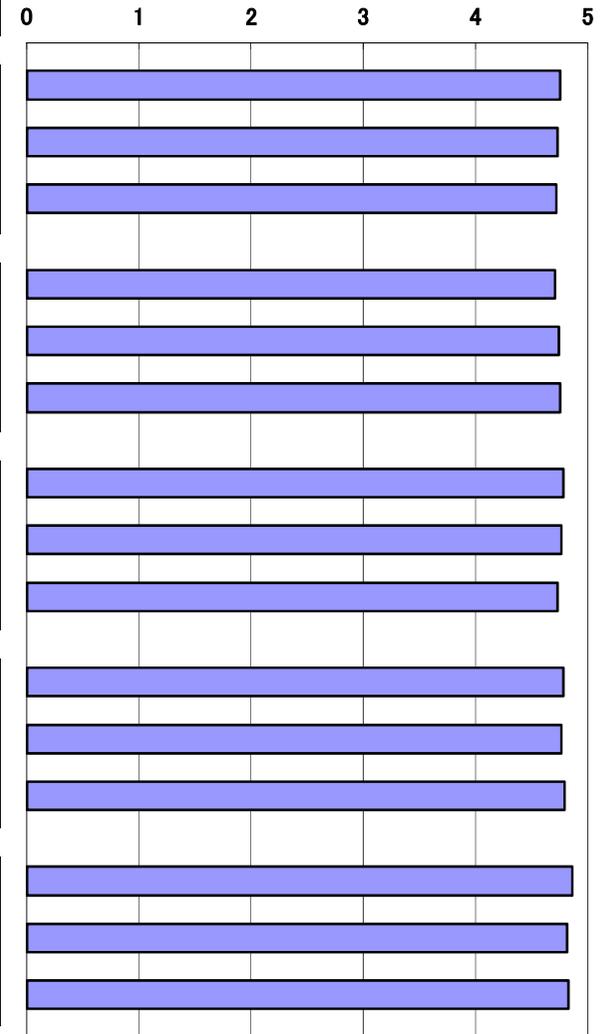
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	70	11	4	0	0	0	4.78	0.52
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	69	12	4	0	0	0	4.76	0.52
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	67	13	5	0	0	0	4.73	0.56

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	69	13	3	0	0	0	4.78	0.49
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	68	14	3	0	0	0	4.76	0.50
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	70	12	3	0	0	0	4.79	0.49

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	74	10	1	0	0	0	4.86	0.38
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	71	12	2	0	0	0	4.81	0.45
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	72	11	2	0	0	0	4.82	0.44



科目コード	1N0300	科目名	急性期ケア	担当教員名	和田美也子・山本伊都子・梅田亜矢・林宗博
-------	--------	-----	-------	-------	----------------------

<教員からのコメント>

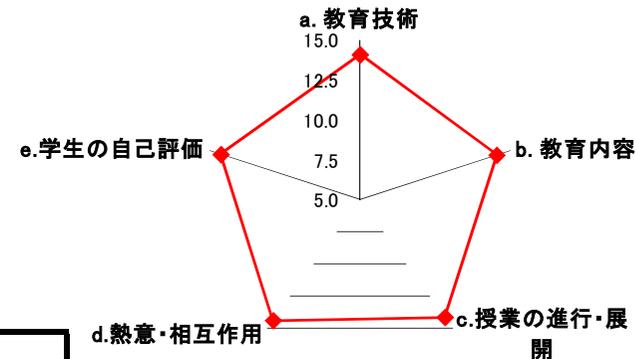
「丁寧でわかりやすかった」、「映像がわかりやすかった」など、概ね良い評価とご意見をいただき、担当教員一同、うれしく思います。
急性期ケアは、前半の講義で急性期にある人々の病態生理やアセスメント、ケア全般を学び、後半は手術を受ける人々のケアを疾患別に学んでいきます。
学習内容はとても多いですが、どれも外科系実習で必要となる基礎知識になります。
いただいたご意見をもとに、授業資料や授業の進め方を見直して、皆さんの学習促進につながるような改善をしていきたいと思ひます。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	154	回収数	94	回収率	61.0%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:緩和・終末期ケア
 担当者:
 吉田みつ子・田中孝美

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	94	14.13	1.49
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	94	14.10	1.60
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	94	14.13	1.66
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	94	14.37	1.29
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	94	14.27	1.31

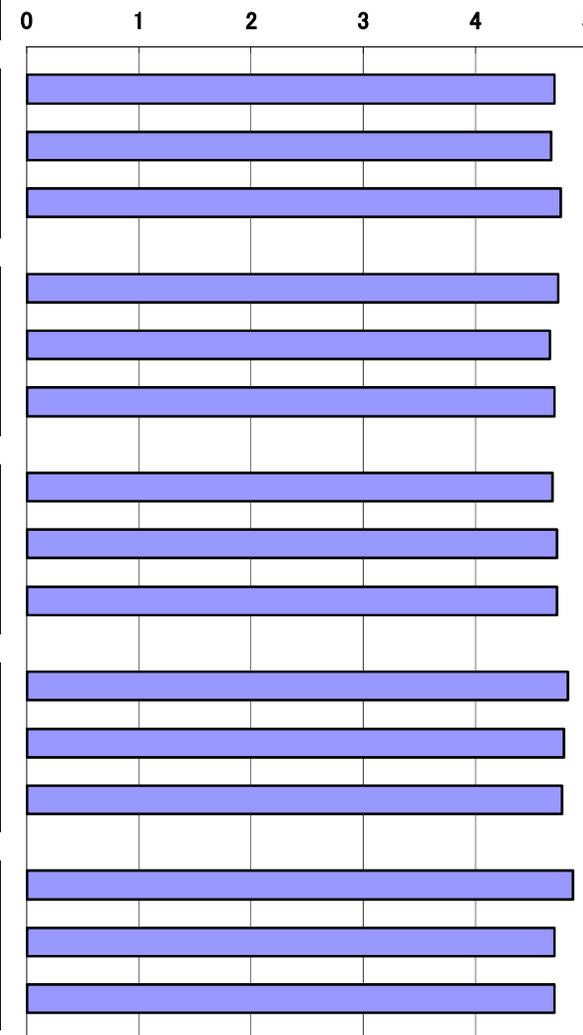


[00]

N=127

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	69	22	3	0	0	0	4.70	0.52
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	66	25	3	0	0	0	4.67	0.53
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	74	17	3	0	0	0	4.76	0.50
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	73	17	4	0	0	0	4.73	0.53
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	68	21	4	1	0	0	4.66	0.61
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	69	22	3	0	0	0	4.70	0.52
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	69	21	3	1	0	0	4.68	0.59
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	72	19	2	1	0	0	4.72	0.55
⑨	授業の進行速度は適切だった。	72	19	2	1	0	0	4.72	0.55
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	78	15	1	0	0	0	4.82	0.41
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	76	16	2	0	0	0	4.79	0.46
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	74	18	2	0	0	0	4.77	0.47
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	81	13	0	0	0	0	4.86	0.35
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	71	18	5	0	0	0	4.70	0.56
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	72	16	6	0	0	0	4.70	0.58



科目コード	1N0400	科目名	緩和・終末期ケア	担当教員名	吉田みつ子・田中孝美
-------	--------	-----	----------	-------	------------

<教員からのコメント>

授業を通して、皆さんが緩和ケアに関心を高め、「今の時間を大切に生きようとおもった」「死と向き合うことで感じる命の強さを学んだ」などの感想をいただき、とてもうれしく思いました。毎回の授業で、前回授業の感想、質問に答える時間をとることで、さらに学びも深まったという意見もありました。しかし、レビューの時間が長いときもありましたので、次年度以降は調整していきたいと思えます。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

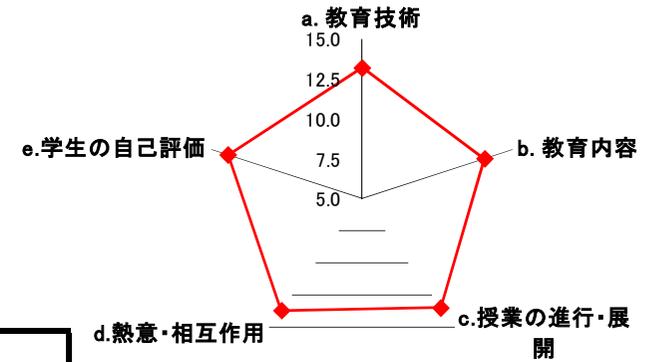
履修者数	22	回収数	22	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:保健福祉行政論

担当者:

櫻山豊夫

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	21	13.24	1.72
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	22	13.14	1.71
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	22	13.45	1.95
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	22	13.68	1.74
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	22	13.91	1.44

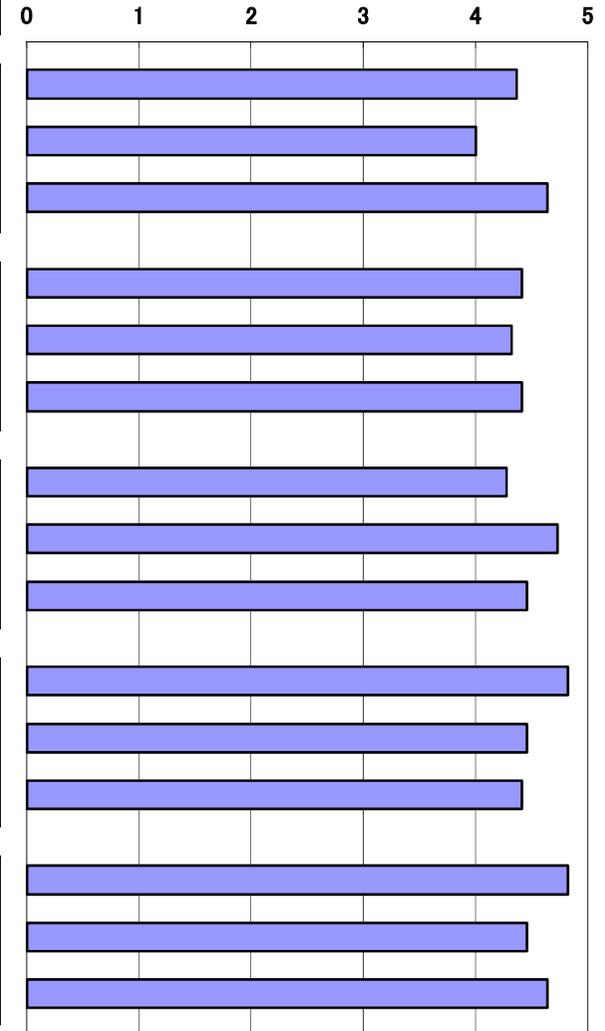


[00]

N=22

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	10	10	2	0	0	0	4.36	0.64
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	10	5	6	0	0	1	4.00	1.21
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	14	8	0	0	0	0	4.64	0.48
63.6		36.4	0.0	0.0	0.0	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	11	9	2	0	0	0	4.41	0.65
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	12	5	5	0	0	0	4.32	0.82
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	12	7	3	0	0	0	4.41	0.72
54.5		31.8	13.6	0.0	0.0	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	13	4	3	2	0	0	4.27	1.01
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	17	4	1	0	0	0	4.73	0.54
⑨	授業の進行速度は適切だった。	12	8	2	0	0	0	4.45	0.66
54.5		36.4	9.1	0.0	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	18	4	0	0	0	0	4.82	0.39
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	14	4	4	0	0	0	4.45	0.78
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	13	5	4	0	0	0	4.41	0.78
59.1		22.7	18.2	0.0	0.0	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	19	2	1	0	0	0	4.82	0.49
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	13	6	3	0	0	0	4.45	0.72
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	15	6	1	0	0	0	4.64	0.57
68.2		27.3	4.5	0.0	0.0	0.0			



科目コード	100300	科目名	保健福祉行政論	担当教員名	櫻山豊夫
-------	--------	-----	---------	-------	------

<教員からのコメント>

至らぬ講義でしたのに、何とか合格点の評価をいただいたように思います。熱心に受講して下さった学生の皆様に感謝申し上げます。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

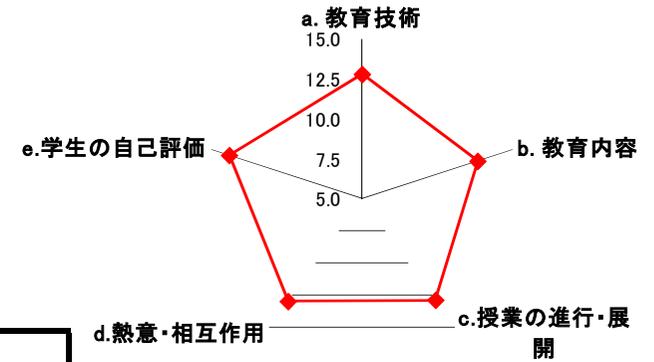
履修者数	153	回収数	79	回収率	51.6%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:在宅看護学

担当者:

藤田淳子・福井小紀子・乙黒千鶴・岡本有子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	79	12.82	2.59
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	79	12.70	2.81
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	79	12.87	2.75
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	78	12.96	2.71
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	78	13.83	1.88



[00]

N=113

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	44	24	10	0	1	0	4.39	0.80
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	42	25	9	1	2	0	4.32	0.91
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	38	21	14	3	3	0	4.11	1.07

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	39	25	13	0	2	0	4.25	0.91
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	39	24	11	1	4	0	4.18	1.05
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	40	26	9	2	2	0	4.27	0.94

c. 授業の進行・展開

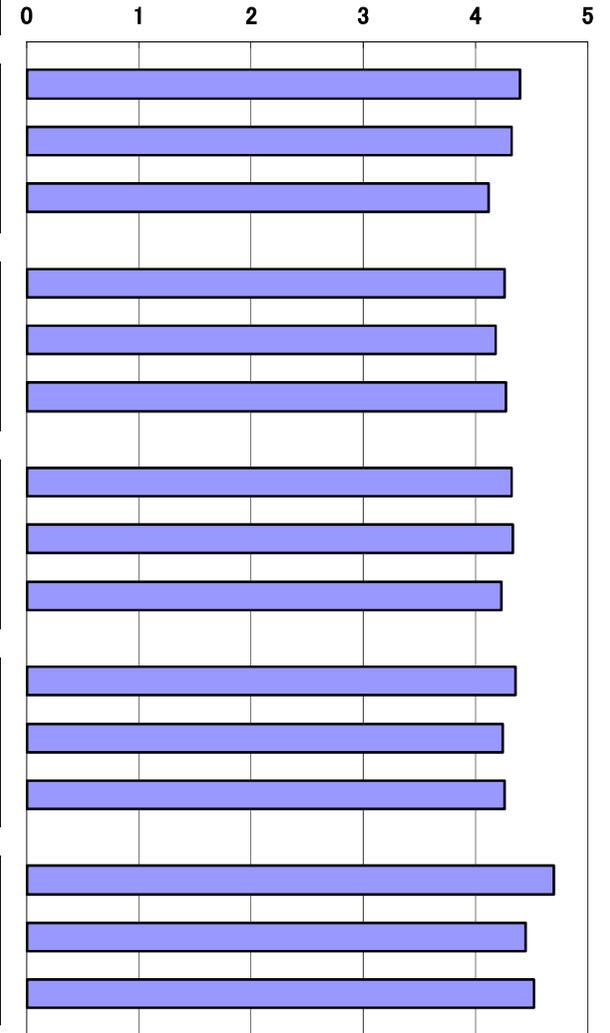
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	43	23	10	1	2	0	4.32	0.92
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	43	24	9	1	2	0	4.33	0.91
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	42	22	9	3	3	0	4.23	1.04

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	46	20	10	1	2	0	4.35	0.93
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	41	22	12	2	2	0	4.24	0.97
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	43	20	13	0	2	1	4.25	1.04

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	63	13	1	0	1	1	4.70	0.80
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	49	22	5	1	1	1	4.44	0.92
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入室をしない等)に協力した。	53	19	5	0	1	1	4.52	0.88



科目コード	100500	科目名	在宅看護学	担当教員名	藤田淳子・岡本裕子・福井小紀子・乙黒千鶴
-------	--------	-----	-------	-------	----------------------

<教員からのコメント>

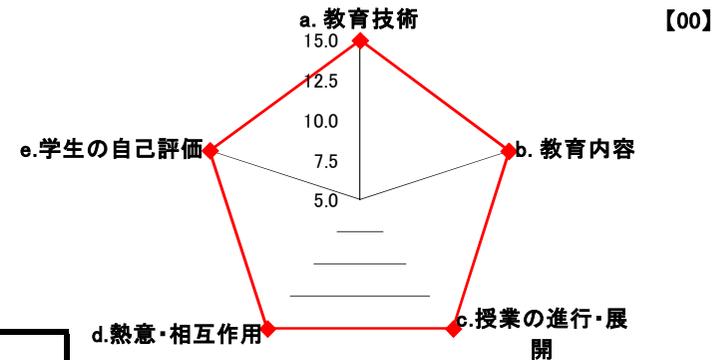
- ・在宅看護学は、病院での看護と異なり、医療面から社会制度、地域の状況まで様々な視点からその人に必要な看護を考えなければいけない分野です。グループワークや演習を通して、広く考える機会になったのではないかと思います。
- ・テスト範囲の説明は早い方がよいというコメントがありましたので、授業の初回に説明するように変更します。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	12	回収数	11	回収率	91.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護管理学Ⅱ
 担当者:
 安部陽子・鶴田恵子

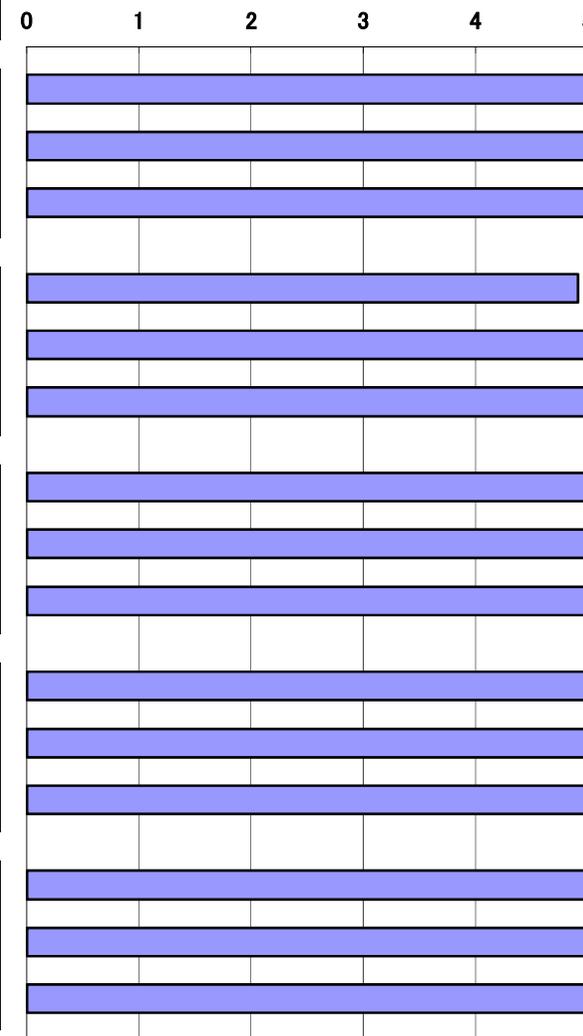
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	11	15.00	0.00
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	11	14.91	0.29
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	11	15.00	0.00
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	11	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	11	15.00	0.00



N=11

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
a. 教育技術									
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	11	0	0	0	0	0	5.00	0.00
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	11	0	0	0	0	0	5.00	0.00
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11	0	0	0	0	0	5.00	0.00
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	11	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	11	0	0	0	0	0	5.00	0.00
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	11	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	11	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑨	授業の進行速度は適切だった。	11	0	0	0	0	0	5.00	0.00
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	11	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	11	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	11	0	0	0	0	0	5.00	0.00
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	11	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	11	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	11	0	0	0	0	0	5.00	0.00



科目コード	1P0200	科目名	看護管理学Ⅱ	担当教員名	安部陽子・鶴田恵子
-------	--------	-----	--------	-------	-----------

<教員からのコメント>

現在は講義45分とディスカッションまたはグループワーク45分という構成で授業をデザインしています。来年度は今まで講義していた部分は資料を読んできてもらい、質問があればそれに答え、90分をディスカッションまたはグループワークで構成したいと考えています。教材で用いた「コードグリーン」は現在入手しにくい状態のようです。来年度も使用する場合は誰もが読んで授業にのぞめるように配慮します。

科目コード	1P0400	科目名	看護教育学Ⅱ	担当教員名	西田朋子
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

選択科目であり、また看護教育制度に関することを深めていく授業であるため履修者は多くありませんでしたが、学生の皆さんの自己評価も高く、また全体的により評価をいただきとてもよかったです。

「わかりやすかった」「興味がわいた」「他の人の意見を知ることができた」など、とても前向きな自由記載をいただきましたし、何より「興味をもつことができた」という意見はとてもうれしく思います。

学部生の皆さんが、自分の学んでいる看護教育がどのような制度のもとで行われているのか、諸外国と比較してどう見ることができるのか、そして教師教育はどうなっているのか、などについて主体的にそして幅広く考えられる授業となったことは本当に良かったと思います。

次年度も、改善を続けながら、学生の皆さんに興味関心を抱いていただけるような授業としていきたいと考えています。

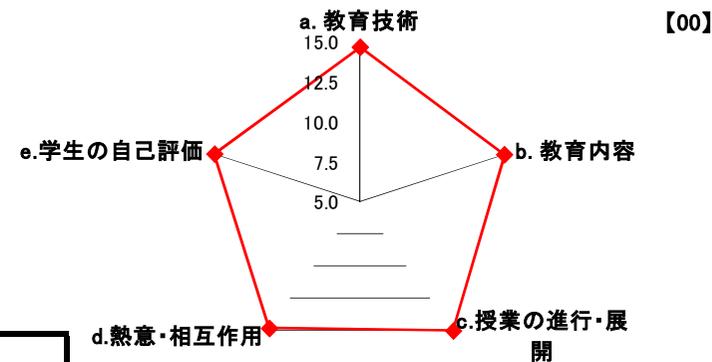
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	12	回収数	10	回収率	83.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護教育方法

担当者:
西田朋子

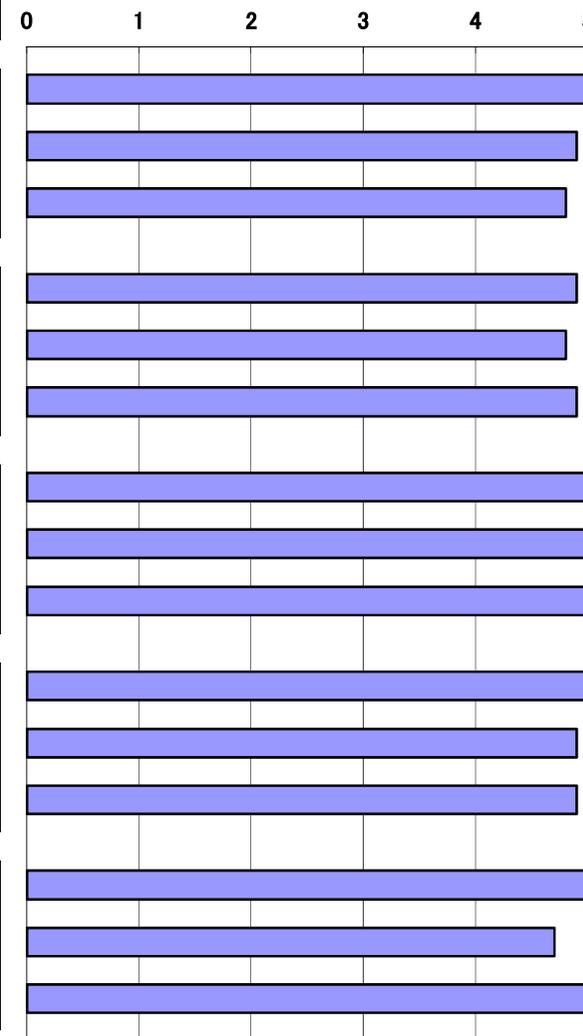
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	10	14.70	0.64
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	10	14.60	0.92
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	10	15.00	0.00
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	10	14.80	0.60
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	10	14.70	0.46



N=10

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8	2	0	0	0	0	4.80	0.40
80.0		20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	8	2	0	0	0	0	4.80	0.40
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
90.0		10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑨	授業の進行速度は適切だった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
100.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
90.0		10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	7	3	0	0	0	0	4.70	0.46
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
100.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		



科目コード	1P0500	科目名	看護教育方法	担当教員名	西田朋子
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

この授業は、「教える立場」に立ったときどのように学生を理解していくか、教えるための準備としてはどのようなことがあるか、また講義をはじめとして実習を含む授業の展開や評価はどのようにしていくか、ということ網羅している科目です。

学生の皆さんからはとても良い評価をいただきました。特に、学生の立場で「いままでの授業を振り返ることができた」「今回の講義を受けて、授業の見方が変わりました」など、学生のうちにご自分達が受けてきた教育を学習者の立場から振り返っていただけたことはとてもよかったです。それは、教える立場になったときに、皆さんが振り返り意味づけてくださったこれまでの経験が、きっと役立つ時が来ると思います。

そして、楽しく学ぶことができた、わかりやすい授業だったという教師としてもとてもうれしいフィードバックを皆さんからいただき、嬉しく思います。今後もさらに学生にとって意味のある授業を展開していけるような工夫をしていきます。

改善点としては、時間割上の課題があります。その点については学内全体での調整も必要ですが、少しでも多くの学生の皆さんに履修していただき、教育に関心を持っていただけるよう担当教員として努力していきたいと思ひます。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

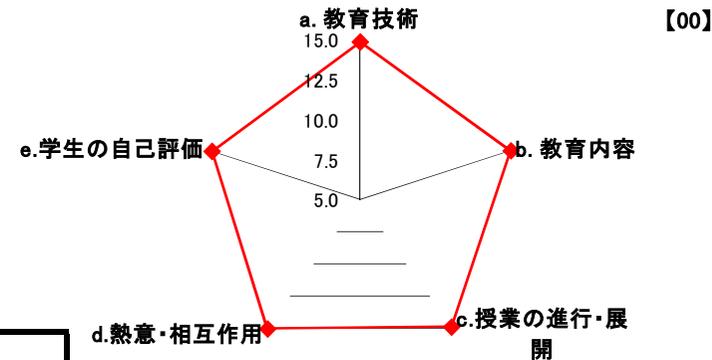
履修者数	22	回収数	20	回収率	90.9%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:応用看護学特論 I ①

担当者:

鶴田恵子・林宗博

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	20	14.90	0.30
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	20	15.00	0.00
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	20	14.85	0.48
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	20	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	20	14.85	0.48



N=20

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	20	0	0	0	0	0	5.00	0.00
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	18	2	0	0	0	0	4.90	0.30
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	20	0	0	0	0	0	5.00	0.00

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	20	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	20	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	20	0	0	0	0	0	5.00	0.00

c. 授業の進行・展開

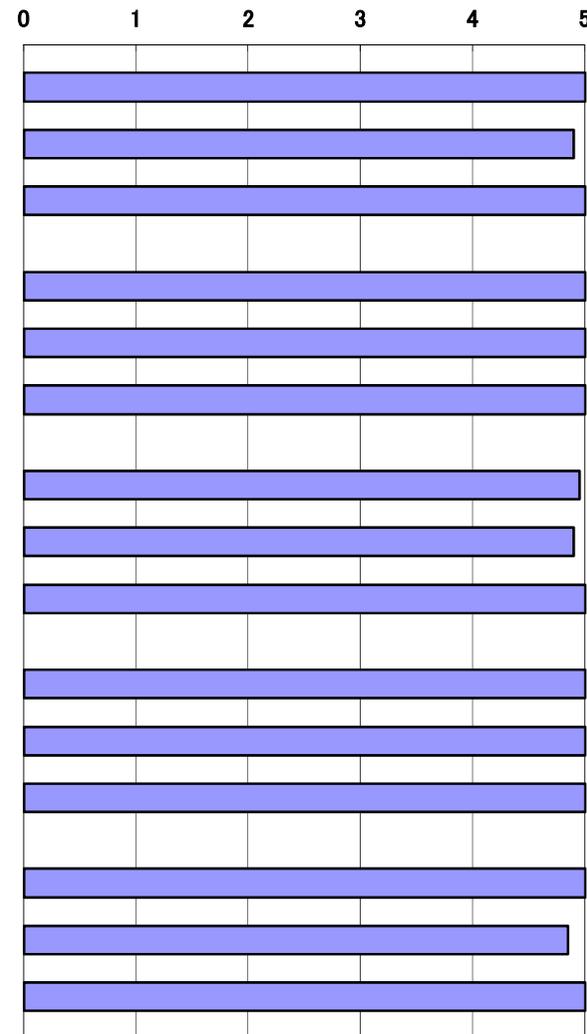
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	19	1	0	0	0	0	4.95	0.22
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	18	2	0	0	0	0	4.90	0.30
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	20	0	0	0	0	0	5.00	0.00

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	20	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	20	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	20	0	0	0	0	0	5.00	0.00

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	20	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	18	1	1	0	0	0	4.85	0.48
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	20	0	0	0	0	0	5.00	0.00



科目コード	1Q0100	科目名	応用看護学特論 I ①(チーム医療)	担当教員名	鶴田恵子・林宗博
-------	--------	-----	--------------------	-------	----------

<教員からのコメント>

多くの学生が履修すると想定で準備しましたが、22名と少なかったのが残念でした。多職種探検をするアクティブラーニングは、学生にとって評価も高く継続したいと思います。

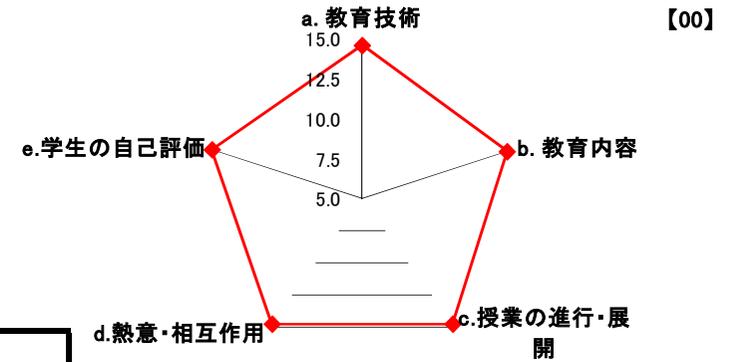
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	12	回収数	11	回収率	91.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:応用看護学特論 I ②

担当者:
千葉邦子

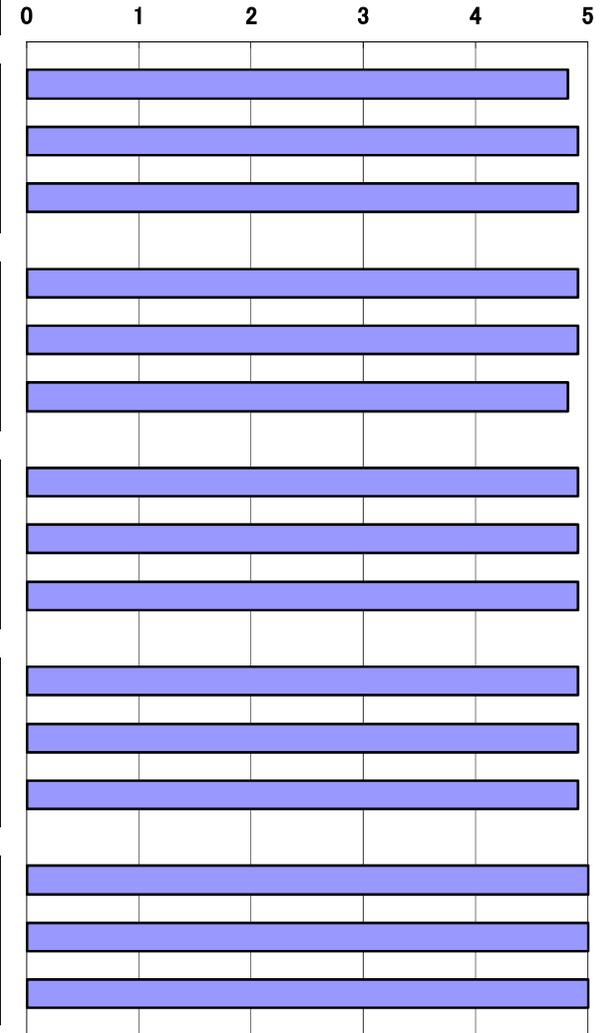
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	11	14.64	0.88
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	11	14.64	0.88
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	11	14.73	0.86
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	11	14.73	0.86
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	11	15.00	0.00



N=11

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	9	2	0	0	0	0	4.82	0.39
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	9	2	0	0	0	0	4.82	0.39
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑨	授業の進行速度は適切だった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	11	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	11	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	11	0	0	0	0	0	5.00	0.00



科目コード	1Q0200	科目名	応用看護学特論 I ②	担当教員名	千葉邦子
-------	--------	-----	-------------	-------	------

<教員からのコメント>

■「コの字型でディスカッションしやすい雰囲気だった」、「ディスカッションが多く、他の人の意見がたくさん聞けた」、「皆と一緒に考えてディスカッションして深めていくことができて楽しかった」、「少人数でゼミのようで、一人一人の意見をディスカッション出来て良かった」など、ディスカッションの時間を多く取り入れたことが効果的に働いていたようで、とても嬉しいです。

■「とても楽しく学べた」、「楽しかった」との意見を頂き、とても嬉しいです。毎回、色々な意見を聞くことができ、私もとても楽しかったです。

■毎回の授業終盤の振り返りに、用紙いっぱいの感想を頂き、ありがとうございました。皆の素直な思い、鋭い感性にハッとさせられていました。

■今後も、参加者の知的好奇心をくすぐることのできるような授業展開を検討していきたいと思います。

■「レポートの提出期限を試験期間以外にしてほしい」との意見を頂きましたので、検討していきたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

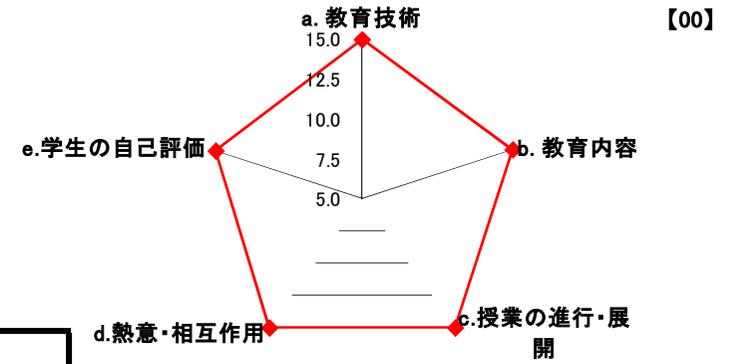
履修者数	21	回収数	20	回収率	95.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:応用看護学特論 I ③

担当者:

江本リナ・川名るり・山内朋子・太田智子・吉田玲子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	20	15.00	0.00
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	20	15.00	0.00
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	20	15.00	0.00
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	20	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	20	14.75	0.43



N=20

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	20	0	0	0	0	5.00	0.00
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	20	0	0	0	0	5.00	0.00
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	20	0	0	0	0	5.00	0.00

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	20	0	0	0	0	5.00	0.00
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	20	0	0	0	0	5.00	0.00
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	20	0	0	0	0	5.00	0.00

c. 授業の進行・展開

⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	20	0	0	0	0	5.00	0.00
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	20	0	0	0	0	5.00	0.00
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	20	0	0	0	0	5.00	0.00

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	20	0	0	0	0	5.00	0.00
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	20	0	0	0	0	5.00	0.00
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	20	0	0	0	0	5.00	0.00

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	16	4	0	0	0	4.80	0.40
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	19	1	0	0	0	4.95	0.22
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	20	0	0	0	0	5.00	0.00



科目コード	1Q0300	科目名	応用看護学特論 I ③	担当教員名	江本リナ・川名るり・山内朋子・太田智子・吉田玲子
-------	--------	-----	-------------	-------	--------------------------

<教員からのコメント>

応用看護学特論 I ③では、子どもの最善の利益とは何か、それを守るための看護師の役割について考えることを目標としており、ディスカッションなどを通して学生の感じたこと・考えたことを大切に授業を行いました。選択授業でしたが、受講した学生が子どもと家族に興味・関心を持ち、熱心に授業に取り組んでくれたことを大変嬉しく思っています。

また、授業評価で高い評価をいただいたことや、「より小児について知識と考えが深まった」「小児看護で学んだことを応用して考えることができた」「意見を言い合える授業だったので学びを深めることができた」などのコメントから、学生が授業に主体的に参加しており、小児看護の深い学びにつながっていたことが分かり良かったです。

DVDを観たり、実際の子どもに触れたり他職種の方にお話いただく機会を設けるなどの工夫も、「とても良かった」と評価していただきましたので、今後も小児看護の魅力を伝えることができるよう努めていきたいと思えます。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

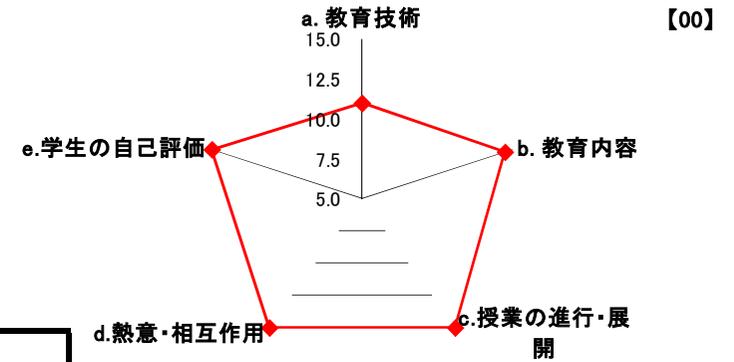
履修者数	2	回収数	2	回収率	100.0%
------	---	-----	---	-----	--------

科目:応用看護学特論Ⅱ①

担当者:

小宮敬子・古城門靖子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	2	11.00	0.00
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	2	14.50	0.50
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	2	15.00	0.00
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	1	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	1	15.00	0.00



N=2

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	0	0	2	0	0	0	3.00	0.00
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	0	0	2	0	0	0	3.00	0.00
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	2	0	0	0	0	0	5.00	0.00

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	1	1	0	0	0	0	4.50	0.50
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	2	0	0	0	0	0	5.00	0.00

c. 授業の進行・展開

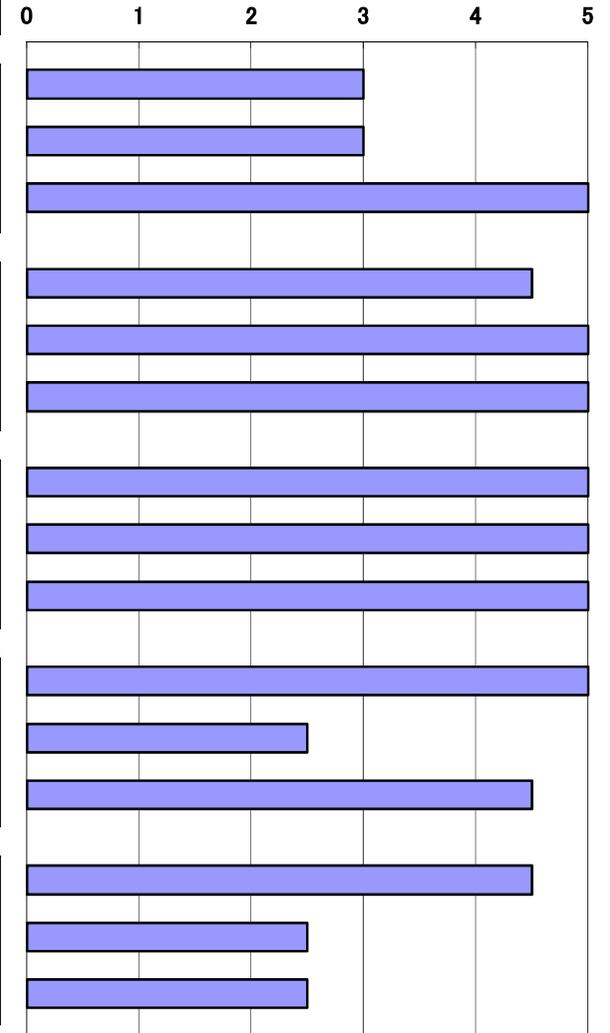
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	2	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	2	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	2	0	0	0	0	0	5.00	0.00

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	2	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	1	0	0	0	0	1	2.50	2.50
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	1	1	0	0	0	0	4.50	0.50

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	1	1	0	0	0	0	4.50	0.50
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	1	2.50	2.50
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入室をしない等)に協力した。	1	0	0	0	0	1	2.50	2.50



科目コード	1Q0500	科目名	応用看護学特論Ⅱ①	担当教員名	小宮敬子・古城門靖子
-------	--------	-----	-----------	-------	------------

<教員からのコメント>

グループワークを体験するという演習形式の授業だったので、今回の授業評価の枠組みとは合わない部分があったかと思います。グループの中で、語ること、聞くことを通して、自己についての理解や、他者理解が深めることができたでしょうか。皆さんの熱心な参加に感謝します。

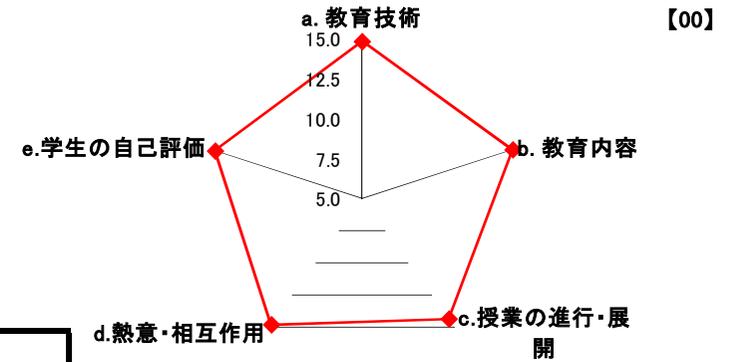
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	9	回収数	9	回収率	100.0%
------	---	-----	---	-----	--------

科目:応用看護学特論Ⅱ②

担当者:
坂口千鶴・千葉京子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	9	14.89	0.31
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	9	15.00	0.00
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	9	14.33	0.67
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	9	14.78	0.63
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	9	14.78	0.42



N=9

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00

c. 授業の進行・展開

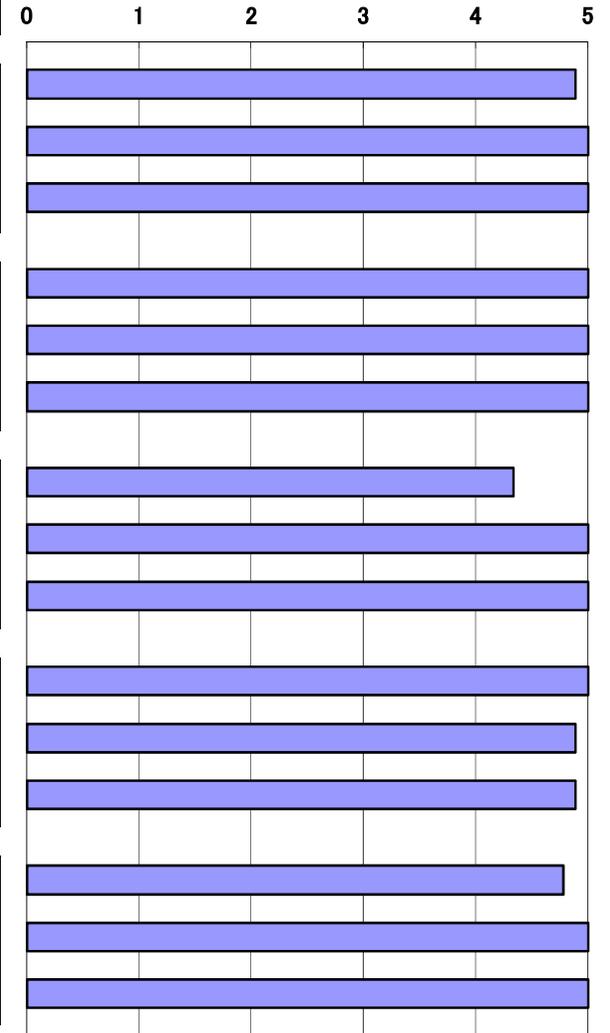
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	4	4	1	0	0	0	4.33	0.67
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	7	2	0	0	0	0	4.78	0.42
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00



科目コード	1Q0600	科目名	応用看護学特論Ⅱ②	担当教員名	坂口千鶴・千葉京子
-------	--------	-----	-----------	-------	-----------

<教員からのコメント>

貴重な感想やご意見を頂き、ありがとうございました。

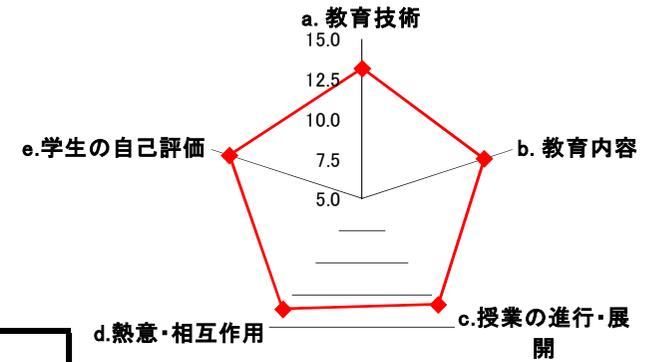
実際に演習等でホーリスティック・ナーシングを体験して頂くことで、患者さんへの看護として用いることもでき、また患者さんに関わる私たち看護者にも癒しが重要であることを学んで頂けたかと思えます。もっと授業回数を増やしてほしいとの要望もありましたが、授業以外の形で今後検討していきたいと思っております。ぜひ、看護師として就職された後も思い出してセルフ・ヒーリング等に試してみてください。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	154	回収数	94	回収率	61.0%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:国際看護学Ⅰ
 担当者:
 岡本菜穂子・亀井緑

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	94	13.18	1.91
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	94	13.13	2.11
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	94	13.19	2.10
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	94	13.55	1.85
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	93	13.84	1.65

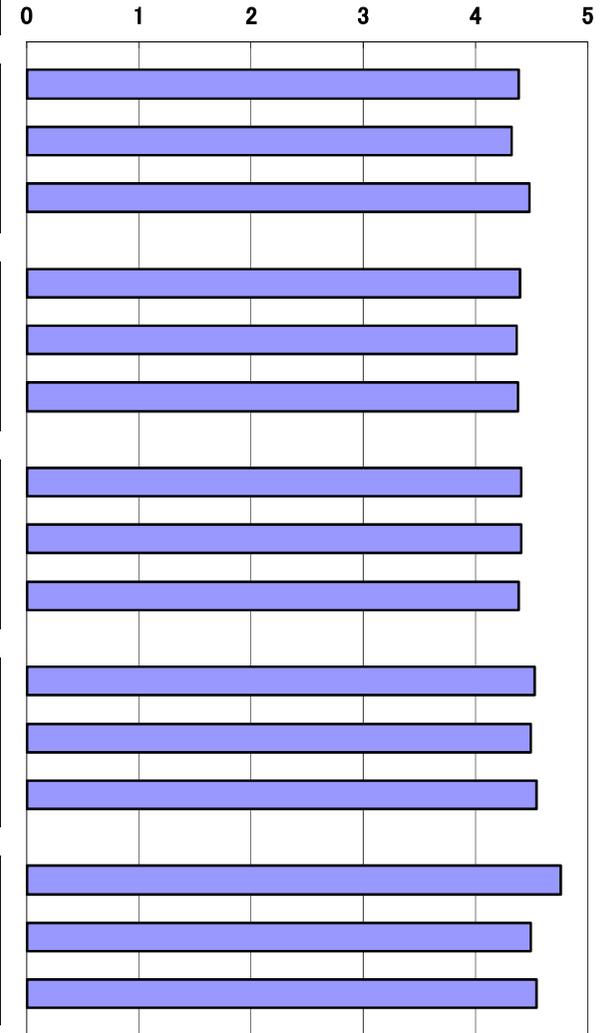


[00]

N=129

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	46	39	8	1	0	0	4.38	0.69
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	45	37	10	1	1	0	4.32	0.79
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	52	35	7	0	0	0	4.48	0.63
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	48	36	9	1	0	0	4.39	0.70
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	49	33	9	3	0	0	4.36	0.78
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	49	34	8	3	0	0	4.37	0.77
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	50	35	7	1	1	0	4.40	0.76
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	50	33	10	1	0	0	4.40	0.72
⑨	授業の進行速度は適切だった。	50	32	10	2	0	0	4.38	0.76
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	57	30	6	1	0	0	4.52	0.66
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	54	32	8	0	0	0	4.49	0.65
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	57	31	6	0	0	0	4.54	0.61
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	78	12	3	0	0	1	4.76	0.68
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	57	30	4	2	1	0	4.49	0.77
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入室をしない等)に協力した。	60	26	7	1	0	0	4.54	0.68



科目コード	1R0100	科目名	国際看護学 I	担当教員名	岡本菜穂子・亀井縁
-------	--------	-----	---------	-------	-----------

<教員からのコメント>

多くのコメントをありがとうございました。さらに授業が楽しく、思考が深まるような授業展開を考えていきたいと思います。(亀井)

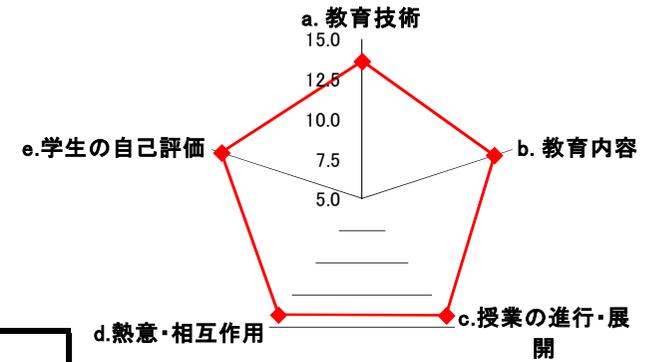
科目構成については皆さんからいただいた意見を反映して、検討をしたいと思います。少しでも国際的視野に立って考えてみるきっかけにさせていただけることを期待しております(岡本)

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	125	回収数	47	回収率	37.6%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:災害看護論Ⅱ
 担当者:
 亀井緑・小原真理子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	47	13.64	1.76
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	47	13.79	1.70
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	47	14.04	1.46
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	46	14.00	1.67
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	47	14.36	1.14

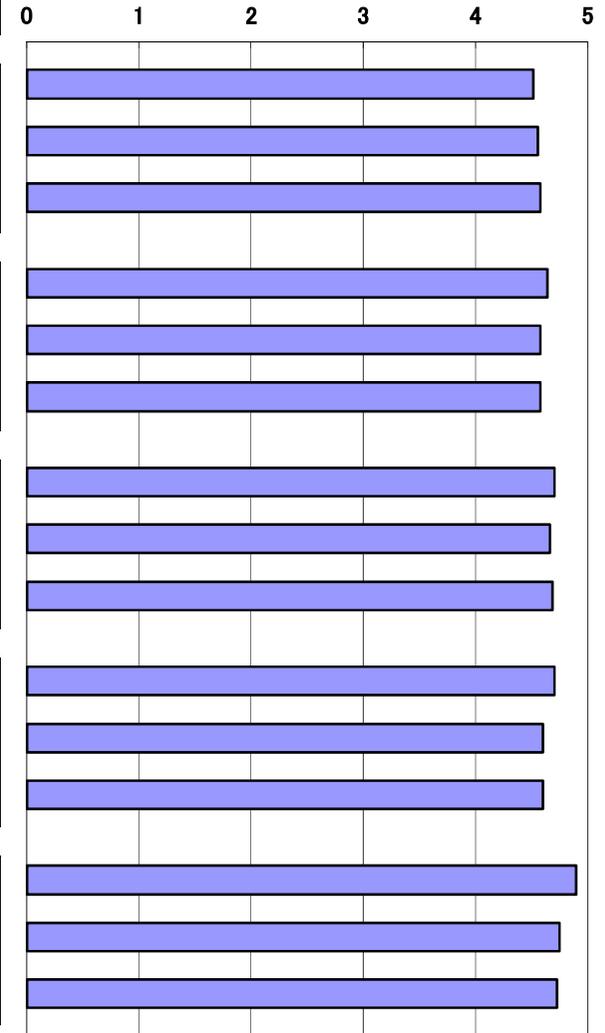


[00]

N=81

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	27	18	1	1	0	0	4.51	0.65
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	29	15	3	0	0	0	4.55	0.61
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	31	13	2	1	0	0	4.57	0.68
66.0		27.7	4.3	2.1	0.0	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	31	15	1	0	0	0	4.64	0.52
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	30	15	1	1	0	0	4.57	0.64
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	30	15	1	1	0	0	4.57	0.64
63.8		31.9	2.1	2.1	0.0	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	34	12	1	0	0	0	4.70	0.50
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	32	14	1	0	0	0	4.66	0.52
⑨	授業の進行速度は適切だった。	33	13	1	0	0	0	4.68	0.51
70.2		27.7	2.1	0.0	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	35	11	0	1	0	0	4.70	0.58
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	31	14	1	1	0	0	4.60	0.64
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	34	10	2	0	0	1	4.60	0.87
72.3		21.3	4.3	0.0	0.0	2.1			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	35	12	0	0	0	0	4.74	0.44
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	35	11	1	0	0	0	4.72	0.49
74.5		23.4	2.1	0.0	0.0	0.0			



科目コード	1R0500	科目名	災害看護論Ⅱ	担当教員名	亀井縁・小原真理子
-------	--------	-----	--------	-------	-----------

<教員からのコメント>

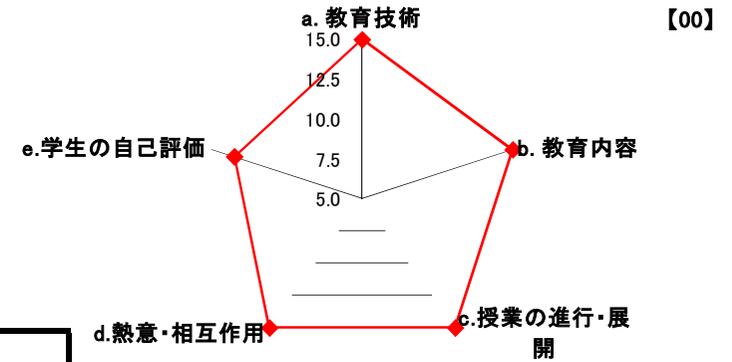
多くのコメントをありがとうございました。今年度より取り入れた小テストは、授業の理解につながったとの良い評価をいただきましたので次年度も継続して実施していきたいと考えております。一方で、災害看護論ⅠとⅡの授業内容の重複についてのご意見をいただきましたので真摯にうけとめ、次年度は授業内容を精選し改善に努めます。皆様のコメントをふまえ、また地域看護学受講の授業進行から、被災地の地域特性のアセスメント方法、救護活動上の他職種間及び同職間の連携についても、授業計画に入れたいと考えております。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	3	回収数	2	回収率	66.7%
------	---	-----	---	-----	-------

科目:研究方法論Ⅲ
 担当者:
 逸見功

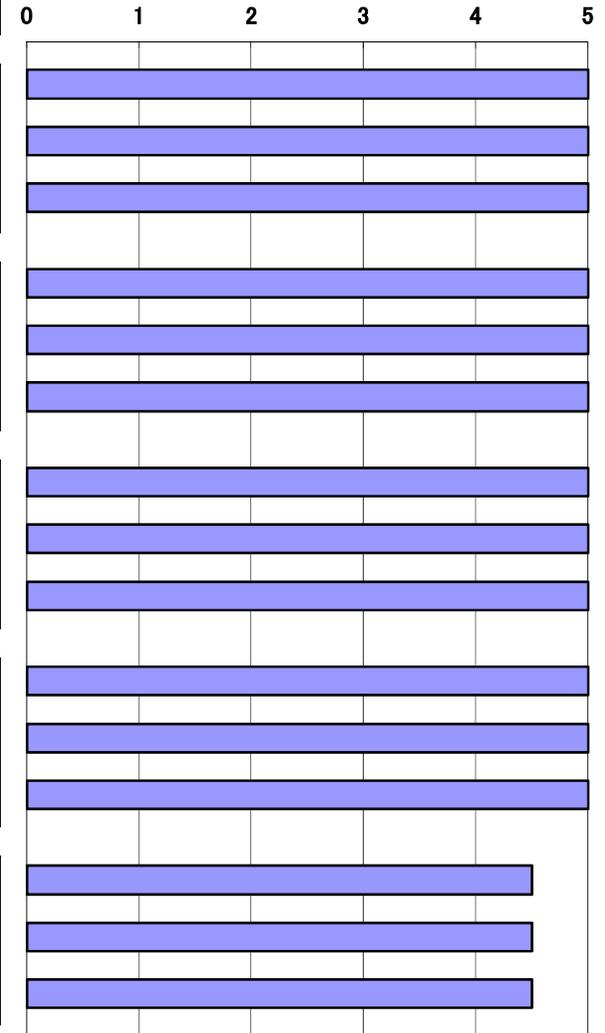
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	2	15.00	0.00
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	2	15.00	0.00
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	2	15.00	0.00
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	2	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	2	13.50	1.50



N=2

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
a. 教育技術									
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑨	授業の進行速度は適切だった。	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.50
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.50
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.50



科目コード	1T0300	科目名	研究方法論Ⅲ	担当教員名	逸見功
-------	--------	-----	--------	-------	-----

<教員からのコメント>

データを分析する楽しさがわかってもらえてよかったです。

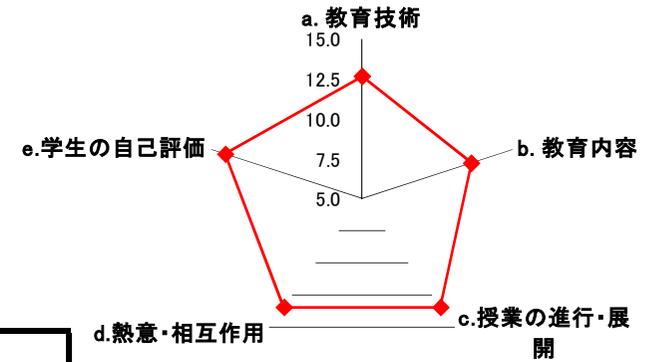
授業(講義)評価結果(2015年度前期)

履修者数	20	回収数	19	回収率	95.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目: 公衆衛生看護活動展開論

担当者:
澤井美奈子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	19	12.68	1.45
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	19	12.26	1.62
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	19	13.42	1.46
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	19	13.42	1.66
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	19	14.11	1.29

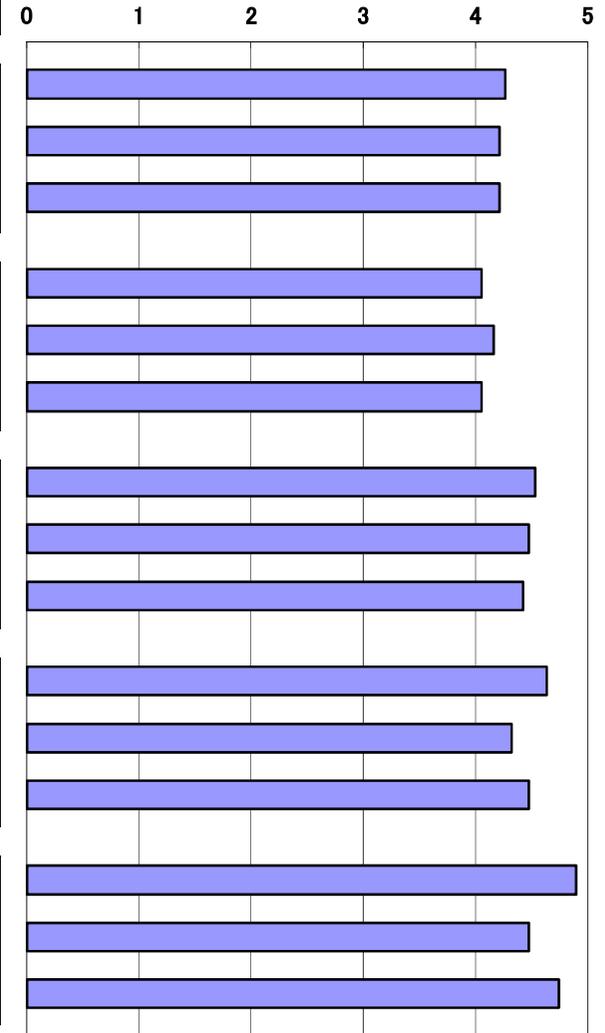


[00]

N=19

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	6	12	1	0	0	0	4.26	0.55
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	5	13	1	0	0	0	4.21	0.52
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	6	11	2	0	0	0	4.21	0.61
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	5	10	4	0	0	0	4.05	0.69
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	4	14	1	0	0	0	4.16	0.49
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	5	11	2	1	0	0	4.05	0.76
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	11	7	1	0	0	0	4.53	0.60
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9	10	0	0	0	0	4.47	0.50
⑨	授業の進行速度は適切だった。	10	7	2	0	0	0	4.42	0.67
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	12	7	0	0	0	0	4.63	0.48
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	8	10	0	1	0	0	4.32	0.73
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	11	7	0	1	0	0	4.47	0.75
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	18	0	1	0	0	0	4.89	0.45
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	11	6	2	0	0	0	4.47	0.68
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	15	3	1	0	0	0	4.74	0.55



科目コード	1U0100	科目名	公衆衛生看護活動展開論	担当教員名	澤井美奈子
-------	--------	-----	-------------	-------	-------

<教員からのコメント>

保健師課程履修学生の必修科目として、今年度より開講しました

公衆衛生看護活動のなかの、学校保健、産業保健、災害保健活動という3領域について、短期間で展開するため、写真やトピックスを絡めながら展開しました
短期間での集中講義のため、国家試験にもふれながらポイントを絞って進めましたが、やや抽象的でイメージ化が難しい内容もあったようです
具体的な内容をもっと増やし、考える時間をとり、具体的な学びにつながるよう工夫したいと考えています

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

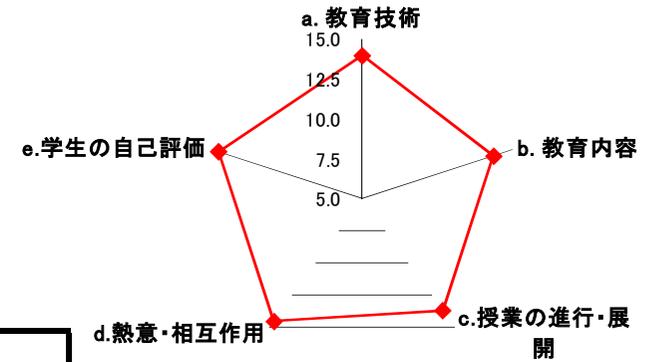
履修者数	22	回収数	22	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目: 公衆衛生看護管理論

担当者:

乙黒千鶴・澤井美奈子・福井小紀子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	22	14.00	1.04
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	22	13.73	1.93
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	22	13.68	2.14
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	22	14.50	0.78
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	22	14.55	0.66



[00]

N=22

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	11	11	0	0	0	0	4.50	0.50
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	14	8	0	0	0	0	4.64	0.48
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	19	3	0	0	0	0	4.86	0.34
	86.4	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0		

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	16	6	0	0	0	0	4.73	0.45
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	13	6	2	0	1	0	4.36	0.98
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	16	4	2	0	0	0	4.64	0.64
	72.7	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0		

c. 授業の進行・展開

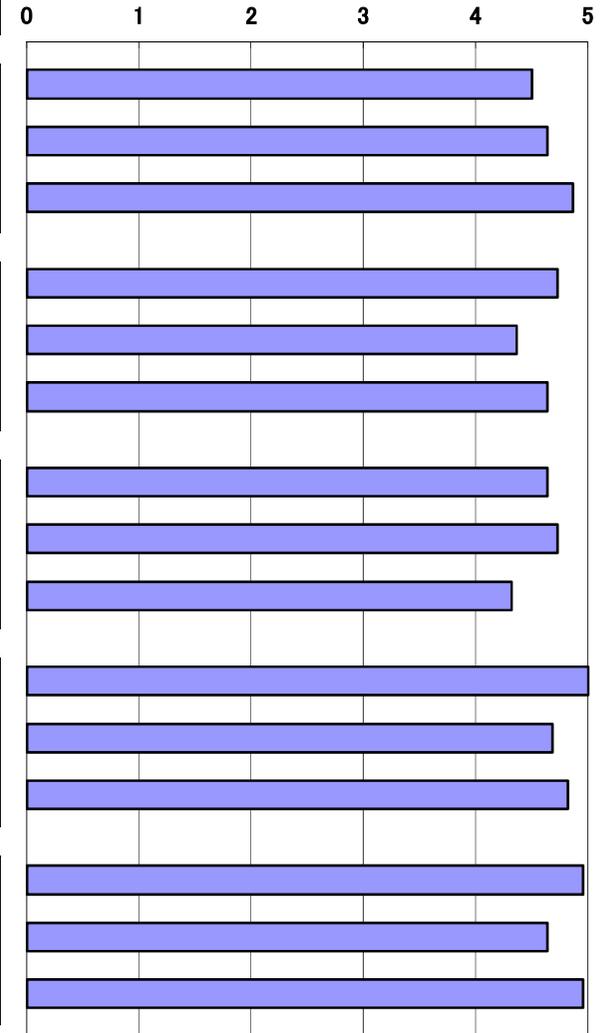
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	19	1	0	1	1	0	4.64	1.02
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	18	2	2	0	0	0	4.73	0.62
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	13	5	3	0	1	0	4.32	1.02
	59.1	22.7	13.6	0.0	4.5	0.0		

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	22	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	15	7	0	0	0	0	4.68	0.47
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	18	4	0	0	0	0	4.82	0.39
	81.8	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0		

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	21	1	0	0	0	0	4.95	0.21
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	15	6	1	0	0	0	4.64	0.57
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	21	1	0	0	0	0	4.95	0.21
	95.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0		



科目コード	1U0200	科目名	公衆衛生看護管理論	担当教員名	乙黒千鶴・澤井美奈子・福井小紀子
-------	--------	-----	-----------	-------	------------------

<教員からのコメント>

集中講義であり、余裕が持てない中でも熱心に取り組んで授業に参加していた姿に、こちらも頑張らなければと励まされました。並行して行われている地区診断の授業を活かし実践に即した形でのイメージ作りと、当事者意識を持てるように「新規事業の立ち上げ」をグループワークしてもらいました。8コマしかない中でのグループワークはかなり厳しかったとのコメントを頂きました。これに関しては、確かに時間的に厳しかったと思いますので次年度は方法を考えます。演習を交えることで、実践のイメージがしやすく、臨地実習にも臨み易い流れであったと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度前期)

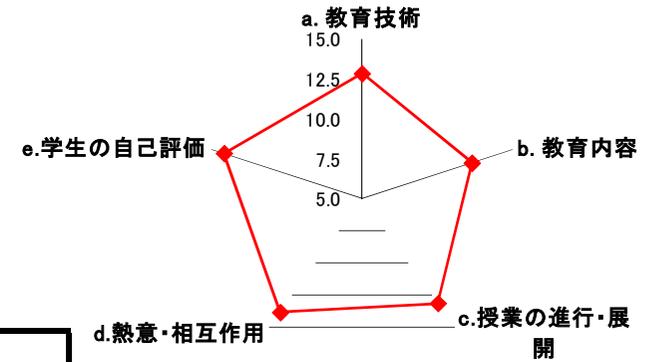
履修者数	22	回収数	22	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目: 公衆衛生看護方法論

担当者:

藤田淳子・乙黒千鶴

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	5,810	13.00	2.46	22	12.86	1.46
b. 教育内容	5,819	12.89	2.66	22	12.32	2.30
c. 授業の進行・展開	5,820	13.33	2.19	22	13.14	1.49
d. 熱意・相互作用	5,794	13.17	2.41	21	13.81	1.59
e. 学生の自己評価	5,803	13.84	1.63	22	14.18	0.78

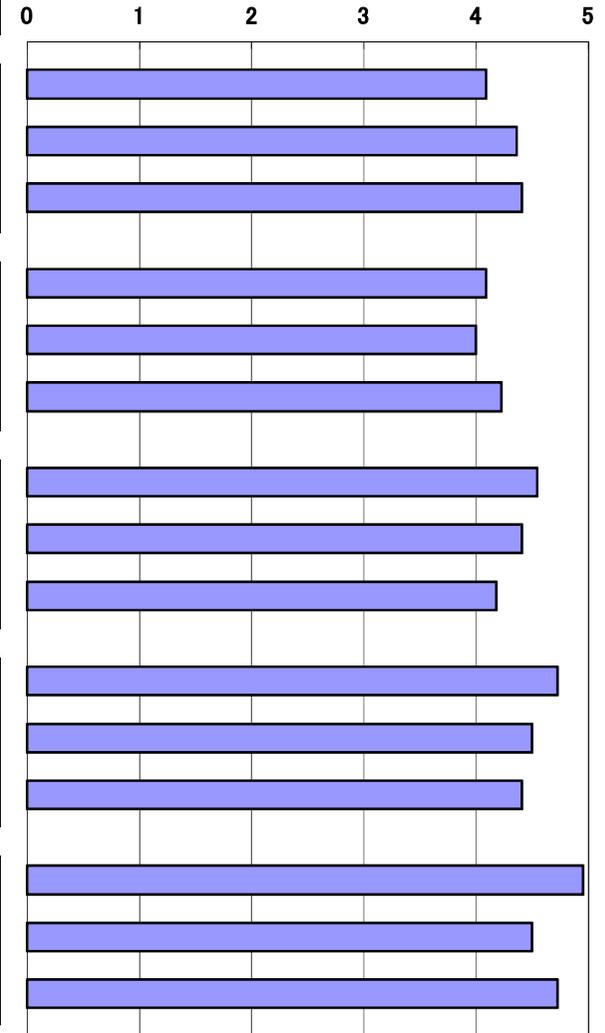


[00]

N=22

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	5	14	3	0	0	0	4.09	0.60
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	8	14	0	0	0	0	4.36	0.48
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	10	11	1	0	0	0	4.41	0.58
22.7		63.6	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.09	0.60
36.4		63.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.36	0.48
45.5		50.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.41	0.58
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	7	10	5	0	0	0	4.09	0.73
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	7	10	4	0	1	0	4.00	0.95
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	10	8	3	1	0	0	4.23	0.85
31.8		45.5	22.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.09	0.73
31.8		45.5	18.2	0.0	4.5	0.0	0.0	4.00	0.95
45.5		36.4	13.6	4.5	0.0	0.0	0.0	4.23	0.85
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	15	5	1	1	0	0	4.55	0.78
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	10	11	1	0	0	0	4.41	0.58
⑨	授業の進行速度は適切だった。	8	10	4	0	0	0	4.18	0.72
68.2		22.7	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	4.55	0.78
45.5		50.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.41	0.58
36.4		45.5	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.18	0.72
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	16	6	0	0	0	0	4.73	0.45
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	13	7	2	0	0	0	4.50	0.66
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	14	6	1	0	0	1	4.41	1.11
72.7		27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.73	0.45
59.1		31.8	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.50	0.66
63.6		27.3	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0	4.41	1.11
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	21	1	0	0	0	0	4.95	0.21
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	11	11	0	0	0	0	4.50	0.50
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	16	6	0	0	0	0	4.73	0.45
95.5		4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.95	0.21
50.0		50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.50	0.50
72.7		27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.73	0.45



科目コード	1U0300	科目名	公衆衛生看護方法論	担当教員名	藤田淳子・乙黒千鶴
-------	--------	-----	-----------	-------	-----------

<教員からのコメント>

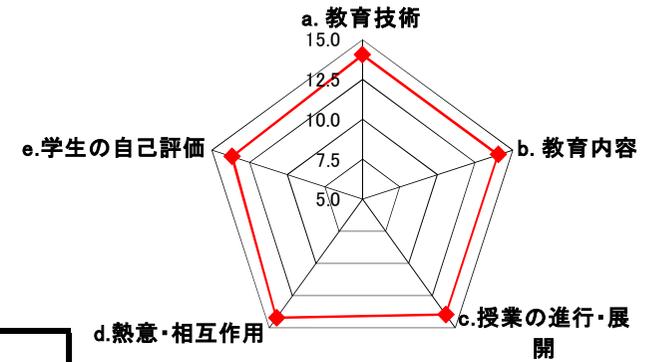
- ・グループワーク形式の授業は、学生も積極的に参加したことによって有意義だったと考えます。
- ・自分で「考える」時間がもてた事は、頭の整理にもなったと思います。
- ・集中講義の負担については、次年度以降に変更していきます。

授業(演習)評価結果(2015年度前期)

履修者数	814	回収数	721	回収率	88.6%
------	-----	-----	-----	-----	-------

科目:
担当者:

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	717	14.06	1.66	717	14.06	1.66
b. 教育内容	718	14.02	1.75	718	14.02	1.75
c. 授業の進行・展開	718	13.97	1.71	718	13.97	1.71
d. 熱意・相互作用	720	14.22	1.45	720	14.22	1.45
e. 学生の自己評価	713	13.66	2.00	713	13.66	2.00

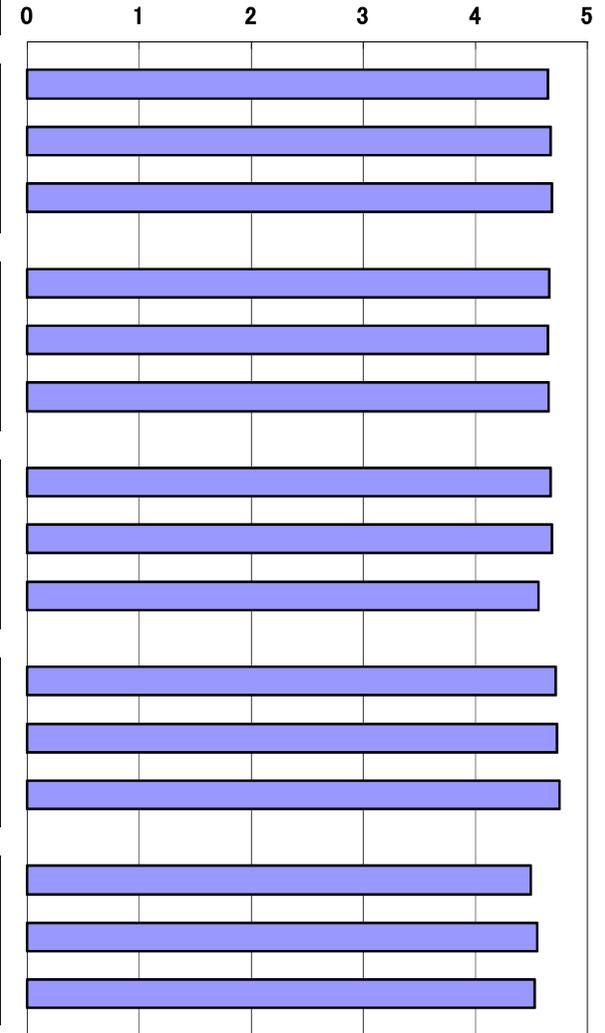


[00]

N=721

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		5点	4点	3点	2点	1点	不明	平均	標準偏差
①	演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	513	173	30	3	1	1	4.65	0.62
②	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	536	151	26	3	1	4	4.67	0.67
③	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	534	153	30	2	1	1	4.68	0.60
b. 教育内容									
④	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	533	148	33	3	1	3	4.66	0.66
⑤	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	528	153	30	5	3	2	4.65	0.68
⑥	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	530	150	31	7	1	2	4.66	0.66
c. 授業の進行・展開									
⑦	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	531	159	21	7	1	2	4.67	0.64
⑧	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	535	157	25	0	2	2	4.69	0.61
⑨	演習の時間配分は適切だった。	495	170	39	7	8	2	4.57	0.77
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	550	144	25	0	1	1	4.72	0.56
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	557	142	17	3	1	1	4.73	0.56
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	566	136	16	2	0	1	4.75	0.52
e. 学生の自己評価									
⑬	私は事前学習をして演習に臨んだ。	478	155	65	17	4	2	4.50	0.83
⑭	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	488	169	50	8	3	3	4.56	0.77
⑮	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	471	191	46	5	1	7	4.53	0.79



授業(演習)評価結果(2015年度前期)

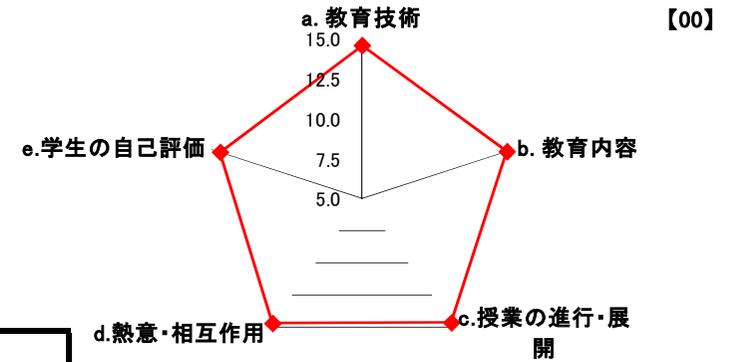
履修者数	71	回収数	67	回収率	94.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護技術論Ⅱ②

担当者:

樋口佳栄・田中孝美・殿城友紀・安島幹子・源川奈央子・山本伊都子・梅田亜矢・桐原あずみ・根岸京子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	717	14.06	1.66	47	14.62	1.18
b. 教育内容	718	14.02	1.75	47	14.62	1.18
c. 授業の進行・展開	718	13.97	1.71	47	14.60	1.18
d. 熱意・相互作用	720	14.22	1.45	47	14.64	1.00
e. 学生の自己評価	713	13.66	2.00	47	14.45	1.16



N=67

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39

c. 授業の進行・展開

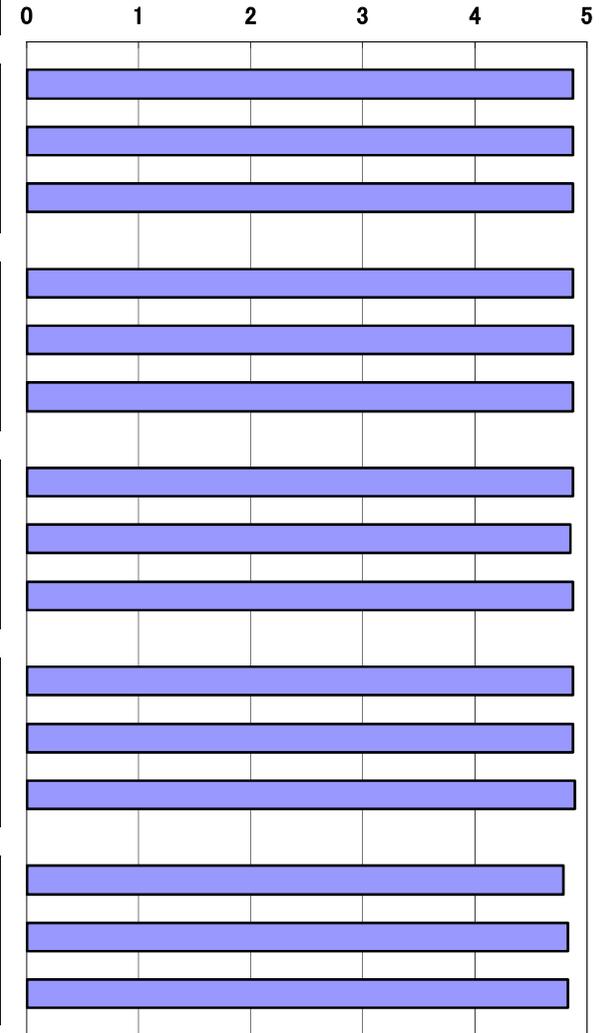
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	41	5	1	0	0	0	4.85	0.41
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	38	8	1	0	0	0	4.79	0.46
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	39	8	0	0	0	0	4.83	0.38
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	39	8	0	0	0	0	4.83	0.38



科目コード	1J0301	科目名	看護技術論Ⅱ②	担当教員名	樋口佳栄・田中孝美・殿城友紀・安島幹子・源川奈央子・ 山本伊都子梅田亜矢・桐原あずみ・根岸京子
-------	--------	-----	---------	-------	--

<教員からのコメント>

デモンストレーションやディスカッションなどを通して楽しく学んでくださったことが伝わってまいりました。皆様からのコメントはとても励みになりました！ありがとうございました。

「グループ内でアセスメントを考えたことでいろいろな視点が学べた」、「学生同士で質問を共有できた」などのコメントをくださった方もいらして、学生さん同士のディスカッションが学んだことに深みと広がりを作りだしているんだなあと感じました。その部分も大いにサポートできるように工夫を重ねてまいります。

時間通りに終わらないことがありましたので、片づけなども含めて時間内に終われるよう努力してまいります。

授業(演習)評価結果(2015年度前期)

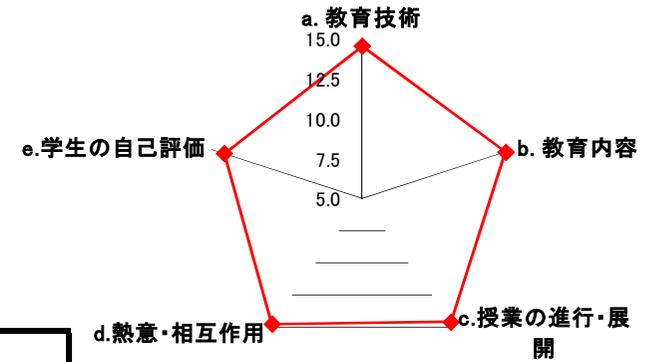
履修者数	71	回収数	69	回収率	97.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護技術論Ⅱ②

担当者:

樋口佳栄・田中孝美・殿城友紀・安島幹子・源川奈央子・山本伊都子・梅田亜矢・桐原あずみ・根岸京子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	717	14.06	1.66	47	14.57	1.20
b. 教育内容	718	14.02	1.75	47	14.53	1.13
c. 授業の進行・展開	718	13.97	1.71	47	14.55	1.18
d. 熱意・相互作用	720	14.22	1.45	47	14.72	0.76
e. 学生の自己評価	713	13.66	2.00	45	14.18	1.84



[00]

N=69

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	41	5	1	0	0	0	4.85	0.41
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	41	5	1	0	0	0	4.85	0.41
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	44	2	1	0	0	0	4.91	0.35
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	39	6	2	0	0	0	4.79	0.50
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	40	6	1	0	0	0	4.83	0.43

c. 授業の進行・展開

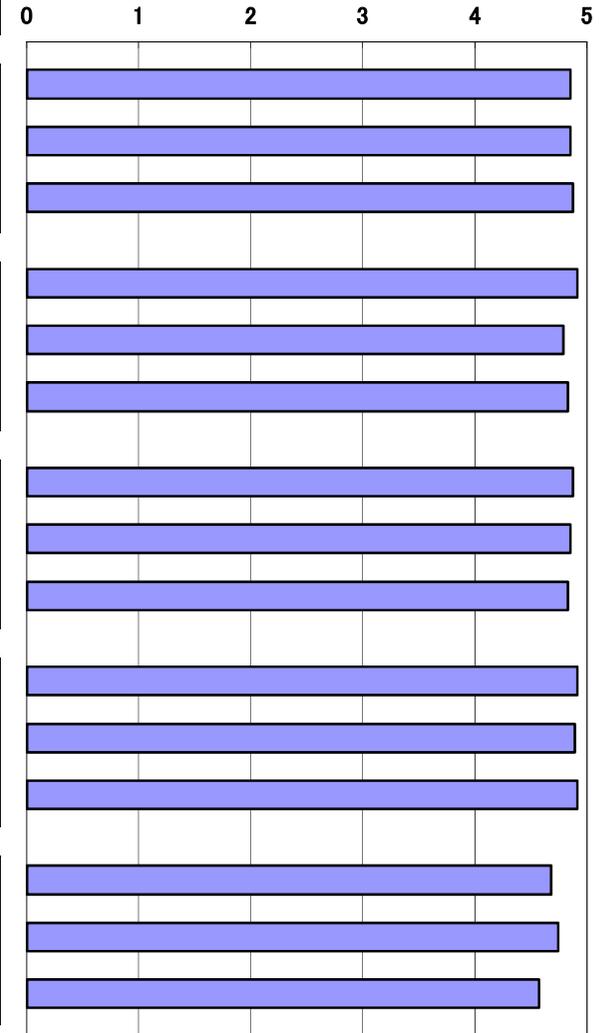
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	41	5	1	0	0	0	4.85	0.41
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	40	6	1	0	0	0	4.83	0.43

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	44	2	1	0	0	0	4.91	0.35
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	43	3	1	0	0	0	4.89	0.37
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	37	7	2	0	1	0	4.68	0.75
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	39	6	1	0	1	0	4.74	0.70
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	36	8	1	0	0	2	4.57	1.07



科目コード	1J0302	科目名	看護技術論Ⅱ②	担当教員名	樋口佳栄・田中孝美・殿城友紀・安島幹子・源川奈央子・ 山本伊都子・梅田亜矢・桐原あずみ・根岸京子
-------	--------	-----	---------	-------	---

<教員からのコメント>

デモンストレーションやディスカッションなどを通して楽しく学んでくださったことが伝わってまいりました。皆様からのコメントはとても励みになりました！ありがとうございました。

「デモンストレーションを自分たちでやることで総合のコツをつかめたような気がした」、「発表は大変だったけど面白かった」等のコメントをくださった方もいらして、学生さん同士のディスカッションが学んだことに深みと広がりを作りだしているんだなあと感じました。その部分も大いにサポートできるように工夫を重ねてまいります。

学んだことが臨床現場で実際にどのように実践されているのかが伝わりにくかった部分もあったようでした。臨床の場とリンクしてイメージができるような演習ができるように今後もより一層工夫をしていきたいと思っております。

授業(演習)評価結果(2015年度前期)

履修者数	72	回収数	47	回収率	65.3%
------	----	-----	----	-----	-------

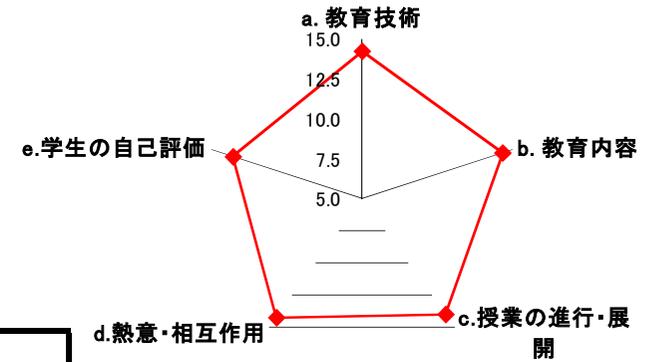
[00]

科目:看護技術論Ⅲ①

担当者:

樋口佳栄・吉田みつ子・殿城友紀・
安島幹子・川原由佳里・源川奈央
子・山本伊都子・桐原あずみ・根岸
京子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	717	14.06	1.66	47	14.26	1.21
b. 教育内容	718	14.02	1.75	47	14.34	1.23
c. 授業の進行・展開	718	13.97	1.71	47	13.98	1.34
d. 熱意・相互作用	720	14.22	1.45	47	14.23	1.26
e. 学生の自己評価	713	13.66	2.00	47	13.60	1.73



N=68

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	34	13	0	0	0	0	4.72	0.45
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	35	12	0	0	0	0	4.74	0.44
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	37	10	0	0	0	0	4.79	0.41

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	36	10	1	0	0	0	4.74	0.48
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	37	10	0	0	0	0	4.79	0.41
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	38	9	0	0	0	0	4.81	0.39

c. 授業の進行・展開

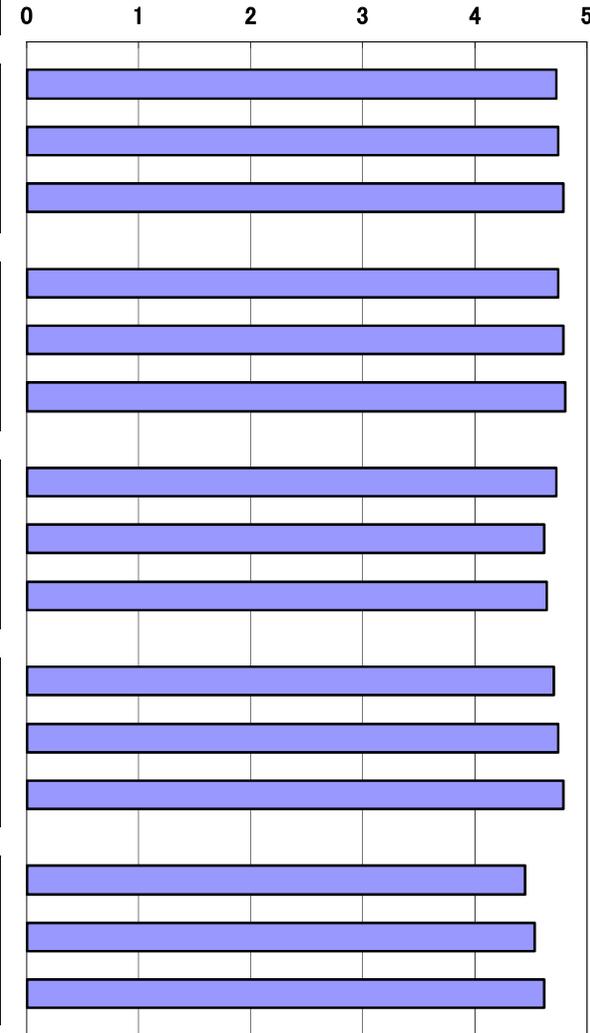
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	35	11	1	0	0	0	4.72	0.49
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	33	12	1	0	1	0	4.62	0.73
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	30	17	0	0	0	0	4.64	0.48

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	34	12	1	0	0	0	4.70	0.50
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	35	12	0	0	0	0	4.74	0.44
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	37	10	0	0	0	0	4.79	0.41

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	27	16	2	2	0	0	4.45	0.77
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	28	16	3	0	0	0	4.53	0.61
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	30	16	1	0	0	0	4.62	0.53



科目コード	1J0401	科目名	看護技術論Ⅲ①	担当教員名	樋口佳栄・吉田みつ子・殿城友紀・安島幹子・川原由佳里・源川奈央子・山本伊都子・桐原あずみ・根岸京子
-------	--------	-----	---------	-------	---

<教員からのコメント>

デモンストレーションや演習を通して、楽しく学べたとのこと意見を多くいただきました。教員としてもとても励みになりました！ありがとうございました。
一方で、「デモンストレーションが見えにくい位置があった」、「実際にやってみないとわからないから演習の時間を増やしてほしい」「演習の時、まわってきてほしい時に先生がいなかった」などのご意見をいただいております。どの位置からでも見えやすい工夫、演習と講義の組み立て、演習サポートの方法など、より楽しく伝わりやすい演習にするためのヒントをありがとうございました！皆さまのご意見を基に今後もよりよい演習を目指して工夫を積み重ねてまいりたいと思います。

授業(演習)評価結果(2015年度前期)

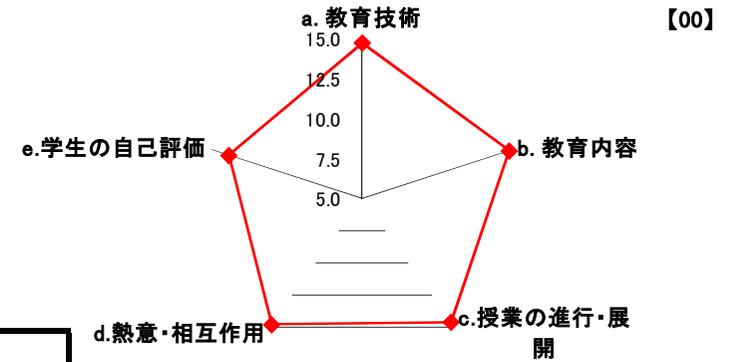
履修者数	73	回収数	47	回収率	64.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護技術論Ⅲ①

担当者:

樋口佳栄・吉田みつ子・殿城友紀・
安島幹子・川原由佳里・源川奈央
子・山本伊都子・桐原あずみ・根岸
京子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	717	14.06	1.66	47	14.79	0.74
b. 教育内容	718	14.02	1.75	47	14.77	0.75
c. 授業の進行・展開	718	13.97	1.71	47	14.57	0.94
d. 熱意・相互作用	720	14.22	1.45	47	14.74	0.78
e. 学生の自己評価	713	13.66	2.00	47	13.87	1.76



N=69

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	44	3	0	0	0	0	4.94	0.24
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	44	3	0	0	0	0	4.94	0.24

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	44	3	0	0	0	0	4.94	0.24

c. 授業の進行・展開

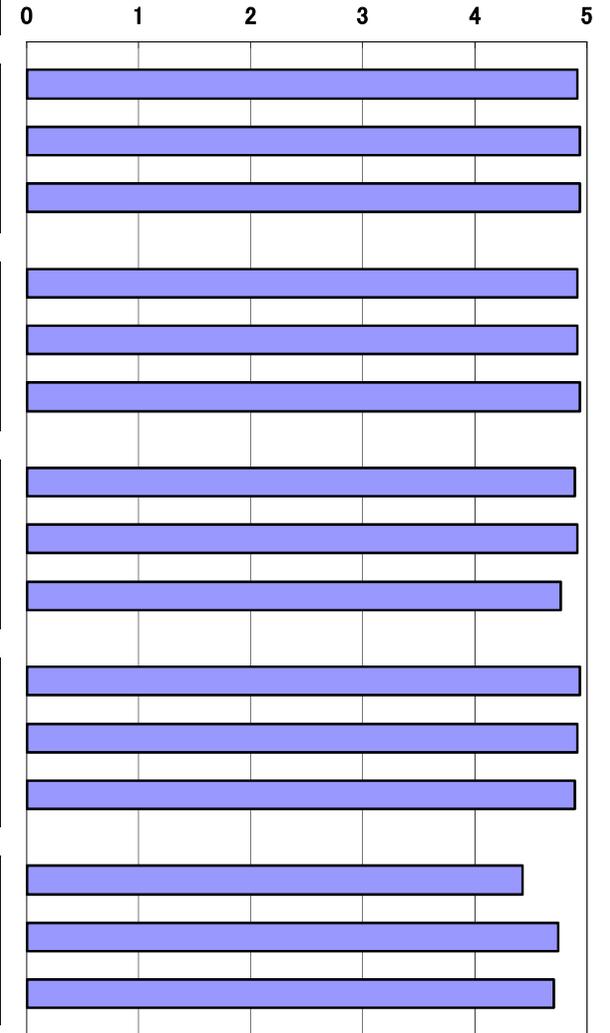
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	39	6	1	1	0	0	4.77	0.59

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	44	3	0	0	0	0	4.94	0.24
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	31	8	5	3	0	0	4.43	0.92
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	36	10	1	0	0	0	4.74	0.48
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	34	12	1	0	0	0	4.70	0.50



科目コード	1J0402	科目名	看護技術論Ⅲ①	担当教員名	樋口佳栄・吉田みつ子・殿城友紀・安島幹子・川原由佳里・ 源川奈央子・山本伊都子・桐原あずみ・根岸京子
-------	--------	-----	---------	-------	---

<教員からのコメント>

デモンストレーションや演習を通して、楽しく学べたとのこと意見を多くいただきました。教員としてもとても励みになりました！ ありがとうございます。
一方で、教員のアドバイスの仕方や時間通りに終わらないかったこと、「デモンストレーションを見ただけで実際に行うのは大変だった」などのご意見もいただいております。
演習サポートの方法や演習がイメージしやすい講義、片付けも含めて時間内に終わる組み立てなど、より楽しく伝わりやすい演習にするためのヒントをありがとうございました！ 皆さまのご意見を基に今後もよりよい演習を目指して工夫を積み重ねてまいりたいと思います。

授業(演習)評価結果(2015年度前期)

履修者数	71	回収数	47	回収率	66.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護技術論Ⅲ③

担当者:

吉田みつ子・源川奈央子・殿城友紀・川原由佳里・樋口佳栄・安島幹子・山本伊都子・梅田亜矢・桐原あずみ・根岸京子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	717	14.06	1.66	47	14.70	0.85
b. 教育内容	718	14.02	1.75	47	14.66	1.00
c. 授業の進行・展開	718	13.97	1.71	47	14.62	0.96
d. 熱意・相互作用	720	14.22	1.45	47	14.72	0.84
e. 学生の自己評価	713	13.66	2.00	47	14.38	1.30

N=67

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39

c. 授業の進行・展開

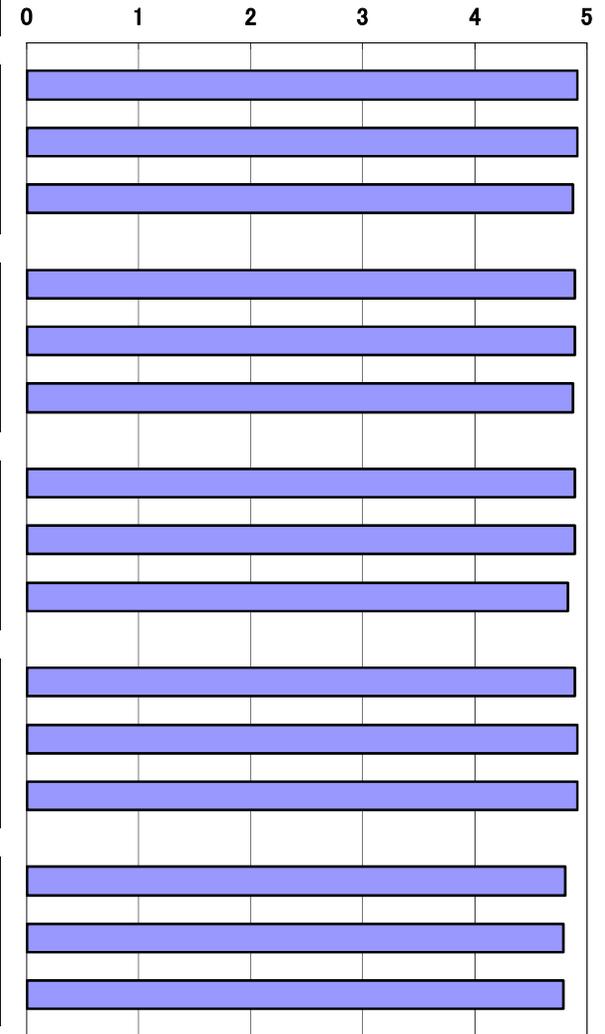
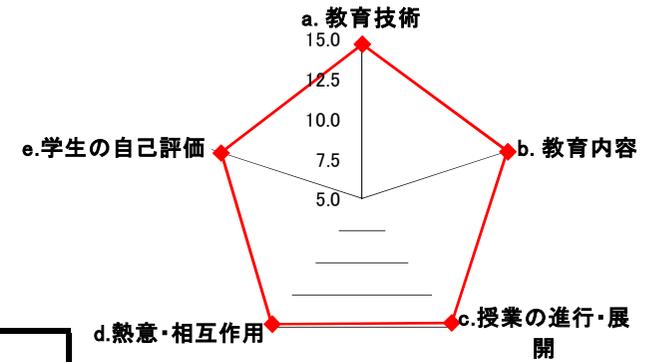
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	40	6	1	0	0	0	4.83	0.43

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	39	7	1	0	0	0	4.81	0.44
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	38	8	1	0	0	0	4.79	0.46
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	38	8	1	0	0	0	4.79	0.46



[00]

科目コード	1J0601	科目名	看護技術論Ⅲ③	担当教員名	吉田みつ子・源川奈央子・殿城友紀・川原由佳里・樋口佳栄・安島幹子・山本伊都子・梅田亜矢・桐原あずみ・根岸京子
-------	--------	-----	---------	-------	--

<教員からのコメント>

デモンストレーションに対して高い評価をいただき、教員一同、とてもうれしく思っています。少しでもみなさんにわかりやすく、楽しく学んでもらえるように努力していきます。授業資料として、スライドや映像で使用したのも配布してもらいたいという意見もいただきました。次年度以降、取り組んでいきたいと思ひます。

授業(演習)評価結果(2015年度前期)

履修者数	71	回収数	47	回収率	66.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護技術論Ⅲ③

担当者:

吉田みつ子・源川奈央子・殿城友紀・川原由佳里・樋口佳栄・安島幹子・山本伊都子・梅田亜矢・桐原あずみ・根岸京子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	717	14.06	1.66	47	14.51	1.01
b. 教育内容	718	14.02	1.75	47	14.38	1.10
c. 授業の進行・展開	718	13.97	1.71	47	14.32	1.19
d. 熱意・相互作用	720	14.22	1.45	47	14.64	0.86
e. 学生の自己評価	713	13.66	2.00	47	13.66	1.85

N=67

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	38	9	0	0	0	0	4.81	0.39
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	40	7	0	0	0	0	4.85	0.36
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	40	7	0	0	0	0	4.85	0.36

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	40	7	0	0	0	0	4.85	0.36
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	39	8	0	0	0	0	4.83	0.38
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	35	10	2	0	0	0	4.70	0.54

c. 授業の進行・展開

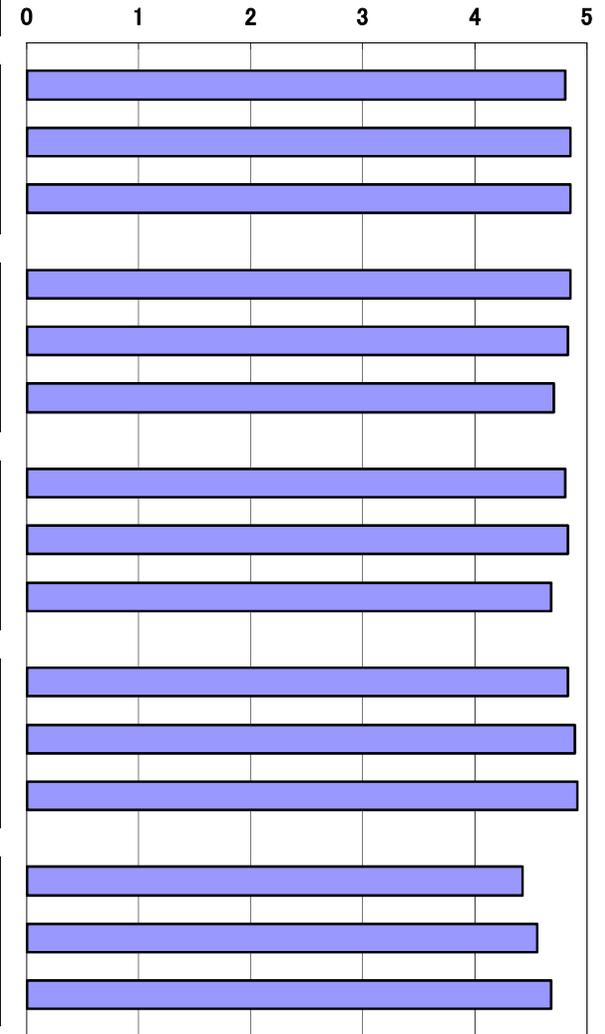
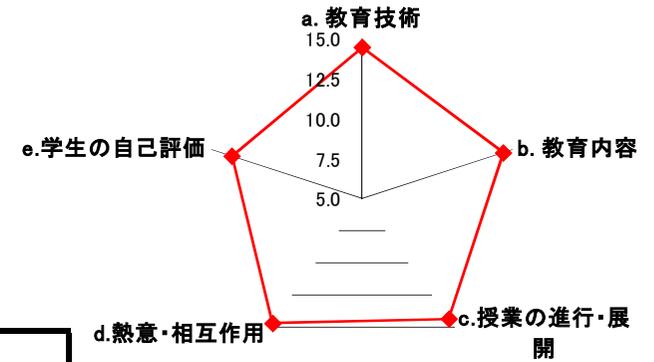
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	38	9	0	0	0	0	4.81	0.39
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	40	6	1	0	0	0	4.83	0.43
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	34	11	2	0	0	0	4.68	0.55

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	39	8	0	0	0	0	4.83	0.38
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	29	12	4	1	1	0	4.43	0.89
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	30	13	4	0	0	0	4.55	0.65
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	33	13	1	0	0	0	4.68	0.51



[00]

科目コード	1J0602	科目名	看護技術論Ⅲ③	担当教員名	吉田みつ子・源川奈央子・殿城友紀・川原由佳里・樋口佳栄・安島幹子・山本伊都子・梅田亜矢・桐原あずみ・根岸京子
-------	--------	-----	---------	-------	--

<教員からのコメント>

デモンストレーションに対して高い評価をいただき、教員一同、とてもうれしく思っています。少しでもみなさんにわかりやすく、楽しく学んでもらえるように努力していきます。授業資料として、スライドや映像で使用したのも配布してもらいたいという意見もいただきました。次年度以降、取り組んでいきたいと思えます。

授業(演習)評価結果(2015年度前期)

履修者数	71	回収数	53	回収率	74.6%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:健康レベル別看護学演習Ⅱ

担当者:

千葉京子・江本リナ・小原真理子・小宮敬子・鷹野朋実・新田真弓・谷津裕子・川名るり・堀井湖浪・佐々木美喜・齋藤英子・太田 智子・江見香月・吉田玲子・濱田真由美・比留間絵美・亀井縁・清田明美・古城門靖子・山内朋子・久保昌子・根岸京子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	717	14.06	1.66	53	14.02	1.43
b. 教育内容	718	14.02	1.75	53	14.02	1.43
c. 授業の進行・展開	718	13.97	1.71	53	14.04	1.41
d. 熱意・相互作用	720	14.22	1.45	53	14.17	1.28
e. 学生の自己評価	713	13.66	2.00	53	14.02	1.54

N=63

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	36 67.9	17 32.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.68	0.47
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	36 67.9	16 30.2	1 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.66	0.51
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	36 67.9	17 32.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.68	0.47

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	36 67.9	17 32.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.68	0.47
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	36 67.9	16 30.2	1 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.66	0.51
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	36 67.9	17 32.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.68	0.47

c. 授業の進行・展開

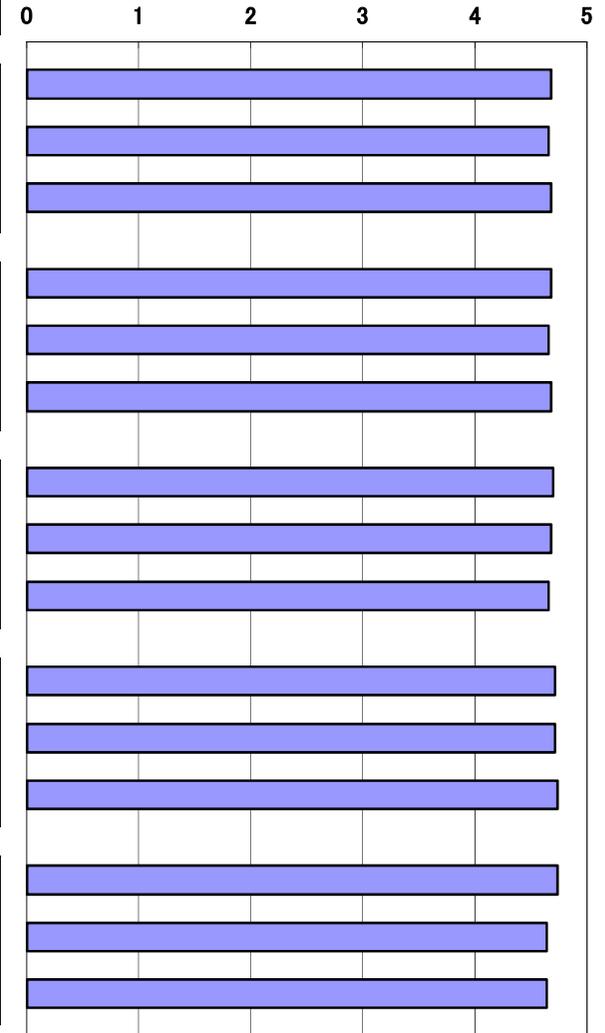
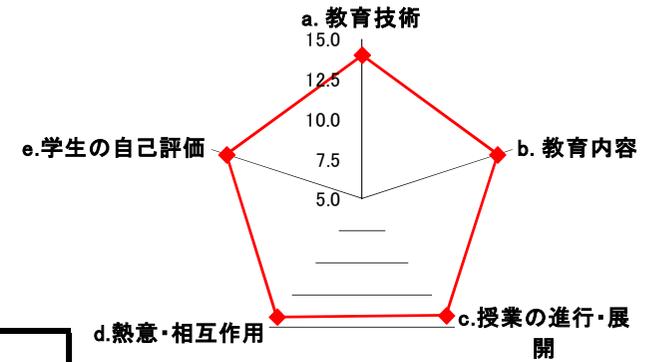
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	37 69.8	16 30.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.46
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	36 67.9	17 32.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.68	0.47
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	36 67.9	16 30.2	1 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.66	0.51

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	38 71.7	15 28.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.72	0.45
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	38 71.7	15 28.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.72	0.45
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	39 73.6	14 26.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.44

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	40 75.5	12 22.6	1 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.48
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	37 69.8	13 24.5	3 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.64	0.59
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	37 69.8	13 24.5	3 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.64	0.59



[00]

科目コード	1N0601	科目名	健康レベル別看護学演習Ⅱ	担当教員名	千葉京子・清田明美・江見香月・比留間絵美・小宮敬子・鷹野朋実・堀井湖浪・古城門靖子・谷津裕子・新田真弓・齋藤英子・佐々木美喜・久保昌子・濱田真由美・江本リナ・川名るり・山内朋子・太田智子・吉田玲子・小原真理子・亀井縁・根岸京子
-------	--------	-----	--------------	-------	---

<教員からのコメント>

・5領域により構成された演習で、各領域の特徴的な技術を学ぶことが出来るよう準備しました。昨年度より2コマ増やすことで内容を充実させました。全体的に高い評価を得ることができ、嬉しく思っています。

・老年看護学領域では、嚥下、移動・移乗、排泄に必要な技術を取りあげました。高齢者の加齢による身体機能の低下を考慮し、適切な援助が習得出来るようソフト食の試食や嚥下体操などを実施できるプログラムとしました。また、円背の高齢者や排泄時の高齢者の気持ちを考えられるプログラムを取り入れましたが、演習を通して様々な工夫や配慮を考えた援助を見出すことができていたと思います。引き続き、演習が実習につながり活かせることを考えて、演習内容を工夫していきたいと思ひます。

・小児看護学領域では、小児看護の基本技術を取り上げて演習を展開しました。病棟実習でも必要になる内容ですので、次年度も引き続き、実際の子どもをイメージしながら演習を展開できるように工夫していきます。

・精神保健看護学では、プロセスレコードの書き方と読み方、面接技法とグループワークについて取り上げました。これらはすべて、対人関係に必要な基礎的な知識や技術ですが、学生の皆さんが、高い関心をもっていることがよくわかりました。来年度もさらに参加しやすい演習の工夫をしたいと思ひます。

・母性看護学領域では、実際にレベルⅢ実習にて必要とされる技術を行いました。新生児の沐浴や観察、褥婦の健康診査など実習をイメージすることにつながったようで、よかったですと思ひます。

・災害看護学領域では、START方式とPAT方式双方のトリアージ演習を構成し展開しました。フィジカルアセスメント能力を高める上で学びがあったことが、実際の演習場面やアンケートから確認できました。中にレベルⅢ実習の備えとして適用しないプログラムとのコメントがありました。トリアージの演習については、次年度より本演習科目から撤退することになりました。以前より2年次の選択科目「災害看護活動論演習I」でトリアージを学ぶプログラムがありますので、トリアージを本格的に学びたい学生は、2年次の選択科目「災害看護活動論演習I」を選択することを勧めていきます。

授業(演習)評価結果(2015年度前期)

履修者数	72	回収数	52	回収率	72.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:健康レベル別看護学演習Ⅱ

担当者:

千葉京子・江本リナ・小原真理子・小宮敬子・鷹野朋実・新田真弓・谷津裕子・川名るり・堀井湖浪・佐々木美喜・齋藤英子・太田 智子・江見香月・吉田玲子・濱田真由美・比留間絵美・亀井縁・清田明美・古城門靖子・山内朋子・久保昌子・根岸京子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	717	14.06	1.66	52	14.21	1.31
b. 教育内容	718	14.02	1.75	52	14.10	1.40
c. 授業の進行・展開	718	13.97	1.71	51	14.10	1.40
d. 熱意・相互作用	720	14.22	1.45	52	14.13	1.45
e. 学生の自己評価	713	13.66	2.00	52	14.13	1.54

N=62

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	38	13	1	0	0	0	4.71	0.49
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	40	12	0	0	0	0	4.77	0.42
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	38	14	0	0	0	0	4.73	0.44

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	38	13	1	0	0	0	4.71	0.49
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	37	14	1	0	0	0	4.69	0.50
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	37	14	1	0	0	0	4.69	0.50

c. 授業の進行・展開

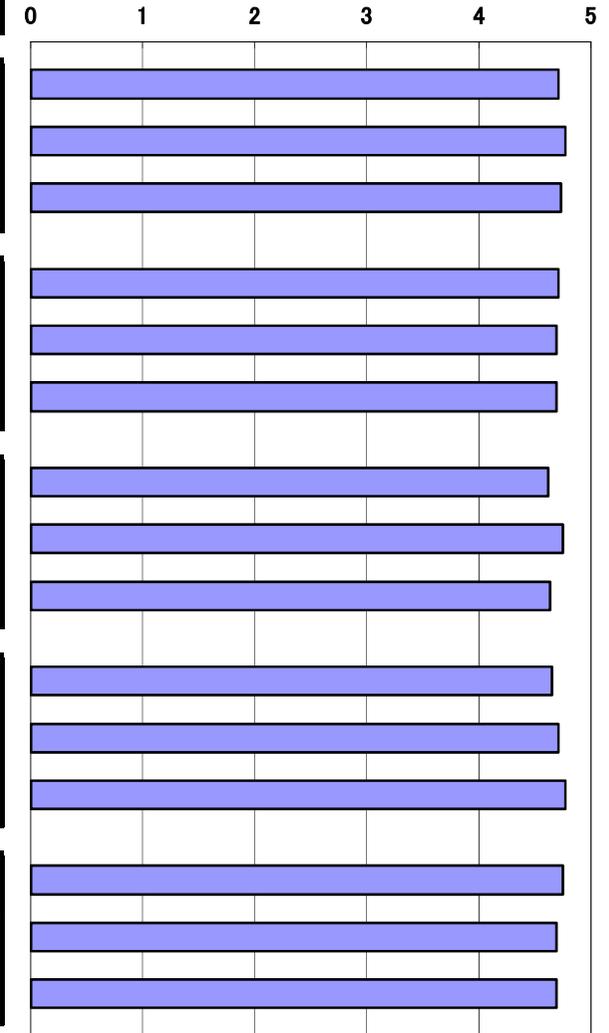
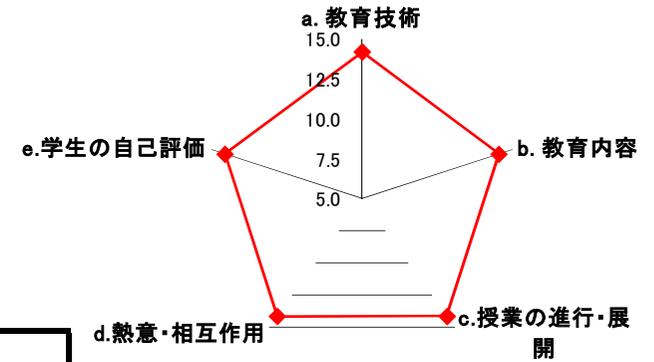
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	37	13	1	0	0	1	4.62	0.81
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	39	13	0	0	0	0	4.75	0.43
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	35	15	2	0	0	0	4.63	0.56

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	38	10	4	0	0	0	4.65	0.62
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	38	13	1	0	0	0	4.71	0.49
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	41	10	1	0	0	0	4.77	0.46

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	40	11	1	0	0	0	4.75	0.48
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	39	11	1	1	0	0	4.69	0.61
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	38	12	2	0	0	0	4.69	0.54



科目コード	1N0602	科目名	健康レベル別看護学演習Ⅱ	担当教員名	千葉京子・清田明美・江見香月・比留間絵美・小宮敬子・鷹野朋実・堀井湖浪・古城門靖子・谷津裕子・新田真弓・齋藤英子・佐々木美喜・久保昌子・濱田真由美・江本リナ・川名るり・山内朋子・太田智子・吉田玲子・小原真理子・亀井縁・根岸京子
-------	--------	-----	--------------	-------	---

<教員からのコメント>

・5領域により構成された演習で、各領域の特徴的な技術を学ぶことが出来るよう準備しました。昨年度より2コマ増やすことで内容を充実させました。演習を通して疑問点がでてきたということは、具体的に考えて頂けた証であり、喜ばしい反応と考えます。全体的に高い評価を得ることができ、嬉しく思っています。

・老年看護学領域では、嚥下、移動・移乗、排泄に必要な技術を取りあげました。高齢者の加齢による身体機能の低下を考慮し、適切な援助が習得出来るようソフト食の試食や嚥下体操などを実施できるプログラムとしました。また、円背の高齢者や排泄時の高齢者の気持ちを考えられるプログラムを取り入れましたが、演習を通して様々な工夫や配慮を考えた援助を見出すことができていたと思います。引き続き、演習が実習につながり活かせることを考えて、演習内容を工夫していきたいと思ひます。

・小児看護学領域では、小児看護の基本技術であり、かつ、子どもが対象であることで成人とは違った工夫が必要な技術を取り上げて演習を展開しました。病棟実習でも必要になる内容ですので、次年度も引き続き、実際の子どもをイメージしながら演習を展開できるように工夫していきます。

・精神保健看護学では、プロセスレコードの書き方と読み方、面接技法とグループワークについて取り上げました。これらはすべて、対人関係に必要な基礎的な知識や技術ですが、学生の皆さんが、高い関心をもっていることがよくわかりました。来年度もさらに参加しやすい演習の工夫をしたいと思ひます。

・母性看護学領域では、実際にレベルⅢ実習にて必要とされる技術を行いました。新生児の沐浴や観察、褥婦の健康診査など実習をイメージすることにつながったようで、よかったですと思ひます。

災害看護学領域では、START方式とPAT方式双方のトリアージ演習を構成し展開しました。フィジカルアセスメント能力を高める上で学びがあったことが、実際の演習場面やアンケートから確認できました。トリアージについては、次年度より本演習科目から撤退することになりました。以前より2年次の選択科目「災害看護活動論演習I」でトリアージを学ぶプログラムがありますので、トリアージを本格的に学びたい学生は、2年次の選択科目「災害看護活動論演習I」を選択することを勧めていきます。

授業(演習)評価結果(2015年度前期)

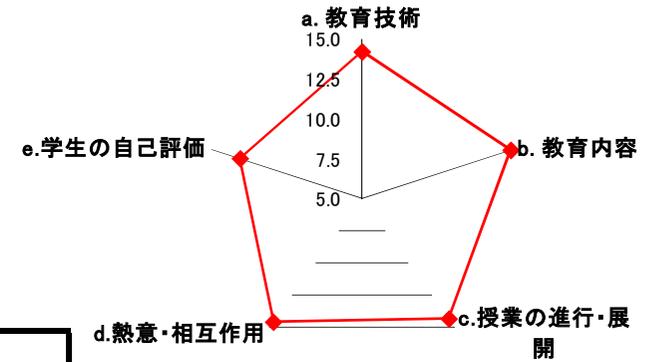
履修者数	32	回収数	26	回収率	81.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:災害看護活動論Ⅰ

担当者:

小原真理子・亀井縁・根岸京子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	717	14.06	1.66	26	14.23	1.15
b. 教育内容	718	14.02	1.75	26	14.88	0.42
c. 授業の進行・展開	718	13.97	1.71	26	14.31	0.99
d. 熱意・相互作用	720	14.22	1.45	26	14.54	0.97
e. 学生の自己評価	713	13.66	2.00	25	13.12	2.41

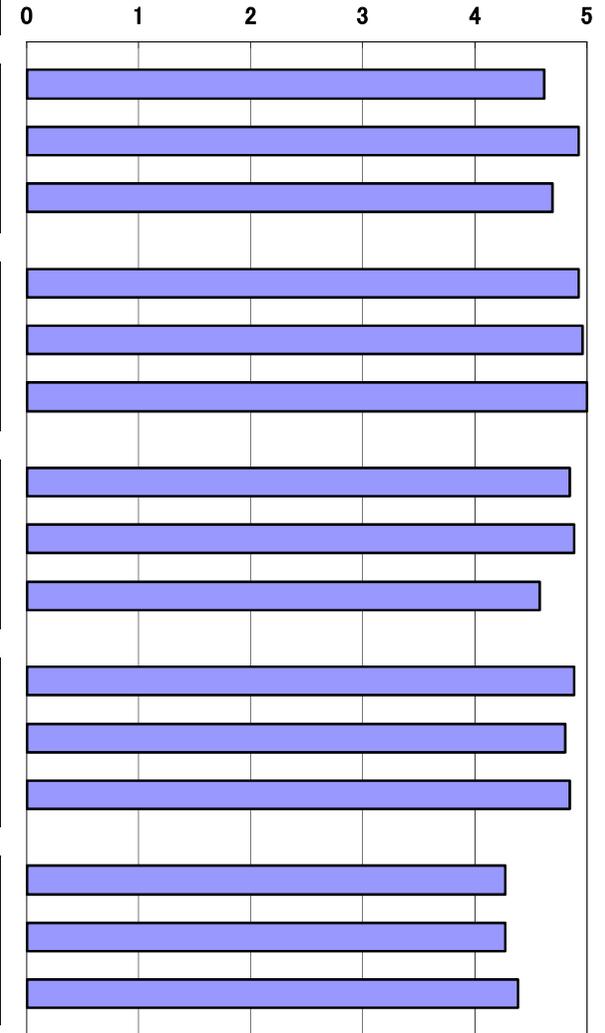


[00]

N=26

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

①	17	8	1	0	0	0	65.4	30.8	3.8	0.0	0.0	0.0	4.62	0.56
②	24	2	0	0	0	0	92.3	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.92	0.27
③	20	4	2	0	0	0	76.9	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	4.69	0.61
④	24	2	0	0	0	0	92.3	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.92	0.27
⑤	25	1	0	0	0	0	96.2	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.96	0.19
⑥	26	0	0	0	0	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.00	0.00
⑦	22	4	0	0	0	0	84.6	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4.85	0.36
⑧	23	3	0	0	0	0	88.5	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.88	0.32
⑨	17	7	2	0	0	0	65.4	26.9	7.7	0.0	0.0	0.0	4.58	0.63
⑩	23	3	0	0	0	0	88.5	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.88	0.32
⑪	22	3	1	0	0	0	84.6	11.5	3.8	0.0	0.0	0.0	4.81	0.48
⑫	22	4	0	0	0	0	84.6	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4.85	0.36
⑬	16	4	4	1	1	0	61.5	15.4	15.4	3.8	3.8	0.0	4.27	1.09
⑭	16	5	3	1	0	1	61.5	19.2	11.5	3.8	0.0	3.8	4.27	1.19
⑮	14	9	2	1	0	0	53.8	34.6	7.7	3.8	0.0	0.0	4.38	0.79



科目コード	1R0600	科目名	災害看護活動論 I	担当教員名	小原真理子・亀井縁・根岸京子
-------	--------	-----	-----------	-------	----------------

<教員からのコメント>

コメントから集中授業により充実した演習だったことがわかり、大変うれしく思います。エマルゴトレインシステムの演習については、今後は事前の説明や授業展開を工夫したいと思います。

高得点の評価から、本演習の4段階集中授業の学習効果が確認できました。特に最後の救護所における総合救護シミュレーションの関心が高いことがコメントからわかりました。今後も学生の学習ニーズをふまえ、演習の構成、方法などを駆使し取り組みたいと思っています。

授業(演習)評価結果(2015年度前期)

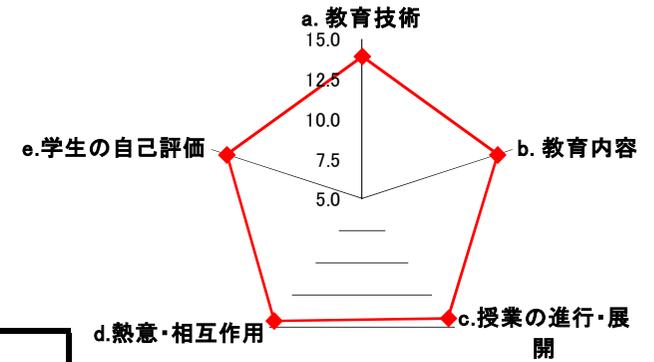
履修者数	16	回収数	15	回収率	93.8%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:災害看護活動論Ⅲ

担当者:

小原真理子・亀井縁・根岸京子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	717	14.06	1.66	15	13.93	1.34
b. 教育内容	718	14.02	1.75	15	14.00	1.59
c. 授業の進行・展開	718	13.97	1.71	15	14.27	1.34
d. 熱意・相互作用	720	14.22	1.45	15	14.47	1.02
e. 学生の自己評価	713	13.66	2.00	15	14.00	1.71

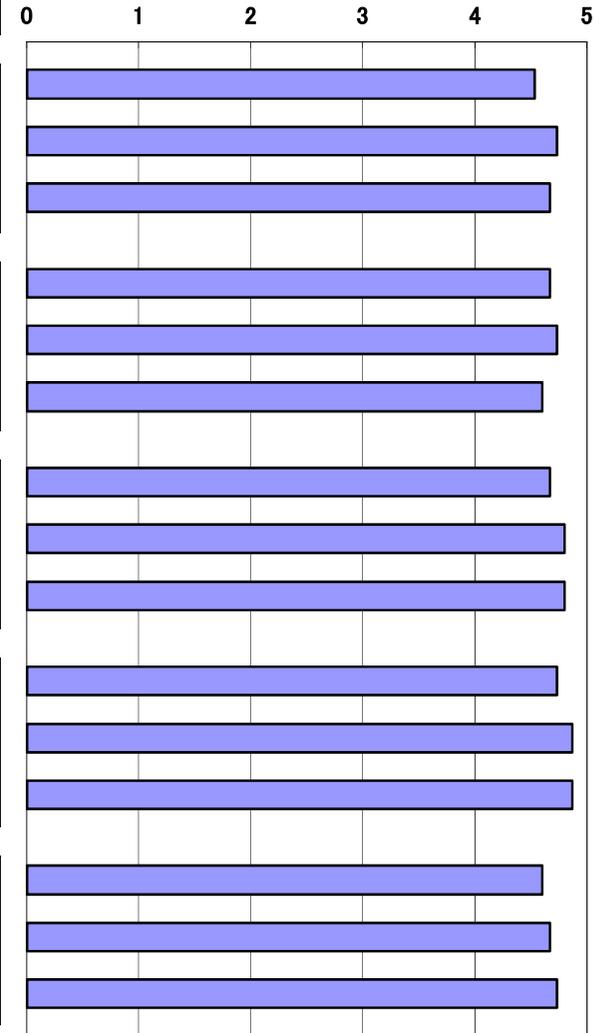


[00]

N=15

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	8	7	0	0	0	0	4.53	0.50
②	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	11	4	0	0	0	0	4.73	0.44
③	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	11	3	1	0	0	0	4.67	0.60
b. 教育内容									
④	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	11	3	1	0	0	0	4.67	0.60
⑤	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	11	4	0	0	0	0	4.73	0.44
⑥	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	10	4	1	0	0	0	4.60	0.61
c. 授業の進行・展開									
⑦	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	11	3	1	0	0	0	4.67	0.60
⑧	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	12	3	0	0	0	0	4.80	0.40
⑨	演習の時間配分は適切だった。	12	3	0	0	0	0	4.80	0.40
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	11	4	0	0	0	0	4.73	0.44
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	13	2	0	0	0	0	4.87	0.34
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	13	2	0	0	0	0	4.87	0.34
e. 学生の自己評価									
⑬	私は事前学習をして演習に臨んだ。	11	2	2	0	0	0	4.60	0.71
⑭	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	11	3	1	0	0	0	4.67	0.60
⑮	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	11	4	0	0	0	0	4.73	0.44



科目コード	1R0800	科目名	災害看護活動論Ⅲ	担当教員名	小原真理子・亀井縁・根岸京子
-------	--------	-----	----------	-------	----------------

<教員からのコメント>

高評価をいただき大変ありがとうございました。避難所設営やロールプレイにより避難所のイメージがつかめたようですので、次年度にも生かしていきたいと思います。避難所の立ち上げや被災者、特に要配慮者の受け入れに関するイメージ化と共に避難所における支援活動のあり方は、災害看護の重要課題と考えます。日本赤十字社の健康生活支援講座を含め、本授業の全体構成やシミュレーション方法・内容等をさらに充実させてゆきたいと考えます。

授業(演習)評価結果(2015年度前期)

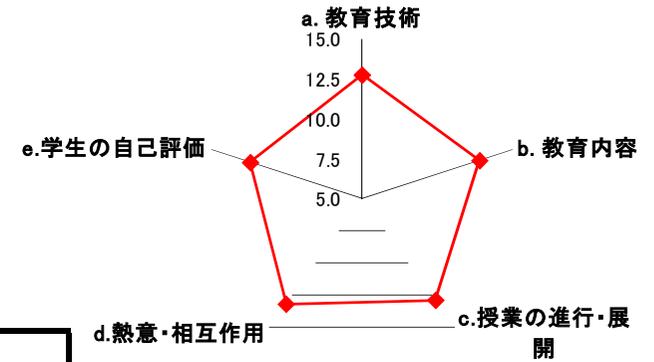
履修者数	83	回収数	47	回収率	56.6%
------	----	-----	----	-----	-------

科目: 研究方法論 I

担当者:

谷津裕子・遠藤公久・川崎修一・新田真弓・堀井湖浪・坂口千鶴・齋藤英子・岡本有子・清田明美・古城門靖子・濱田真由美

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	717	14.06	1.66	45	12.78	2.11
b. 教育内容	718	14.02	1.75	45	12.80	2.15
c. 授業の進行・展開	718	13.97	1.71	45	12.87	2.22
d. 熱意・相互作用	720	14.22	1.45	46	13.17	2.00
e. 学生の自己評価	713	13.66	2.00	45	12.44	2.56



[00]

N=59

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	18	21	7	0	0	1	4.15	0.92
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	19	18	8	0	0	2	4.06	1.12
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	21	17	8	0	0	1	4.19	0.96

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	20	18	7	0	0	2	4.11	1.12
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	20	17	8	0	0	2	4.09	1.13
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	19	18	8	0	0	2	4.06	1.12

c. 授業の進行・展開

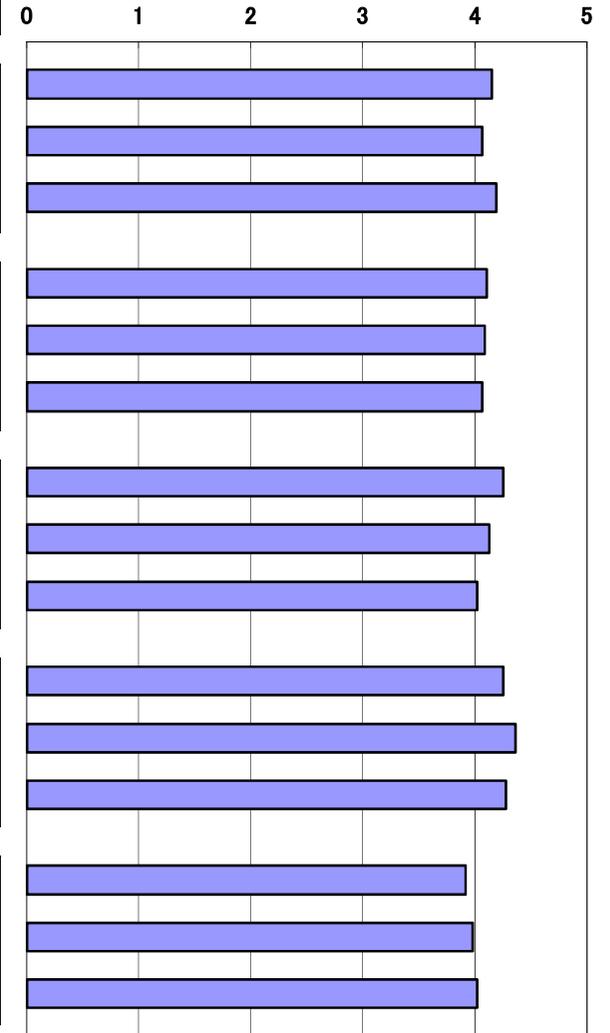
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	21	20	5	0	0	1	4.26	0.91
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	22	15	8	0	0	2	4.13	1.14
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	20	16	8	0	1	2	4.02	1.21

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	23	16	7	0	0	1	4.26	0.96
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	26	15	5	0	0	1	4.36	0.93
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	23	17	6	0	0	1	4.28	0.94

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	19	14	10	1	1	2	3.91	1.25
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	21	11	12	1	0	2	3.98	1.21
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	19	17	8	1	0	2	4.02	1.16



科目コード	1T0101	科目名	研究方法論 I	担当教員名	谷津裕子・遠藤公久・坂口千鶴・川崎修一・齋藤英子・新田真弓・岡本有子・堀井湖浪・古城門靖子・清田明美・濱田真由美
-------	--------	-----	---------	-------	--

<教員からのコメント>

- 研究に関して基礎からしっかり理解し、研究活動における文献検索や文献検討の位置づけを把握してから演習を行なっていただきたいと考え、文献検索・文献検討の演習に入る前に、研究の目的や意義、量的研究・質的研究の特徴について講義形式で一通りお話ししました。皆さんの意見から、その意図をきちんと理解している方がいることがうかがえ、嬉しく思います。
- 今年度は、文献検索・文献検討の演習時間を1コマ分増やしましたが、それでも、ほかの授業の課題と重なり演習課題に取り組む時間が足りなかった、もう少し早く演習作業に入りたかった、との意見が多くありました。時間割編成上、これ以上のコマ数の増加は難しいのですが、なるべく演習を充実させるために、展開方法について検討したいと思います。そのほか、質問に対する担当教員の回答の統一や情報処理室待機教員の増員、文献検討のレポートの書き方に関する追加講義などを望む声がありました。これらについても来年度の授業で可能な限り改善したいと思います。
- 演習内容については、概ね文献検索と文献検討の基本が理解できた様子がうかがえ安心しました。後期の授業や4年次の研究でも繰り返し活用して忘れないようにしてください。

授業(演習)評価結果(2015年度前期)

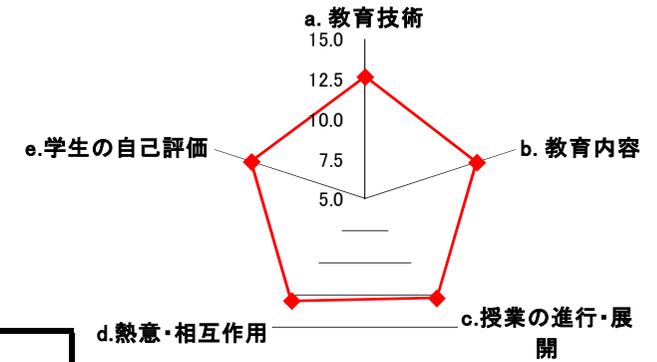
履修者数	71	回収数	47	回収率	66.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目: 研究方法論 I

担当者:

谷津裕子・遠藤公久・川崎修一・新田真弓・堀井湖浪・坂口千鶴・齋藤英子・岡本有子・清田明美・古城門靖子・濱田真由美

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	717	14.06	1.66	46	12.67	2.82
b. 教育内容	718	14.02	1.75	47	12.43	2.94
c. 授業の進行・展開	718	13.97	1.71	47	12.70	2.57
d. 熱意・相互作用	720	14.22	1.45	47	12.94	2.36
e. 学生の自己評価	713	13.66	2.00	47	12.57	2.86



[00]

N=50

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	22	16	6	2	1	0	4.19	0.96
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	23	14	6	2	1	1	4.13	1.14
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	23	16	6	1	1	0	4.26	0.91

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	21	16	8	1	1	0	4.17	0.93
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	21	16	6	2	2	0	4.11	1.06
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	21	17	5	3	1	0	4.15	0.99

c. 授業の進行・展開

⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	21	17	6	2	1	0	4.17	0.95
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	22	18	6	0	1	0	4.28	0.84
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	21	19	6	0	1	0	4.26	0.84

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	22	18	6	0	1	0	4.28	0.84
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	23	18	4	1	1	0	4.30	0.87
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	25	15	6	1	0	0	4.36	0.78

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	24	13	5	5	0	0	4.19	1.00
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	23	15	4	4	1	0	4.17	1.04
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	22	16	7	1	1	0	4.21	0.92



科目コード	1T0102	科目名	研究方法論 I	担当教員名	谷津裕子・遠藤公久・坂口千鶴・川崎修一・齋藤英子・新田真弓・岡本有子・堀井湖浪・古城門靖子・清田明美・濱田真由美
-------	--------	-----	---------	-------	--

<教員からのコメント>

- 研究に関して基礎からしっかり理解し、研究活動における文献検索や文献検討の位置づけを把握してから演習を行なっていただきたいと考え、文献検索・文献検討の演習に入る前に、研究の目的や意義、量的研究・質的研究の特徴について講義形式で一通りお話ししました。皆さんの意見から、その意図をきちんと理解している方がいることがうかがえ、嬉しく思います。
- 今年度は、文献検索・文献検討の演習時間を1コマ分増やしましたが、それでも、ほかの授業の課題と重なり演習課題に取り組む時間が足りなかった、もう少し早く演習作業に入りたかった、との意見が多くありました。時間割編成上、これ以上のコマ数の増加は難しいのですが、なるべく演習を充実させるために、展開方法について検討したいと思います。そのほか、質問に対する担当教員の回答の統一や情報処理室待機教員の増員、文献検討のレポートの書き方に関する追加講義などを望む声がありました。これらについても来年度の授業で可能な限り改善したいと思います。
- 演習内容については、概ね文献検索と文献検討の基本が理解できた様子がうかがえ安心しました。後期の授業や4年次の研究でも繰り返し活用して忘れないようにしてください。

授業(演習)評価結果(2015年度前期)

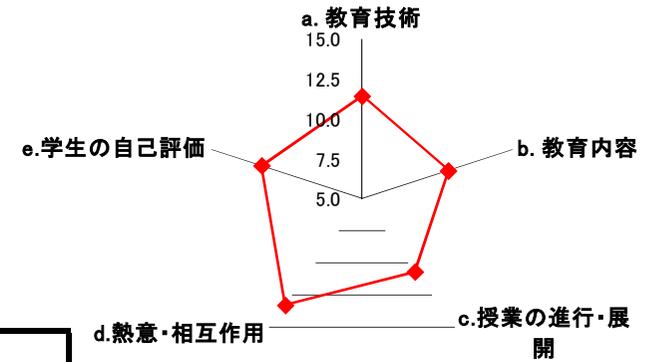
履修者数	20	回収数	19	回収率	95.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目: 公衆衛生看護活動論演習 I

担当者:

澤井美奈子・藤田淳子・乙黒千鶴

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	717	14.06	1.66	18	11.44	1.86
b. 教育内容	718	14.02	1.75	19	10.74	1.58
c. 授業の進行・展開	718	13.97	1.71	19	10.68	2.20
d. 熱意・相互作用	720	14.22	1.45	19	13.26	1.45
e. 学生の自己評価	713	13.66	2.00	19	11.68	1.92



[00]

N=19

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	2	10	6	1	0	0	3.68	0.73
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	3	9	5	1	0	1	3.58	1.14
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5	7	6	1	0	0	3.84	0.87

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	1	9	7	2	0	0	3.47	0.75
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	2	9	7	1	0	0	3.63	0.74
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	3	7	8	1	0	0	3.63	0.81

c. 授業の進行・展開

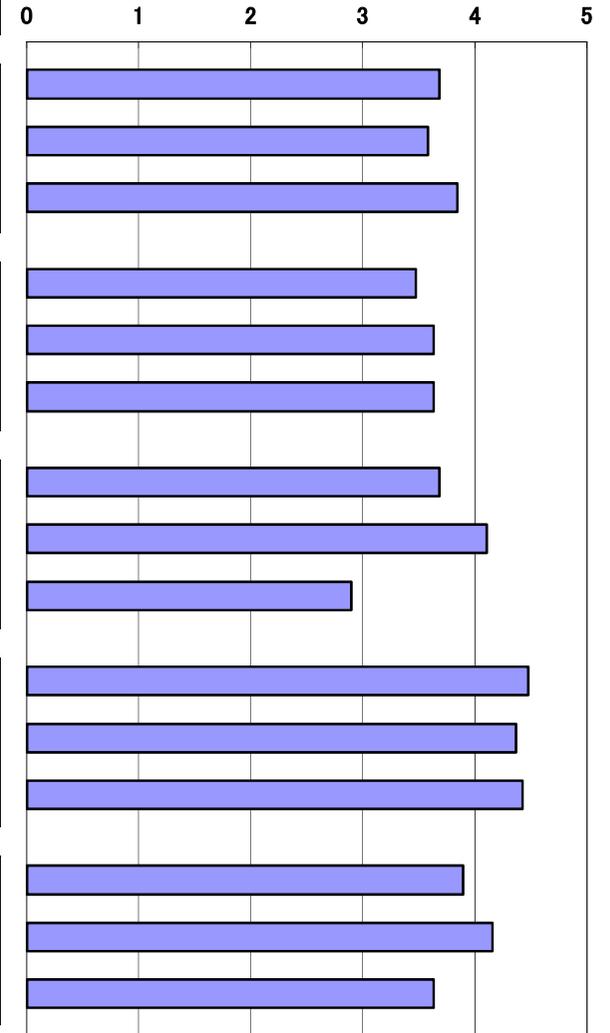
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	4	9	2	4	0	0	3.68	1.03
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	5	11	3	0	0	0	4.11	0.64
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	2	5	4	5	3	0	2.89	1.25

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	9	10	0	0	0	0	4.47	0.50
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	8	10	1	0	0	0	4.37	0.58
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	8	11	0	0	0	0	4.42	0.49

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	6	5	8	0	0	0	3.89	0.85
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	6	10	3	0	0	0	4.16	0.67
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	3	7	8	1	0	0	3.63	0.81



科目コード	1U0400	科目名	公衆衛生看護活動論演習 I	担当教員名	澤井美奈子・藤田淳子・乙黒千鶴
-------	--------	-----	---------------	-------	-----------------

<教員からのコメント>

保健師課程履修学生の必修演習科目として、今年度より開講しました

保健師活動の大きな特徴である、「地域診断」と「個別の保健指導」の内容です

家庭訪問などの演習は、ロールプレイも交えて住民、保健師側両方の立場を考えることができたようでよかったです

地域診断については、時間内に設けていた事前訪問までに地域の情報を集めて考えることが難しく、また事前訪問・地区踏査として設定した時間に実習施設からの説明が入る、実習地域と大学所在地の距離によっては地域を十分に診る時間がとりにくい状況もあり、今後地域を実際に診る時間の設定などは検討していく予定です

地域診断の考え方については保健師に限らず地域に働く看護師にとって大変重要な視点であることから低学年から少しずつ理解できるような授業展開として、4年生では保健師の視点で地域を考え実習でそれが実際と結びつくようなより実践的な演習を取り入れたいと考えています

授業(演習)評価結果(2015年度前期)

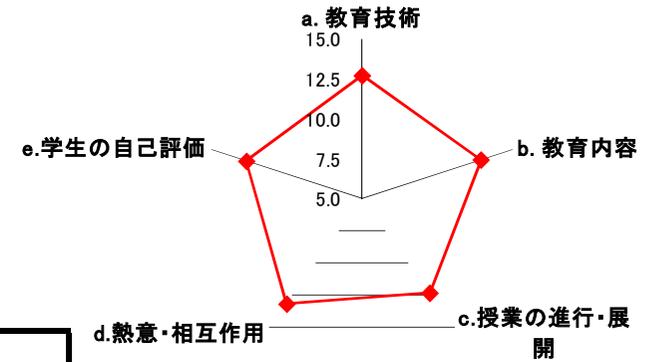
履修者数	20	回収数	20	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目: 公衆衛生看護活動論演習Ⅱ

担当者:

澤井美奈子・乙黒千鶴・藤田淳子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	717	14.06	1.66	20	12.75	1.87
b. 教育内容	718	14.02	1.75	20	12.90	1.92
c. 授業の進行・展開	718	13.97	1.71	20	12.30	1.95
d. 熱意・相互作用	720	14.22	1.45	20	13.15	1.80
e. 学生の自己評価	713	13.66	2.00	20	12.70	1.79



[00]

N=20

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	6	9	5	0	0	0	4.05	0.74
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	9	9	2	0	0	0	4.35	0.65
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	9	9	2	0	0	0	4.35	0.65

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	8	8	4	0	0	0	4.20	0.75
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	9	8	2	0	1	0	4.20	0.98
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	11	8	1	0	0	0	4.50	0.59

c. 授業の進行・展開

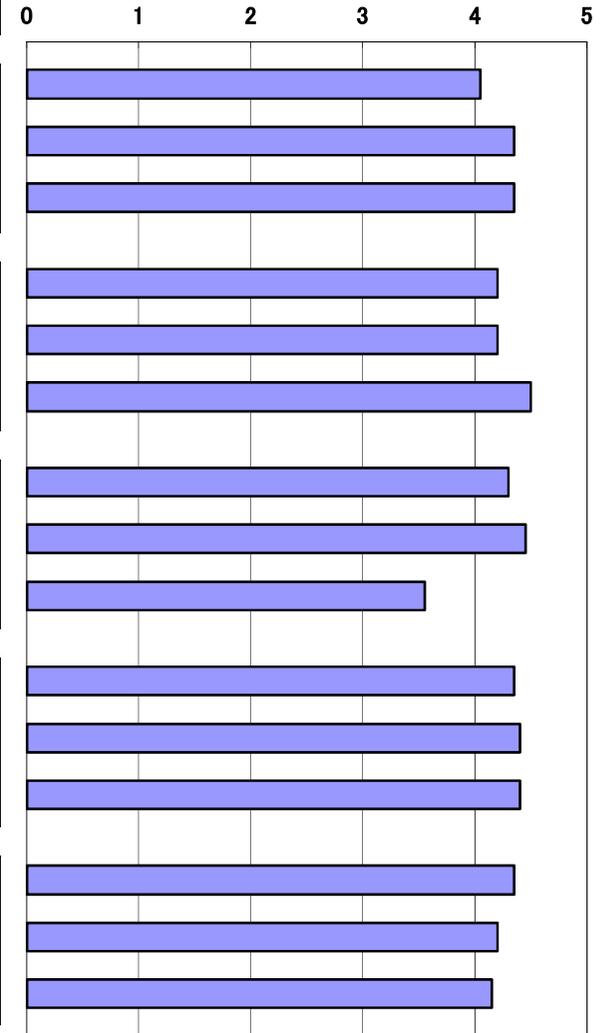
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	8	10	2	0	0	0	4.30	0.64
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	9	11	0	0	0	0	4.45	0.50
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	7	4	5	1	3	0	3.55	1.40

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	9	9	2	0	0	0	4.35	0.65
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	11	7	1	1	0	0	4.40	0.80
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	11	7	1	1	0	0	4.40	0.80

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	9	9	2	0	0	0	4.35	0.65
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	8	8	4	0	0	0	4.20	0.75
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	6	11	3	0	0	0	4.15	0.65



科目コード	1U0500	科目名	公衆衛生看護活動論演習Ⅱ	担当教員名	澤井美奈子・乙黒千鶴・藤田淳子
-------	--------	-----	--------------	-------	-----------------

<教員からのコメント>

保健師課程履修学生の必修演習科目として、今年度より開講しました

保健師活動の大きな特徴の「集団への健康教育」を、各自の実習地域を対象に、地域の情報、ニーズを考え、健康教育の目的、方法等の計画をたて、企画書を作成し、シナリオを作り、学内で実施するとともに、相互評価することで評価の視点を学び、得られた評価を元に改善していく一連のPDCAプロセスまで学習します

演習としては、実習前の仮完成までとなりますが、公衆衛生看護学実習中に、地域住民を対象に実施し評価する健康教育の準備ともなっています

日常の保健師活動をしながら様々な健康教育の企画や実施をしている実践の場さながらのスピードでPDCAサイクルを展開していったため、集中講義期間中の多くの時間を必要とし、大変だったと思います

振り返っての感想では、実践的であること、フィードバックが得られることの利点が挙がっていますが、批判とも受け取れるフィードバックを受けての疲労感も出されており、今後はフィードバックの発信方法についても一緒に考えていきましょう

授業時間以外の事前事後学習に要する時間は従来と変わらないのですが、集中講義になったことで、各科目の事前事後学習時間が同時期に必要なものをどう分散させていくかを検討し、よい実践学習に結び付けていく計画です

この開講中の大変な準備を経て、実習で本物の地域住民に「健康教育」を実施した学生たちからは、多くの学びや充実感の報告があったことを付記します

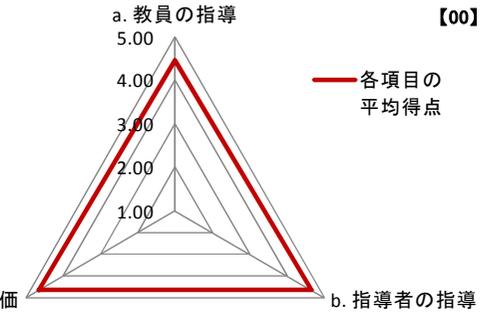
授業(実習)評価結果(2015年度レベルⅡ実習)

配布数	144	回収数	141	回収率	97.9%
-----	-----	-----	-----	-----	-------

科目:看護援助論実習(レベルⅡ)

担当者:守田美奈子・本庄恵子・佐々木幾美・鶴田恵子、他

	全体			有効数	平均得点	標準偏差	各項目の平均得点
	有効数	平均得点	標準偏差				
a. 教員の指導	141	26.84	4.77	141	26.84	4.77	4.47
b. 指導者の指導	140	23.30	2.55	140	23.30	2.55	4.66
c. 学生の自己評価	141	23.26	2.26	141	23.26	2.26	4.65



N=141

	強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均得点		標準偏差	
	5点	4点	3点	2点	1点		担当者	科目全体	担当者	科目全体

a. 教員の指導

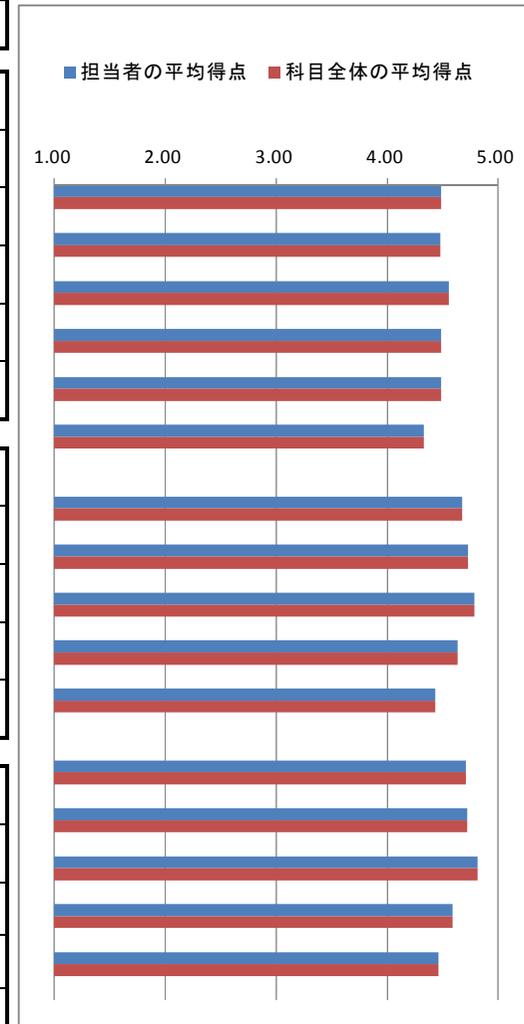
① 教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	97	28	5	10	1	0	4.49	4.49	0.91	0.91
② 教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	93	31	10	6	1	0	4.48	4.48	0.86	0.86
③ 教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	98	29	10	2	2	0	4.55	4.55	0.80	0.80
④ 教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	98	25	10	5	3	0	4.49	4.49	0.93	0.93
⑤ 教員は、相談しやすい雰囲気があった。	93	34	8	2	4	0	4.49	4.49	0.89	0.89
⑥ 教員と実習指導者の連携がとれていた。	81	39	11	7	3	0	4.33	4.33	0.97	0.97

b. 指導者の指導

⑦ 実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	102	32	7	0	0	0	4.67	4.67	0.56	0.56
⑧ 実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	107	32	1	0	1	0	4.73	4.73	0.54	0.54
⑨ 実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	114	24	3	0	0	0	4.79	4.79	0.46	0.46
⑩ 実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	105	27	5	3	0	1	4.64	4.64	0.76	0.76
⑪ 実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	87	38	8	6	2	0	4.43	4.43	0.89	0.89

c. 学生の自己評価

⑫ 学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	106	30	4	1	0	0	4.71	4.71	0.55	0.55
⑬ 学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	106	31	4	0	0	0	4.72	4.72	0.51	0.51
⑭ 学生は、実習目標に到達できるように努力した。	117	20	3	0	0	0	4.81	4.81	0.44	0.44
⑮ 学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	92	41	7	1	0	0	4.59	4.59	0.62	0.62
⑯ 学生は、体調管理に努めた。	88	37	9	7	0	0	4.46	4.46	0.82	0.82



科目コード	1S0200	科目名	看護援助論実習(レベルⅡ)	担当教員名	守田美奈子・本庄恵子・佐々木幾美・鶴田恵子、他
-------	--------	-----	---------------	-------	-------------------------

<教員からのコメント>

学生の反応をとらえて学生の気持ちに沿った指導が、役に立っているとのことでしたので、継続していきたいと思います。
 皆さんからいただいた感想をふまえて、教員・指導者がともに、学生のみなさんの学びが深くなるような質問の仕方や指導方法の工夫をしたいと思います。
 レベルⅡ実習では、チームティーチング制をとって、学生の皆さんには、複数の教員を資源として活用してもらえるようにしています。次年度以降はこのチームティーチング制が、より良く機能するような工夫をしていきたいと思います。ティーチング・アシスタントや新任教員の先生方の指導をベテラン教員がサポートする仕組みも、より充実させていきたいと思います。
 そして、病棟の指導者との連携を、より強化していきます。

平成27年度 前期
学生による授業評価（アンケート調査）
集計結果

平成28年 1月30日 発行

編集 日本赤十字看護大学 FDS D委員会
〒150-0012 東京都渋谷区広尾4丁目1番3号
TEL 03(3409)0875 (代表)
